

令和6年度  
こども教育学部 シラバス  
(4年間の学修計画)

横浜創英大学



令和6年度 こども教育学部 シラバス目次

no	授業科目	配当年次	頁
(表1) 科目と卒業認定・学位授与の方針との対応、及びナンバリング【令和4～令和6年度入学生】			2
(表2) 科目と卒業認定・学位授与の方針との対応、及びナンバリング【令和3年度入学生】			4
【1年次配当科目】			7
1	大学で学ぶとは(含建学の精神)	1前	9
2	サイエンスA(考え方)	1前	11
3	コンピュータA(機器操作と文書作成)	1前	13
4	情報リテラシー	1前	15
5	哲学	1前	17
6	心理学	1前	19
7	コミュニケーション論	1前	21
8	ジェンダー論	1前	23
9	障がい論	1前	26
10	芸術論	1前	28
11	造形表現	1前	31
12	教養音楽	1前	33
13	レポート・文章作成法	1前	36
14	健康・スポーツA	1前	38
15	英語A(基礎)	1前	40
16	英語C(TOEIC・TOEFL等資格取得)	1前	43
17	中国語	1前	46
18	教育原理	1前	48
19	保育原理 I	1前	51
20	音楽基礎	1前	54
21	基礎ゼミナール	1通	56
22	サイエンスB(観察)	1後	101
23	コンピュータB(表計算)	1後	103
24	コンピュータC(プレゼンテーション)	1後	105
25	データサイエンス入門	1後	107
26	医療・環境入門	1後	109
27	倫理学	1後	111
28	比較文化論	1後	113
29	法学(含日本国憲法)	1後	116
30	文学	1後	119
31	健康・スポーツB	1後	122
32	英語B(保育英語)	1後	125
33	韓国語	1後	128
34	フランス語	1後	130
35	幼児教育実地研究	1後	132
36	保育内容総論	1後	134
37	発達心理学	1後	136
38	子どもの保健	1後	138
39	音楽 I	1後	140
【2年次配当科目】			143
40	教職論(保育者論を含む)	2前	145
41	乳児保育 I	2前	148
42	教育課程の意義と編成(保育課程の意義と編成を含む)	2前	151
43	「健康」	2前	154
44	「人間関係」	2前	156
45	「環境」	2前	158
46	「言葉」	2前	160
47	「表現」	2前	162
48	保育の心理学	2前	164
49	子どもの理解と援助	2前	166
50	社会福祉	2前	168
51	子ども家庭福祉	2前	170
52	子どもの食と栄養	2前	173
53	図画工作 I	2前	176
54	器楽 I	2前	178
55	保育内容の指導法(健康・環境) I	2後	180

no	授業科目	配当年次	頁
56	保育内容の指導法(人間関係・言葉) I	2後	182
57	保育内容の指導法(表現) I	2後	185
58	障がい児保育	2後	187
59	乳児保育 II	2後	190
60	幼児理解の理論及び方法(教育相談の理論及び方法を含む。)	2後	193
61	社会的養護 I	2後	195
62	子どもの健康と安全	2後	198
63	体育 I	2後	200
64	器楽 II	2後	203
65	保育実習事前事後指導 I A(保育所)	2後	205
66	保育実習 I A(保育所)	2後	208
【3年次配当科目】			211
67	保育内容の指導法(健康・環境) II	3前	213
68	保育内容の指導法(人間関係・言葉) II	3前	215
69	保育内容の指導法(表現) II	3前	218
70	教材研究A(造形)	3前	220
71	子ども家庭支援論	3前	223
72	体育 II	3前	225
73	音楽 II	3前	227
74	器楽 III(中級)	3前	229
75	幼稚園教育実習事前事後指導 I	3前	232
76	幼稚園教育実習 I	3前	235
77	卒業研究ゼミナール	3通	236
78	教育・保育史	3後	284
79	教育・保育制度(教育社会学)	3後	287
80	教育の方法と技術	3後	289
81	教材研究B(音楽)	3後	292
82	教材研究C(運動)	3後	294
83	教材研究D(児童文化)	3後	296
84	教材研究E(遊び文化)	3後	299
85	社会的養護 II	3後	302
86	図画工作 II	3後	304
87	保育実習事前事後指導 I B(施設)	3後	306
88	保育実習 I B(施設)	3後	309
【3～4年次配当科目】			311
89	道徳性の発達	3-4年前	313
90	臨床心理	3-4年前	315
91	特別支援教育概論	3-4年前	317
92	子育て支援論A(幼稚園)	3-4年前	320
93	食育保育論	3-4年前	323
94	母子保健演習	3-4年前	326
95	道徳教育の理論と方法	3-4年後	328
96	保育原理 II(現状と課題)	3-4年後	331
97	統合保育論	3-4年後	334
98	子どもの心理療法	3-4年後	337
99	社会教育論	3-4年後	339
100	子育て支援論B(保育)	3-4年後	341
101	病児・病後児保育	3-4年後	343
102	子どもの障がい論	3-4年後	345
103	健康教育学	3-4年後	347
【4年次配当科目】			349
104	幼稚園教育実習事前事後指導 II	4前	351
105	幼稚園教育実習 II	4前	354
106	保育実習事前事後指導 II(保育所)	4前	355
107	保育実習事前事後指導 III(施設)	4前	358
108	保育実習 II(保育所)	4前	361
109	保育実習 III(施設)	4前	363
110	卒業研究	4通	364
111	教職・保育実践演習	4後	428
112	器楽 IV(上級)	4後	431

(表1)科目と卒業認定・学位授与の方針との対応、及びナンバリング【令和4年度入学生～令和6年度入学生】

授業科目	ナンバリング	【卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)】			
		1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。	3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。	4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
大学で学ぶとは (含建学の精神)	LF100		●		
サイエンスA (考え方)	LG100		●		
サイエンスB (観察)	LG100		●		
コンピュータA (機器操作と文書作成)	LF100		●		
コンピュータB (表計算)	LF100		●		
コンピュータC (プレゼンテーション)	LF100		●		
情報リテラシー	LG100		●		
データサイエンス入門	LG100		●		
医療・環境入門	LG100		●		
哲学	LG100		●		
心理学	LG100		●		
倫理学	LG100		●		
コミュニケーション論	LG100		●		
ジェンダー論	LG100		●		
障がい論	LG100		●		
芸術論	LG100		●		
比較文化論	LG100		●		
造形表現	LG100		●		
教養音楽	LG100		●		
法学 (含日本国憲法)	LG100		●		
文学	LG100		●		
レポート・文章作成法	LF100		●		
健康・スポーツA	LG100		●		
健康・スポーツB	LG100		●		
英語A (基礎)	LG100		●		
英語B (看護英会話) (保育英語)	LF100		●		
英語C (TOEIC・TOEFL等資格取得)	LG100		●		
中国語	LG100		●		
韓国語	LG100		●		
フランス語	LG100		●		
教職論 (保育者論を含む)	CB300	●		●	
教育・保育史	CB500	●			
教育・保育制度 (教育社会学)	CB500	●			
教育原理	CB100	●		●	
道徳教育の理論と方法	CB600		●		●
障がい児保育	CP300	●	●		
乳児保育 I	CB300	●		●	
乳児保育 II	CP400			●	
保育原理 I	CB100	●		●	
保育原理 II (現状と課題)	CB600	●		●	
教育課程の意義と編成 (保育課程の意義と編成を含む)	CB300			●	●
教職・保育実践演習	CP800			●	●
統合保育論	CB600	●			
幼児教育実地研究	CP200				●
基礎ゼミナール	CP100		●	●	
保育内容総論	CP100		●		●
保育内容の指導法 (健康・環境) I	CP300	●		●	
保育内容の指導法 (人間関係・言葉) I	CP300		●	●	
保育内容の指導法 (表現) I	CP300	●			●
保育内容の指導法 (健康・環境) II	CP500	●		●	
保育内容の指導法 (人間関係・言葉) II	CP500		●	●	
保育内容の指導法 (表現) II	CP500	●			●
「健康」	CB300	●		●	
「人間関係」	CB300		●	●	
「環境」	CB300	●			
「言葉」	CB300		●	●	
「表現」	CB300	●			●
教育の方法と技術	CP500	●			
教材研究A (造形)	CP500	●			●
教材研究B (音楽)	CP500	●			●

授業科目	ナンバリング	【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】			
		1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。	3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。	4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
教材研究C（運動）	CP500	●			●
教材研究D（児童文化）	CP500	●			
教材研究E（遊び文化）	CP500	●			
発達心理学	CB100	●			
保育の心理学	CB300	●			
道徳性の発達	CB600				●
子どもの心理療法	CB600				●
臨床心理	CB600				●
子どもの理解と援助	CP300		●		
幼児理解の理論及び方法（教育相談の理論及び方法を含む。）	CP300		●		
社会福祉	CB200	●		●	
子ども家庭支援論	CB500		●		●
社会的養護Ⅰ	CB200	●	●		
社会的養護Ⅱ	CP500	●	●	●	●
子ども家庭福祉	CB300		●	●	
特別支援教育概論	CP600	●		●	
社会教育論	CB500			●	
子育て支援論A（幼稚園）	CB600			●	
子育て支援論B（保育）	CP600		●		●
子どもの保健	CB100	●		●	
病児・病後児保育	CB600	●		●	
子どもの障がい論	CB600	●			
子どもの食と栄養	CP300	●		●	
子どもの健康と安全	CP300	●		●	
体育Ⅰ	CP300	●			●
体育Ⅱ	CP500	●			●
健康教育学	CP600	●		●	
食育保育論	CB600	●			●
母子保健演習	CP600	●			●
音楽Ⅰ	CP200	●			●
音楽Ⅱ	CP500	●			●
図画工作Ⅰ	CP300	●			●
図画工作Ⅱ	CP500	●			●
音楽基礎	CP100	●			●
器楽Ⅰ	CP300	●			●
器楽Ⅱ	CP300	●			●
器楽Ⅲ（中級）	CP500	●			●
器楽Ⅳ（上級）	CP700	●			●
卒業研究	CI800		●	●	●
卒業研究ゼミナール	CI600	●	●	●	●
幼稚園教育実習事前事後指導Ⅰ	CI500	●			●
幼稚園教育実習事前事後指導Ⅱ	CI700		●		●
幼稚園教育実習Ⅰ	CI600		●		●
幼稚園教育実習Ⅱ	CI800		●		●
保育実習事前事後指導ⅠA（保育所）	CI300	●			●
保育実習事前事後指導ⅠB（施設）	CI500	●			●
保育実習ⅠA（保育所）	CI400		●		●
保育実習ⅠB（施設）	CI600		●		●
保育実習事前事後指導Ⅱ（保育所）	CI700		●		●
保育実習事前事後指導Ⅲ（施設）	CI700		●		●
保育実習Ⅱ（保育所）	CI800		●		●
保育実習Ⅲ（施設）	CI800		●		●

注釈  
ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで学修の段階や順序等を表し教育課程の体系性を明示する仕組みをいう。

科目群		記号
教養	初年次教育	LF
	一般	LG
	基礎	CB
専門	実践	CP
	統合	CI

(表2) 科目と卒業認定・学位授与の方針との対応、及びナンバリング【令和3年度入学生】

授業科目	ナンバリング	【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】			
		1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。	3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。	4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
大学で学ぶとは（含建学の精神）	LF100		●		
サイエンスA（考え方）	LG100		●		
サイエンスB（観察）	LG100		●		
レポートの書き方	LF100		●		
コンピュータA（ワード）	LF100		●		
コンピュータB（エクセル）	LF100		●		
コンピュータC（パワーポイントとプレゼンテーション）	LG100		●		
医療・環境入門	LG100		●		
情報倫理	LG100		●		
計算と分析	LG100		●		
経営情報論（ITと社会・経営）	LG100		●		
哲学	LG100		●		
心理学	LG100		●		
倫理学	LG100		●		
コミュニケーション論	LG100		●		
ジェンダー論	LG100		●		
家族社会論	LG100		●		
芸術論	LG100		●		
比較文化論	LG100		●		
造形表現	LG100		●		
教養音楽	LG100		●		
法学（含日本国憲法）	LF100		●		
文学	LG100		●		
健康・スポーツA	LG100		●		
健康・スポーツB	LG100		●		
英語A（基礎）	LF100		●		
英語B（看護英会話）	LG100		●		
英語C（TOEIC・TOEFL等資格取得）	LG100		●		
中国語	LG100		●		
韓国語	LG100		●		
フランス語	LG100		●		
教職論（保育者論を含む）	CB300	●		●	
教育・保育史	CB500	●			
教育・保育制度（教育社会学）	CB500	●			
教育原理	CB100	●		●	
道徳教育の理論と方法	CB600		●		●
障がい児保育	CP300	●	●		
乳児保育Ⅰ	CB300	●		●	
乳児保育Ⅱ	CP400	●		●	
保育原理Ⅰ	CB100	●		●	
保育原理Ⅱ（現状と課題）	CB600	●		●	
教育課程の意義と編成（保育課程の意義と編成を含む）	CB300			●	●
教職・保育実践演習	CP800			●	●
統合保育論	CB600	●			
幼児教育実地研究	CP200				●
基礎ゼミナール	CP100		●	●	
保育内容総論	CP100		●		●
保育内容の指導法（健康・環境）Ⅰ	CP300	●		●	
保育内容の指導法（人間関係・言葉）Ⅰ	CP300		●	●	
保育内容の指導法（表現）Ⅰ	CP300	●			●
保育内容の指導法（健康・環境）Ⅱ	CP500	●		●	
保育内容の指導法（人間関係・言葉）Ⅱ	CP500		●	●	
保育内容の指導法（表現）Ⅱ	CP500	●			●
「健康」	CB300	●		●	
「人間関係」	CB300		●	●	
「環境」	CB300	●			
「言葉」	CB300		●	●	
「表現」	CB300	●			●
教育の方法と技術	CP500	●			
教材研究A（造形）	CP500	●			●

授業科目	ナンバリング	【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】			
		1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。	3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。	4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
教材研究B（音楽）	CP500	●			●
教材研究C（運動）	CP500	●			●
教材研究D（児童文化）	CP500	●			
教材研究E（遊び文化）	CP500	●			
発達心理学	CB100	●			
保育の心理学	CB300	●			
道徳性の発達	CB600				●
子どもの心理療法	CB600				●
臨床心理	CB600				●
子どもの理解と援助	CP300		●		
幼児理解の理論及び方法（教育相談の理論及び方法を含む。）	CP300		●		
社会福祉	CB200	●		●	
子ども家庭支援論	CB500		●		●
社会的養護Ⅰ	CB200	●	●		
社会的養護Ⅱ	CP500			●	●
子ども家庭福祉	CB300		●	●	
特別支援教育概論	CP600	●		●	
社会教育論	CB500			●	
子育て支援論A（幼稚園）	CB600			●	
子育て支援論B（保育）	CP600		●		●
子どもの保健	CB100	●		●	
病児・病後児保育	CB600	●		●	
子どもの障がい論	CB600	●			
子どもの食と栄養	CP300			●	
子どもの健康と安全	CP300	●		●	
体育Ⅰ	CP300	●			●
体育Ⅱ	CP500	●			●
健康教育学	CP600	●		●	
食育保育論	CB600	●			●
母子保健演習	CP600	●			●
音楽Ⅰ	CP200	●			●
音楽Ⅱ	CP500	●			●
図画工作Ⅰ	CP300	●			●
図画工作Ⅱ	CP500	●			●
音楽基礎	CP100	●			●
器楽Ⅰ	CP300	●			●
器楽Ⅱ	CP300	●			●
器楽Ⅲ（中級）	CP500	●			●
器楽Ⅳ（上級）	CP700	●			●
卒業研究	CI800	●	●	●	●
卒業研究ゼミナール	CI600	●	●	●	●
幼稚園教育実習事前事後指導Ⅰ	CI500	●			●
幼稚園教育実習事前事後指導Ⅱ	CI700		●		●
幼稚園教育実習Ⅰ	CI600		●		●
幼稚園教育実習Ⅱ	CI800		●		●
保育実習事前事後指導ⅠA（保育所）	CI300	●			●
保育実習事前事後指導ⅠB（施設）	CI500	●			●
保育実習ⅠA（保育所）	CI400		●		●
保育実習ⅠB（施設）	CI600		●		●
保育実習事前事後指導Ⅱ（保育所）	CI700		●		●
保育実習事前事後指導Ⅲ（施設）	CI700		●		●
保育実習Ⅱ（保育所）	CI800		●		●
保育実習Ⅲ（施設）	CI800		●		●

注釈  
ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで学修の段階や順序等を表し教育課程の体系性を明示する仕組みをいう。

科目群		記号
教養	初年次教育	LF
	一般	LG
専門	基礎	CB
	実践	CP
	統合	CI



## 【1年次配当科目】



開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
学長 看護学部長 こども教育学部長 教務部長 学生部長 図書館長 教養教育教務分科会長			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし。		
授業概要	本学の建学の精神と歴史を学び、本学で学ぶこととはどういうことなのかを理解する。高校までの学び方と大学での学び方の違いを明らかにする。		
履修目標	① 本学の建学の精神を述べることができる。 ② 初年次教育として、高校と大学での学び方の違いを説明することができる。 ③ 大学生生活の有意義な送り方についてグループで討議することができる。 ④ 卒業後のキャリアプランを計画することができる。 ⑤ 社会に対してどのような認識を持つべきかの自らの考えを述べるができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	本学の建学の精神と大学で学ぶことの意義 建学の精神が意味することと大学で学ぶことの意義についてグループで話し合い、全体発表・討議する。(北村学長)  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 横浜創英大学の建学の精神、大学理念、各学部の教育目的・目標を学生便覧やホームページで確認する。(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） グループ討議したことをもとに大学での学び方についてノートにまとめる。(90分)	
	2	人を理解するために 「他者との関係を築くために必要なこと」を考える。(横山看護学部長)  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「自分が思う私」について、ノートにまとめる。(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業での学びを整理し、「自分への発見」「他者との関係を築くために必要なこと」について、自分の考えをノートにまとめる。(90分)	
	3	大学で学ぶための心構え 大学で自分が追及したいテーマを見つける。問題意識を持って物事と関わることの重要性を理解し、他の学生と討議しながらさらに学びに対する姿勢を明確にする。(小川教務部長)  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学で自分が追及したいテーマをいくつか考え、ノートに列挙しておく。(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内で討議した内容を文章化する。(90分)	
	4	学習を深めるために 図書館の活用方法を学んだうえで、グループ討議・発表を行う。(上條図書館長)  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 横浜創英大学の図書館を訪れ、A4用紙1枚に「横浜創英大学の図書館の魅力」を書いてくる。写真添付可能。(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） グループ討議したことをもとに図書館での学び方についてノートにまとめる。(90分)	
	5	キャンパスマナーについて 授業を受ける際に気をつける点についてグループ討議・発表を行う。(大内こども教育学部長)  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 効率的な授業の受け方やノートの取り方について、高校生活で役立った点や反省点などをA4用紙1枚に書き出す。(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学内での対人関係で気をつけるべき点を整理し、ノートにまとめる。(90分)	
	6	安全な大学生生活を送るために 学生生活に潜む危険性等について学び、グループ討議・発表を行う。(鈴木学生部長)  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「情報リテラシー(SNSの使い方を中心に)」「ハラスメント」「ブラックバイト」「マルチ商法」「カルト宗教集団」「危険ドラッグ」「喫煙の害」等、大学生生活を危険に晒す要因について、どのような被害やトラブルの事例があるかを具体的に調べ、その中のひとつを選んでA4用紙1	

	<p>枚でまとめる。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 安全に学生生活を送るために必要なことについて、授業内容を整理しノートにまとめる。(90分)</p> <p>7 横浜創英大学の教養教育について 大学生にとって必要な「教養」とは何かを学び、グループ討議・発表を行う。(武井教養教育教務分科会委員長)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) 横浜創英大学の教養教育について大学案内や学生便覧で確認し、サイエンス・リテラシーとヒューマン・リテラシーの教育の目的と内容、さらに自分で考える教養の重要性についてA4用紙1枚でまとめる。(90分)</p> <p>8 授業外事後学修課題：課題内容(時間) 大学生にとっての「教養」とは何かを再度考え、身につけるために必要な方策について具体的に自分の言葉でノートにまとめる。(90分) まとめ 「大学で学ぶ」ことについて改めて考える。(北村学長)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) 授業最終回では確認テストを行うので、第1回～第7回の授業内容をよく復習し、自分の意見をまとめておく。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) ノートを整理し、振り返りを行う。(90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>詳細はルーブリック参照のこと。</p> <p>評価方法： 事前レポート 評価割合： 50% 評価基準： 授業で学んだことを理解したうえで、さらに自らの意見を記述できていれば60点。 履修目標との対応： ①、②、③、④、⑤</p> <p>評価方法： リフレクションペーパー 評価割合： 30% 評価基準： 授業の要点や自分の意見を端的にまとめることができていると60点。 履修目標との対応： ①、②、③、④、⑤</p> <p>評価方法： 最終試験 評価割合： 40% 評価基準： シラバスの「予習内容」をもとに、調査、ならびに情報の確認・整理ができていると60点。 履修目標との対応： ①、②、③、④、⑤</p>
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を配布予定。 参考文献は授業時に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	担当教員の一部は看護師もしくは教諭経験を有しており、その経験を活かして、将来を見据えた生きた実践学の知を伝える。
オフィスアワー・連絡先	kkitamura@soei.ac.jp (北村学長メールアドレス)
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお30分以内の遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。

講義科目名称：サイエンスA（考え方）

授業コード：24A102

英文科目名称：Science A (Way of Thinking)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
木下 圭/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	論理的思考に必要な自然科学（サイエンス）の考え方を学ぶ。専門科目の学修に必須となる化学、生物学の基本的な知識とともに、量と単位、先端科学について理解を深める。講義では数式をなるべく使わず、自ら調べ、考察しながら学修する。
履修目標	①自然科学の考え方を理解し、論理的思考を身につける。 ②宇宙と生命の真理を探り、知的探求心を呼び起こす。 ③最先端の科学技術への理解を深める。 ④自ら情報を収集し、それを整理、活用することを可能にする。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 総論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 科目の概要と目標をシラバスで確認（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）</p> <p>2 生物の基礎「生命と生体物質」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）</p> <p>3 生物の基礎「細胞と組織」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）</p> <p>4 生物の基礎「肺・心臓・肝臓・腎臓」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）</p> <p>5 化学の基礎「原子と分子」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）</p> <p>6 化学の基礎「有機化学と生化学」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）</p> <p>7 自然界の単位「長さ・重さ」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）</p> <p>8 自然界の単位「時間・組み合わせ」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）</p> <p>9 地球の科学「宇宙と地球」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）</p>

	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 地球の科学「地殻変動と生物」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） ヒトの科学「免疫と進化」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） ヒトの科学「構造と機能」（道上） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） ヒトの科学「発生と幹細胞」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 先端技術「再生医療」（原本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） まとめ、小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小テストの準備（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	プレゼンテーションと自主学習を行う。
課題のフィードバック方法と時期	次回の授業で解説する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：70% 評価基準：課題の条件を備えたリフレクションペーパーを毎回提出することができる 履修目標との対応：① ② ③ ④</p> <p>評価方法：小テスト 評価割合：30% 評価基準：授業内容に即した小テストの得点が25点以上である 履修目標との対応：① ② ③ ④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：理科年表 2024（ポケット版）
実務経験のある教員による授業	発生物学の研究者である教員による授業。 東京大学の教員と産業技術研究所の研究員による特別講義を実施。
オフィスアワー・連絡先	連絡先は、kkinoshita@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
若生 啓/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人		
履修条件			
授業概要	コンピュータを書類作成の道具として活用できるように、文書作成ソフト (Microsoft Word) の基本を学び、Wordを用いたレポートやビジネス文書を作成できる操作能力を身につける。MOS検定のWordの取得も視野に入れ、職業人としても活用できるように応用力も身につける。		
履修目標	①コンピュータの基本的な操作ができる ②文書作成ソフト (Microsoft Word) を用いて各種文書を作成することができる ③メールの作成やプレゼンテーションソフトの操作など幅広いスキルを身につける		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス、コンピュータの基本操作 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	2	メールの作成、送受信 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	3	ファイル、フォルダの操作、タイピングの基礎 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	4	Wordの基礎知識 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	5	文字の入力 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	6	文書の作成 (1) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	7	文書の作成 (2) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	8	表の作成 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	9	文書の編集 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間)	

	<p>10 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分) 表現力をアップする機能 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)</p> <p>11 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分) 便利な機能 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)</p> <p>12 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分) 総合問題 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)</p> <p>13 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分) プレゼンテーションソフトの基本 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分) スライドの作成 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分) 最終課題 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ICTを活用した双方向型の授業を実施する
課題のフィードバック方法と時期	授業内の課題については次の回に返却します。最終課題は希望者に返却します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業内の課題 評価割合：50% 評価基準：全体の2/3の提出で60% 履修目標との対応：① ② ③</p> <p>評価方法：最終課題 評価割合：50% 評価基準：2/3の作業が完了すれば60% 履修目標との対応：① ②</p> <p>※適宜追加してください</p>
テキスト・参考文献・その他 (必要物品など)	『よくわかる Microsoft Word 2021 基礎』、富士通ラーニングメディア、FOM出版、2022年、978-4-938927-92-9
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	木下 (kkinoshita@soei.ac.jp)、若生 (wako@soei.ac.jp)
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
若生 啓/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人		
履修条件			
授業概要	情報化時代の基本常識となるIT関連法律（著作権法・個人情報保護法）などについてその概要を知り、SNSに代表されるインターネットのより安全な使い方を身につける。また、ICTに用いられる情報の検索・収集・加工に関する基礎能力を身につける。		
履修目標	①インターネットを「娯楽の道具」としてではなく「学修等の道具」として取り扱うことができる ②社会に流通する情報に対して「疑う力」と「検証する力」とを身につける ③情報ならびに情報通信技術の適切な利活用を通じて、自らが、情報通信技術に関連する犯罪等の加害者にも被害者にもならないようにする		
授業計画・授業外学修課題	1	インターネットによる文献・資料等検索①（図書検索） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	
	2	インターネットによる文献・資料等検索②（論文・各種資料検索） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	
	3	メール等によるコミュニケーションのルールとマナー 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	
	4	インターネットによる企業情報検索、インターネットによる電子商取引 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	
	5	データ・情報を見つめる①（既存情報・常識の真偽確認を試みる） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	
	6	データ・情報を見つめる②（既存情報・常識の真偽を主体的に探る） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	
	7	データ・情報を見つめる③（既存情報・常識の比較検討を行う練習をする） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	
	8	データ・情報を見つめる④（既存情報・常識の比較検討を主体的に行うことで繰り返し練習する） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	
	9	インターネット利用の長所と問題点①（インターネットの長所・利便性） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）	

	<p>10 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） インターネット利用の長所と問題点②（インターネットの短所・危険性） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）</p> <p>11 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） インターネット利用の長所と問題点③（インターネット利用の振り返り） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）</p> <p>12 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） インターネットとビッグデータ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）</p> <p>13 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） コンピュータウイルスとサイバー攻撃・サイバー犯罪等 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 情報と人々、政府・マスコミと真実 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 最終課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ICTを活用した双方向型の授業を実施する
課題のフィードバック方法と時期	授業内の課題については次の回に返却します。最終課題は希望者に返却します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業内の課題 評価割合：50% 評価基準：全体の2/3の提出で60% 履修目標との対応：① ② ③</p> <p>評価方法：最終課題 評価割合：50% 評価基準：2/3の作業が完了すれば60% 履修目標との対応：① ②</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト 『大学生のためのメディアリテラシー・トレーニング』、長谷川一、村田麻里子、三省堂、2015年、978-4385365343</p>
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	連絡先：wako@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
國領 佳樹			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	人は置かれた状況に対して様々な判断を下しながら生きている。哲学は、「生と死」「幸福とは」「愛について」等を対象とする分野であり、自分の人生をより良く生きる知恵を先人から学べる学問である。すべての学問の源とも言われる哲学を通して、学ぶ意味を思索し、「もっと知りたい」と願う知的好奇心を育てることを目的とする。
履修目標	① 基本的な哲学的な問いを理解できる。 ② 哲学的な問いを現実社会の関連から理解する。 ③ 哲学的議論を論理的に再構成する。 ④ 自分の意見を論理的に表現できる、 ⑤ 自分や他人の意見に対して批判的な視点から検証する態度をとることができる。 ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 授業ガイダンスとイントロダクション</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 哲学とはどんな学問であるか自分なり調べておく（30分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p> <p>2 何がどのように存在するのか？（1）実在論</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p> <p>3 何がどのように存在するのか？（2）唯名論</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p> <p>4 どうして私は昨日の私と同じなのか？（1）記憶説</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p> <p>5 どうして私は昨日の私と同じなのか？（2）記憶説をめぐる議論</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p> <p>6 どうして私は昨日の私と同じなのか？（3）身体説</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p> <p>7 どうして私は昨日の私と同じなのか？（4）動物説</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p> <p>8 どうして私は昨日の私と同じなのか？（5）脳説</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p>

	9	まとめと理解度チェック 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）
	10	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 知識とは何か？(1) 知識の種類と価値 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）
	11	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 知識とは何か？(2) 伝統的な定義 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）
	12	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 知識とは何か？(3) ゲティア問題と懐疑論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）
	13	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 死は本当に悪いのか(1) 剥奪説 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）
	14	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 死は本当に悪いのか(2) 剥奪説の問題点 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）
	15	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 全体のまとめ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		ディスカッションや学生発表などのアクティブラーニングを取り入れます。
課題のフィードバック方法と時期		リフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：レポート 評価割合：70% 評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば 70点 履修目標との対応：④⑤ ※適宜追加してください
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		授業内でプリントを配布します。参考文献は授業内で適宜指示します。
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先		kuromejiro@rikkyo.ac.jp
備考		授業への主体的な参加を期待します。私語は厳禁です。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
棚澤 令子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	心理学の方法や、心理学の過去と現代心理学の動向及び問題などの基礎的知言を概説する。人間の様々な心理的側面を学び、より深い人間理解・自己理解のための思考と態度を学習する。こころの時代といわれる今世紀をいかに生き抜くか、そして絆のチカラをどのように実践するかを考える。		
履修目標	①心理学の様々な領域の理論、知識を理解して説明できる ②日常生活の中で心理的理論を考える ③現代的な問題にもふれ、心理学として何が出来るかを考える ※適宜加減してください。		
授業計画・授業外学修課題	1	オリエンテーション 心理学とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングし、まとめなおして復習する（90分）
	2	臨床心理学① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の講義ノートを読み直しておく（90分）	
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	3	臨床心理学② こころを測る① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	4	パーソナリティ心理学① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	5	パーソナリティ心理学② こころを測る② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	6	社会心理学① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	7	社会心理学② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	8	発達心理学① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	9	発達心理学② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	10	発達心理学③ こころを測る③ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	11	知覚・認知・記憶心理学 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	12	行動心理学と学習心理学 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）

	13	教育心理学 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 復習する（90分）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して
	14	看護職・保育職に関わる心理学 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	全授業の講義ノートを読み直しテストに備える（90分）
	15	ファイナルテスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	今までの講義ノートの全復習を行う（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	講義ノートを見直す（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	こころを測る①～③では検査等を実践する		
課題のフィードバック方法と時期	授業内で確認テストを行い、その場で解答・解説を行い復習に役立てる		
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法： ファイナルテスト 評価割合： 50% 評価基準： 60/100点以下の場合、レポート課題を課して理解の補充を行う 履修目標との対応： ①②③</p> <p>評価方法： リアクションペーパー 評価割合： 35% 評価基準： 要点をとらえられているか 履修目標との対応： ①②③</p> <p>評価方法： 積極的態度 評価割合： 15% 評価基準： 質問等を積極的に行うことができる 履修目標との対応： ①②③</p>		
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	毎回講義ノート（A4版）を配布します。各自で必ずファイリングしてください。		
実務経験のある教員による授業	心理職の実務経験を講義に取り入れます		
オフィスアワー・連絡先	不明点はrkurumisawa@soei.ac.jpまで、ご連絡ください。		
備考			

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
東出 和教 相原 健右 金森 義幸			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要 な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用 できる能力を有する 人。
履修条件	特になし
授業概要	目指すゴール コミュニケーションとは、人間が人間とつながり合うための道具です。 そのためには、 ①自発的に考えを表出できる。 ②「わからないこと」を「わからない」と言える。 ③自然発生的に意見交換ができる、ことが大切です。 授業の中では「知っている」だけではなく「できる」を目指して実践を多く取り込んでいきます。
履修目標	①コミュニケーションの大切さを知る ②多様な意見を持つものと対話できる ③自発的に人と関わろうとする
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス（概論とグループワークの進め方）  授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・コミュニケーションに関して自分なりに考えておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・当日配布されたプリントの復習（90分） 2 コミュニケーションの必要性を自己認識する、自己診断（初回）、困っていること  授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（90分） 3 基礎（1）自己紹介、対話に基本、気持ちよく話してもらう（あいさつ、立ち居振る舞い）  授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（90分） 4 基礎（2）自分の意見を持つ  授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（90分） 5 基礎（3）自分の意見を伝える、発表する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（90分） 6 基礎（4）対話する、自己診断（中間）  授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（90分） 7 応用（1）みんなの意見をみえるようにする  授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（90分） 8 応用（2）みんなの意見をまとめる  授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（90分） 9 応用（3）共感とコンセンサス

	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（90分） 10 応用（4）感情のコントロール、言いにくい事を伝える</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（90分） 11 応用（5）ディスカッションドラマ その1</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（90分） 12 応用（6）ディスカッションドラマ その2</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（90分） 13 応用（7）相手のタイプ別コミュニケーションと交渉</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（90分） 14 まとめレポート作成</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（90分） 15 まとめレポート作成、自己診断（最終）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	各回グループワークを行う。（論議してまとめて発表）
課題のフィードバック方法と時期	毎週の課題を実践して、グループワークの中で相互フィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート試験 評価割合：50% 評価基準：実践事例をレポートにまとめてもらいます 履修目標との対応：各項目に対応</p> <p>評価方法：平常点評価 評価割合：50% 評価基準：グループワークで積極的に参加し役割をもって実施指定もらいます 履修目標との対応：各項目に対応</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト：適宜、授業時にプリントや資料を配布する。 参考文献：適宜、授業時に紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業	担当教員は多様な経験を有しており、その経験を活かして実践的授業を実施する。
オフィスアワー・連絡先	各担当教員より初回授業時に連絡します。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
牛島 操			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要の汎用的知識・技術を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人		
履修条件	特になし		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や友情、恋愛、結婚、育児、キャリア等とおして、ジェンダーにかかる考え方や社会全体の課題について理解します。</li> <li>・ジェンダーのみならず「人」それぞれが「いきいきと行動する」力を身に付けながら、「自分も相手も大切に」力を高めます。</li> </ul>		
履修目標	<p>①ジェンダーに係る歴史的背景や現代の課題を理解し、課題解決のために考えたり表現したりすることができる。</p> <p>②生活のさまざまな場面におけるジェンダーの諸課題を認知する視点を養い、その考察を説明することができる。</p> <p>③ジェンダーにかかるさまざまな考え方や生き方を理解するとともに、自分の考えや他者の意見を大切に行動することができる。</p>		
授業計画・授業外学修課題	1	<p>ガイダンス；ジェンダーとは</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業のねらい、授業の概要、授業形態 成績の評価について理解する。</li> <li>2 ジェンダーについての認知と意識についてアンケートに答える。</li> <li>3 テレビCMや曲の歌詞などから、昔と今のジェンダーにかかる考え方の変化を探ろう。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを確認し、授業の全体のながれを確認する。ジェンダーについて、知っていることをまとめる。（90分）</li> <li>・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習内容を振り返り、自分の経験や周りの事と照らし合わせる。ジェンダーにかかる自己の意識の変化を確認する。（90分）</li> </ul>	
	2	<p>ジェンダーへの理解① 古い価値観を超えろ！ジェンダーギャップ、ジェンダーフリーを考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 SDGsとジェンダー平等 男女共同参画社会を理解する。</li> <li>2 今までのジェンダーにかかる「当たり前」はなぜそうになっていたのか？見解を明らかにし、現代の考え方の違いに気づこう。</li> <li>3 古いジェンダー観を脱却するためにできることを考え、グループで共有する。</li> <li>4 自由な価値観を考えよう！・ファッションからライフスタイルなど、これからのジェンダーにかかる自由な考え方や表現のしかたを考え、まとめる。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業外事前学修課題：課題内容（時間） SDGs「ジェンダーと平等」についてHP等で調べ、自分の意見をまとめる。（90分）</li> <li>・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習内容を振り返り、自分や周りのファッションやライフスタイルを照らし合わせる。（90分）</li> </ul>	
	3	<p>ジェンダーへの理解② アンコンシャス・バイアス・無意識の偏見や思い込みに気づこう、なくそう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「男だから、女だから」、「長男だから、長女だから」・無意識の偏見、無自覚な思い込みの存在を確認する。</li> <li>2 偏見や思い込みからくる「生きづらさ」をなくすために何が出来るか？グループで意見を出し合い、発表する。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「女らしさ」「男らしさ」とは何か。書籍やHP等でまとめておく。アンコンシャス・バイアスについて調べておく。（90分）</li> <li>・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し、自他の意見を整理、自分の考えを深める。（90分）</li> </ul>	
	4	<p>ジェンダーへの理解③ ジェンダーハラスメント</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ハラスメントにかかる疑似体験をおして、ハラスメントの実態に迫る。</li> <li>2 ハラスメントを「しない、させない」・できることを考え、グループで共有しよう。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 男女差によるハラスメントについて書籍やHP等で調べておき、自分の考えをまとめておく。（90分）</li> <li>・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習内容を振り返り、学習したことを自分の周りへも理解や共有を拡げる。（90分）</li> </ul>	
	5	<p>友情・恋愛論① 友情や恋愛における「ジェンダーギャップ」</p>	

	<p>1 友だちや恋人との悩み相談タイム・よりよい関係にするためにはどうしたらいいの？</p> <p>2 親密な関係と人権・友だちや恋人を大切にできる態度や言葉とは？</p> <p>3 自分や周りの日々の言動の見直し、心地よい関係づくりについて考えよう。</p> <p>・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の友情や恋愛に対する考えをまとめておく。友だちや好きな人からもらった「嬉しいことば」を思い出し書きとめる。（90分）</p> <p>・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業をとおして、新たに気付いたことや自分の考えがかわったことを整理しておく。（90分）</p>
6	<p>友情・恋愛論② 「デートDV」</p> <p>1 疑似体験をとおして、デートDVについて理解する。</p> <p>2 DVをしない、させない・自分や友だちをDVから守る策とは？仲間の意見やアイデアを共有する。</p> <p>・授業外事前学修課題：課題内容（時間） デートDVについてHP等で調べておく。デートDVの課題について自分の意見をまとめておく。（90分）</p> <p>・授業外事後学修課題：課題内容（時間）] 授業をとおして、新たに気付いたことや自分の考えがかわったことを整理しておく。（90分）</p>
7	<p>ジェンダーと結婚観・家庭像を考える。</p> <p>1 結婚に対する男女に考え方の違いや、家庭における男女の役割の課題について触れ、自分なりの解決策を考えよう。</p> <p>2 多様なパートナーシップとは？国内外を含め、さまざまな家庭のあり方を知る。</p> <p>3 「私らしい」将来の結婚や家庭像を描こう。グループで意見交換し、自分の考えを深めよう。</p> <p>・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の結婚観や家庭における性別役割分業について考えてくる。（90分）</p> <p>・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えに変化があったことをまとめる。（90分）</p>
8	<p>ジェンダーへの理解④ 性的マイノリティ</p> <p>1 性的マイノリティについて理解し、課題を解決するための意見を共有する。</p> <p>2 少数派を傷つけない、排除しない・偏見のない「傾聴、心配り、言葉かけ」ワーク（まとめ）</p> <p>・授業外事前学修課題：課題内容（時間） LGBTQについて調べ、自分にできることを考えまとめておく。（90分）</p> <p>・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の前後で自分の考えが変わったことや、考えが深まったことをまとめる。（90分）</p>
9	<p>特別講師による講座① 恋愛とお金？「デート商法」の手口と対処法（9回目と10回目は続き）</p> <p>1 デート商法等、だます手口や被害者の実態について理解する。</p> <p>2 デート商法の誘い、マッチングアプリ・被害の遭わないための策を考えよう。</p> <p>・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 悪質商法について高校で学んだことを復習してくる。（90分）</p>
10	<p>特別講師による講座① 恋愛とお金？「デート商法」の手口と対処法（9回目と10回目は続き）</p> <p>1 「自分を大切に、お金も大切に」・悪質商法撲滅のための「今日から実践できる『NO!』ワーク」を行う。</p> <p>・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 課題解決のための策を復習し、知識を深める。自分の意見をまとめる。（90分）</p>
11	<p>特別講師による講座② 大学生活の様々な「困った！」を解消する時間（11回目と12回目は続き）</p> <p>1 ジェンダーにかかる家族、友人、恋愛関係からお金のトラブルまで、様々な「困った！」を知る。</p> <p>2 グループワーク等をとおして、困り感を解決する有効な方法を考え、確認しよう。</p> <p>・授業外事前学修課題：課題内容（時間） これまでに学習したジェンダーにかかる内容をもう一度復習する。（90分）</p>
12	<p>特別講師による講座② 大学生活の様々な「困った！」を解消する時間（11回目と12回目は続き）</p> <p>1 グループで話し合ったことを発表、新たに気付いたことや考えが深まったことをまとめる。</p> <p>・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことや仲間の意見から、大学生活の困り感を乗り越えていく意思を書きとめる。（90分）</p>
13	<p>子育てとジェンダー</p> <p>1 世界との比較 これからの子育てとジェンダーの対応について話し合う。</p> <p>2 「男の子らしさ」、「女の子らしさ」でない、これからを生きる「自分らしい」子育てを考えよう。</p> <p>3 看護、保育の立場から、ジェンダーを超えた「子育て」についてグループで意見を交わし、自分の意見をまとめる。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「母性」、「父性」の意義について考えてくる。日本と世界の国々との子育てに対する考え方の違いを調べまとめる。（90分）</li> <li>・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の復習から、将来のキャリアや自分の子育てを想定してまとめておく。（90分） まとめレポート作成・提出 1 これまでの授業をふまえ、ジェンダーにかかるレポート作成・提出する。 授業内でのレポート作成が期末テストの代わりとなります。（テストはありません。）</li> <li>・授業外事前学修課題：課題内容（時間） レポート作成のための素材（これまでのリフレクション、データ等）をまとめておく。（90分）</li> <li>・授業外事後学修課題：課題内容（時間） これまでの授業の総復習をする。（90分） 「ジェンダー論」総括 1 レポート評価、全体の振り返り ジェンダー意識変容の確認（アンケート回答等）</li> <li>・授業外事前学修課題：課題内容（時間） これまで学んだ諸課題を総まとめをする。（90分）</li> <li>・授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・レポートのまとめ方について復習する。（90分）</li> </ul>
アクティブラーニングを用いた授業方法	問題解決型学習、グループワーク 等 ※講義中心の授業ではなく、主体的に授業に参加して問題を解決、「分かった」、「なるほど」を楽しむ授業です。 ※グループワークをとおして、自分を大切にするためのキーワードを発見したり、相手を大切にするメッセージを発信しあったりする授業です。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○評価方法：レポート 評価割合：40% 評価基準：ジェンダーに関する課題を理解し、課題解決に向けた策や自分の考えを具体的に説明できたか。 履修目標との対応：① ② ③</li> <li>○評価方法：リフレクション 評価割合：30% 評価基準：授業の要点や自分の意見を適切にまとめることができたか。 履修目標との対応：① ② ③</li> <li>○評価方法：ワークショップ 評価割合：20% 評価基準：ペアワークやグループワーク等の積極的な参加など、課題解決に向けて意欲的、能動的に取り組めたか。 履修目標との対応：① ② ③</li> <li>○評価方法：授業への取組状況 評価割合：10% 評価基準：授業へ積極的に参加し、主体的に学習に取り組めたか。 履修目標との対応：① ② ③</li> </ul>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を使用します。 参考文献：授業時に随時紹介します。
実務経験のある教員による授業	担当教員は教諭経験を有しており、その経験を活かして、将来のための必要かつ実践的な授業を展開します。
オフィスアワー・連絡先	mushijima@soei.ac.jp
備考	<p>日常生活に結びつけられるよう、実践的な内容を主にした「楽しむ授業」です。意欲的に授業に参加してください。</p> <p>大学生の多くが悩んでいる、友人や異性関係のことや将来の就職や生き方について焦点をあてます。自分を力づける糧にしてください。</p> <p>授業のはじめに、本時の目標と評価の基準（ルブリック）について説明します。</p> <p>30分以内の遅刻・早退計3回で欠課1回となります。注意してください。</p> <p>欠席するときは、事前に連絡してください。</p> <p>授業内容やスケジュールを調節することがあります。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
相賀 頌子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2.. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、多様な在り方を認め合う共生社会の一員として、一人ひとりが主体的に社会参加できるよう、障がいを捉える枠組や主な障がいについての基本的理解を図り、支援のあり方を学ぶことを目的とする。		
履修目標	①障がいを捉える枠組を知る。 ②主な障がいについての基本的特性や支援のあり方を理解する。 ③共生社会の一員として、合理的配慮等について主体的に検討できる。		
授業計画・授業外学修課題	1	多様性の尊重（インクルーシブ社会） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ノーマライゼーションやインクルージョン等、「障がい」に係る用語を調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） インクルーシブ社会について考察する（90分）	
	2	障がいの捉え方（社会モデル、合理的配慮） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ICFの特徴を調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 障がいの社会モデル、合理的配慮についてまとめる（90分）	
	3	ユニバーサルデザイン 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ユニバーサルデザインについて調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日本のユニバーサルデザインの課題と展望について考察する（90分）	
	4	障がいのある人達の視点 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がいのある人達がかかわっている団体、運動、取り組みについて調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 障がいのある人達の視点、生きづらさ等を分類し、考察する（90分）	
	5	障がいについての基本的理解/ 発達障害（限局性学習症） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 限局性学習症の特性について調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 限局性学習症の支援方法を纏める（90分）	
	6	障がいについての基本的理解/ 発達障害（注意欠如・多動症） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 注意欠如・多動症の特性について調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 注意欠如・多動症の人の支援方法を纏める（90分）	
	7	障がいについての基本的理解/ 発達障害（自閉スペクトラム症） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自閉スペクトラム症の特性について調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自閉スペクトラム症の人の支援方法を纏める（90分）	
	8	障がいについての基本的理解/ 肢体不自由・重症心身障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 知的障害者の特性について調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 知的障害者の支援方法を纏める（90分）	
	9	障がいについての基本的理解/ 知的障害者の支援方法を纏める（90分）	

	<p>肢体不自由・重症心身障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 肢体不自由・重症心身障害の特性について調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 肢体不自由・重症心身障害者の支援方法を纏める（90分） 障がいについての基本的理解/ 内部障害, 病弱・身体虚弱, 医療的ケア児</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 内部障害, 病弱・身体虚弱, 医療的ケア児の特性について調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内部障害, 病弱・身体虚弱, 医療的ケア児の支援方法を纏める（90分） 障がいについての基本的理解/ 視覚障害</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 視覚障害者の特性について調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 視覚障害者の支援方法を纏める（90分） 障がいについての基本的理解/ 聴覚障害</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 聴覚障害の特性について調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 聴覚障害の支援方法を纏める（90分） 障がいについての基本的理解/ 精神障害</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 精神障害者の特性について調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 精神障害者の支援方法を纏める（90分） 障がい者の暮らしを支える行政的支援</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がい者のための福祉サービスを調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 障害者が自立した生活を送るための地域における課題を考察する（90分） 障がい者の自立と共生社会</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がい者の権利保障について調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 権利擁護の仕組み、および共生社会の普及の課題を考察する（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループ・ワーク、ディスカッションをもとに発表を行う。
課題のフィードバック方法と時期	障がい種を3つの領域に分けて講義しますので、領域ごとに授業冒頭で小テストを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート 評価割合：40 評価基準：課題を理解し、自分の意見とその根拠を端的まとめることができれば80点。ルーブリック参照。 履修目標との対応：① ③</p> <p>評価方法：ワークシート、リフレクションペーパー 評価割合：講義内容を理解し、自分の意見を書くことができれば40点。 評価基準：20 履修目標との対応：① ②</p> <p>評価方法：小テスト 評価割合：40 評価基準：授業について学んだことを理解できれば80点。 履修目標との対応：① ②</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	必要に応じてプリントや資料を紹介または配付する。
実務経験のある教員による授業	該当なし
オフィスアワー・連絡先	saiga@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
島田 佳枝			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	芸術は人間特有の活動である。対象を固定化して捉える日常的なまなざしのあり方をゆさぶり、想像力を刺激して、対象と私たちの間にある種の「遊び」をもたらしながら、社会的な意味や価値を組みかえ、未知の世界を切り開く創造力をも秘めている。本講義では、こうした芸術の捉え方に関連して、近代の芸術とその思索を通して見出された「表現」という観点及び、これを人間の本質と捉える「表現的な存在としての人間」という見方を取り上げる。そして、こうした人間の捉え方と保育、教育、看護、福祉といった領域との関わりについて資料を通して考察を行い、体験を通して理解を深める。
履修目標	①「表現的な存在としての人間」という見方を理解し、表現することの意義について自分の考えを述べることができる。 ②人が相互の理解に基づきながら生き生きと生きていくために、保育、教育、看護、福祉といった領域においてどのような関わりや支援が必要とされるかを「表現的な存在としての人間」という見方との関わりにおいて述べるができる。 ③グループワークや表現活動を通して、自己理解と他者理解を深めることができる。 ④鑑賞活動において、自分が感じたことを他者に言葉で伝え、また他者の感じたことを丁寧に聞くことができる。
授業計画・授業外学修課題	<p>授業ガイダンス：授業の内容や進め方、期末レポートについて/「日常的なまなざし」をゆさぶるアートとは</p> <p>授業外事前学修課題：シラバスの内容を確認し、質問事項を明確化する（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：授業で配布された資料をもう一度確認する（90分）</p> <p>活動を通して考察するー「表現」とは？</p> <p>授業外事前学修課題：人間にとって「表現」とはどのような活動なのか、これまでの自身の経験を踏まえて考えをまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：授業での活動から見出された新たな視点や考えをまとめ整理する（90分）</p> <p>人と人との関わりにおける「表現」の捉え方ー「表現的な存在としての人間」という視点を探る</p> <p>授業外事前学修課題：人と人との関わりにおいて「表現」がどのような役割を果たし、どのような意義を持つのか、自分の考えをまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分）</p> <p>「美的にみる」ということ①「美的経験」「美的判断」について</p> <p>授業外事前学修課題：テキストの課題部分を読む。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分）</p> <p>「美的にみる」ということ②「遊戯衝動」について</p> <p>授業外事前学修課題：テキストの課題部分を読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分）</p> <p>「美的にみる」ということ③「遊戯衝動」と「承認」について</p> <p>授業外事前学修課題：テキストの課題部分と配布プリントを読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分）</p> <p>子どもの遊びと「表現」①幼児教育における子どもの遊びの支援</p> <p>授業外事前学修課題：これまでの授業内容をふまえて、幼児の遊びや表現を支援する方法について自分の体験をもとに考えてみる（90分）</p>

	<p>授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分） 子どもの遊びと「表現」②地域における子どもの遊びの支援</p> <p>授業外事前学修課題：現代の地域の中の子どもの遊び場について、自身の体験をふまえて、その特徴（場所、人との関わり）をまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分） 子どもの遊びと「表現」③身体感覚をひらき表現するグループでの体験活動</p> <p>授業外事前学修課題：配布された資料を読み、「表現を育む人になる」という視点について整理する（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：授業での体験と「表現を育むこと」との関わりについて整理する（90分） 子どもの遊びと「表現」④造形的な活動を通した「遊びと表現」の体験的理解</p> <p>授業外事前学修課題：授業で扱った「遊戯衝動」という概念について復習する、必要な文具や物品を用意する（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：今回の活動に必要とされる支援のあり方について考えをまとめる（90分）</p> <p>鑑賞することの創造性①ひとりひとりの感じ方と対話に基づいた鑑賞活動について</p> <p>授業外事前学修課題：自身のこれまでの作品鑑賞体験とその特徴について振り返る（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：授業で得た新たな知見と、それによって鑑賞活動をどのようなものと捉えるようになったか考えをまとめる（90分）</p> <p>鑑賞することの創造性②鑑賞作品づくり、「作品解説文」の書き方について</p> <p>授業外事前学修課題：自分が取り上げたい作品の図版（指定されたサイズのカラーコピー）を準備する。必要な文具や物品を用意する（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：授業内で取り組んだ作品を仕上げる（90分） 鑑賞することの創造性③作品鑑賞会、アートカードを用いた活動</p> <p>授業外事前学修課題：作品を完成させる。作品の発表準備を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：鑑賞活動の可能性について自身の考えをまとめる（90分） 福祉と表現、期末レポート課題について</p> <p>授業外事前学修課題：授業で配布された資料をすべてそろえる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：これまで授業で取り組んだ内容全てについて復習する（90分）</p> <p>期末レポート報告、まとめ</p> <p>授業外事前事後学修課題：：期末レポート課題に取り組む（180分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	表現活動、鑑賞活動、グループワークなどを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の感想カードへのコメントを翌週の授業において行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：平常点 評価割合：40% 評価基準：感想カードに授業の内容をふまえた自身の意見や疑問点などを記述することができれば80% 履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：活動（グループワーク、表現・鑑賞活動）への参加と振り返り 評価割合：40% 評価基準：活動に積極的に参加し、活動内容をふまえた自身の発見や気づき、疑問点等を記述することができれば80% 履修目標との対応：③④</p> <p>評価方法：制作物 評価割合：10% 評価基準：条件を満たした制作物を期日までに提出することができれば80% 履修目標との対応：③④</p> <p>評価方法：期末レポート 評価割合：10% 評価基準：課題の内容に関して、自身の考えと、その根拠を述べることができれば80% 履修目標との対応：①②</p>

	”
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキストは授業時にプリントを配布する。参考文献は授業内で適宜紹介する。表現・鑑賞の活動においてハサミや糊などの文具を使用する予定（その他、必要な物品についてはガイダンスにて告知する）
実務経験のある教員による授業	小学校で図画工作科を担当した経験をふまえ、授業を行う。
オフィスアワー・連絡先	授業前後やメールで問い合わせに応じます。メールアドレス：yshimada@soei.ac.jp
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドや映像を上映しながら授業を行います。プロジェクターをスマートフォンで撮影しメモ代わりにすることを禁止します。</li> <li>・30分以内の遅刻・早退3回で1回の欠席と見なします。（30分以上の遅刻・早退については欠席扱いとします）</li> <li>・履修者数や進行具合によって授業内容は変更されることがあります。</li> <li>・指定された作品の提出と期末レポートの提出がなければ不合格とします。</li> <li>・授業は講義だけでなく、グループワークや表現・鑑賞活動を取り入れた内容となるため、積極的な参加が不可欠です。”</li> </ul>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
流石 良子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	履修者の上限を36名(こども教育学部18名・看護学部18名)とする。
授業概要	造形活動は「自己表現」と「ものをつくり出す」という二つの側面をもっている。この活動を通して、ひと・もの・ことに関わり、保育と看護の基礎となる感性・想像力・創造力・柔軟な思考・バランス感覚などを養い、自己理解と他者理解を深める。
履修目標	①造形表現を通して、感性・想像力・創造力・バランス感覚などを高める。その上で、造形表現ができる。 ②表現や鑑賞の活動を通して、自己理解と他者理解を深めることができる。 ③造形表現を保育や看護に合わせて考える柔軟な思考をもつことができる。 ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 造形表現について考える 造形活動でコミュニケーション1 絵本紹介1 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/シラバスから授業概要を確認し学修到達目標を確認しておく(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/学修到達目標の中から特に力を入れていきたい目標を決め、その理由をノート等に書きとどめておく(90分)</p> <p>2 体を動かし、心を動かす表現を体験する1 造形活動でコミュニケーション2 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/造形活動でコミュニケーションについてをふり返る(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/他者理解の多様な方法と体や心を動かすコミュニケーションについてまとめる(90分)</p> <p>3 体を動かし、心を動かす表現を体験する2 造形活動でコミュニケーション3 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/体や心を動かす表現について振り返り自分なりの考えをもつ(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/感想交流を通して他者理解から考えをまとめる(90分)</p> <p>4 体を動かし、心を動かす表現を体験する3 造形活動でコミュニケーション4 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/造形活動で得られるコミュニケーションのよさについて資料から調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/造形活動で得られるコミュニケーションのよさについてまとめる(90分)</p> <p>5 関係性の意識化による空間表現を体験する 五感に訴える空間デザイン 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/五感に訴える空間デザインとは何か調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/空間を意識する事と五感についてまとめる(90分)</p> <p>6 幾何学形体の描写を通して観ることを考える 身近にある幾何学模様を意識 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/身近にある幾何学模様について調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/身近な幾何学模様の特徴をまとめる(90分)</p> <p>7 自然物の描写を通して観ることを考える 野草を描く1 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/自然物にみる幾何学模様の特徴をふりかえる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/多方面からの描写を通して観ることについてまとめる(90分)</p> <p>8 自然物の描写を通して観ることを考える 野草を描く2 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/描きたい野草について事前調べておく(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/観ることを通して描かれた野草について気付いたことをまとめる(90分)</p> <p>9 造形の表現行為を楽しむ スクラッチによる平面構成1 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/クレヨンが多様な表現方法について調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/多様な表現を共有して感じられたことをまとめる(90分)</p> <p>10 造形の表現行為を楽しむ スクラッチ等による平面構成2 絵本紹介2 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/クレヨンによる技法紹介をまとめる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/クレヨンで表現された平面作品から気付いたことをまとめる(90分)</p>

	<p>11 造形表現による他者との関わり 共同制作:オリジナル色紙づくり 授業外事前学修課題: 課題内容 (時間) / 共同制作について活動からえられる効果について調べる (90分)</p> <p>授業外事後学修課題: 課題内容 (時間) / 偶然に出来上がる色紙のよさを活かした表現方法の可能性をまとめる (90分)</p> <p>12 造形表現による他者との関わり 共同制作:オリジナル色紙を使って壁面制作 授業外事前学修課題: 課題内容 (時間) / オリジナル色紙のよさを活かした表現方法を紹介できるようにする (90分)</p> <p>授業外事後学修課題: 課題内容 (時間) / 共同制作で育つ力についてまとめる (90分)</p> <p>13 聴覚と視覚に働きかける 音を楽しむ造形 授業外事前学修課題: 課題内容 (時間) / 音を楽しむ造形について生活の中から探す (90分)</p> <p>授業外事後学修課題: 課題内容 (時間) / 体験したことをまとめる (90分)</p> <p>14 可塑的存在としての自己を見つめる 可塑的素材による造形 絵本紹介3 授業外事前学修課題: 課題内容 (時間) / 可塑的存在としての自己とは何か調べる (90分)</p> <p>授業外事後学修課題: 課題内容 (時間) / 人間の可塑性について考えをまとめる (90分)</p> <p>15 造形表現の可能性について考えをまとめる 授業外事前学修課題: 課題内容 (時間) / これまでの学びから造形表現から得られる事柄をまとめる (90分)</p> <p>授業外事後学修課題: 課題内容 (時間) / 表現や鑑賞の活動を通して得られた力についてまとめる (90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	この講義では、討議・グループワーク・表現と鑑賞などを行う。
課題のフィードバック方法と時期	毎回提出を求める感想は、意見交流(他者理解)として活用し、翌週には返却する。授業時にルーブリックを配布する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法: レポート 評価割合: 30 評価基準: 自らの考えと、その根拠を述べていけば80% 履修目標との対応: ①②③ 評価方法: 平常点評価 評価割合: 40 評価基準: 課題 学修到達目標の達成度80% ルーブリック使用 履修目標との対応: ①②③ 評価方法: その他 評価割合: 30 評価基準: 取り組み発表力など新たな取り組みに意欲をもち、価値を見つける姿勢80% 履修目標との対応: ①②③</p>
テキスト・参考文献・その他 (必要物品など)	<p>テキスト: 必要に応じて資料を配布する。 参考文献: 阿部宏行「幼児・小学生の造形による育みのABC」日本文教出版 井上美智子・登美丘西こども園「持続可能な社会をめざす0歳からの保育」北大路書房 槇英子「保育をひらく造形表現」萌文書林 高橋洋一編「特別支援教育とアート」武蔵野美術出版</p>
実務経験のある教員による授業	小学校教諭としての図画工作科指導の実務経験を活かした授業を行う。
オフィスアワー・連絡先	流石(rsasuga@soei.ac.jp)
備考	出席は授業内のリフレクションペーパーの提出で確認します。授業では造形表現活動を大切にします。それぞれがもっている能力(人間性)をひらくことに重点をおいて講義を進めます。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
持田 訓子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要汎用性知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	多様な音楽文化やコミュニケーションとしての音楽について広く学ぶことを通し、対人援助職の基盤となる豊かな感性や多様性を尊重する姿勢を身に付ける。		
履修目標	①多様な音楽文化について理解し説明できる。 ②音楽を主体的に捉え、価値あるものとして解釈できる。		
授業計画・授業外学修課題	1	生活の中の音・音楽 サウンドスケープの視点から、生活の中の音や音楽を見つめ直す。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）	2
	3	世界の音楽② アジアの音楽の特徴や主な楽器について  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）	4
	5	世界の音楽③ アフリカ・ラテンアメリカの音楽の特徴や主な楽器について  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）	6
	7	世界の音楽④ クラシック音楽 西洋音楽の歴史および特徴について  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）	8
		オペラ・バレエ音楽 オペラやバレエ、ミュージカルの代表的な作品および特徴について  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）	

<p>8</p> <p>世界の音楽⑤ 舞踊と密に結びついている音楽について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p> <p>9</p> <p>世界の音楽⑥ さまざまな歌唱法について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p> <p>10</p> <p>多様なジャンル・多様な楽器 音楽の分類や起源およびさまざまな楽器の特徴について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p> <p>11</p> <p>日本の音楽① 雅楽や声明、能楽等、日本の伝統音楽の特徴について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p> <p>12</p> <p>日本の音楽② 民謡等、郷土の音楽の特徴について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p> <p>13</p> <p>音楽教育メソッド コダーイ、オルフ、ダルクロワズ、シュタイナーの音楽教育メソッドの特徴について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p> <p>14</p> <p>音楽療法 音楽療法の目的や対象、具体的な取り組み等について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p> <p>15</p> <p>まとめ 音楽と自分のかかわりについて考える。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） これまでの講義資料や要点をまとめたノートを精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点および自身の今後の課題をノートにまとめる。（90分）</p>	<p>8</p> <p>世界の音楽⑤ 舞踊と密に結びついている音楽について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p> <p>9</p> <p>世界の音楽⑥ さまざまな歌唱法について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p> <p>10</p> <p>多様なジャンル・多様な楽器 音楽の分類や起源およびさまざまな楽器の特徴について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p> <p>11</p> <p>日本の音楽① 雅楽や声明、能楽等、日本の伝統音楽の特徴について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p> <p>12</p> <p>日本の音楽② 民謡等、郷土の音楽の特徴について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p> <p>13</p> <p>音楽教育メソッド コダーイ、オルフ、ダルクロワズ、シュタイナーの音楽教育メソッドの特徴について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p> <p>14</p> <p>音楽療法 音楽療法の目的や対象、具体的な取り組み等について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p> <p>15</p> <p>まとめ 音楽と自分のかかわりについて考える。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） これまでの講義資料や要点をまとめたノートを精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点および自身の今後の課題をノートにまとめる。（90分）</p>
<p>アクティブラーニングを用いた授業方法</p>	<p>グループワークを行います。</p>
<p>課題のフィードバック方法と時期</p>	<p>リフレクションペーパーのフィードバックを次の授業時に行います。</p>
<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：平常点およびリフレクションペーパー 評価割合：50% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点（ループリック参照） 履修目標との対応：① ②</p> <p>評価方法：レポート 評価割合：50% 評価基準：課題の要点および自分の意見を端的にまとめることができれば60点（ループリック参照） 履修目標との対応：① ②</p>
<p>テキスト・参考文献</p>	<p>必要に応じて資料を紹介または配付します。</p>

献・その他（必要物品など）	
実務経験のある教員による授業	特別支援学校教諭および音楽療法士としての経験をいかし、実践に役立つ知識技能を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：別途掲示を参照してください。 連絡先：nmochida@soei.ac.jp
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への主体的な参加を期待します。</li> <li>・30分以上の遅刻および途中退席は欠席となります。</li> </ul>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
大内 美智子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	特になし
授業概要	これからの大学での学びに必要な実習や演習のレポートの書き方や講義で使う参考書や専門書、また、専門誌を読むときの読み方、卒業研究で卒業論文を書くために必要なことを理解する。文献の種類と書式の解説、読み方の説明の後、具体的に作成することでレポートの書き方を修得する。
履修目標	①レポート・論文と作文・感想文・エッセイ等との違いを理解し説明することができる。 ②表記の基本について知り、それを生かしてテーマにそった章を作成することができる。 ③レポート文作成の手順や表現のマナー等について知り、それを生かしてレポート文を作成することができる。 ④文献検索やクラス内での発表やディスカッションをとおして、他者の意見を踏まえた上で自分の意見を論理的かつ説得力のある形で表現することができる。 ⑤テーマにそって、序論、本論、結論の構成で論文をまとめ上げることができる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 ガイダンス 今までどのような文章を書いてきたかをグループで話し合ってから共有後、論文と作文・感想文・エッセイ等の文章の違いをまとめる。 今まで書いた作文や感想文、レポート等を想起し、書き出す(90分) 自分の好きなテーマで論文を検索し、文章の構成を意識して読む(90分)</p> <p>2 表記の基本 文末、段落、用紙の使用例について講義を受けた後、表記の基本を踏まえて「自己PR文」を書く。 表記の基本について調べてまとめる(90分) 講義中に書いた「自己PR文」が表記の基本に則って書かれているか校正する(90分)</p> <p>3 レポート実践① 「理由」を述べる文を書く(教科書22-24ページ)。 教科書22-24ページを読み、内容を整理する(90分) 対象を変えて「理由」を説明する文を書く(90分)</p> <p>4 レポート実践② 身近なものを「描写」する文を書く(教科書25-26ページ)。 教科書25-26ページを読み、内容を整理する(90分) 身近なものやことを「描写」した文を書く(90分)</p> <p>5 語彙を増やすために 辞典を使って類語を調べたり別の表現に言い換えたりする(教科書27-31ページ)。 教科書27-31ページを読み、内容を整理する(90分) 新聞記事や本等の文章を言い換えて書く(90分)</p> <p>6 レポート実践③ 抽象的な文章を「具体化」する文を書く(教科書45-47ページ)。 教科書45-47ページを読み、内容を整理する(90分) いろいろな事物や出来事を「具体的に説明」する文を書く(90分)</p> <p>7 レポート実践④ 「接続詞」を使って文を書く(教科書52-54ページ)。 接続詞にはどんなものがあるのか調べてまとめる(90分) 接続詞を使って文を書くよさについてまとめる(90分)</p> <p>8 レポート実践⑤ 「問い・答え・理由」の構成で文を書く(教科書55-58ページ)。 教科書55-58ページを読み、内容を整理する(90分) 課題に出された問いにイエスカノーで答え、その理由を200字以内で書く(90分)</p> <p>9 レポート実践⑥ 新聞の社説やコラムから「事実」と「意見」を分けて書く(教科書59-62ページ)。 教科書59-62ページを読み、内容を整理する(90分) 自分でコラム等から探した文章を「事実」と「意見」に分けて書く(90分)</p> <p>10 いい文章を読む 小説や論説等から、いい文章をピックアップして読み、そのまま書きうつす(教科書86-91ページ)。 教科書86-91ページを読み、内容を整理する(90分) 自分の好きな文章を読み、書きうつす(90分)</p> <p>11 レポート実践⑦ 「引用」のルールを理解し、「引用」を用いて文を書く(教科書142-145ページ)。 教科書144-145ページを読み、引用のルールをまとめる(90分) 「引用」のルールに則って文を書く(90分)</p> <p>12 論文のアウトライン作り 「問い」から、論文の枠組みと述べたい内容を考える。 論文のテーマとなるような「問い」をいくつか考える(90分) 論文の中で述べたいことをまとめる(90分)</p> <p>13 レポート実践⑧ 「起承転結」の文から「序論・本論・結論」で論文をまとめること理解し、自分の論文のテーマにそって構成メモを作る(教科書75-80ページ)。 教科書75-80ページを読み、内容を整理する(90分) 構成メモを完成させる(90分)</p>

	<p>14 レポート実践⑨ 構成メモにそって論文を書く。 「序論」「本論」「結論」それぞれの概要を書いてまとめる(90分) 論文を完成させる(90分)</p> <p>15 総括とレポート提出 校正・相互添削をしてレポートを提出する(教科書160-170ページ)。 教科書160-170ページを読み自分の論文を校正する(90分) 講義を振り返り学んだことをまとめる(90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループ内での意見交換や発表等のグループワークに取り組み、課題解決学習を取り入れる
課題のフィードバック方法と時期	各回の作成レポートの発表、事前学習をもとに全体で共有したりグループ討議をしたりします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業時のレポート 評価割合：40% 評価基準：課題にそってレポートがまとめられたら80/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤</p> <p>評価方法：最終レポート 評価割合：60% 評価基準：「序論・本論・結論」に則って論文をまとめられたら80/100点 履修目標との対応：② ③ ⑤</p>
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	テキスト：文章上達トレーニング45(同文館出版)、原稿用紙 B5ヨコ書(コクヨ ケー35N)
実務経験のある教員による授業	担当教員は小学校の教諭経験がありその経験を生かして演習を構成する。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー・別添参照をして下さい。連絡先はmouchi@soei.ac.jp です。
備考	授業への主体的な参加と、課題にそった提出レポート文を期待しています。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
岸 隆史			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	「健康」とはなにか、及びその概念と変遷について学ぶ。健康に関連する専門職の独自の機能と役割ならびに歴史について学習する。また、人の健康について社会的側面、例えば性暴力、児童虐待、配偶者間暴力(DV)、スポーツと生活について関連付けて理解し、同時に健康管理論について学ぶ。また、スポーツの実技を通して、運動の習慣性の必要性を理解し、それぞれの機能の維持や向上を図るための基本的な知識及び健康測定の方法を学ぶ。		
履修目標	①児童生徒の養護をつかさどる者として「健康」とは何かを理解し、健康に関する社会的な諸問題について学習を深める。 ②自らの健康状態を把握し、健康の維持・向上を目指す各自の健康プログラムについて検討する。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス：本授業を受けるにあたって 「健康の考え方と成り立ち」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）	
	2	「健康」とは何かという考え方を「幼稚園教育要領」等を使い理解する。 生活習慣病 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）	
	3	生活習慣病とQOLについて理解する。 三大栄養素 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）	
	4	栄養と、休養。摂食障害を含む食事や睡眠について理解する。 体力 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）	
	5	体力には「行動体力」と「防衛体力」の二つの要素があること。また持久力や調整力について理解する。 ライフステージ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）	
	6	各ライフステージにおける課題等の理解、平均寿命と健康寿命の関係、QOLについて理解する。 フィジカルトレーニング 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）	
	7	トレーニング理論について理解する。その後の栄養補給についても理解する。 メンタルヘルス(ストレス) 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）	
	8	ストレスについて理解する。 メンタルヘルス(メンタルトレーニング) 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）	
	9	イメージトレーニング等を利用してメンタルトレーニングを行いストレスの緩和につながることを理解する。 スポーツの価値 オリンピック・パラリンピック	

	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>オリンピック・パラリンピックのほかにも世界大会が数多く存在し障害を持っている方でも活躍の場があることを理解する。 またスポーツを「する」だけでなく、「観る」、「支える」等でもスポーツの価値があることを理解する。</p> <p>健康の維持・向上 1. がん</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>日本人の2人に1人は一生の間に「がん」にかかるといわれている現代で、がんに対する正しい理解をする。</p> <p>健康の維持・向上 1. 依存症</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>誰もががる可能性のある依存症が「病気」であることの正しい理解と、薬の「オーバードーズ」等についても理解する。</p> <p>健康に関する諸問題 性暴力・児童虐待・配偶者間暴力</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>直接的な被害だけでなく、「リベンジポルノ」や「セカンドレイプ」等に見られるSNSを利用した被害があることも理解する。</p> <p>防災教育 ヒヤリハット</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>2011年東日本大震災は記憶に新しいところだが、それ以後も地震や台風、大雨による大きな被害が毎年のように起きている。将来職場で災害が起きた時にどうすればよいかを理解する。</p> <p>ヘルスプロモーション</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>前回までの授業で麻薬だことを参考にしてどのようにしてQOLを高めていくかを理解する。</p> <p>授業のまとめ 振り返り</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>「健康」とは何かを前回までの授業を振り返りこれからの自分の「健康」、また幼児の「健康」生かせるように考える。</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ディスカッションや発表
課題のフィードバック方法と時期	毎授業後に提出している「リフレクションカード」を基に次の授業時にフィードバックさせている。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：平常点評価（授業への取り組みを含む）、授業全体における課題</p> <p>評価割合：平常点評価（授業への取り組みを含む）75%、授業全体における課題25%</p> <p>評価基準： 履修目標との対応： ※適宜追加してください</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト:必要に応じてプリントや資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
武井 博美/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし。		
授業概要	アカデミック・ライティングの基礎を学び、英語でレポートを作成できるようにする。「書く」ことを通して、文献をリサーチすることに慣れ、語彙力を強化し、論理的に自分の意見を組み立てて発信する姿勢を習得する。また、基本的な文法力を補うために、e-learningを並行して行う。		
履修目標	① 英語のレポートの基礎を修得する。 ② 文法の基本を押さえ、語彙力を上げる。 ③ e-learningを活用してリーディング・リスニング・文法などの能力を底上げする。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス e-learningの説明と登録  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書全体に目をとおしておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） e-learningの説明を読み、レベル診断テストを行う（90分）	2
	3	Paragraph Writingの基礎① （テキスト Lesson 1）自分自身について  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の6ページから7ページに目を通し、知らない単語を調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の定型文をはじめ、できるだけ単語やフレーズを暗記する（90分）  Paragraph Writingの基礎② （テキスト Lesson 1）身の回りにいる人たちについて  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の8ページから11ページに目を通し、知らない単語を調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 家族や身近な人に関する単語やフレーズを暗記する（90分）	4
	5	Chronological Order① （テキスト Lesson 4）時間の経過について  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の24ページから25ページに目を通し、知らない単語を調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 時間経過に関する単語やフレーズを暗記する（90分）	6
	7	Chronological Order② （テキスト Lesson 4）日常生活について  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の26ページから28ページに目を通し、知らない単語を調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日常生活に関する単語やフレーズを暗記する（90分）  Instructions① （テキスト Lesson 5）道案内  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の30ページから31ページに目を通し、知らない単語を調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 道案内に関する単語やフレーズを暗記する（90分）  Instructions② （テキスト Lesson 5）指示・アドバイスに関する表現  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の32ページから35ページに目を通し、知らない単語を調べる（90分）	

8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 命令文を中心に文法の確認をし、単語やフレーズを暗記する（90分） Explanation① （テキスト Lesson 6）アルバイト</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の39ページから40ページに目を通し、知らない単語を調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） アルバイトに関する単語やフレーズを暗記する（90分） Explanation② （テキスト Lesson 6）食生活について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の41ページに目を通し、知らない単語を調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 食事・食生活・食文化に関する単語やフレーズを暗記する（90分） Wh-questions① （テキスト Lesson 7）健康</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の42ページから43ページに目を通し、知らない単語を調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 病院での会話表現を暗記する（90分） Wh-questions② （テキスト Lesson 7）体調不良に関する表現</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の44ページから47ページに目を通し、知らない単語を調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 体調不良時に用いる単語やフレーズを暗記する（90分） Conversation① （テキスト Lesson 12）海外に関する知識</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の72ページから73ページに目を通し、知らない単語を調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 旅行中に役立つ会話表現を暗記する（90分） Conversation② （テキスト Lesson 12）海外に関する知識</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の74ページから77ページに目を通し、知らない単語を調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空港滞在時や移動の時に用いる単語やフレーズを暗記する（90分） Activities① 自己表現</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の85ページから92ページに目を通し、練習問題を解く（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 「横浜創英大学の学生として」というタイトルで作文する（90分） Activities② まとめ / 英語の基本</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書全体に目をとおして単語やフレーズの再確認をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） e-learningで間違えたところを再度学習する（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	この授業ではアクティブ・ラーニング（討議・討論 / プレゼンテーション）を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	毎回の小テストのすぐあとに解説を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法： 小テスト 評価割合： 80% 評価基準： 毎回授業の初めに前回の授業内容に関する問題を10問解く。8問以上正解するように努めること。 履修目標との対応： ①、②、③</p> <p>評価方法： 発表 評価割合： 20% 評価基準： 事前に暗記してきたフレーズを声に出して言えること。 履修目標との対応： ②</p>

テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	『メイク・イット・シンプル ～基礎からの実践英語～』（三修社）
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	htakei@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
武井 博美/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし。		
授業概要	卒業後に社会で活躍する際に評価されるTOEICや、海外留学の際に必須となるTOEFLなど、英語に関する資格を取得することを目的とする。具体的な目標と目的意識を持つことは、語学学習において高い効果を発揮する。資格をひとつのきっかけとして、国際社会に生きるこの意味と外国語を学ぶことの重要性を再考する。		
履修目標	① TOEIC・TOEFL試験のテストスコアを上昇させること ② 実践的な英語力、特に会話を向上させること		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス TOEIC、TOEFLテストの概要説明  授業外事前学修課題：課題内容（時間） どのような英語検定試験があるか調べ、それぞれの特徴について箇条書きにする(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実際に検定試験を受けることを想定し、試験日程や手続き方法を調べる。さらに、参考書や問題集などについても情報収集する(90分)	2
	2	飲食店での会話表現① Unit 1を中心に  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 飲食店で用いられる単語やフレーズを暗記する(90分)	3
	3	飲食店での会話表現② Unit 2を中心に  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 飲食店で用いられる単語やフレーズを暗記する(90分)	4
	4	海外旅行先でのショッピング① Unit 3を中心に  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 買い物に必要となる単語やフレーズを暗記する(90分)	5
	5	海外旅行先でのショッピング② Unit 4を中心に  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 買い物に必要となる単語やフレーズを暗記する(90分)	6
	6	病院での会話表現 Unit 7を中心に  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 病院で必要となる単語やフレーズを暗記する(90分)	7
	7	薬局での会話表現 Unit 8を中心に  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)	

8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）      薬局で必要となる単語やフレーズを暗記する(90分)      教室でのやりとり①      Unit 13を中心に</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）      教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）      大学の教室内で必要となる単語やフレーズを暗記する(90分)      教室でのやりとり② 応用      Unit 14を中心に</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）      教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）      大学の教室内で想定される会話表現を暗記する(90分)      旅先での電車移動      Unit 15</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）      教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）      電車移動の際に役立つ単語やフレーズを暗記する(90分)      宿泊先での会話表現      Unit 16</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）      教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）      ホテルの予約の時や滞在時に役立つ単語やフレーズを暗記する(90分)      飛行機のなかで使う表現      Unit 17</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）      教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）      フライトで必要となる単語やフレーズを暗記する(90分)      タクシーに乗るために      Unit 18</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）      教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）      タクシー移動で必要となる単語やフレーズを暗記する(90分)      リスニング問題・文法問題の攻略法、注意点</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）      教科書全体を復習し、わからないところがないか確認する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）      検定試験を受ける際の注意点などを確認し、実際に受験する日を決め具体的な学習予定を立てる(90分)      まとめ      これからも英語学習を継続するために</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）      英語学習用のインターネットサイトやDVD教材にどのようなものがあるか調べる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）      教科書全体を復習することと、授業時に紹介された英語教材の一部を試す(90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	この授業ではアクティブ・ラーニング(討議・討論 / プレゼンテーション)を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	毎回の小テストのすぐあとに解説を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法： 小テスト          評価割合： 80%          評価基準： 毎回授業の初めに前回の授業内容に関する問題を10問解く。6問正解すると60点。          履修目標との対応： ①、②</p> <p>評価方法： 発表          評価割合： 20%          評価基準： 事前に暗記してきたフレーズを声に出して言えれば60点。</p>

	履修目標との対応： ②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：『TOEICテストリスニングとキャリア体験 ～ Tune up for the TOEIC Test Listening ～』（成美堂） 授業時には英和辞典（電子辞書でも可）を毎回持参すること。
実務経験のある教員による授業	この授業は、貿易会社勤務経験のある教員が実践的な英語表現を指導する。
オフィスアワー・連絡先	htakei@soei.ac.jp
備考	この授業は、英語があまり得意ではない、あるいは自信がない人でも心理的な負担にならないよう配慮します。 海外旅行ですぐに役立つような実践的な英会話も学べるテキストを使用しますので、気軽に受講して下さい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	選択
担当教員			
黄 耀進			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①中国語の発音（ピンイン）が対応できること。 ②指定した単語、簡体字が読める、書けること。 ③簡単な会話が聞き取り、答えること。 ④適切な態度で中国語ネイティブの方と接することができる。		
履修条件	中国語を勉強したく、中国、台湾の関連情報に関心を持つ方。		
授業概要	人間は生活を理解するには、生活者の視点を基準にして、現代における様々な問題を扱う必要がある。特にグローバルな国際協調が求められている現代において多角的な情報を求めることも重視しなければならない。生活における様々な情報が欲する際、他の言語を勉強することは一つの手段と考えられ、中にはアジア近隣諸国とのコミュニケーションは重要である。中国語の語彙や会話の基本的な表現の習得とともに、文化・事情も含め多角的なアプローチにより中国ないし自分が生活している社会を深く理解できるようにする。中国語の学習によって、より多様な情報を収集する力を向上させ、基礎的なコミュニケーション能力を養い、社会への理解を深化することで、看護の場で必要とされる柔軟な姿勢を培う。		
履修目標	①中国語の発音を習得する。 ②日常会話における必要な語彙と基本的な文法を習得する。 ③基本的な日常会話ができる。 ④簡単な中国語の標語、短文が判読できる。 ⑤最新の中国・台湾関連情報を知る。		
授業計画・授業外学修課題	1	中国語入門プロジェクト ガイダンス 中国語の特徴；テキスト p. 6を熟読すること（90分）／授業中説明したピンイン例、簡体字を練習すること（90分）	
	2	発音の基礎－声調、単母音；CDの発音を聞いてテキストp. 7を熟読すること（90分）／授業で学んだことをノートにまとめ、単母音を暗記、声調を熟練すること（90分）	
	3	発音の基礎－子音、複合母音；CDの発音を聞いてテキスト p. 7、p. 11を熟読すること（90分）／授業で学んだことをノートにまとめ、子音・複母音を暗記すること（90分）	
	4	発音の基礎－鼻母音、軽声、声調の変化；テキスト p. 13を熟読すること（90分）／授業で学んだことをノートにまとめ、鼻母音を暗記すること、p. 12、p. 14の最短会話を熟練すること、p. 15を復習すること（90分）	
	5	簡単な挨拶、人称代名詞、動詞述語文；テキストp. 17－p. 19を熟読すること（90分）／授業で学んだことをノートにまとめ、p. 17－p. 19の新出単語を暗記すること、p. 16の確認テストを完成すること。次回発音小テストを行う（90分）	
	6	発音小テスト、会話とトレーニング、疑問詞（1）、名前の言い方；テキストp. 21－p. 23を熟読すること（90分）／授業で学んだことをノートにまとめ、p. 21－p. 23の単語及び例文を暗記すること（90分）	
	7	基本文型の復習、会話とトレーニング；テキストp. 25を熟読すること、p. 24の自己紹介を完成すること（90分）／テキストp. 26の確認テストを完成すること、自己紹介を暗記すること（90分）	
	8	人称代名詞、指示代名詞、「是」構文、疑問文（1）；テキストp. 27－p. 29を熟読すること（90分）／授業で学んだことをノートにまとめ、p. 27－p. 29の単語及び例文を暗記すること、p. 30のドリルを完成すること（90分）	
	9	所有の「有」、助数詞、会話；テキストp. 31－p. 33を熟読すること（90分）／授業中の会話を練習すること、テキストp. 34ドリル6を完成すること、p. 35を熟読すること（90分）	
	10	基本文型と会話の復習、トレーニング；テキストp. 2－p. 35を熟読すること（90分）／テキストp. 36を完成すること、会話練習を暗記・復習すること（90分）	
	11	指示代名詞（場所）、場所の聞き方、答え方；テキストp. 37－p. 39を熟読すること（90分）／授業で学んだことをノートにまとめ、p. 37－p. 39の単語及び例文を暗記すること、p. 40ドリル7を完成すること。（90分）	
	12	形容詞述語文、動詞述語文；テキストp. 41－p. 43を熟読すること（90分）／授業で学んだことをノートにまとめ、p. 41－p. 43の単語及び例文を暗記すること、p. 44ドリル8を完成すること（90分）	

	<p>13 方法、手段、値段の尋ね方／比較文：テキストp.46確認テストを完成すること、p.47～p.49を熟読すること（90分）／授業で学んだことをノートにまとめ、p.47～p.49の単語及び例文を暗記すること、p.50ドリル9を完成すること。次回会話練習を行う。（90分）</p> <p>14 グループ会話練習／中国ドラマ鑑賞：プリントを熟読すること（90分）／会話練習の注意点を繰り返し練習すること（90分）</p> <p>15 基本文型と会話の復習、トレーニング：テキストp.17～p.49を熟読すること（90分）／授業で学んだことをノートにまとめ、p.17～p.49の単語及び会話を暗記すること（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	<p>①授業中中国語で簡単な質問して中国語で答える。 ②場面設定してグループ会話を行う。</p>
課題のフィードバック方法と時期	<p>①授業の冒頭に会話練習して、発音調整、質疑応答 ②授業の最後15分のまとめと質疑応答 ③授業の進度によって簡単な課題を出し、検討する</p>
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：①十分な授業への参加度。②中間会話テスト。③期末の会話及び筆記テスト 評価割合：①30%、②30%、③40% 評価基準：①参加度は発音・会話練習の積極さを指す。②指定した内容をよめるかよめないか。③指定した範囲の内容が理解できなから評価する。 履修目標との対応： ①授業中の発音、会話、簡体字の書く練習を行う。もっぱら寝る、私語する、練習したくない態度を見せるなら不合格と判定。 ②提示した会話内容はできる限り正しく読めれば合格。 ③設定した範囲内の簡体字、文型を熟練すべきである。会話は中間テストと同じく判定する。</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト：小林和代・韓軍著『はじめよう楽々中国語』白水社 参考文献：山田眞一著『医療系学生のための初級中国語』白帝社</p>
実務経験のある教員による授業	特にありません。
オフィスアワー・連絡先	授業の前後、教室で。特別な事情があればメールで連絡：cyao@soei.ac.jp
備考	毎回出席を取ります。復習・予習を行い授業に臨んでください。中国や中国語に関心を持ち関連動画なども視聴し、日常会話や中国の理解を深めることを期待します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員			
小川 史/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	この授業では、教育の基本的概念を学ぶとともに、教育実践に応じてさまざまに掲げられる教育理念や目的、またそれらの歴史的変遷について学び、現代における教育のあり方を深く捉えられるようになることを目指している。具体的な内容としては、教育学上の基本概念、教育の歴史的編成、教育内容、方法及び評価やカリキュラム、さまざまな教育実践、学校をめぐる制度など、子どもの権利や児童福祉なども含めて総合的に教育に関して学ぶ。
履修目標	①教育学上の基本的概念を身につけ、教育に関わる事象を説明できる。 ②教育史及び教育制度についての基本的知識を身につけ、説明できる。 ③教育思想を実際の教育場面と関連付けながら説明できる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 教育を原理的に学ぶ意義 教育を原理的に捉えることの意義を学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園教育要領を読む。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を再読する。90分</p> <p>2 教育とは何か 教えることと学ぶこと、育つことと育てること 「教育」、「教える」、「学ぶ」、「育つ」、「育てる」といった基本的な教育学上の語彙の意味を理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で配布した資料を読む。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を再読する。90分</p> <p>3 教育とは何か 教育の意義・内容・目的 教育の目的と目標、教育の意義について、原理的に理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園や学校のHPを見るなどして、教育理念や目的がどのように記載されているかを調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を再読する。90分</p> <p>4 教育の歴史的変遷 諸外国 教育思想と教育 西洋の教育思想を理解した上で、教育を見る際のそれらの有効性を学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 諸外国の教育思想、特にフランス、ドイツ、イギリスについて調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料の要約を行う。90分</p> <p>5 教育の歴史的変遷 日本 教育思想と教育 日本の教育思想、特に近代の教育思想を学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 倉橋惣三について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を再読し、関連文献を読む。90分</p> <p>6 教育の歴史的変遷 子ども観と社会 子ども観の変遷と社会のあり方との関連性について学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 報道された記事から子どもに関するものを調べる。90分</p>

7	<p>学校とは 学校の概念を理解し、その特性と意義を学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学校教育法を調べ、目を通す。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p>
8	<p>近代学校教育制度の成立 近代学校制度の成立と変遷について学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学校制度の変遷について資料を読む。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p>
9	<p>学校をめぐる現代的課題 現代における学校 現代日本の社会において学校が果たしている役割と課題について学ぶ、</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学校に関わる新聞記事を調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読み、関連文献に目を通す。90分</p>
10	<p>家庭と教育 家庭教育の役割 家庭教育の役割と機能について理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 家庭の役割について考えをまとめる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読み、関連文献に目を通す。90分</p>
11	<p>地域社会と教育 地域の教育力 地域共同体が果たす教育上の役割と機能について理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 居住地域の教育情報を調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読み、関連文献に目を通す。90分</p>
12	<p>生涯学習と教育 生涯学習体系の中の子ども 生涯学習時代における子ども期について理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 生涯学習関連法を調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p>
13	<p>教育実践 多様な取り組み さまざまな教育のあり方について、具体的な実践から学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 特色のある教育実践を調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p>
14	<p>出身園・出身校の教育を振り返る。90分 現代社会と教育課題 現代日本の教育課題とその特性について理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 現代の教育課題について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p>
15	<p>教育の多様性と本質 オルタナティブな教育のあり方を理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） オルタナティブ教育について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、一部反転授業
課題のフィードバック方法と時期	ワークシートを各回の終わりに提出し、次の回に返却する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対	<p>評価方法：平常点評価（授業内課題）</p> <p>評価割合：100%</p> <p>評価基準：</p>

応	履修目標との対応：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	幼稚園教育要領、保育所保育指針
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	3号館314
備考	遅刻・途中退出は原則認めない。遅刻については欠席とみなす場合がある。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員			
小川 史/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	保育の営みは人類の歴史とともにあるが、集団での保育の歴史は長いようで短い。現在の保育はこれら先人の知恵の蓄積の上に発展してきている。本講義においては、幼児教育に関する歴史や幼児教育思想など、現代の幼児教育に影響を及ぼしている事柄について学び、現代における保育の意義、保育所保育指針における保育の基本、保育の内容と方法の基本を学修する。
履修目標	①保育について理論的に捉え、保育に関わる事象を説明できる。 ②保育史について概略を説明できる。 ③保育をめぐる現代的課題について自分の考えを述べるができる。
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス 保育を原理的に捉えることの意義 保育という営みを、原理的に捉えることの重要性について学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育所保育指針を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 2 保育とは何か 「保育」と「教育」の違い 「保育」「教育」などの基本的な概念を学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読んでおく。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 保育と教育の違いについて考えをまとめる。90分 3 保育と人間 人間にとっての保育の営み 保育の営みを、生物学的、人類学的な視点を踏まえ理解する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読んでおく。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 人間にとっての保育の営みについて考えをまとめる。90分 4 家庭の保育機能 家庭における保育の機能 家庭が果たす保育の機能について理解する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 家庭での保育に関わる新聞記事を調べる。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 家庭の保育機能について考えをまとめる。90分 5 社会の保育機能 家庭以外の保育の機能 社会の中での保育の機能はどのようなものなのかを学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育に関わる慣習や制度を調べる。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 社会における保育機能について考えをまとめる。90分 6 保育の歴史的展開（1）戦前までの保育の歴史 明治以降戦前までの日本の保育の歴史を学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 戦前までの保育史について文献を調べる。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 戦前までの保育史に関わる文献を調査する。90分 7 保育の歴史的展開（2）戦後の保育の歴史 戦後の民主化に伴う保育の移り変わりについて学ぶ

8	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 戦後の保育史について文献を調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 戦後の保育史に関わる文献を調査する。90分 保育の思想（1）保育に関わる西欧の思想 ペスタロッチ、フレーベル、ロックなどの幼児教育に関わる思想を学ぶ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示する関連文献を読む。90分 保育の思想（2）保育に関わる日本の思想 倉橋惣三の保育思想を中心に、日本の保育思想を学ぶ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示する関連文献を読む。90分 保育と陶冶（1）子どもの成長における関係性 子どもをめぐる人間の関係性が成長にどのような影響を及ぼすのか、原理的な視点から学ぶ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要領「人間関係」をまとめる。90分 保育と陶冶（2）子どもの成長における能力 能力に関わる考え方を理解し、子どもの成長と重ね合わせながら考えを深める</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示する関連映像を視聴し、感想をまとめる。90分 保育と社会（1）保育に関わる社会的制度 日本の保育制度について理解を深める</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育制度について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 保育と社会（2）保育に関わる法制度 保育に関わる日本の法制度及び子どもの権利について学ぶ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育に関わる法律について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 保育と現代 保育の現代的課題 保育に関わる現代的な課題について、具体的事例をもとに考察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育に関する新聞記事を調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 保育の現代的課題について自分の意見をまとめる。90分 多様性を支える保育のあり方 多様性が求められる社会のあり方とそれに相応しい保育について学ぶ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 多様な保育形態について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 保育が現代において持つ意義について考えをまとめる。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを行う
課題のフィードバック方法と時期	ワークシートは採点后速やかに返却する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業内課題（ワークシート）</p> <p>評価割合：100%</p> <p>評価基準：各回の授業で指示された事柄を記述できているか 履修目標との対応：①②③</p>

テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	3号館314
備考	遅刻・途中退出は原則認めない。遅刻については欠席とみなす場合がある。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員			
鈴木 明子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身につけ、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 4 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見出し、解決していく能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	音楽を理解するために有効な手段として五線譜の利用がある。これは明治期に日本に取り入れられた西洋音楽教育の影響で、日本の音楽教育にも取り入れられていたものである。楽譜を読むことができることによって、言語の通じない世界の国々の音楽を再現することが可能なのである。本授業においては、音楽を理解するための基礎的な学習として読譜から始め、楽譜を見ながら歌を歌う（アカペラ）などや、楽典に関する知識も修得することを目的とする。
履修目標	①こどものうたの簡単な伴奏付けの学習を通して音楽の構造を理解し、技術を身につけ演奏できるようになる。 ②楽典の基礎を学習し、保育者としての必要な音楽理論を理解し記述できるようになる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 ピアノの鍵盤を使ってコードを押さえる 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/テキストに目を通し、わからない用語をチェックする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/習ったコードをノートで確認する（90分）</p> <p>2 こどものうたをピアノで弾きながら和音について理解する① I度・IV度の和音 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/テキストにてピアノ鍵盤と音名を確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/ハ長調以外の調について調べる（90分）</p> <p>3 こどものうたをピアノで弾きながら和音について理解する② 別の調でのI度・IV度の和音 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/今まで習得した和音をピアノで確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/子どもの歌の中の和音表記を調べる（90分）</p> <p>4 こどものうたをピアノで弾きながら和音について理解する③ こどもの歌の伴奏の中の和音 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/今まで習得した和音をピアノで確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/子どもの歌の中の和音表記を調べる（90分）</p> <p>5 こどものうたをピアノで弾きながら和音について理解する④ ①～③の復習 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/今まで習得した和音をピアノで確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/伴奏に用いる和音を確認する（90分）</p> <p>6 伴奏法の基礎について理解する① コードの仕組み 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/今まで習得した和音をピアノで確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/今まで学んだ知識をノートにまとめる（90分）</p> <p>7 伴奏法の基礎について理解する② コードの役割 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/和音に関する用語とその意味を鍵盤上で確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/和音について鍵盤上で確認する（90分）</p> <p>8 音名、階名について理解する（確認筆記テスト）次回の授業で答案返却し、説明をする 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/今まで習得した専門用語をノートで確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/コードの種類を鍵盤上で確かめる（90分）</p> <p>9 音階について理解する（長調） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/テキストの中の長調の曲を歌っておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/長調の曲の中のコードを確認する（90分）</p> <p>10 音階について理解する（短調） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/テキストの中の単調の曲を歌っておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/単調の曲の中のコードを確認する（90分）</p> <p>11 音階の調号について理解する① 基本 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/音階の調号についてテキストを読んでおく（90分）</p>

	<p>12 授業外事後学修課題：課題内容（時間）//五線譜に習った調号を用いた音階をかく（90分） 音階の調号について理解する② 応用</p> <p>13 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/五線譜を用い調号を書く練習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/習得した調号を用いた曲の伴奏を練習する（90分） 音階について復習、確認する① 基本 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/習った音階を五線譜にまとめる（90分）</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/習ったコードを音階の中で確認する（90分） 音階について復習、確認する② 応用</p> <p>15 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/曲の中でのコードを音階と照らし合わせてみる（90分） 授業外事後学修課題：/ピアノの鍵盤でコードと音階の関係を確認する（90分） まとめ、確認を行う（子どもの歌のコード伴奏で弾き歌いテストをする）その場で、良かった点、改善点を指導する 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/曲の中でのコードを音階と照らし合わせてみる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/ピアノの鍵盤でコードと音階の関係を確認する（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループ練習、ペア練習、発表し感想を述べ合う。
課題のフィードバック方法と時期	8回目に確認筆記テストを行い、時間内に答え合わせをする。15回目には一人ずつ弾き歌いの発表をし、時間内に口頭で良かった点、改善点を伝える。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：筆記 評価割合：40% 評価基準：ループリックを配布します。 履修目標との対応：②</p> <p>評価方法：実技 評価割合：60% 評価基準：ループリックを配布します。 履修目標との対応：①</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	細田淳子ほか著『かんたんメソッド コードで弾きうたい』カワイ出版、五線譜ノート
実務経験のある教員による授業	小学校教諭としての音楽指導の実務経験を生かした授業を行う。
オフィスアワー・連絡先	別記参照
備考	幼稚園教諭、保育士の資格などを取る際に重要な科目となる。保育者として必要な音楽基礎理論と演奏技能の習得を目指し、主体的に学習に取り組み、課題達成の為に各自の日頃の練習をしっかりと積み重ねてほしい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
大内 美智子/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	①保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ②基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

7	<p>保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分</p> <p>保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p>
8	<p>後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいけば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	<p>一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。</p>
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>各教員に確認すること。</p>
<p>備考</p>	<p>遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
小川 史/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	①保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ②基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

	<p>7 保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分 保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p> <p>8 後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>9 学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>10 リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>11 個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>12 保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>13 保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>14 保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>15 保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいけば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年
実務経験のある教員による授業	一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。
オフィスアワー・連絡先	各教員に確認すること。
備考	遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
鈴木 明子/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	①保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ②基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

	<p>7 保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分 保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p> <p>8 後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>9 学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>10 リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>11 個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>12 保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>13 保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>14 保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>15 保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年
実務経験のある教員による授業	一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。
オフィスアワー・連絡先	各教員に確認すること。
備考	遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
武井 博美/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	①保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ②基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

	<p>7 保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分 保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p> <p>8 後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>9 学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>10 リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>11 個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>12 保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>13 保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>14 保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>15 保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいけば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	<p>一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。</p>
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>各教員に確認すること。</p>
<p>備考</p>	<p>遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
木下 圭/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	①保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ②基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

7	<p>保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分</p> <p>保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p>
8	<p>後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	<p>一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。</p>
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>各教員に確認すること。</p>
<p>備考</p>	<p>遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
棚澤 令子/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	①保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ②基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

	<p>7 保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分 保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p> <p>8 後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>9 学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>10 リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>11 個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>12 保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>13 保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>14 保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>15 保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年
実務経験のある教員による授業	一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。
オフィスアワー・連絡先	各教員に確認すること。
備考	遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
根本 徹/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	①保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ②基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

7	<p>保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分</p> <p>保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p>
8	<p>後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいけば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	<p>一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。</p>
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>各教員に確認すること。</p>
<p>備考</p>	<p>遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
江島 絵理子/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	①保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ②基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

7	<p>保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分</p> <p>保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p>
8	<p>後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年
実務経験のある教員による授業	一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。
オフィスアワー・連絡先	各教員に確認すること。
備考	遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
流石 良子/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	① 保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ② 基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③ 他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④ 大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

	<p>7 保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分 保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p> <p>8 後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>9 学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>10 リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>11 個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>12 保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>13 保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>14 保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>15 保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいけば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年
実務経験のある教員による授業	一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。
オフィスアワー・連絡先	各教員に確認すること。
備考	遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
田中 君枝/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	①保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ②基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

7	<p>保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分</p> <p>保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p>
8	<p>後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年
実務経験のある教員による授業	一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。
オフィスアワー・連絡先	各教員に確認すること。
備考	遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
平野 友康/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	①保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ②基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

7	<p>保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分</p> <p>保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p>
8	<p>後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	<p>一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。</p>
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>各教員に確認すること。</p>
<p>備考</p>	<p>遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
持田 訓子/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	①保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ②基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

	<p>7 保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分 保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p> <p>8 後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>9 学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>10 リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>11 個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>12 保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>13 保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>14 保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>15 保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいけば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年
実務経験のある教員による授業	一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。
オフィスアワー・連絡先	各教員に確認すること。
備考	遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
相賀 頌子/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	①保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ②基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

	<p>7 保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分 保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p> <p>8 後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>9 学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>10 リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>11 個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>12 保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>13 保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>14 保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>15 保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいけば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	<p>一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。</p>
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>各教員に確認すること。</p>
<p>備考</p>	<p>遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
棕田 美穂/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	①保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ②基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

	<p>7 保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分 保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p> <p>8 後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>9 学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>10 リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>11 個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>12 保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>13 保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>14 保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>15 保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいけば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	<p>一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。</p>
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>各教員に確認すること。</p>
<p>備考</p>	<p>遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
濱田 唯/こども教育学部			
演習	CP100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来保育に携わる職を目指し保育者としての資質を高めるため、コミュニケーションワークを中心に学修し、大学での生活の基礎を身につけることを目的とする。大学で学ぶものとして授業に臨む姿勢やマナー、演習等を通じて大学生としての基本的な生活を身につけることの大切さを学ぶ。また討論を行うなかで、コミュニケーション力を高めるとともに論理的思考の経験を重ね、加えて他者の意見を客観的に評価する学習も行うことにより、今後の大学における学習の基礎及び多様な価値観に触れる機会とする。		
履修目標	①保育者の役割を具体的に理解してイメージすることができる。 ②基本的な保育技術を身につけ、活用できる。 ③他者とコミュニケーションを取り、協力し合うことができる。 ④大学生活をイメージし、みずから学ぶことができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス/学部カリキュラムの概要と履修の仕方/個別面談 履修指導を行い、履修する教養科目・専門科目について説明を行う。カリキュラムの概要を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスをよく読み、1年次の履修科目を把握する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修計画を立てる。90分	
	2	コミュニケーションワーク/自己紹介の内容とポイント コミュニケーションワークを行い、同じ学年の学生と交流を行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の仕方を考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションワークを振り返り、自己省察を行う。90分	
	3	保育技術の習得①/名札づくり 保育技術習得の一環として、手作りの名札を作る。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 名札のデザインを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を活用し、さらに制作を行う。90分	
	4	図書館ガイダンス/図書館の使い方。OPACの利用の仕方 大学での学びを円滑にするため、図書館とOPACの使用方を説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学キャンパスの全体像を理解しておく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） OPACを利用して図書・絵本などを調べる。90分	
	5	保育活動への導入①/里山・運動・壁面 里山での自然体験、アリーナでの運動体験、壁面制作のいずれかを選んで参加し、保育活動の前提となる体験をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が参加したい活動を選び、保育との関わりを考える。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した活動を振り返り、行ったことをノートなどに記録する。90分	
	6	キャリア・ガイダンス 保育者としての将来像を理解するため、現場の職員から話を聞く。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業後の進路を思い描き、わからないことを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

7	<p>保育者のイメージをより明確にするため、実際の保育施設についてインターネットなどで調べる、90分</p> <p>保育活動への導入②/七夕飾り 将来保育活動を行うための前提となる体験として、七夕飾りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 七夕飾りに必要な装飾物をイメージし、作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、自分で制作をする。90分</p>
8	<p>後期ガイダンス/履修指導および学生生活の見直し（60分） 後期の履修についてガイダンスを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 後期に履修する科目を選択する。90分</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前半の学生生活を振り返る。90分</p> <p>学祭1年生企画準備 学祭への学年としての参加に向けて、企画の準備を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学祭の企画準備を行う。90分</p> <p>リテラシー、コンピテンシーの把握 リテラシーとコンピテンシーの把握を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 受講した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>個別面談 個別面談を通して、学生生活の振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 半年間の学生生活の振り返りを行う。90分</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今後の学生生活の見通しをイメージし、まとめる。90分</p> <p>保育技術の習得②/からだ遊び 保育技術習得に向けた活動の一環として、からだ遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示した課題を行う。90分</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>保育の集いへの参加（120分） 神奈川県内の保育系大学が集まる「保育の集い」に参加する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の活動について調べる。90分</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 参加した内容の振り返りを行う。90分</p> <p>保育活動への導入③/クリスマス 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、クリスマスの装飾を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） クリスマスの装飾を考え、みずから制作する。90分</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学んだ保育技術を応用し、みずから表現の練習を行う。90分</p> <p>保育活動への導入④/伝承遊び 将来保育活動を行う上での前提となる体験として、伝承遊びを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びについて、課題を行う。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 基礎ゼミナールで行った諸活動の振り返りをする。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、制作・発表
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題は速やかにフィードバックされる。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業態度          評価割合：50%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えや表現を示すことができれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：提出物          評価割合：50%          評価基準：決められた提出条件を守り、丁寧に取り組んでいれば80/100点          履修目標との対応：①②③④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	「保育学生のための基礎学力演習」中央法規、2018年
実務経験のある教員による授業	一部担当教員には教員経験がある。その経験を活かして演習を構成する。
オフィスアワー・連絡先	各教員に確認すること。
備考	遅刻や途中退室は認めません。意欲的に授業に取り組むこと。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
木下 圭/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	本学で学修する専門知識を理解するためには、基本的に観察が必要になる。ここでは「観察や実験を行い、記録し、その結果を考察する」という一連の技法を学ぶ。本科目は演習形式で、ひとり一人が顕微鏡などの実験器具を用い、スマートフォンを活用しながら観察手段を習得していく。		
履修目標	①自然現象を観察する方法を学ぶ。 ②観察結果を記録し、整理する方法を修得する。 ③科学的な現象に興味を持ち、観察することを通して、今後の学修につなげる。		
授業計画・授業外学修課題	1	総論（記録の方法） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 科目の概要と目標をシラバスで確認（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）	
	2	森林の観察 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）	
	3	実体顕微鏡の操作 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）	
	4	脊椎動物の臓器と構造 I 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）	
	5	海産動物の分類 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）	
	6	植物の形づくり（青木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）	
	7	免疫（抗原検査と抗体検査） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）	
	8	コンピュータを用いた分子モデル 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）	
	9	分子生物学演習 I 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

	<p>10 ノート整理 (90分) 酵素反応 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 指示に従って事前学習 (90分)</p> <p>11 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) ノート整理 (90分) 有性生殖と無性生殖 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 指示に従って事前学習 (90分)</p> <p>12 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) ノート整理 (90分) DNAを採る 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 指示に従って事前学習 (90分)</p> <p>13 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) ノート整理 (90分) 脊椎動物の形づくり (胚発生) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 指示に従って事前学習 (90分)</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) ノート整理 (90分) 脊椎動物の臓器と構造 II 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 指示に従って事前学習 (90分)</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) ノート整理 (90分) 分子生物学演習 II 小テスト 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 小テストの準備 (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 小テストの復習 (90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを含む実験を毎回行う。
課題のフィードバック方法と時期	次回の授業で解説する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：成果物 評価割合：75% 評価基準：課題の条件を備えた成果物を毎回提出することができる 履修目標との対応：① ② ③</p> <p>評価方法：小テスト 評価割合：25% 評価基準：授業内容に即した小テストの得点が20点以上である 履修目標との対応：① ② ③</p>
テキスト・参考文献・その他 (必要物品など)	テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を配布。
実務経験のある教員による授業	発生物学の研究者である教員による授業。 植物学を専門とする東京薬科大学の教員による特別講義を実施。
オフィスアワー・連絡先	連絡先は、kkinoshita@soei.ac.jp
備考	実験では作業が中心となるので、動きやすい服装で受講してください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	選択
担当教員			
若生 啓/子ども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人		
履修条件			
授業概要	コンピュータを知的活動の道具として活用できるように、表計算ソフト (Microsoft Excel) の基本を学び、Excelを利用した表計算やグラフ作成などの操作能力を身につける。卒業研究などに必要なデータ処理や分析も、Excelを利用できるような応用力も身につける。		
履修目標	①Excelの基本的な機能を理解し操作することができる ②Excelを用いて体裁の整った表を作成することができる ③Excelを用いて様々な表計算やデータ処理、グラフの作成ができる		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス、コンピュータの基本操作 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	2	表計算ソフトの概要と応用例 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	3	タイピングの基礎 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	4	Excelの基礎知識 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	5	データの入力 (1) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	6	データの入力 (2) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	7	表の作成 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	8	数式の入力 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)	
	9	複数シートの操作 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)	
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間)	

	<p>10 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分) 表の印刷 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)</p> <p>11 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分) グラフの作成 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)</p> <p>12 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分) データベースの利用 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)</p> <p>13 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分) 便利な機能 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分) 総合問題 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分) 最終課題 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) シラバスを参考にして事前学習をする (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする (90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ICTを活用した双方向型の授業を実施する
課題のフィードバック方法と時期	授業内の課題については次の回に返却します。最終課題は希望者に返却します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業内の課題 評価割合：50% 評価基準：全体の2/3の提出で60% 履修目標との対応：① ② ③</p> <p>評価方法：最終課題 評価割合：50% 評価基準：2/3の作業が完了すれば60% 履修目標との対応：① ②</p> <p>※適宜追加してください</p>
テキスト・参考文献・その他 (必要物品など)	『よくわかる Microsoft Excel 2021 基礎』、富士通ラーニングメディア、FOM出版、2022年、978-4-938927-91-2
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	連絡先：wako@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	選択
担当教員			
木下 圭/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	パソコンを発表の道具として活用できるようプレゼンテーションソフトウェア（MS PowerPoint）の基本操作を学び、これを用いて資料作成とプレゼンテーションが行える技術を身につける。		
履修目標	①PowerPointを用いてプレゼンテーション資料の作成と発表が行える。 ②PowerPointとExcel、Word等との連携を通じた資料作成が行える。 ③Microsoft Office Specialist資格の取得希望者においては、受験準備の一環となる。		
授業計画・授業外学修課題	1	PowerPointの基本操作1（基礎知識） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 科目の概要と目標をシラバスで確認（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分）	
	2	PowerPointの基本操作2（基本的なプレゼンテーションの作成） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分）	
	3	PowerPointの基本操作3（表とグラフの作成） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分）	
	4	PowerPointの基本操作4（図形やSmartArt グラフィックの作成） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分）	
	5	PowerPointの基本操作5（特殊効果の設定） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分）	
	6	課題作成1（既定課題） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分）	
	7	課題作成2（既定課題） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分）	
	8	課題作成3①（自由課題） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分）	
	9	課題作成3②（自由課題） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分）	

	10	自由課題の発表 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 発表の準備（90分）
	11	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 評価表の作成（90分） 自由課題の発表続き 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 発表の準備（90分）
	12	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 評価表の作成（90分） 課題作成4①（最終課題） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）
	13	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分） 課題作成4②（最終課題） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）
	14	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分） 最終課題の発表1 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 発表の準備（90分）
	15	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 評価表の作成（90分） 最終課題の発表2 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 発表の準備（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 評価表の作成（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		プレゼンテーションと質疑応答を行う。
課題のフィードバック方法と時期		各回の課題をもとに授業で発表・討議する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：成果物 評価割合：40% 評価基準：課題の条件を備えた成果物を毎回提出できる 履修目標との対応：① ② ③  評価方法：プレゼンテーション 評価割合：30% 評価基準：資料作成と発表を適切に行い、他の受講者に理解させることができる 履修目標との対応：① ② ③  評価方法：質疑応答 評価割合：15% 評価基準：受けた質問について再調査し、回答できる 履修目標との対応：① ②  評価方法：評価表 評価割合：15% 評価基準：他の受講者の発表を評価し記述できる 履修目標との対応：①
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		テキスト：よくわかる Microsoft PowerPoint 2021 基礎（FOM出版）
実務経験のある教員による授業		生物学の研究者である教員による授業。
オフィスアワー・連絡先		連絡先は、kkinoshita@soei.ac.jp
備考		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
若生 啓/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人		
履修条件			
授業概要	近年、ICT技術や人工知能（AI）の発展が著しく、これらの技術は社会の様々な領域で活用されつつある。これらの技術の基礎には数理・データサイエンス（統計学、数学、コンピュータサイエンス等）があり、それを理解することがこれらの技術や社会の変化にどう向き合っていくか考えるための土台となる。そこで、本授業では実際にICTを活用しながら、演習として受講者自身が様々な問題解決を行うことを通して、数理・データサイエンスの基礎を学習する。		
履修目標	①AI・データサイエンスが社会でどのように活用されているか説明できる ②データの取り扱いや解釈について説明し活用できる ③コンピュータの動作原理を理解し、簡単なプログラムを作成できる		
授業計画・授業外学修課題	1	AI・データサイエンスの概要 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	2
	2	表計算ソフトを用いた数値計算 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	3
	3	データの取得と管理 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	4
	4	データの分析 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	5
	5	データの可視化 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	6
	6	実社会のデータの分析 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	7
	7	実社会のデータの可視化 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	8
	8	AI・データサイエンスの応用事例 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）	9
	9	AI・データの利活用のための技術 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）	

	<p>10 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） コンピュータ技術の基礎 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）</p> <p>11 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） プログラミングの基礎（逐次実行） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）</p> <p>12 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） プログラミングの基礎（条件分岐） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）</p> <p>13 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） プログラミングの基礎（繰り返し） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） AI・データ活用の実践演習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 最終課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ICTを活用した双方向型の授業を実施する
課題のフィードバック方法と時期	授業内の課題については次の回に返却します。最終課題は希望者に返却します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業内の課題 評価割合：50% 評価基準：全体の2/3の提出で60% 履修目標との対応：① ② ③</p> <p>評価方法：最終課題 評価割合：50% 評価基準：2/3の作業が完了すれば60% 履修目標との対応：① ②</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト 松下 孝太郎、山本 光、『親子でかんたん スクラッチプログラミングの図鑑【Scratch 3.0対応版】』、技術評論社、2019年、978-4297106867 *Scratch 3.0対応版であることに注意してください</p> <p>参考文献 データサイエンス入門 第2版（学術図書出版社） ScratchでAIを学ぼう（日経BP）</p>
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	連絡先：wako@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
木下 圭/こども教育学部 小川 雅代/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	人類と環境への適応について知識を得て理解する。日本の歴史に残る環境による健康被害、エイズ、肝炎等の薬害の実態を知り、健康問題について学修する。また、日本における社会保障制度、保健・医療・福祉の提供の仕組みと現状、及び、児童福祉制度と子どもをめぐる問題について理解する。
履修目標	①人類の環境への適応、環境と健康の問題について理解する。 ②サリドマイド、肝炎、薬害エイズ、スモンなど、過去に発生した主要な薬害事故を理解し説明できる。 ③人々の暮らしを守る社会保障制度と現状の問題について述べるができる。 ④医療保険制度、介護保険制度、年金制度と現状の問題を説明することができる。 ⑤児童福祉制度を理解し子どもをめぐる問題と解決について述べるができる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 環境への適応と人類（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 科目の概要と目標をシラバスで確認する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションのグループテーマを考える（90分）</p> <p>2 適応の方法－突然変異、ウイルス、免疫（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 講義で使われた用語を確認する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションを作成する（90分） 環境と健康問題（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 講義で使われた用語を確認する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションを作成する（90分）</p> <p>4 現代までの主要な環境問題（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分）</p> <p>5 戦後の日本で起きた主要な薬害問題①（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分）</p> <p>6 戦後の日本で起きた主要な薬害問題②（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分）</p> <p>7 薬害被害の実態－薬害エイズ問題（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） グループへの質問事項に対する回答を準備する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義と演習のまとめを作成する（90分）</p> <p>8 今日の保健・医療・福祉をめぐる問題－グループ演習の導入（小川） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業のテーマについて自分が気になったニュースを調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの準備計画を立案する（90分）</p> <p>9 人々の暮らしを守る仕組みと現状－グループに分かれて課題別ワーク（小川） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業のテーマについて自分が気になったニュースを調べる（90分）</p>

	<p>10 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションを作成する（90分） 人々の暮らしを守る仕組みと現状 ―グループに分かれて課題別ワーク（小川） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業のテーマについて自分が気になったニュースを調べる（90分）</p> <p>11 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションを作成する（90分） 人々の暮らしを守る仕組みと現状 ―社会保障制度（小川） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業のテーマについて自分が気になったニュースを調べる（90分）</p> <p>12 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションを作成する（90分） 人々の暮らしを守る仕組みと現状 ― 医療保険制度、介護保険制度、地域包括ケアシステム（小川） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分）</p> <p>13 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分） 人々の暮らしを守る仕組みと現状 ― 年金制度、高齢者福祉（小川） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分）</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分） 人々の暮らしを守る仕組みと現状 ― 児童福祉制度と子どもをめぐる現状（小川） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分）</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分） 人々の暮らしを守る仕組みと現状（まとめ）（小川） 環境と健康に関する課題（まとめ）（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 今日の子どもをめぐる問題に対して、施策やNPOの動き等を収集し、ノートにまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義と演習から得た知識を文献や資料と照合しノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに、毎回の授業で発表、討議する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：40% 評価基準：リフレクションペーパーに学んだことと質問を適切に記述することができる 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤</p> <p>評価方法：プレゼンテーション 評価割合：60% 評価基準：資料作成とプレゼンテーションを行い、他の受講者に理解させることができる 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を配布予定。
実務経験のある教員による授業	生物・生態の研究者と看護管理の経験者・研究者である教員による授業
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは初回の講義で通知します。質問時は事前にメール連絡して下さい。 連絡先は、kkinoshita@soei.ac.jp（木下）、mogawa@soei.ac.jp（小川）
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
國領 佳樹			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要 な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	「倫理とは」「倫理学とは」について概説する。人間の自己理解の歴史的諸類型、およびその視点に影響を与えた思想的・社会的背景について学習する。また、ひとの命の大切さや人が自由で平等であることの真の意味を理解し、それをどのように守るべきかを考え、差別を生みださないようにするため、学習を通して倫理的態度を学ぶ。		
履修目標	<p>① 基本的な倫理学概念を理解し、倫理学の主要な立場を理解できる。</p> <p>② 現代社会の問題について、倫理学の原理に基づいて検討することができる。</p> <p>③ 自分自身の経験を振り返りつつ、自身の考える倫理について倫理学的概念を用いて論述することができる。</p> <p>④ 自分や他人の意見に対して批判的な視点で検証する態度をとることができる。</p> <p>⑤ 医療現場や教育・保育現場において想定される倫理課題についての自分なりの倫理的姿勢をイメージできる。</p> <p>※適宜加減してください。</p>		
授業計画・授業外学修課題	1	<p>ガイダンスとイントロダクション：倫理学とは何か          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）          授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p>	
	2	<p>結合性双生児のケースから倫理学へ          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）          授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p>	
	3	<p>嘘をつくことは道徳的に悪いのか          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）          授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p>	
	4	<p>病名告知の事例から二つの倫理学的立場を確認する          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）          授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p>	
	5	<p>倫理の境界事例を考える（1）将来の見込みが不確かな嬰兒のケース          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）          授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p>	
	6	<p>倫理の境界事例を考える（2）もはや将来の見込みのない子供のケース          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）          授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p>	
	7	<p>自殺と安楽死          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）          授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p>	
	8	<p>積極的安楽死の四つの論点          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）          授業内容を自分のノートにまとめる（60分）</p>	

	9	テクノロジーの倫理 (1) 遺伝子組み替え作物 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく (60分)
	10	授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を自分のノートにまとめる (60分) テクノロジーの倫理 (2) 脳科学 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく (60分)
	11	授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を自分のノートにまとめる (60分) テクノロジーの倫理 (3) フェイクニュース 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく (60分)
	12	授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を自分のノートにまとめる (60分) 性差別とは何か 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく (60分)
	13	授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を自分のノートにまとめる (60分) 人種差別とは何か 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく (60分)
	14	授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を自分のノートにまとめる (60分) ベジタリアニズム 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく (60分)
	15	授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を自分のノートにまとめる (60分) 総括：倫理学の全体像 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく (60分)
		授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を自分のノートにまとめる (60分)
アクティブラーニングを用いた授業方法		グループディスカッションを行う。
課題のフィードバック方法と時期		毎回授業の最初に前回授業のリアクションペーパーを紹介し、それにコメントする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：レポート 評価割合：70% 評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば 70点 履修目標との対応：①②④⑤  評価方法：その他 (リアクションペーパー、授業内課題など) 評価割合：30% 評価基準：授業内容に関連するコメントや疑問点を自分なりに書くことができれば 30点 履修目標との対応：③ ※適宜追加してください
テキスト・参考文献・その他 (必要物品など)		授業内でプリントを配布します。参考文献は授業内で適宜指示します。
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先		kuromejiro@rikkyo.ac.jp
備考		授業への主体的な参加を期待します。私語は厳禁です。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
小林 成彬			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	人間の創りあげる文化は、時代と地域を超えた普遍性と、完結することのない多様性を備え、私たちが現実社会の困難な課題を理解し、乗り越えるための力を与えてくれる。自国と他国の文化の相違点・類似点・相互の影響を考えながら、共通の課題に共に取り組んでいるような方法を学ぶ。		
履修目標	<p>①日本と世界が直面する課題を文化（小説、映画、グラフィックノベル、絵本など）を通して具体的に考えることができる。</p> <p>②国際的な視点に立って、多様性と包摂性のある社会をいかに実現するか、自分のこととして考えることができる。</p> <p>③教育・看護の現場で国際化に対応する能力を育てる。そのために、比較文化の知見を活用できる。</p> <p>④課題解決のためのキーワードを身につける。</p> <p>⑤自分の考えを口頭と文章で表現できるようになる。</p>		
授業計画・授業外学修課題	1	<p>イントロダクションー「比較文化論」への招待 本講義の概要を説明する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 比較文化について自分なりに調べてくる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に指示した文献を読み、映像を視聴する（90分）</p>	
	2	<p>「わかりやすさ」と「むつかしさ」ー映画を解体する 慣れ親しんでいる映画を「主題論的批評」の手法を用いて観ることを学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 主題論的批評について調べてくる（90分）</p>	
	3	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分の好きな映画を見て主題論的批評を实践する（90分）</p> <p>解体と構築ー物語を想像／創造する 物語性の小さな映画の存在理由を考え、映像における身体表現について学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「ダンス」について調べてくる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 身体表現と物語の関係について考える（90分）</p>	
	4	<p>記憶と物語ー歴史のカタストロフィから考える（1） 東日本大震災についてのドキュメンタリー映画や詩から、「物語」の発生について考える。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 東日本大震災についてこれまでに学んできたことを振り返る（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分）</p>	
	5	<p>パレスチナ問題についてー歴史のカタストロフィから考える（2） 世界における紛争地域について学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） パレスチナ問題について自分なりに調べてくる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分）</p>	
	6	<p>アフリカを生きる医師たちー歴史のカタストロフィから考える（3） コンゴの医師ムクウェゲの活動を学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） ムクウェゲ医師について調べてくる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分）</p>	
	7	<p>女性差別の現状についてーフェミニズムから比較文化論を考える（1） 日本と世界の女性差別の現状について学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 女性差別について調べてくる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分）</p>	

8	<p>女性差別と人種差別——フェミニズムから比較文化論を考える（2） 第三世界フェミニズムについて岡真理の評論文『彼女の「正しい」名前とは何か』を通して学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 岡真理『彼女の「正しい」名前とは何か』を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分）</p>
9	<p>他者と出会うこと——フェミニズムから比較文化論を考える（3） 前回授業に引き続き、岡真理『彼女の「正しい」名前とは何か』を読む。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 岡真理『彼女の「正しい」名前とは何か』を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分）</p>
10	<p>大江健三郎とは誰か——比較文化論最前線への招待（1） 日本のノーベル賞作家大江健三郎について学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大江健三郎について調べてくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分）</p>
11	<p>ヒロシマとは何か——比較文化論最前線への招待（2） 原爆問題について小説や映像から学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） この史代『この世界の片隅で』を漫画あるいは映画で触れる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分）</p>
12	<p>沖縄について考える——比較文化論最前線への招待（3） 沖縄問題について小説や映像から学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小林成彬「遅れてきた大江健三郎」を読む（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分）</p>
13	<p>火あぶりにされたサンタクロース——クリスマスと比較文化 サンタクロースの起源について紹介するとともに、文化人類学について考える。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） サンタクロースの歴史について自分なりに調べてくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分）</p>
14	<p>レポートの作成方法について 期末試験のレポートを作成するにあたっての注意点やその作成方法について学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） これまでに学んだことを自分なりに表現するにはどうすればいいかを考える（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分）</p>
15	<p>まとめ 比較文化論とは 期末試験レポートを作成する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 期末試験レポートの作成を行う（180分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループ・ディスカッションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	リアクション・ペーパーのフィードバックは、次回授業時に行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：筆記試験 評価割合：50% 評価基準：授業で学んだことを理解し自分を意見を記述できていれば60点。 履修目標との対応：①②③④⑤</p> <p>評価方法：リアクション・ペーパー 評価割合：50% 評価基準：授業で学んだことを理解し自分の意見を記述できていれば60点。 履修目標との対応：①②③④⑤</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：毎回パワーポイントを使用し、必要に応じて補足資料を配布する。 参考文献：授業時に随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	非該当
オフィスアワー・連絡先	火曜5限前後の時間／eventuellement28@gmail.com
備考	多くの作品を紹介する予定です。映画や小説、漫画などの文化に関心を持っているか、関心をもちたいと考えている人を歓迎します。また、日頃からニュースなどをよく見て下さい。授業中のグループワークに積極的に

参加を望みます。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
柳澤 泰			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人		
履修条件			
授業概要	日本国民として知っておかなければならない国民の権利・義務や国の基本的な統治形態など、日本国憲法の総合的理解と憲法の内容について学ぶ。また憲法に謳っている国民に主権があることや天皇制の仕組み、国会や内閣、裁判制度の知識を通じて教育及び現代社会の問題について学習する。		
履修目標	①「法」の全体的な体系、基本を理解し法的なもの（リーガルマインド）を見方（リーガルマインド）を身につける。 ②憲法（特に基本的人権）、民法、刑法などの基本法が生活とどのように関わりあっているのかを理解し、それを説明できる。 ③憲法や法律と生活の関連を理解し、事例を通して教育及び現代社会の問題について考え、説明することができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	争いを解決する手段としての民事訴訟、刑事訴訟法 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）	
	2	「法」とは何か、「法」にはどのようなものがあるか。「憲法」「民法」「刑法」とは何か。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）	
	3	日常生活と人権、契約、犯罪① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）	
	4	日常生活と人権、契約、犯罪② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）	
	5	憲法、民法、刑法の適用場面と基本原則 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）	
	6	人権宣言の歴史 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）	
	7	基本的人権の特性、根拠 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	

8	<p>配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する (90分)</p> <p>日本国憲法の構造 (国民主権、権力分立、違憲法令審査権)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する (90分)</p> <p>9 表現の自由とプライバシー権 (宴のあと事件)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する (90分)</p> <p>10 表現の自由の価値と知る権利</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する (90分)</p> <p>11 プライバシー権とは何か</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する (90分)</p> <p>12 現代におけるプライバシー権のとらえ方</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する (90分)</p> <p>13 医療現場における裁判 (エホバの証人輸血損害賠償事件) ①—判決の構成、損害賠償請求の法的根拠—</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する (90分)</p> <p>14 医療現場における裁判 (エホバの証人輸血損害賠償事件) ②—訴訟における争点は何か—</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する (90分)</p> <p>15 医療現場における裁判 (エホバの証人輸血損害賠償事件) ③—争点についての裁判所の判断—</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する (90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	感想カードのフィードバックを次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：筆記試験、平常点評価 評価割合：筆記試験：70%、平常点評価：30% 評価基準：筆記試験：設問に対し、授業の内容を理解した上での解答がなされていれば80% 平常点評価：感想カードに授業の内容を踏まえた自身の意見や疑問点等が記載されていれば</p>

	80% 履修目標との対応：筆記試験：①②③、平常点評価：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：ポケット六法（有斐閣）
実務経験のある教員による授業	該当：担当教員は弁護士であり、適宜裁判等の実務についても言及します。
オフィスアワー・連絡先	感想カードの質問についてはできるだけ次回の授業で回答しますが、全ての質問に回答することは難しいので、授業後に直接質問に来てください。
備考	出席は感想カードの提出により取ります。平常点も感想カードの記載内容を評価します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
武井 博美/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。		
履修条件			
授業概要	文学は、言語能力を滋養し、分析力を深化し、想像力を高め、幅広く人間を理解することに役立つ学問である。本の中で間接体験をすることが、他者への共感を可能にし、ひいては自己を振り返るきっかけとなる。ひとつの物語を足がかりに、自分を取り巻く世界が無限に広がっていく過程を楽しめるよう、作品との向き合い方を具体的に学ぶ。		
履修目標	① 他者(評論のみならず、同じクラスの受講生なども含む)の意見に触れ、作品を多角的に捉えようとする姿勢を身につける。 ② 作品を分析し、自分の意見を論文にまとめられるようにする。		
授業計画・授業外学修課題	1	<p>ガイダンス 論文と、作文・感想文・エッセイ等の文章との違いについて</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「論文」「作文」「感想文」「エッセイ」「レビュー」の各特徴を文献やインターネットを利用して調べる。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 文学作品に関する「論文」とはどのような特徴があるか、感想文とは何が違うのかということ、ノートに整理してまとめる。(90分)</p>	
	2	<p>作品精読① フランスの童話「美女と野獣」の登場人物の分析</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） ディズニーのアニメーション映画『美女と野獣』についてインターネットで調べ、あらすじを書いてくる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） フランスの原作「美女と野獣」の第1段落目で得られた情報をまとめる。(90分)</p>	
	3	<p>作品精読② 童話「美女と野獣」における心象風景について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 童話「美女と野獣」の15ページまでについて、得られた情報を整理しまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 「心象風景」「二項対立」等の用語についてノートにまとめる(90分)</p>	
	4	<p>作品精読③ ディズニーの映像作品との違い</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 童話「美女と野獣」の21ページまでについて、得られた情報を整理しまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 映像作品と文字作品の違いについてまとめる(90分)</p>	
	5	<p>作品精読④ ファンタジーとリアリズムについて</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 童話「美女と野獣」の中で、写実的な描写と想像性の高い描写をそれぞれ抜き出す(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 原稿用紙の使い方に関するプリント資料を整理しまとめ、レポートに備える(90分)</p>	
	6	<p>中間レポート作成、ならびに発表 発表とクラスディスカッション</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 400字詰め原稿用紙5枚程度のレポートを作成する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分の意見だけではなく他の受講生の意見も踏まえたうえで作品を読み直す(90分)</p>	
	7	<p>作品精読⑤ 文献検索、引証資料について</p>	

8	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） アメリカの短編作品「くじ」を読み、第1段落目で得られた情報を書き出す(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） インターネットや図書館を利用し、文学作品に関する論文「作品論」にどのようなものがあるかを確認する(90分)</p> <p>作品精読⑥ 悲劇と喜劇、それぞれの文学的特徴について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編「くじ」の登場人物リストを作り、各人物の特徴を書き出す(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 登場人物の関係性について整理し、それぞれの役割をまとめる(90分)</p> <p>作品精読⑦ 短編小説の発生とその特徴</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編小説がいつ頃発生し、具体的にはどのような特徴があるかをインターネット等を使って調べる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 短編「くじ」について作品のテーマをまとめてレポート課題に備える(90分)</p> <p>作品精読⑧ 作者と作品について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編「くじ」において重要だと思われる箇所を抜き出し、状況の説明と簡単な考察を書き加える(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 作品のポイントをまとめ、レポートのアウトラインを作る(90分)</p> <p>中間レポート作成、ならびに発表 発表とクラスディスカッション</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編「くじ」について400字詰め原稿用紙5枚程度のレポートを書く(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分の意見だけではなく他の受講生の意見も踏まえたうえで作品を読み直す(90分)</p> <p>作品精読⑨ 一人称小説と三人称小説について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編作品「窓辺の灯」を読みストーリーを理解する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 一人称小説と三人称小説の違いやそれぞれの特徴について整理しまとめる(90分)</p> <p>作品精読⑩ 作品理解に必要な項目を各自がリサーチし発表</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編「窓辺の灯」の登場人物の特徴を書き出す(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 作品に登場する猫の役割について整理しまとめる(90分)</p> <p>作品精読⑪ 「論文」の書き方について注意点の確認</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編「窓辺の灯」のレポート課題に向けてアウトラインを作成する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 感想文や作文ではなく論文を書くための注意点を復習する(90分)</p> <p>まとめ 最終レポートの内容をクラスで発表</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編「窓辺の灯」について400字詰め原稿用紙5枚程度のレポートを書く(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 論理的に作品を分析する方法について復習する(90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	この授業ではアクティブ・ラーニング(討議・討論 / プレゼンテーション)を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	授業時にコメントする他、レポートを添削して後日返却する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	詳細についてはルーブリック参照のこと。

<p>修到達目標との対応</p>	<p>評価方法： 中間レポート          評価割合： 30パーセント          評価基準： 作品の引用を入れながら客観的な書き方ができていれば60点。          履修目標との対応： ①、②</p> <p>評価方法： 発表          評価割合： 10パーセント          評価基準： 作品のテーマが明確に示されていれば60点。          履修目標との対応： ①、②</p> <p>評価方法： 最終レポート          評価割合： 60パーセント          評価基準： 客観的かつ論理的な分析ができている等、論文としての体裁が整っていれば60点。          履修目標との対応： ①、②</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>テキストは使用せずプリントを配布予定。横書きの400字詰め原稿用紙の購入が必要。</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>htakei@soei.ac.jp</p>
<p>備考</p>	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	選択
担当教員			
渋谷 聡 田中 宏樹			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人		
履修条件	特になし		
授業概要	生涯スポーツは、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、全ての人々がスポーツを楽しむことによって、健康の保持増進や生きがいを見出すことができると考えられる。 生涯スポーツの中で、健康の保持増進を目的としたスポーツを健康スポーツという。本授業では、「するスポーツ」、「支えるスポーツ」を体験することによって、心身の健康とは何かということや学修するとともに、自分たちでオリジナルのスポーツを考えることによって情報収集・分析力、論理的思考力、対人コミュニケーションスキルを高めていくことを目的とする。		
履修目標	①他者と協力してスポーツを実践することができる（対人コミュニケーション力）。 ②スポーツを実践することによって、自身の課題と解決策を述べるができる（論理的思考力）。 ③既存スポーツのルールや道具を工夫することによって、情報を収集し、分析することができる（情報収集・分析力）。 ④スポーツの楽しみ方を人に伝えることができる（プレゼン力）。		
授業計画・授業外学修課題	1	この科目（健康スポーツB）の概要を理解し、健康スポーツの必要性を学ぼう 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：シラバスを通して、この科目の概要を確認しておく（30分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）：競技スポーツと生涯スポーツ（健康スポーツ含む）の違いについて調べる（30分）	
	2	ゴール型スポーツ①フラッグフットボール① フラッグフットボールのボールの扱い方やパスの仕方などの基本技能を学ぶ  授業外事前学修課題：課題内容（時間）：フラッグボールの歴史について調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：オリンピック種目や体育授業への導入の経緯を調べる（30分）	
	3	ゴール型スポーツ①フラッグフットボール② オリジナルルールを通して、フラッグフットボールの戦術を学ぶ  授業外事前学修課題：課題内容（時間）：フラッグボールのルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：オフenseとディフェンスの攻防について調べる（30分）	
	4	ゴール型スポーツ①フラッグフットボール③ 決められた先日から役割を決め、簡易ゲームで得点できるよう戦術を遂行する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）：ラグビーとフラッグフットボールの違いを調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：ディフェンスのパターンに応じた戦術を数種類考える（30分）	
	5	ゴール型スポーツ①フラッグフットボール④ 正規のルールの則って、チームが勝つための戦術を考え、実践する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）：フラッグフットボールで勝つためのポイントを調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：戦術をうまく遂行できなかった要因を探り、改善策をまとめること（30分）	
	6	ゴール型スポーツ②サッカー 足で操作する難しさの難易度を調整し、チームメイトと協力する楽しさを学ぶ  授業外事前学修課題：課題内容（時間）：サッカーの歴史とルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：様々なカテゴリーのサッカーについて調べる（30分）	
	7	複合型スポーツ ドッチボール 道具やルールを工夫して、対象者の特徴やニーズに合わせたスポーツの楽しみ方を学ぶ  授業外事前学修課題：課題内容（時間）：ドッチボールの歴史やルールについて調べておく（30分）	

8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）：競技ドッチボールやドッチビーのルールを調べる（30分） ネット型スポーツ①バドミントン ラケットをうまく操作し、ラリーを続ける楽しさやシャトルをコントロールする面白さを学ぶ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）：バドミントンの歴史やルールについて調べておく（30分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）：初心者と経験者の動きの違いを調べる（30分） ネット型スポーツ②ソフトバレーボール ソフトバレーボールを実践することによって、ラリーを続ける楽しさを学ぶ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）：ソフトバレーボールの歴史やルールについて調べておく（30分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）：ソフトバレーボールとバレーボールの違いについて調べる（30分） ネット型スポーツ③バレーボール 自分たちが楽しいと思うルールや道具の工夫を通して、バレーボールの楽しさを学ぶ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）：バレーボールの歴史やルールについて調べておく（30分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）：対象者別のバレーボールの楽しみ方を調べる（30分） アダプテッドスポーツ①シッティングバレーボール シッティングバレーボールを実践することによって、その楽しさや難しさを学ぶ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）：シッティングバレーボールの歴史やルールについて調べておく（30分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）：自分自身の課題とより楽しむ方法を調べる（30分） アダプテッドスポーツ②：ボッチャ ボッチャを実践することによって、アダプテッドスポーツ、パラスポーツとは何かといことを考える</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）：ボッチャの歴史やルールについて調べておく（30分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）：他のターゲット型スポーツとボッチャの違いを調べる（30分） 楽しいスポーツを考えよう これまで実践してきたスポーツの振り返りを含め、楽しいスポーツを考える</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）：これまで実践してきたスポーツの楽しさ、難しさを整理しておく（30分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）：評価規準と照らし合わせて、条件をよりみやす方法を整理する（30分） 楽しいスポーツをプレゼンしよう 前時間で考えたスポーツをプレゼンする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）：様々なプレゼンテーションの方法を調べる（30分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）：プレゼンテーションの振り返りをまとめる（30分） 楽しいスポーツを実践しよう 前時間でプレゼンを行った内容をクラスメイトを対象に実践する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）：考えたスポーツを実践するための準備を行う（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：実践したスポーツ指導の振り返りをまとめる（30分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	適宜、グループワークやプレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	初回のオリエンテーションで各時間の内容および事前課題を伝え、毎授業後に振り返りを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：試験（プレゼン、実践指導） 評価割合：25% 評価基準：プレゼン（楽しさ、オリジナリティ、役割分担、プレゼン力）、指導実践（安全管理、遂行力）を段階的に評価する。 履修目標との対応：③、④</p> <p>評価方法：平常点（対人コミュニケーションスキル含む） 評価割合：60% 評価基準：積極的に授業に参加し、クラスメイトと積極的に関わることを求める。 履修目標との対応：①</p> <p>評価方法：振り返り 評価割合：15% 評価基準：毎時間、自分自身の課題と解決策をまとめることができること。</p>

	履修目標との対応：②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：テキストは使用せず、毎回必要に応じて資料を提示する。 参考文献：各時間に必要な情報を適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	教育機関での体育授業の指導経験や、様々なスポーツ指導の経験をもとに、多様なニーズに合わせたスポーツの楽しさを学修させることができる。
オフィスアワー・連絡先	
備考	毎時間、運動着と室内用スポーツシューズを用意すること。 毎時間、出席確認と振り返りを行うことから、スマートフォンを持参すること。ただし、必要な時以外はスマートフォンを使用しないこと。 必要に応じて、クラスルームを活用することから、必ずクラスルームに入室すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
武井 博美/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし。		
授業概要	幼児教育の現場で必要となる実践的な会話力と専門的な文献を読むための読解力を向上させることを目指す。専門分野に関するエッセイや文献を精読し、アカデミック・リーディングの手法を学習する。修得した語彙を用いながら会話文例を作成し、会話練習を行う。		
履修目標	① こどもに直接関わる英語表現(幼児の体調や機嫌に関する表現など)を修得する ② 保育の現場で役立つ英語表現(電話の応答や場所案内など)を覚える ③ 保育の現場で用いることになる書類(家庭調査票など)を英語で書くことができるようになる		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス e-learning の説明と登録作業  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書全体に目をとおしておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） e-learningの説明を読み、レベル診断テストを行う（90分）	2
	2	からだの不調を表す会話表現① Unit 11 (pp. 60-62)  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子どもが怪我をした時に用いる単語やフレーズを暗記する（90分）	3
	3	からだの不調を表す単語② Unit 11 (pp. 63-64)  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子どもが体調不良の時に用いる単語やフレーズを暗記する（90分）	4
	4	電話での対応の仕方 Unit 11 (pp. 65)、 Unit 12 (p. 66)  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 医薬品に関する単語やフレーズと、電話にまつわる基本表現を暗記する（90分）	5
	5	電話での対応練習 Unit 12 (pp. 67-68)  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 保育者と保護者との基本的な電話での会話表現を暗記する（90分）	6
	6	留守番電話 Unit 12 (p. 69)  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 留守番電話のメッセージに関する英語表現を暗記する（90分）	7
	7	外国人の子どもの母語について・障害児保育に関する英語表現 「参考資料」 (pp. 88-89)  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる（90分）	

8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノーマライゼーションについて整理し、ノートにまとめる(90分)</p> <p>辞書の使い方①</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布プリントを読み、練習問題を解く(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） プリントに載っている単語を覚える(90分)</p> <p>9 辞書の使い方② 応用</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布プリントを読み、色々な単語を辞書で実際に調べてみる(90分)</p> <p>10 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 辞書で用いられる記号について整理し、ノートにまとめる(90分)</p> <p>感情表現（会話） Unit 6 (pp. 32-33)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)</p> <p>11 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 感情表現に関する単語やフレーズを暗記する(90分)</p> <p>道案内（会話） Unit 4 (pp. 22-25)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)</p> <p>12 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 道案内に必要なフレーズを暗記する(90分)</p> <p>道案内（単語） Unit 4 (pp. 26-27)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)</p> <p>13 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 道案内に必要な単語を暗記する(90分)</p> <p>体の部位や幼稚園・保育所で使う道具の英語表現 Unit 10 (pp. 54-59)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 身体のパーツや保育室の道具類などの単語を暗記する(90分)</p> <p>幼児教育の現場で用いる家庭調査票にまとめ方 Unit 2 (pp. 12-13)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 家庭調査票で用いられる単語やフレーズ(アレルギーの有無等)を暗記する(90分)</p> <p>まとめ 保育に関する英会話とは</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書全体に目を通し、忘れていた単語やフレーズがないかどうか確認する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを再確認する(90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	この授業ではアクティブ・ラーニング(討議・討論 / プレゼンテーション)を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	毎回の小テストのすぐあとに解説を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法： 小テスト 評価割合： 80% 評価基準： 10点満点中6点を取れば60点 履修目標との対応： ①、②、③</p> <p>評価方法： 発表 評価割合： 20% 評価基準： 事前に暗記してきたフレーズを声に出して言えば60点 履修目標との対応： ①、②</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト：『保育の英会話』（萌文書林） 授業時には英和辞典(電子辞書でも可)を毎回持参すること。</p>

実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	htakei@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
韓 梨恵			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。		
履修条件			
授業概要	「グローバル化」が進む現代社会において、隣接する地域・国家とのコミュニケーションを円滑にすることはますます重要視されている。日本と朝鮮半島との交流には長い歴史があり、経済・社会・文化といった多岐に渡る分野で関りを持ってきた。この授業の目的は、言語や会話の基本的な表現の修得をすると同時に、文化・社会事情も含めた多角的な知識を身に着けることによって、朝鮮半島をより深く理解できるようにすることにある。		
履修目標	①ハングルの読み書きを修得する。 ②ハングルの発音法則を理解して活用できるようにする。 ③韓国語の基本手kな挨拶と自己紹介を修得する。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス 韓国語ってどんなことば？ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 初回ガイダンスの内容を理解するとともに、テキストを予習する（180時間）	
	2	あいさつはいつでもアンニョンハセヨ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） あいさつを復習する（90分）	
	3	母音を学ぼう 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 母音を復習する（90分）	
	4	子音を学ぼう① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子音を復習する（90分）	
	5	子音を学ぼう② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子音を復習する（90分）	
	6	合体する母音を学ぼう① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 合成母音を復習する（90分）	
	7	合体する母音を学ぼう② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 合成母音を復習する（90分）	
	8	濃音を学ぼう 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子音を復習する（90分）	
	9	激音を学ぼう 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子音を復習する（90分）	
	10	パッチムを学ぼう① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） パッチムを復習する（90分）	

	<p>11 パッチムを学ぼう② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） パッチムを復習する（90分）</p> <p>12 文化に触れよう① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習する（90分）</p> <p>13 文化に触れよう② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習する（90分）</p> <p>14 映像から学ぼう① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習する（90分）</p> <p>15 映像から学ぼう② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習する（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	この授業は、ディスカッションやグループワークなどの、アクティブ・ラーニングを取り入れます。
課題のフィードバック方法と時期	毎週、前回の授業内容の理解度を図るための小テストを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：筆記試験 評価割合：40 評価基準： 筆記試験：教科書及び配布資料に記された単語と構文の意味がわかれば70点 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：平常点評価 評価割合：30 評価基準： 平常点評価：授業時にルーブリックを配布します 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：その他 評価割合：30 評価基準： その他：小テスト（合計点数が満点の8割以上で60点） 履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	朴大王・李賛任『韓国語入門』白帝社、2014年
実務経験のある教員による授業	該当なし。
オフィスアワー・連絡先	kingyosou0305@gmail.com
備考	毎週実施する小テスト及び試験では、基本的な文字・文法・語彙の習熟度をはかる。そのための予習・復習併せて1時間以上の学習を要する。教材指定の音声を繰り返し聞きながら話して覚えることが期待される。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
柴田 まり子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要 な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用 できる能力を有する 人。		
履修条件	特になし		
授業概要	英語と並び、国際機関等で重要な役割を果たしているフランス語の基礎を学ぶ。同時に、文学・建築・映画、シャンソン・バレエ・料理・ワイン・スイーツ等、独特の文化が魅力のフランスについて基礎的な知識と背景を学習する。英語圏文化とは一味違った西洋文化の根幹に触れ、学生の視野を広げる一助としたい。		
履修目標	①フランス語の発音の仕組みを理解し、簡単な文章を音読できる。 ②初歩の文法事項を理解し、簡単な文であれば読んだり、書いたり、話したり、聞いたりすることができる。 ③日常会話に必要な簡単な表現を覚え、簡単な会話ができる。 ④簡単な自己紹介ができる。 ⑤フランス語圏の文化や習慣に興味を持ち、異文化を理解する。		
授業計画・授業外学修課題	1	<p>Leçon 0 : ガイダンス、フランスについてのクイズ／アルファベの読み方と簡単な挨拶 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 身の回りにあるフランス語を探してみる（30分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） アルファベの音読や簡単な挨拶など、学習したことの復習と挨拶文を暗記する（120分）</p>	
	2	<p>綴じ字と発音のしくみ／発音の規則、数字1～10まで／文化：パリに行こう 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる（120分）</p>	
	3	<p>Leçon 1 : 名前と職業を言う／主語の代名詞、動詞êtreの活用形、国籍を表す語／文化：挨拶の仕方 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分）</p>	
	4	<p>Leçon 2 : 国籍を言う／疑問文の作り方、-er動詞、国籍を表す語／文化：フランスの学生生活 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分）</p>	
	5	<p>Leçon 3 : 「これは何ですか」、カフェで注文／名詞の性と数、定冠詞と不定冠詞／文化：フランスのカフェ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分）</p>	
	6	<p>Leçon 4 : 好き嫌いの表現と家族について語る／aimerの活用形と程度を表す表現、avoir動詞と否定形、数字11～30／文化：フランス人の生活感 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分）</p>	
	7	<p>Leçon 5 : 年齢をいう／形容詞の性と数、形容詞の位置、所有形容詞／文化：フランス人の祝日と週末 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分）</p>	
	8	<p>Leçon 6 : 食事に誘う／指示形容詞、人称代名詞強勢形、aller, venirの活用形、前置詞と定冠詞の縮約形／文化：パリ近郊への1日の旅 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分）</p>	

9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） Leçon 7：予定をいう／疑問代名詞que、faireの活用形、近接未来／文化：クリスマスの表現</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） Leçon 8：モンサンミッシェルを訪れる／部分冠詞、命令文、感嘆文／文化：フランスの世界遺産</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） Leçon 9：天候を尋ねる／非人称構文、疑問形容詞quel／文化：フランスの地方都市</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） Leçon 9：時間を尋ねる、ショッピングをする／買い物の表現、服と靴のサイズ表記、数字40～100／文化：フランスのお店</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） 映画の中のフランス、フランス語／文化：フランス映画</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し、期末試験の準備をする（120分） 今まで学習したことの復習及び期末試験</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 期末試験の準備をする（120分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を振り返り、間違えた箇所を復習する（60分） 自己紹介のプレゼンテーション、レストランでの表現／文化：フランス料理</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の文を作り、発表の準備をする（120分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を振り返る（60分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	この授業では学生発表やグループワーク、会話練習など、アクティブ・ラーニングを取り入れます。
課題のフィードバック方法と時期	テストや課題等はその場で解説し、翌週の授業の最初に返却します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：期末試験 評価割合：50% 評価基準：学習した内容が理解できていれば60/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④</p> <p>評価方法：小テスト 評価割合：20% 評価基準：学習した内容が理解できていれば60/100点 履修目標との対応：① ② ③</p> <p>評価方法：平常点評価 評価割合：30% 評価基準：課題を忘れずに、授業内発表や授業中に積極的に参加し、発言できれば80/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	『トライ！フランス語』藤田知子 他 著 駿河台出版社 ISBN 978-4-411-00825-1 C1085 1800円＋税
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	授業中、あるいは授業前後に質問してください。
備考	授業計画に沿って進めていきますが、皆さんの様子を見ながらペースは調整します。家で、教科書にあるフランス語の会話文をもう一度声に出して読んでみたり、音源を聞いてみましょう。授業以外にフランス語を学ぶ機会として、ぜひ、テレビやラジオのフランス語講座などを視聴してみてください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
根本 徹/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	4 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	こどもたちの前に立って落ち着いて保育を進めていくために、模擬保育や幼稚園見学の意義、実習に臨むにあたっての心構えや園見学での観察の視点について学び、こども目線に立った保育を身に付けることを目的とする。
履修目標	①幼稚園、保育所、こども園の違いを説明することができる。 ②園や保育所に応じた保育活動の流れを、説明することができる。 ③幼稚園の見学の際の観察の視点を述べるができる。 ④各年齢の発達段階や季節に応じた模擬保育を計画立案し、実行することができる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 「幼児教育実地研究」のねらいと内容について/ 「幼児教育実地研究」の意義と授業目的、内容、今後の予定(模擬保育・幼稚園見学)について取り上げる(幼稚園見学希望のフォーム入力を含む)。幼稚園、保育所、こども園についての法律・制度上の違いを再確認するし、保育者に求められる資質能力とは何かを話し合い、発表を行う 幼少期の自己を想起し、「心に残る活動や出来事」、「保育者との思い出」、あるいは何もない理由について言語化しておく&lt;90分&gt; 見学を希望する園についての特徴、アクセスなどの概略を再確認したり、分担した模擬保育の計画についての具体案を数例ノートにまとめたりする&lt;90分&gt;</p> <p>2 「模擬保育」について(意義と内容)/ 製作活動とルールのある遊びの選択について、季節と各年齢(3歳児・4歳児・5歳児)による班別での(2人組あるいは3人組)活動計画を吟味する。(模擬保育は10分程度を予定) 保育現場で展開される「手遊び」「歌」「主活動(製作、ルールのある遊び)」について調べ、試す&lt;90分&gt; 模擬保育のねらいや価値、こどもにとっての楽しさや達成感、具体的な展開のための段取りについてノートにまとめる&lt;90分&gt;</p> <p>3 幼児の経験と育ち・幼稚園見学について/ 集団生活の意味やこどもの育ち、園の環境、観察の視点、現場に入るための基本的事項の理解、見学の心得(服装・持ち物等)を学ぶ。幼稚園ごとに分かれ、見学のテーマを発表し合う。 幼稚園と保育園、こども園の違いについて、法律・制度上の視点から調べる&lt;90分&gt; 保育園や各グループで見学する園の共通点や相違点を整理し、園見学の際の留意点や観察の視点についてノートにまとめる&lt;90分&gt;</p> <p>4 園での生活・多様な保育形態/ 園のデイリープログラム、幼稚園教育要領、神奈川県シェイクアウト訓練、幼児の終わりまでに育ててほしい10の姿を取り上げる。幼稚園、保育所、こども園の違い等についての理解度小テストで確認する。 見学する園の一日、一週間、年間の主な行事などとその近隣の保育園のプログラムをHPで比較しながら調べる&lt;90分&gt; 保護者や社会からの期待に応える幼稚園の様々なプログラム、保育実践についてノートにまとめる&lt;90分&gt;</p> <p>5 模擬保育①/ 5歳児秋・5歳児冬・5歳児春の模擬保育を行う。質疑応答や感想を発表する。 5歳の発達状況、5歳にふさわしい製作活動やルールのある遊びについて調べる&lt;90分&gt; 模擬保育に参加したり、模擬保育を提案したりしたことについての感想、改善点や参考になった点をノートにまとめる&lt;90分&gt;</p> <p>6 模擬保育②/ 5歳児夏・4歳児春・4歳児夏の模擬保育を行う。質疑応答や感想を発表する。 4歳の発達状況、4歳にふさわしい製作活動やルールのある遊びについて調べる&lt;90分&gt; 模擬保育に参加したり、模擬保育を提案したりしたことについての感想、改善点や参考になった点をノートにまとめる&lt;90分&gt;</p> <p>7 模擬保育③/ 4歳児秋・4歳児冬・3歳児春の模擬保育を行う。質疑応答や感想を発表する。 3歳の発達状況、3歳にふさわしい製作活動やルールのある遊びについて調べる&lt;90分&gt; 模擬保育に参加したり、模擬保育を提案したりしたことについての感想、改善点や参考になった点をノートにまとめる。&lt;90分&gt;</p> <p>8 模擬保育④/3歳児夏・3歳児秋・3歳児冬の模擬保育を行う。質疑応答や感想を発表する。 園見学にふさわしい身だしなみについて実際に確認する(1回目) 自分の園見学のめあてについて、改めて三つ程度に言語化したり、見学をする上での留意点について再確認したりしておく&lt;90分&gt; 模擬保育に参加したり、模擬保育を提案したりしたことについての感想、改善点や参考になった点をノートにまとめる。また、5歳と3歳への配慮点の差異、春と冬での計画上の配慮点についてもノートにまとめる&lt;90分&gt;</p> <p>9 修正した模擬保育の提案/ 5歳児春夏秋冬の修正した模擬保育を行う。質疑応答や感想を発表する。園見学にふさわしい身だしなみについて確認する(2回目) 模擬保育における四つの評価観点を再確認し、5歳の発達段階について、遊びを中心に調べ直</p>

	<p>しておく&lt;90分&gt;  模擬保育に参加したり、模擬保育を提案したりしたことについての感想、1回目よりも改善された点や、今後の課題や修正案についてノートにまとめる。&lt;90分&gt;  10 修正した模擬保育の提案/ 4歳児春夏秋冬の修正した模擬保育を行う。質疑応答や感想を発表する。  活動のPDSCサイクルについて確認し、4歳の発達段階について、遊びを中心に調べ直しておく&lt;90分&gt;  模擬保育に参加したり、模擬保育を提案したりしたことについての感想、1回目よりも改善された点や、今後の課題や修正案についてノートにまとめる。&lt;90分&gt;  11 修正した模擬保育の提案/ 3歳児春夏秋冬の修正した模擬保育を行う。質疑応答や感想を発表する。  活動のPDSCサイクルについて確認し、3歳の発達段階について、遊びを中心に調べ直しておく&lt;90分&gt;  模擬保育に参加したり、模擬保育を提案したりしたことについての感想、1回目よりも改善された点や、今後の課題や修正案についてノートにまとめる。差園見学のための持ち物や留意点を再確認する。&lt;90分&gt;  12 幼稚園参観/ 実際に幼稚園を見学し、こどもたちと遊んだり、先生方のお手伝いをしたりして、幼児教育の現場が果たす役割を学ぶ。  見学する園についてのアクセス方法、交通事情に対応するための複数のルート・所要時間、当日の天気情報や周辺イベントの確認&lt;90分&gt;  見学の実際について、五つの視点から整理し、「幼稚園見学ワークシート」に記入する&lt;90分&gt;  13 幼稚園参観/ 実際に幼稚園を見学し、こどもたちと遊んだり、先生方のお手伝いをしたりして、幼児教育の現場が果たす役割を学ぶ。  「幼稚園見学ワークシート」の見学のめあてを記入し、見学での五つの視点について確認しておく&lt;90分&gt;  見学で学んだことや感想を「幼稚園見学ワークシート」に記入する&lt;90分&gt;  14 幼稚園参観を通して、印象に残る体験や、戸惑ったこと、感心したこと、自己の今後の課題などについて、参観園ごとに知らせ合い、模擬保育での成果と課題を整理する。  幼稚園見学での印象に残る体験や、戸惑ったこと、感心したこと、自己の今後の課題などについて言語化しておく&lt;90分&gt;  情報交換を元にしなが、ら、「幼稚園見学ワークシート」を読み直し、表現や内容の推敲を行い提出に備える&lt;90分&gt;  15 模擬保育の課題と成果を言語化する/ 自身や他者の模擬保育の優れた点や改善点を話し合い、自分の教育実習に向けての意欲や課題を明確にする。  豊かな感性をこどもに育むために、保育者が出来ること、努めたいことなどについて調べ、自分の考えをノートにまとめる&lt;90分&gt;  模擬保育の動画を振り返り、他のグループのアイデアや季節感の捉え方、こどもへの配慮などについて整理し、ノートにまとめる&lt;90分&gt;</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークや討議とその発表、模擬保育についての自己評価、相互評価、園見学についての報告会などの課題解決学習を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学修は講義で発表し、意見交流に活用する。 模擬保育の実施前に筆記試験を行い理解度を確認する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業への取り組み（模擬保育の提案と相互評価、園見学の報告会）  評価割合：60%  評価基準：グループワーク等枠割を担って主体的に取り組み、年齢や季節に、園の様子に合致する発表ができれば80/100点  履修目標との対応：① ② ③ ④</p> <p>評価方法：リフレクションペーパー  評価割合：20%  評価基準：毎回リフレクションペーパーで授業で学んだことを記述できれば60/100点  履修目標との対応：① ② ③ ④</p> <p>評価方法：筆記試験  評価割合：20%  評価基準：課題の意味を理解し、適切に説明できれば80/100点  履修目標との対応：① ② ③ ④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	参考資料:幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型こども園保育・教育要領、幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開. 文部科学省(R3)
実務経験のある教員による授業	担当教員は小学校の教諭経験、教育実習生指導の経験があり、それを生かした演習を構成します。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別添参照してください。連絡先はtnemoto@soei.ac.jpです。
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお20分以内の遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。また、園見学（おおよそ半日見学：2コマ扱い）においては、遅参や参観に不適切な身だしなみを認めません。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
根本 徹/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	(2)対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人  (4)専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新しい課題を見だし、解決していく能力を有する人
履修条件	特になし
授業概要	こどもの生活・遊びは、こどもの発達に基づき、各領域の間で相互に関連性を持ちながら総合的に展開するものであることを理解する。保育内容の歴史の変遷について学び、保育者としての実践的な理解を深める。
履修目標	①保育内容とは何かを説明することができる。 ②各年齢の発達の特徴と保育内容を説明することができる。 ③保育内容の歴史の変遷を述べるすることができる。 ④保育の専門性の広さと保育者の役割を説明することができる。
授業計画・授業外学修課題	1 保育と保育内容（生活と遊びの関係） / 「保育とは何か?」「保育内容とは何か?」「遊びと生活の関連とは?」という視点から「保育内容総論」の概観を学ぶことの意義についてグループで話し合い、発表をする。 授業外事前学修課題：テキストの第1章をよく読んでおくこと（90分） 授業外事後学修課題：第1章を再読し、「保育とは何か?」「保育内容とは何か?」「遊びと生活の関連とは?」について要点をレポートにまとめる（90分） 2 乳幼児期の発達の特徴と保育内容/ 乳幼児期の発達の特徴を理解し、発達を踏まえた保育内容について保育内容を具現化した指導計画例を参考に理解を深める。 授業外事前学修課題：テキストの第2章をよく読んで、人物や語句について調べておくこと（90分） 授業外事後学修課題：第2章を再読し、乳幼児期の発達の特徴と保育内容についての要点をレポートにまとめる（90分） 3 乳幼児の発達と保育内容の実際（0歳から2歳） / 乳幼児の一つひとつの行動から子どもの気持ちを読み取り、基礎的な乳児の発達や保育現場での援助方法について学び（DVD視聴）、具体的な指導計画をグループで話し合い、発表を行う。 授業外事前学修課題：テキストの第3章をよく読んで、人物や語句について調べておくこと（90分） 授業外事後学修課題：第3章を再読し、0歳、1歳、2歳児の主な発達特徴と乳幼児期の発達の特徴と保育内容についての要点をレポートにまとめる（90分） 4 3歳児以降の保育内容/ 3歳、4歳、5歳児の保育内容とその展開について学び、具体例を基に保育者が各場面でどのように対応すれば良いかを話し合い、討議する。 授業外事前学修課題：テキストの第4章をよく読んで、人物や語句について調べておくこと（90分） 授業外事後学修課題：第4章を再読し、3歳、4歳、5歳児の主な発達特徴と乳幼児期の発達の特徴と保育内容についての要点をレポートにまとめる（90分） 保育内容と保育形態/ 園では、子どもの生活や活動の実情に応じて、あるいは、保育のねらいや内容などに応じて多様な保育形態によって保育が実践されていることをワークシーの作成を通して学ぶ。 授業外事前学修課題：テキストの第5章をよく読んで、人物や語句について調べておくこと（90分） 授業外事後学修課題：第5章を再読し、保育内容と保育形態について整理し、要点をレポートにまとめる（90分） 6 保育内容の歴史変容/ 日本の幼児教育の始まりや戦後の幼児教育について図表などの協働作成を通して理解する。 授業外事前学修課題：テキストの第6章をよく読んで、人物や語句について調べておくこと（90分） 授業外事後学修課題：第6章を再読し、日本の幼児教育の始まりや戦後の幼児教育について、要点をレポートにまとめる（90分） 7 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領との違い/ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の違いや歴史の変遷を各グループで調べ、発表する。 授業外事前学修課題：テキストの第7章をよく読んでおくこと（90分） 授業外事後学修課題：第7章を再読し、教育要領や保育指針、教育・保育要領の主な変遷についての要点をレポートにまとめる（90分） 8 乳幼児の環境と保育教材について/ これまでの保育活動の基本的内容を振り返りながら、具体的な乳幼児の保育教材活用の遊びに触れ、乳幼児の健全育成について捉える。 授業外事前学修課題：テキストの第8章をよく読み、また、近年のこどもを取り巻く環境について、報道メディア等で調べておくこと（90分） 授業外事後学修課題：第8章を再読し、日本の昔話やアンデルセン童話やイソップ童話等につい

9	<p>て1～2作品の素話ができるようにする (90分)</p> <p>幼児教育を取り巻く現状/ 虐待、待機児童、三間の喪失、「こしょく」等子どもたちを取り巻く環境が大幅に変化していることを新聞等の資料を基にグループ討議を行い、保育者の担う役割について発表する。</p> <p>授業外事前学修課題：こども家庭庁や文部科学省、厚生労働省や農林水産省の最近の施策、審議会の答申等について各省庁のHPで調べておくこと (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：こどもを取り巻く環境の変化とそれぞれの行政機関における取り組みについて要点をレポートにまとめる (90分)</p>
10	<p>保護者との連携/ 保護者と保育者間のコミュニケーションがうまく図られ、家庭と園それぞれの場における子どもの様子や教育方針などをお互いに知ることを通して、相互の理解と信頼に基づいた協力関係が成立することを理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：いくつかの園のHPを閲覧し、家庭との連携を意図した事例について調べておくこと (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：園における家庭との協力関係の構築事例やその工夫について要点をレポートにまとめる (90分)</p>
11	<p>家庭・地域・関係機関との連携/ 子どもたちに豊かな人間性や社会性など「生きる力」をはぐくむためには、学校、家庭、地域、関係機関等が果たすべき役割を自覚し、それぞれの教育力を生かすことが大切であることを理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：こどもの発達にかかわる各省庁、自治体のHPから、園内組織や外部機関・組織との連携について調べておくこと (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：迷惑施設としての園から、地域づくりの核となる園の運営について、要点をレポートにまとめる (90分)</p>
12	<p>学校教育の基礎とする幼児教育/ 幼児期の育ちが小学校以上の学校教育へどのようにつながるのか、教育の連続性という観点から理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：テキストの第9章を読み、小学校との連携が求められる背景について調べておくこと (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：教育の連続性、教育の機会均等、生涯学習、生涯発達論について要点をレポートにまとめる (90分)</p>
13	<p>保育者の専門性/ 専門性とは何かを実践家の例、文部科学省の報告書、内閣府やこども家庭庁の白書をもとに考え、「自分はこれから何をしていけばよいか (自分には何が足りないのか)」を話し合い、発表する。</p> <p>授業外事前学修課題：E. エリクソンの八つの発達課題やマズローの欲求段階説、ボルノーの教育思想などについて調べておくこと (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：発達心理学や教育哲学などを活かしながら、自己の理想とする保育者像について明確にし、レポートにまとめる (90分)</p>
14	<p>こどもの権利条約/ こども家庭庁が進める「こどもまんなか社会」の理念と日本国憲法やこどもの権利条約との関連を理解し、と改めて問い直すことでテキストの振り返りを行う。</p> <p>授業外事前学修課題：「こどもまんなか社会」やこどもの権利条約について調べておくこと (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：日本国憲法の制定後、80年ほど経つ最近になって、こどもに関する理想が保障され始めたことについての感想をレポートにまとめる (90分)</p>
15	<p>学びの集大成としての役割演技活動/ 保育の現状や保育の具体例、現場が求める保育者像などについて、こどもや保護者、保育者の立場から考え、これからの学びにつなげていく。</p> <p>授業外事前学修課題：テキストの第11章「こんな時どうする？」を読み、場面における対応について、いくつかの案を考えておく (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：こどもや保護者、園の方針やスタッフなどの多様性を意識しながら、これからの自己研鑽の方向についての要点をレポートにまとめる (90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークや討議とその発表、模擬活動、課題解決学習を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学修は講義で発表し、意見交流に活用する。 4回に1回のペースでの筆記試験を行い理解度を確認する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業への取り組み 評価割合：20% 評価基準：グループワーク等、枠割を担って主体的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④</p> <p>評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：30% 評価基準：毎回リフレクションペーパーで授業で学んだことを記述できれば60/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④</p> <p>評価方法：筆記試験 評価割合：50% 評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④</p>
テキスト・参考文献・その他 (必要物品など)	保育を学ぶシリーズ② 保育内容総論. 横山文樹・駒井美智子(編). 大学図書出版 増補改訂版(2021). ISBN:978-4-909655-45-5 参考資料: 子供・若者白書 (内閣府)、(仮称)こども白書(令和6～年. こども家庭庁)
実務経験のある教員による授業	担当教員は小学校の教諭経験、教育実習生指導の経験があり、それを生かした演習を構成します。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別添参照してください。連絡先はtnemoto@soei.ac.jpです。
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお20分以内の遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
棚澤 令子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	人は一生涯にわたり発達し続けるという生涯発達の考え方にに基づき、人の心理的発達について概観的に学んだ上で、特に、乳幼児期については、生涯発達の中での位置づけを知り、その重要性を認識できるよう、重点的に学ぶこととする。乳幼児期の発達の概観をしり、子どもへの理解を深める。また、発達過程における人との関わりあいの重要性、その中で育つ様々な側面について、保育者の役割、保育場面での援助の在り方につなげて学び理解する。		
履修目標	①人間の心身はどのように発達するのか 人間が生まれてから死に至るまでの発達の過程とメカニズムについて、生涯発達の観点から説明できる。 ②乳幼児期から老年期までの各発達段階でどのような経験をすることが重要なのか、＜生涯発達＞の視点からとらえ、人間理解についてのべることができる。 ③各発達段階における子どもたちの学びを支える保育者の援助の在り方を説明できる。		
授業計画・授業外学修課題	1	発達心理学とは何か 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	第4章を読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ノートの見直しを行いながら発達表をうめる（90分）
	2	遺伝と環境 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	第2章を読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ノートの見直しを行いながら発達表をうめる（90分）
	3	知覚の発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	第5章を読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ノートの見直しを行いながら発達表をうめる（90分）
	4	運動の発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	第6章を読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ノートの見直しを行いながら発達表をうめる（90分）
	5	認知の発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	第10章を読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ノートの見直しを行いながら発達表をうめる（90分）
	6	言語の発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	第10章を読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ノートの見直しを行いながら発達表をうめる（90分）
	7	情緒の発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	第7章を読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ノートの見直しを行いながら発達表をうめる（90分）
	8	社会性の発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	第9章を読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ノートの見直しを行いながら発達表をうめる（90分）
	9	動機づけの発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	第13章を読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ノートの見直しを行いながら発達表をうめる（90分）
	10	学習行動の理解①学習の成立と理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	第12章を読んでおく（90分）

	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ノートの見直しを行いながら発達表をうめる（90分）</p> <p>11 学習行動の理解②動機づけ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 第13章と第9回講義ノートを見直す（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ノートの見直しを行いながら発達表をうめる（90分）</p> <p>12 学習行動の理解③学習環境と集団 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 第3章を読んでおく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義を振り返りレポートを書く（90分）</p> <p>13 学習の進め方・学習方略 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 第10回～12回（学習行動の理解を見直す）（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 第13回の授業をまとめる（90分）</p> <p>14 保育者・教育者としての評価法 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 第13回について見直す（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 第14回講義をまとめる（90分）</p> <p>15 保育者の役割と援助 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 第14回講義を見直す（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 15回を通したまとめを行い発達表を提出する。（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	第10回までは毎回振り返り小テストを行う。第10回はまとめのテストを行う。第11回以降では、レポート提出課題・発達表提出。
課題のフィードバック方法と時期	小テストは毎回自己採点しながら振り返ります。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法： 小テスト・ファイナルテスト</p> <p>評価割合： 60%</p> <p>評価基準： 知識の定着を図る。6割以下の場合は、レポート課題を課して理解の補充を行う</p> <p>履修目標との対応： ①②③</p> <p>評価方法： レポート</p> <p>評価割合： 40%</p> <p>評価基準： 自らの考えを具体例を交えて論述できる</p> <p>履修目標との対応： ①②③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト：保育の心理学 一藝社 2020年発行</p> <p>講義ノートを配布します。各自ファイリングして管理してください。</p> <p>参考文献：随時紹介する</p>
実務経験のある教員による授業	乳児院・療育センター（心理職）での実務経験を講義にとりいれます
オフィスアワー・連絡先	不明点はrkurumisawa@soei.ac.jpまで、ご連絡ください。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
幸本 敬子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人
履修条件	特になし
授業概要	本講義では、子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解することを目的とする。保育所保育指針にも示されている、生命の保持と情緒の安定にかかわる保健活動の実際を学び、子ども一人一人の健康指標を理解する。さらに、子どもの身体発育や生理機能の発達、運動機能の発達と保健との関係について学習する。また、子どもの心身の健康状態とその把握方法について学修し、子どもの疾病とその予防法及び他職種間との連携・協働による適切な対応について理解する。
履修目標	①子どもの成長と発達を説明できる。 ②近年の小児保健に関わる状況を正しく理解し、問題点と課題を明確にできる。 ③健やかな子どもの成長発達および健康を促進するために必要な保育について考えることができる。 ④小児保健の視点から保護者（家族）および地域の関連機関との連携を考えることができる。
授業計画・授業外学修課題	1 オリエンテーション/子どもの健康と保健 授業外事前学修課題：子どもの保健に対する考え方（90） 授業外事後学修課題：我が国における子どもの権利（90） 2 子どもの成長・発達・発育 授業外事前学修課題：子どもの成長発達の概要（90） 授業外事後学修課題：発育評価ができるようになること（90） 3 子どもの身体の理解①呼吸 循環 消化 授業外事前学修課題：呼吸器・循環器・消化器の解剖と生理（90） 授業外事後学修課題：器官系の発育と発達の確認（90） 4 子どもの身体の理解②免疫 排泄 内分泌 神経 授業外事前学修課題：神経系・内分泌系の解剖と生理（90） 授業外事後学修課題：神経系の発育と発達の確認（90） 5 子どもの発達の理解①各領域の発達 授業外事前学修課題：情緒・社会発達の理論と生理（90） 授業外事後学修課題：情緒・社会とことばの発達の確認（90） 6 子どもの発達の理解 ②発達障害と支援 授業外事前学修課題：人間の脳 仕組み 発達障害（90） 授業外事後学修課題：発達障害の子どもに対する理解と対応（90） 7 子どもの健康状態の理解①健康観察と一般状態 授業外事前学修課題：子どもの健康観察の基本（観察ポイント）（90） 授業外事後学修課題：観察点と留意点を確認する（90） 8 子どもの健康状態の理解②健康診断と健康管理 授業外事前学修課題：定期健康診断（90） 授業外事後学修課題：保育園における健康管理の方法と留意点（90） 9 子どもの病気と対処法の理解①症状の特徴 授業外事前学修課題：子どもの不調およびその特徴（90） 授業外事後学修課題：不調を訴える子どもへの対応（90） 10 子どもの病気と対処法の理解②各症状への対応 授業外事前学修課題：子どもの不調およびその特徴（90） 授業外事後学修課題：不調を訴える子どもへの対応（90） 11 子どもの病気と対処法の理解 ③感染症 授業外事前学修課題：感染症に関する法律（90） 授業外事後学修課題：感染予防の原則・方法について確認（90） 12 子どもの病気と対処法の理解 ④代表的な疾患

	<p>授業外事前学修課題：子どもに多い疾患の理解 (90)</p> <p>授業外事後学修課題：子どもに多い疾患への対応 (90)</p> <p>子どもの病気の予防 予防接種</p> <p>授業外事前学修課題：予防接種に関する法律 (90)</p> <p>13</p> <p>授業外事後学修課題：保育所における予防接種に関する留意点 (90)</p> <p>地域保健活動と児童虐待への理解および対応</p> <p>授業外事前学修課題：我が国における児童虐待の動向 (90)</p> <p>14</p> <p>授業外事後学修課題：児童虐待予防にむけて保育士の役割 (90)</p> <p>子どもの健康と保育の環境 課題と整備</p> <p>授業外事前学修課題：我が国における子どもの保健施策と課題 (90)</p> <p>15</p> <p>授業外事後学修課題：保育所における整備を考える (90)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	毎回ではありませんが、教室内でのグループディスカッションや演習課題 (PBL) 等を行います。
課題のフィードバック方法と時期	可能な限り、授業内でのフィードバックを行います。 リフレクションペーパーのフィードバックは、当日の授業内もしくは次回の授業開始時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：筆記試験</p> <p>評価割合：85%</p> <p>評価基準：授業で学んだことを理解できれば 60 点。</p> <p>履修目標との対応：①～④</p> <p>評価方法：リフレクション・ペーパー</p> <p>評価割合：15%</p> <p>評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば 60 点。</p> <p>履修目標との対応：①～④</p>
テキスト・参考文献・その他 (必要物品など)	<p>テキスト：ミネルヴァ書房 松本峰雄 監修 小林玄 著 「子どもの保健と安全 演習ブック」</p> <p>※「子どもの健康と安全」と共通テキストとなります。</p>
実務経験のある教員による授業	看護系大学教員 (看護師・保健師・公認心理師免許所有) です。 また小児科・保育園看護師 (保健師) としての経験を生かした講義 (演習) を行います。
オフィスアワー・連絡先	学務課に連絡してください。
備考	<p>遅刻、早退、欠席等の取扱い：学則通り</p> <p>受講上の注意：飲食、スマートフォンの使用、写真撮影、録音・録画は禁止)</p> <p>資料の配布：毎回配布します</p> <p>出欠席をとる方法：毎回確認します。リフレクションペーパーの提出と合わせて出席とします。</p> <p>主体的・積極的な受講はより高い評価をしたいと考えています。 授業内およびリフレクションペーパーで是非、積極的に意見を述べてください。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
鈴木 明子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身につけ、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 4 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見出し、解決していく能力を有する人。		
履修条件	音楽基礎を履修していること		
授業概要			
履修目標	①季節の歌やあそび歌など「子どもの歌」について理解し、演奏できるレパートリーを増やし演奏できるようにする。 ②基本的な音楽要素や音楽の構造を理解し記述することができるようになる。 ③基本的な音楽要素や音楽の構造を理解し記述することができるようになる。		
授業計画・授業外学修課題	1	乳幼児の音楽的表現について事例から理解する 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/乳幼児向けとされる「子どもの歌」の題名をノートにまとめる（90分）	
	2	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/年齢別の音楽行動をノートにまとめる（90分） 「出会い」の音楽遊び 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/保育施設で歌われているあいさつの歌を調べる（90分）	
	3	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/習った音楽遊びの良さをノートにまとめる（90分） うたで遊ぼう 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/幼少の頃、歌った歌を思い出しノートに書き出す（90分）	
	4	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/遊び歌をイラスト付きにしてノートにまとめる（90分） 季節のうた 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/知っている季節の歌を歌えるようにしておく（90分）	
	5	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/習った季節の歌を歌う（90分） コードネーム（メジャー） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/「音楽基礎」で習ったこどものうたのコード伴奏を振り返っておく（90分）	
	6	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/新しい曲の伴奏を鍵盤で確認する（90分） コードネーム（マイナー） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）短調の子どもの曲を調べてノートにまとめる（90分）	
	7	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/マイナーコードを確認する（90分） 循環コードを学ぶ①基本 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/既知のコード名をノートに書き出してしておく（90分）	
	8	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/循環コードの仕組みをノートで確認する（90分） 循環コードを学ぶ②応用 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/循環コードを子どもの歌の中に見つける（90分）	
	9	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/循環コードを唱えられるようにしておく（90分） 発声の仕組みとハーモニーについて合唱を通して学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/今まで歌ったことのある合唱曲の題名をノートに書き出す（90分）	
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）/自分のパートの練習をする（90分）	

	10	歌い合いながら、ハーモニーの美しさを感じとる。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/課題曲の演奏を音源で確かめる（90分）
	11	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/自分のパートを練習しておく（90分） 合唱の発表、聴き合いを通して音楽表現の豊かさを感じ取る。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/自分のパートを練習しておく（90分）
	12	授業外事後学修課題：課題内容（時間）//他の合唱曲も音源で聴く（90分） 外国の歌、日本の歌の表現方法、教育方法について学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/諸外国の作者による曲を調べる（90分）
	13	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/日本の作者による曲と比較してノートにまとめる（90分） 子どもの歌を移調して歌う（基本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/子どもの曲を色々な高さで歌ってみる（90分）
	14	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/ハ長調、ニ長調で子どもの歌を歌う（90分） 子どもの歌を移調し、表現を工夫して歌う（応用） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/移調する場合の伴奏コードを考える（90分）
	15	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/ハ長調、ヘ長調で伴奏してみる（90分） まとめ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/ノートを振り返り、新しく得た知識を確認する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/こどものうたの移調に関する知識をまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		毎時間、グループ学習による発表や討議を行い、表現に対する理解を深める。
課題のフィードバック方法と時期		授業時間内の個別指導を通じ、その場での技術習得を確認する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：実技 評価割合：70% 評価基準：曲にふさわしい発声で弾き歌いや、合唱ができていれば70/100点  履修目標との対応：①  評価方法：課題レポート 評価割合：30% 評価基準：音楽の構造をコードの観点から理解できていれば70/100点 諸外国の音楽教育方法の知識を獲得できれば70/100点  履修目標との対応：②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		細田淳子ほか著『かんたんメソッド コードで弾きうたい』カワイ出版
実務経験のある教員による授業		小学校教諭としての音楽指導の実務経験を生かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先		別紙参照
備考		音楽の構造を理解することが、こどものうたや表現を支える重要な力になります。具体的な教材を使用しながら学びます。鍵盤を用いながら、目と耳を働かせて確実に自らの技術にしてください。



## 【2年次配当科目】



開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	必修
担当教員			
根本 徹/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連付けて理解し、活用できる能力を有する人 3 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人
履修条件	特になし
授業概要	多様化する保育ニーズに対応するために、教諭そして保育士には様々な資質と能力が社会的に要求されてきている。また、乳幼児期という子どもたちの特性から、個性や個人差に応じたきめ細やかな保育も求められている。本講義においては、保育者の役割と倫理、制度的な位置づけについて学び、これからの保育者に必要とされる専門性について学んでいくこととする。
履修目標	①教職の意義と役割を理解し、説明ができる。 ②現代社会の中で求められている教員・保育者の役割と資質について理解し、説明ができる。 ③教員や保育者の職務内容及び社会的身分について理解し、説明ができる。 ④教員や保育者に求められる家庭、組織内や他機関との連携の在り方について理解し、説明ができる。
授業計画・授業外学修課題	1 教職・保育職の意義/ 心を尽くしてよい教育に努める教師になること・子どもたちに向かい合う教師への扉を開くために、なぜ「教職論(保育者論を含む)」を学ぶのかをグループで話し合い、発表を行う。 先生のイメージを自分の園や学校での経験、小説やテレビドラマ、映画などの作品で調べておく<90分> テキストのプロローグを読み、 フレーベルの言葉や子どもにとって望ましい教員や保育者の姿についてノートにまとめる<90分> 2 求められる教員・保育者像/ 子どもが、どのような教師を求めているのかを資料を基に話し合い、その背景も考え、発表をする。また、教職や保育職を目指すきっかけを振り返る。 なぜ教員や保育者を目指すかについて振り返り、目指す教員や保育者の姿を言語化しておく<90分> テキストの第2章～31p(中段まで)を読み、「いい子」の姿についてノートにまとめる<90分> 3 教員・保育者が果たす役割/ 子どもの見方・とらえ方/「子どもの目線」になってとか、子どもに寄り添ってとか、いったいどういうことなのかを話し合い、発表する。 テキストの第2章31p～をよく読み、「学びひたる」こと具体例をイメージしておく<90分> 教員や保育者の活動づくりににおけるバイアスの排除や「フロー体験」の活用のための要素についてノートにまとめる<90分> 4 教員・保育者に求められる資質や能力/ 学級経営と教師の力/クラスが「園やクラスは楽しい所」「今日もお友達のいるクラスに行きたい」「先生に会いたい」と思うことができる場でありたい。そんなクラスを運営するためにはどうしたらよいかを話し合い、発表を行う。 テキストの第6章を読み、集団形成や集団指導を進める意義について調べる<90分> 子どもの「安全基地」の価値や居場所づくりのための取り組みについてノートにまとめる<90分> 5 教員・保育者の免許・資格と養成課程/ 教師養成政策の変化と「専門職」としての教師/戦前の制度とも比較しつつ、教員免許制度と教員養成政策の変遷を学びながら、すぐれた専門性を持った教師とは何かを考える。 テキストの第8章を読み、教員や保育者の免許・資格の変遷の概略について調べる<90分> 教師観の変遷とその背景についてノートにまとめる<90分> 6 教員・保育者の身分保障とサービス・関連法規/ 関連法規を見直し、教職の責任の重さや教職の専門職性や役割・責任を自覚し、公立園・私立園への就職準備についての見通しを話し合い、発表する。 巻末資料及びテキストエピローグを読み、教員や保育者に期待される役割を調べる<90分> 生涯教育を担う教員や保育者になるための免許や資格、幼稚園や保育所の設置者による就職順の違いをノートにまとめる<90分>

7	<p>教員・保育者の職務(1) 学級運営の在り方/ カリキュラム・マネジメントを通して、豊かなカリキュラムを創る教師の役割の重要性や、これからのカリキュラム創りに大切なことを話し合い、発表する。</p> <p>こどもの日々の活動や年間の活動は、どのような過程を経て計画されるのか、テキスト5章から調べておく&lt;90分&gt;</p> <p>「よい授業(活動)」とは、どんな状況なのかを、第5章を再読しながらノートにまとめる&lt;90分&gt;</p>
8	<p>教員・保育者の職務(2) 子どもへの指導/ 授業の見方・とらえ方とつくり方/導入・展開・終結という保育展開について考える。特に導入の部分における工夫について話し合い、発表する。</p> <p>ペスタロッチの教授法やPDSCサイクル、コア・カリキュラムなどの用語について調べる&lt;90分&gt;</p> <p>こどもの主体的な活動をうながす活動過程や形成的評価についてノートにまとめる&lt;90分&gt;</p>
9	<p>教員・保育者の研修と継続的な学びの意義/ 教えることと学ぶことー自己研修ーについて、大村はま教諭をはじめ、精神支柱となる先人たちの実践を学び、教師像や教師観についてさらに理解を深める。</p> <p>テキストの第9章をよく読み、教員や保育者に望まれる研修について&lt;90分&gt;</p> <p>教員や保育者のメンタルヘルスの背景と対処法についてノートにまとめる&lt;90分&gt;</p>
10	<p>教員・保育者についての人事評価/ いつの時代にも教職や保育者に求められる資質・能力、今後とくに求められる具体的資質・能力について学び、自分の目指す「教師像」確立のために今何が必要かを話し合い、発表を行う。</p> <p>テキストの第1章を読み、現場ではどのような課題があるのかを調べる&lt;90分&gt;</p> <p>理想の保育と人事評価、実習での評価について整理し、ノートにまとめる&lt;90分&gt;</p>
11	<p>教職をめぐる現代的課題(1) 保護者対応と地域貢献/ 人間の喜び・悲しみ、郷土愛に共感できる教職・保育者にとって「共感共苦」は大切なことである。そこで、改めて「教師の使命とは何か」を話し合い、発表を行う。</p> <p>テキストの第4章を読み、保護者からの理解を得る方途や教育・保育観、実践スタイルについて調べる&lt;90分&gt;</p> <p>先人の実践に学びながら、自身の理想とする教育・保育観や実践スタイル、教育哲学についてノートにまとめる&lt;90分&gt;</p>
12	<p>教職をめぐる現代的課題(2) いじめ等の状況と対処/ 子供と教師のメンタルヘルスー実践への誘いー/多くの教師が心の危機に直面することが多い、この危機にどう向き合ったらよいかを話し合い、発表を行う。</p> <p>テキストの第3章、第7章91p~104を読み、特別な配慮を要する場面について調べ、想像しておく&lt;90分&gt;</p> <p>諸外国の先人の実践を振り返り、特別な配慮にどのように予防、あるいは対処するかノートにまとめる&lt;90分&gt;</p>
13	<p>チームワークとしての教育・保育/ 幼保こ小の連携と就学前の教育・保育の役割について「環境」「遊び」「生活」「幼保こ小の連携」等のキーワードを中心に、現状と課題について話し合い、発表する。</p> <p>中央教育審議会や他の審議会が出された答申について調べる&lt;90分&gt;</p> <p>幼児期に育って欲しい10の姿を通して、国や社会が求める教育や保育の理想についてノートにまとめる&lt;90分&gt;</p>
14	<p>園内組織、他機関との連携 / 教員・保育者としての業務の幅の広さを達成するには、園の職員や地域住民、他機関などとの連携が重要であること話し合い、発表する。</p> <p>横浜市の教育委員会やこども青少年局について、それぞれの組織を調べておく&lt;90分&gt;</p> <p>「よい教育」、「よい保育」、「よい教員・保育者」について、改めて考えを整理してノートにまとめる。&lt;90分&gt;</p>
15	<p>教員・保育者の信条と持つべき理念/ 現場の先生のお話/学びの集大成として現場の保育者からのお話を聞き、今までの学修で疑問に思ったことやプロとしての保育者の資質について感じたこと考えたことを質問したり、発表したりする。</p> <p>お話をいただく先生の園の方針や特徴について調べる&lt;90分&gt;</p> <p>教員や保育者、保護者、社会人にとって大切にすべきことを整理し、ノートにまとめる&lt;90分&gt;</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークや討議とその発表、課題解決学習を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りやレポート等は講義で発表し、意見交流に活用する。 4回に1回程度の割合で筆記試験を行い、理解度を確認する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業への取り組み 評価割合：20% 評価基準：グループワーク等枠割を担って主体的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④</p> <p>評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：30% 評価基準：毎回リフレクションペーパーで授業で学んだことを記述できれば60/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④</p> <p>評価方法：筆記試験 評価割合：50% 評価基準：用語や人物の主な業績、教職の使命について適切に説明できれば80/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④</p>
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	テキスト:次代を創る教師論.小池俊夫・長野雅弘(編).学分社.2018年. I S B N :978 - 4 - 7620 - 2810 - 6
実務経験のある教員による授業	担当教員は小学校の教諭経験があり、それを生かして演習を構成する。
オフィスアワー・	オフィスアワーは別添参照してください。連絡先はtnemoto@soei.ac.jpです。

連絡先	
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお20分以内の遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
田中 君枝/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1, 保育・幼児教育に係る高度な専門知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連付けて理解し、活用できる能力を有する人。 3, 社会の一員として責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	乳児保育の意義、目的と歴史の変遷、現代社会における役割について学ぶ。また、3歳未満児の発育・発達について学び、一人ひとりの子どもが大切に育てられるという保育の視点から健やかな成長を支える生活と遊びについて理解する。保育所、乳児院、家庭的保育等における乳児保育の実際、乳児や家庭を取り巻く環境の変化を学び、保護者とのパートナーシップや地域子育て支援との連携など、乳児保育の現状と課題について考えていく。
履修目標	①乳児保育の意義と歴史の変遷及び役割について理解し、基本的事項を説明できる。 ②保育所、乳児院など多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解し、基本的事項を説明できる。 ③3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解し、基本的事項を説明できる。 ④乳児保育における職員間の連携・協働および保護者や地域の関連機関との連携について理解し、基本的事項を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1                    ガイダンス 乳児保育の意義、社会的現状と課題                          乳児保育の意義、社会をめぐる状況や課題を社会的背景から学ぶ。</p> <p>                         授業外事前学修課題：課題内容（時間）                          子どもをめぐる社会状況について新聞やニュース等で調べておく。（90分）</p> <p>                         授業外事後学修課題：課題内容（時間）                          課題の内容をまとめる（90分）</p> <p>2                    乳児保育をめぐる歴史の変遷                          歴史の変遷を理解し、乳児保育の必要性を学ぶ。</p> <p>                         授業外事前学修課題：課題内容（時間）                          テキストを読む。（90分）</p> <p>                         授業外事後学修課題：課題内容（時間）                          授業内容をまとめる。（90分）</p> <p>3                    乳児院および地域型保育事業による現状                          保育所以外の乳児を保育する機関について学ぶ。</p> <p>                         授業外事前学修課題：課題内容（時間）                          地域型保育事業について調べる（90分）</p> <p>                         授業外事後学修課題：課題内容（時間）                          それぞれの保育施設の課題について自分の考えをまとめる。（90分）</p> <p>4                    身体的発達および運動面の発達                          0歳児、1～3歳未満児の身体的発達および運動機能の発達を学ぶ。</p> <p>                         授業外事前学修課題：課題内容（時間）                          テキストを読む。（90分）</p> <p>                         授業外事後学修課題：課題内容（時間）                          授業内容をまとめる。（90分）</p> <p>5                    「保育所保育指針」の乳児保育の内容理解                          「保育所保育指針」発達過程、0・1・2歳児に関わる配慮事項、現行改訂のポイント等を学ぶ。</p> <p>                         授業外事前学修課題：課題内容（時間）                          「保育所保育指針」を読む。（90分）</p> <p>                         授業外事後学修課題：課題内容（時間）                          授業内容をまとめる。（90分）</p>

6	<p>生活のリズム（睡眠、食事、排泄、着脱） 0歳からの発育に応じて生活リズムが変化することを学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容についてまとめる。（90分）</p>
7	<p>生活のリズム（睡眠、食事、排泄、着脱） 0歳からの発育に応じて生活リズムが変化することを学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容について調べる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）</p>
8	<p>子どもの心の発達を踏まえた配慮（グループワーク） 0歳から3歳児未満児の心理的発達を理解し適切な対応について学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容について調べる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）</p>
9	<p>子どもの心の発達を踏まえた配慮（グループワーク） 0歳から3歳児未満児の心理的発達を理解し適切な対応について学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内容について調べる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分）</p>
10	<p>乳児の言葉の発達について 乳児の思いを伝え合う手段を得る過程を学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）</p>
11	<p>保育所における乳児保育 ゆるやかな担任制を考えながら保育所における愛着関係について考察する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）</p>
12	<p>指導計画について 年齢別デイリープログラム（日課表）に沿って一日の流れを理解し指導計画について学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 資料等を読む。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 指導案の持つ意味について考える。（90分）</p>
13	<p>保護者との連携と協働 お便りや連絡帳を書く事で保護者に子どもの様子を伝えることの意義を学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育所が保護者に対して作成しているお便りについて最近の状況を調べておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分）</p>
14	<p>安全、感染症について 乳児を安全に保育するための環境構成について学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）</p>
15	<p>職員間の連携と協働 乳児クラスにおける具体的な複数担任の動きやゆるやかな担任制について学ぶ。</p>

	<p>保育体験の重要性について学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク プレゼンテーションを行います。
課題のフィードバック方法と時期	授業終了時にリフレクションを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート 評価割合：50% 評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば60点。ルーブリック参照 履修目標との対応：②③</p> <p>評価方法：小テスト 評価割合：20% 評価基準：テストの点数の平均点 履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：グループ製作 評価割合：30% 評価基準：授業の要点、自分達の意見を端的にまとめることができれば60点。 履修目標との対応：③④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	志村聡子 編著 「はじめて学ぶ乳児保育 第三版」 同文書院 （2022） 厚生労働省編「保育所保育指針解説」 平成30年3月 フレーベル館 （2018）
実務経験のある教員による授業	保育士の資格を有しており、保育現場の実務経験を活かした実践的な講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	e-mail : ktanaka@soei.ac.jp 場所、時間は連絡をしてください。
備考	

講義科目名称： 教育課程の意義と編成（保育課程の意義と編成 授業コード： 24B111  
を含む）

英文科目名称： Theory of Curriculum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
小川 史/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	幼児教育・保育の運営においては、全体計画としての教育課程及び保育課程が子どもの育ちに沿うものであることが重要である。そのために本講義では、保育内容の変遷と教育課程の関係、さらに保育内容としての領域の意味について学んだ上で、教育課程の歴史的変遷や評価に関して理解を深める。また、これらを踏まえた上で、長期・短期の指導計画についてその考え方や作成の方法について、具体的場面を通して学習する。ねらいとしては、（1）学校教育において教育課程が有する役割や機能、並びに意義を理解する、（2）教育課程編成の基本原則、並びに学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する、（3）教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。
履修目標	①教育課程の考え方、編成に必要な関係放棄について理解を深め、その意義を説明できる ②教育・保育課程の編成と指導計画の作成について具体的に理解し、実際に作成ができる ③計画、実践、省察・評価、改善の過程についてその全体構造を動的に捉えた上で、そのサイクルを活用できる ④ ⑤ ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	1 保育の基本について 計画の重要性を認識する上で、まずは保育の基本的なあり方について理解する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園教育要領と保育所保育指針を熟読する。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 教育課程に関連する法規を確認しておく。90分 2 「教育課程」「保育課程」と指導計画 「教育課程」と「保育課程」の基本を理解し、指導計画の位置付けと重要性について学ぶ  授業外事前学修課題：課題内容（時間） HPなどで幼稚園・保育所のカリキュラムを調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） カリキュラムの考え方についてノートにまとめる。90分 3 幼稚園の理解 幼稚園の基本的な性格と教育課程のあり方について学ぶ  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園の教育課程について調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業資料をノートにまとめる。90分 4 保育所の理解 保育所の基本的な性格と保育課程のあり方について学ぶ  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育所の保育課程について調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業資料をノートにまとめる。90分 5 指導計画の作成の基本とその方法 教育課程・保育課程全体の中での指導計画の位置付けを理解した上で、指導計画の作成に関わる基本事項を学ぶ  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 年間計画から指導計画までの計画の種類について調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業資料をノートにまとめる。90分 6 指導計画の作成方法 活動内容の特性と考慮しながら指導計画を作成する際の具体的な手順を学ぶ

7	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指導計画の作成にあたっての遊びの内容を考える。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業を振り返り、指導計画の作成を行う。90分 指導計画の作成（1）（アクティブラーニング） 指導計画を作成しながら、その意義についての理解を深める</p>
8	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指導計画の作成方法を理解し、実際に作成を試みる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 作成した指導計画を振り返る。90分 指導計画の作成（2）（アクティブラーニング、発表） 指導計画を作成し、発表を行う</p>
9	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指導計画の作成方法を理解し、実際に作成を試みる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 作成した指導計画を振り返る。90分 作成した指導計画をチェックしてみよう 他の学生の意見を参考にしながら自分が作成した指導計画を省察検討し、修正する</p>
10	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指導計画の評価について考察する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実際に作成した指導計画の評価を総合的に行う。90分 幼稚園の部分指導計画を書いてみよう 幼稚園の活動を考えながら、部分指導計画を作成する</p>
11	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園に即した指導計画を考案する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 作成した指導計画について省察する。90分 保育所の部分指導計画を書いてみよう 保育所の活動を考えながら、部分指導計画を作成する</p>
12	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育所に即した指導計画を考案する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 作成した指導計画について省察する。90分 乳児の特徴と指導計画 乳児の発達段階を振り返り、乳児にふさわしい指導計画について理解を深める</p>
13	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 乳児の発達段階を復習する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 乳児に即した指導計画についてノートにまとめる。90分 幼児の特徴と指導計画 幼児の発達段階を振り返り、幼児の発達段階それぞれに合った指導計画のあり方について理解を深める。</p>
14	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼児の発達段階を復習する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 幼児に即した指導計画についてノートにまとめる。90分 保育の評価 保育の評価について学ぶ。また、小学校との接続を踏まえ、子どもの学びや成長の評価とそのあり方について理解を深める</p>
15	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育の評価、教育評価について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 保育の評価・教育評価について、授業内で指示した内容をノートにまとめる。90分 指導計画と教育課程・保育課程の評価 カリキュラム全体の評価とPDCAサイクルについて具体的な事例をもとに学ぶ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・j保育所におけるカリキュラムのあり方について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） カリキュラムとその評価のあり方についてノートにまとめる。90分</p>

アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーション
課題のフィードバック方法と時期	課題は採点后速やかに返却する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：筆記試験  評価割合：25点満点  評価基準：要領の指導計画に関わる箇所を理解できているか  履修目標との対応：①</p> <p>評価方法：指導計画の作成  評価割合：75点(25点×3)  評価基準：実際に使用可能な指導計画を作成できたか  履修目標との対応：②③</p>
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	授業内で指示する
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	3号館314
備考	遅刻・途中退出は原則認めない。遅刻については欠席とみなす場合がある。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	選択
担当教員			
大内 美智子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1 保育・幼児教育にかかわる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人 3 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人
履修条件	特になし
授業概要	領域[健康]の観点から、幼児の心身の発達や基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの理解を深め、幼児の行動等を観察し、その特徴や意義について確かな認識を深めていく。
履修目標	①幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解し説明することができる。 ②幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解し説明することができる。 ③安全な生活と怪我や病気の予防についてグループで討議し、自分の考えを説明することができる。 ④幼児期の運動発達の特徴と意義を理解し説明することができる。
授業計画・授業外学修課題	1 オリエンテーション 領域「健康」の講義の概要を把握し、学修の見通しをもつ 授業外事前学修課題：シラバスを確認し、幼稚園教育要領・保育所保育指針等で領域「健康」について調べ、講義の概要を把握する(90分) 授業外事後学修課題：講義内容の要点、感想をまとめる(90分) 2 領域「健康」の定義 「健康」の定義を理解し、乳幼児期の健康の意義や現代社会の子どもの健康をめぐる課題についてグループ討議し、発表する。 授業外事前学修課題：「健康」の定義を調べる等の事前学習を行う(90分) 授業外事後学修課題：グループ討議したことをもとに「健康」をめぐる課題についてまとめる(90分) 3 乳幼児期の心の発達 乳幼児期の心の発達についてその概要を理解し、相互の関係についてグループで討議し、発表する。 授業外事前学修課題：乳幼児期の心の発達を調べる等の事前学習を行う(90分) 授業外事後学修課題：乳幼児期の心の発達について要点をまとめる(90分) 4 乳幼児期の体の発達 乳幼児期の体の発達について理解し、発達に応じた適切な指導についてグループ討議し、発表する。 授業外事前学修課題：乳幼児期の体の発達を調べる等の事前学習を行う(90分) 授業外事後学修課題：乳幼児期の体の発達について要点をまとめる(90分) 5 乳幼児期の運動発達 乳幼児期の運動発達について理解し、その特徴についてグループで討議し、発表する。 授業外事前学修課題：乳幼児期の運動発達を調べる等の事前学習を行う(90分) 授業外事後学修課題：乳幼児期の運動発達について要点をまとめる(90分) 6 乳幼児期の運動指導のあり方 乳幼児期の運動発達に応じた運動指導のあり方について、遊びや日常生活の中での運動の重要性や、主体的な活動の大切さを視野に入れてグループ討議をし発表する。 授業外事前学修課題：乳幼児期の運動指導のあり方等について事前学習を行う(90分) 授業外事後学修課題：遊びを通して運動指導をする工夫について、アイデアをレポートにまとめる(90分) 7 幼児期の多様な運動経験の重要性 幼児期の多様な運動経験の重要性を理解し、それらを引き出し主体的に取り組むための環境構成や指導法について考察し、まとめる。 授業外事前学修課題：幼児期に多様な運動経験を積ませるための環境構成等について事前学習を行う(90分) 授業外事後学修課題：幼児期に多様な運動経験をさせるための工夫についてまとめる(90分) 8 幼児期の健康と安全 幼児期の怪我や病気、日常的な危険性や災害について理解し、幼児期の安全教育や健康管理について考察しまとめる。 授業外事前学修課題：幼児期の健康と安全で重要だと思われることを調べ、事前学習を行う。(90分) 授業外事後学修課題：この講義で蓄積された学びを確認し、幼児期の子どもと体の健康のために自分自身が大切にしたいことをまとめる(90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークや討議とその発表、課題解決学習を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：60% 評価基準：学んで理解したことを活かし、自ら考えたことの根拠と具体を説明できる 履修目標との対応：① ② ④  評価方法：その他 評価割合：40%

	評価基準：リフレクションペーパーで授業の要点や自分お意見をまとめることができるか、グループ討議に意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できるか 履修目標との対応：① ② ③ ④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	参考文献：平成29年告示 幼稚園教育要領、保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領
実務経験のある教員による授業	担当教員は小学校の教諭経験・管理職経験があり、その経験を活かして講義を構成する。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは、別途参照してください。連絡先はmouchi@soei.ac.jpです。
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお30分以内の遅刻・早退3回で遅刻1回とみなします。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	選択
担当教員			
田中 君枝/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2, 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3, 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	領域「人間関係」観点から、幼児の人と関わる力の育ちについて、社会的背景や大人との関係なども視野に入れながら、考察し、理解と認識を深める。また、自立心や共同性、道徳性・規範意識の育ちについても学修する。		
履修目標	①領域「人間関係」の指導の基盤となる幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的事項を身につける。 ②幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解した上で、その説明ができる。 ③幼児期の人間関係の発達について、幼稚園生活における関係発達論的視点から理解した上で、その説明ができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス「人間関係」の意義について テキストに基づいて授業計画内容を理解する。 「人間関係」の意義について議論する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの項目に目を通す。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）	
	2	領域「人間関係」の意義について 人間関係の育ちに影響を及ぼす社会的状況など現代の特徴を学び、幼児期の人とかかわる力がその後の人生に深い関連を持っていることを理解する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの1章を読む。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）	
	3	領域「人間関係」の歴史的変遷について 領域「社会」から「人間関係」に至るまでの変遷を幼稚園教育要領、保育所保育指針の変遷と共に理解を深める。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの第2章を読む。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）	
	4	遊びと「人間関係」について 幼児期における人とかかわる力は、遊びや生活の中で育つこと、また、そこでは教師との関係、幼児との関係、集団での経験が大きく影響していることを理解する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業で指示をした内容の準備をする。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）	
	5	子どもの発達と「人間関係」について 幼児期の人とかかわる力の育ちについて、自立心や協同性、道徳性・規範意識の芽生えや発達の観点から考察できるようにする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業で指示をした内容の準備をする。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）	
	6	気になる子どもと「人間関係」について 幼児の集団での行動について、決まりやちょっと気になる子なども視野に入れながら考察し、人間関係の育ちとの関連を理解するとともに、指導・支援の方法についても学修する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの第5章を読む。（90分）	

	<p>7</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分） 領域「人間関係」の相互関係について 幼児と家族や地域との関わりや育ちについて、子どもの発達の姿との関連から説明できるようにする。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの第6章を読む。</p> <p>8</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分） 領域「人間関係」と保育者の役割について 人とかかわる力を遊びや生活の中で育てていく保育者の役割を理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業で指示した内容の準備をする。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修内容を考察し振り返る。（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行います。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは、授業終了時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：小テスト 評価割合：50% 評価基準：小テスト点数の平均点 履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：レポート 評価割合：50% 評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば60点。ルーブリック参照 履修目標との対応：①②</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>横山文樹 駒井美智子著「保育を学ぶシリーズ 保育内容 人間関係」大学図書出版(2019年)</p> <p>幼稚園教育要領解説&lt;平成29年告示&gt;フレーベル館 (2018年)</p> <p>保育所保育指針解説&lt;平成29年告示&gt;フレーベル館 (2018年)</p>
実務経験のある教員による授業	幼稚園教諭としての実務経験を活かした講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	e-mail : ktanaka@soei.ac.jp 場所、時間は連絡をしてください。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	選択
担当教員			
根本 徹/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連付けて理解し、活用できる能力を有する人
履修条件	特になし
授業概要	領域「環境」の視点から、幼児を取り巻く環境や人と環境とのかかわりについて学び、環境を幼児の育ちとの関連で捉えるための基本的な知識・技能、感性を身に付けることを目的とする。
履修目標	①領域「環境」の意義を説明することができる。 ②園内環境を構成する大切さを説明することができる。 ③自然体験活動の大切さをいくつかの事例と共に述べるすることができる。 ④安全指導の必要性をいくつかの事例と共に説明することができる。
授業計画・授業外学修課題	1 オリエンテーション 幼児教育の基本は何か。環境を学ぶ意義と社会状況と幼児教育の課題から理解する。 授業外事前学修課題：シラバスを確認し、領域「環境」について調べ、講義の概要を把握する(90分) 授業外事後学修課題：講義内容の要点、環境の三つの視点や様々な教材との関連についての感想をまとめる(90分) 2 人間の生活と環境領域「環境」のねらいと内容、他領域との関連 こどもの発達を幼稚園教育要領などの領域ではどの様にとらえ、領域がどのような相互関係にあるのかを理解する。 授業外事前学修課題：幼稚園教育要領の五つの領域のねらいと内容について調べる(90分) 授業外事後学修課題：こどもの発達を促す契機について整理し、レポートを書く(90分) 3 こどもと園内環境 こどもがかかわる物的環境にはどんなものがあるのだろうか。ピオトープや幼児文化教材、周囲の環境などのかかわりを理解する。 授業外事前学修課題：園の施設や遊具などと、その活用について調べる(90分) 授業外事後学修課題：こどもの発達を促すピオトープや幼児文化教材、物的環境などについて整理し、他領域との関連を意識しながらレポートに書く(90分) 4 発達と人的環境・自然環境 こどもの発達を支える人的環境や自然環境には、どのような意義があるのか理解する。 授業外事前学修課題：こどもの園での一日や一週間での活動や生活の様子を調べる(90分) 授業外事後学修課題：こどもの発達について、構成主義や社会的構成主義の立場、それぞれの立場から整理し、レポートに書く(90分) 5 乳児・幼児期の環境構成と安心・安全への配慮 こどもによる安心感の確立には、どんな意義があるのかを事例を通して理解する。 授業外事前学修課題：テキストの事例1～14をよく読み、それぞれの場面で必要とされる保育者の役割を考える(90分) 授業外事後学修課題：こどもの安心を確保する保育者の役割とその意義についてレポートに書く(90分) 6 乳児・幼児期の環境構成と安全指導 保育現場における事故には、どんなものがあり、どのような原因で起こるのかを理解し、事故予防への意識をより一層高める。 授業外事前学修課題：重大事故を防ぐためのリスクマネジメントの例について調べる(90分) 授業外事後学修課題：リスクマネジメントとクライシスマネジメンの事例ト、応急手当や救命救急の実際について整理してレポートに書く(90分) 7 生物を知る—生物多様性— 授業外事前学修課題：食物連鎖や生態系の具体例や自然環境破壊の事例について調べる(90分) 授業外事後学修課題：生物多様性や世界自然遺産がもつ価値と保育におけるそれらの意義についてレポートに書く(90分) 8 大きな自然を感じる環境構成 — 先人の作品に学ぶ — 都市部に生活するこどもには、自然に親しむためのどんな環境構成が求められるのかを理解する。 授業外事前学修課題：注文の多い料理店(宮沢賢治)と作品の序の部分をよく読んでおく(90分) 授業外事後学修課題：「原風景」を育む一端を担う保育の望ましい環境デザインについてレポートに書く(90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークや討議とその発表、模擬活動などの体験的活動を課題解決学習と共に取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。 4回の授業で1回の割合で筆記試験を行い、理解度を確認する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：授業への取り組み 評価割合：30% 評価基準：グループワーク等、枠割を担って主体的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば60/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④ 評価方法：リフレクションペーパー

	<p>評価割合：20%          評価基準：毎回リフレクションペーパーで授業で学んだことを記述できれば80/100点          履修目標との対応：① ② ③ ④</p> <p>評価方法：筆記試験          評価割合：50%          評価基準：到達目標で示すテキストの範囲にある語句・用語、人物名等の意味や主な業績が分かれば80/100点          履修目標との対応：① ② ③ ④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト：保育を学ぶシリーズ③保育内容「環境」, 横山・駒井美智子(編). 大学図書出版. (2020). ISBN:978 - 4 - 909655 - 31 - 8          参考文献：授業時に随時紹介する。          参考資料：平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領</p>
実務経験のある教員による授業	<p>担当教員は小学校の教諭経験があり、それを生かした演習を構成します。</p>
オフィスアワー・連絡先	<p>オフィスアワーは別添参照してください。連絡先はtnemoto@soei.ac.jpです。</p>
備考	<p>授業への主体的な参加を期待しています。なお20分以内の遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	選択
担当教員			
佐藤 浩代			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。		
履修条件	特になし。		
授業概要	幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げることができるよう指導・支援することが重要なポイントである。ここでは、領域「言葉」の観点から、幼児と言葉について考察し、幼児の言葉の発達を理解し、認識を深めるとともに、指導に必要な基礎的な知識・技能を修得する。		
履修目標	①人間にとっての言葉の意義や機能を理解し、その説明ができる。 ②言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解し、その意義を説明できる。 ③幼児にとっての児童文化財の意義を理解した上で、その説明ができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	オリエンテーション 授業実施内容を理解する。	
		授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストに目を通す。（90分）	
		授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を確認する。（90分）	
	2	幼児の生活に於ける言葉の意義や役割 幼児の生活における言葉の意義や役割について、領域「言葉」のねらいや内容との関係から考察し、理解を深める。	
		授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの前文と目次を読む。（90分）	
		授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本科目内容を理解する。（90分）	
	3	発達過程における乳幼児の言葉理解 言葉の発達過程において、乳幼児が言葉の意義と機能をどのように理解していくかについて、映像資料や事例を通して考察する。	
		授業外事前学修課題：課題内容（時間） 『保育所保育指針解説』p. 89～p. 120を読む。（90分）	
		授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で取り上げた事例の考察を振り返る。（90分）	
	4	言葉による伝え合い文字の意味や役割 「言葉による伝え合い」（コミュニケーションとしての機能）や「文字の意味や役割」（文字の機能）を取り上げ、映像資料や事例を通して、具体的な幼児の姿を基に言葉の意義や機能について考察する。	
		授業外事前学修課題：課題内容（時間） 『保育所保育指針解説』p. 156～p. 167を読む。（90分）	
		授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で取り上げた事例の考察を振り返る。（90分）	
	5	言葉の感覚を豊かにする遊び しりとりやなぞなぞ等、言葉に対する感覚を豊かにする言葉遊びを体験するとともに、言葉遊びと幼児の言葉の発達との関連について考察する。	
		授業外事前学修課題：課題内容（時間） これまでに体験した言葉遊びを書き出してくる。（90分）	
		授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で取り上げた事例の考察を振り返る。（90分）	
	6	児童文化財の意義 絵本・物語・紙芝居などの児童文化財の中に描かれている幼児の姿から幼児理解を深め、幼児にとっての児童文化財の意義について考察する。	
		授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業時に指示した資料を読む。（90分）	

	<p>7</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の確認をし、振り返る。（90分） 児童文化財を体験する 絵本・物語・紙芝居などの児童文化財を実際に読んだり、演じたりすることで、その楽しさを体験的に理解し、保育への取り入れ方を具体的に話し合う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業時に指示した資料を読む。（90分）</p> <p>8</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の確認をし、振り返る。（90分） 言葉を豊かにしていく方法 幼児が言葉の美しさや楽しさに気づき、言葉を豊かにしていくための方法について、実践的指導を視野に入れて考察する。 「到達度の確認」</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第3章を確認する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の確認をし、振り返る。（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	スマートフォンを活用して課題を調べて発表。グループでの話し合い、記録、発表。
課題のフィードバック方法と時期	提出物は、原則として翌週にフィードバックします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：筆記試験 評価割合：60% 評価基準：授業内で学んだことを理解できれば60点。 履修目標との対応：① ② ③</p> <p>評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：40% 評価基準：授業内で理解したこと、わからなかったことをノートに書きとり、明確にすれば60点。 履修目標との対応：② ③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト</p> <p>1. 大豆生田啓友・佐藤浩代編著『保育・幼児教育シリーズ 言葉の指導法 改訂第2版』玉川大学出版部 2019年 2. 厚生労働省編『保育所保育指針解説 平成30年3月』フレーベル館</p> <p>【重要】初回授業時より、ノート（ルーズリーフ不可）を用意して出席してください。</p> <p>参考書・参考資料等 授業内で適宜指示します。</p>
実務経験のある教員による授業	幼稚園教諭としての実務経験を活かした講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	e-mail：hsato@soei.ac.jp 非常勤講師のため、メールで連絡してください。原則として平日9時から17時までの対応になります。
備考	<p>【受講上の注意】</p> <p>1. 30分以内の遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。 2. 緊急以外の離席はしないでください。 3. 授業中の飲食を禁止します。水分補給は適宜行ってください。 4. 本授業では写真撮影を禁止します。 5. スマートフォンは授業内で指示のある時のみ使用を認めます。</p>

講義科目名称： 「表現」

授業コード： 24B212

英文科目名称： Study of Child Care (Expression)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	選択
担当教員			
鈴木 明子/こども教育学部 流石 良子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身につけ、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。4 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見出し、解決していく能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	幼児教育において育みたい資質能力と専門領域「表現」を関連させて、「表現」の特性についての理解を深める。前半は、「心を表す・加工する」という造形表現の特性を実際の表現活動を通して学修する。また、後半は、音楽表現の立場から子どもの生活の中における表現活動を人間の発達の視点から捉えてゆく。その際の周囲の関わり方が「表現」を発展させてゆくことを理解する。		
履修目標	①幼児の表現の姿や、その発達を理解し記述できるようになる。 ②身体・造形・音楽表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにし作品を作ることができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	オリエンテーション 領域「表現」の学びについて(担当：鈴木、流石) 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/表現について自身の今までの体験を思い起こす(45分)	
		授業外事後学修課題：課題内容(時間)/幼児の表現と発達に関して得た知識をノートにまとめる(45分)	
	2	造形活動に関する発達段階 心と体を動かす表現活動の楽しさとは(流石) 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/幼児の発達段階における表現の特徴を思い起こす(45分)	
		授業外事後学修課題：課題内容(時間)/発達段階における表現の特徴をノートにまとめる(45分)	
	3	心に響く造形活動を考える イメージを育む造形表現とは(流石) 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/幼児が心を動かし描いたりつくったりしたくなる時はどのような時か考えをまとめる(45分)	
		授業外事後学修課題：課題内容(時間)/イメージを育むために何が必要か参考書等で調べる(45分)	
	4	造形表現活動を通して育まれる力をさぐる 多様な関わりを経験する造形表現とは(流石) 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/幼児の生活と造形の関係についてノートにまとめる(45分)	
		授業外事後学修課題：課題内容(時間)/保育と造形において保育者の役割について考える(45分)	
	5	人間の様々な音楽表現活動の形態を知る(鈴木) 授業外事前学修課題：課題内容(時間) 乳幼児の音楽的表現でイメージすることを箇条書きにしておく(45分)	
		授業外事後学修課題：課題内容(時間)/乳幼児の音楽的表現の形をノートにまとめる(45分)	
	6	乳幼児期の音楽的表現のめばえについて～喃語、バブリングなど(鈴木) 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/バブリングに関して自分で調べてくる(45分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/発達とバブリング、喃語の関係をノートにまとめる(45分)	
	7	乳幼児の音楽表現と周囲の大人との関わりについて(鈴木) 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/乳幼児の音楽的表現と大人の関わり方でイメージするものを箇条書きにする(45分)/	
		授業外事後学修課題：課題内容(時間)/大人の関わり方について気をつけることをノートにまとめる(45分)	
	8	表現活動の保育・教育的支援について(担当：鈴木、流石) 授業外事前学修課題：課題内容(時間) 表現を引き出す大人の関わり方について考える(45分)	
		授業外事後学修課題：課題内容(時間)/幼児の表現に対し実習等で確認したいことをまとめる(45分)	
アクティブラーニングを用いた授業方法	講義では、討議・発表・グループワーク・表現と鑑賞などを行い、表現に対する理解を深める。		

課題のフィードバック方法と時期	シラバスを確認し事前学修を行い、受講後は次回までにノートにまとめておくこと。次回教員がノートをチェックする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート課題 評価割合：70% 評価基準：授業時にルーブリックを配布します 履修目標との対応：① 評価方法：平常点評価 評価割合：30% 評価基準：時間内に得た学びを自分なりの表現でノートにまとめられていたら60/100点 履修目標との対応：②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	文部科学省『幼稚園教育要領』（2017）厚生労働省『保育所保育指針』（2017）
実務経験のある教員による授業	小学校教諭としての音楽指導の実務経験を生かした授業を行う。（鈴木） 小学校教諭としての図画工作科指導の実務経験を生かした授業を行う（流石）
オフィスアワー・連絡先	別記参照
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
棚澤 令子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	子どもの心身の発達と保育実践について理解を深める。発達心理学、教育心理学の知識をもとに、生活や遊びを通した子どもの学びの体験、学習の過程を理解する。また、観察等を通して子どもの心身の状態や行動等を把握する技術を高め、こども理解に基づく適切な発達援助を行う実践力を修得できるようにする。		
履修目標	①人間の心身はどのように発達するか 人間が生まれてから死に至るまでの発達の過程とメカニズムについて、生涯発達の観点から学習し、説明できるようにする。 ②乳幼児期から老年期までの各発達段階でどのような課題が用意され、どのような経験をすることが重要なのか、<生涯発達>の視点からとらえ、人間理解を深める。 ③各発達段階における子どもたちの学びを支える保育者の援助の在り方を理解し、説明できる。		
授業計画・授業外学修課題	1	子どもの発達の理解と保育 授業外事前学修課題：課題内容（時間）（90分）	1年次の発達心理学で使用したテキストをよんでおく
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分）
	2	発達段階と個人差 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の復習をしておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分）
	3	保育における環境と発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	テキスト第6章を読んでおく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる
	4	子どもの生活と学び 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の復習をしておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分）
	5	子どもの遊びと学び 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の復習をしておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分）
	6	基本的な生活習慣の獲得 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の復習をしておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分）
	7	基本的な生活習慣の獲得と発達援助 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の復習をしておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分）
	8	子ども相互の関わりと関係づくり 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の復習をしておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分）
	9	集団生活と子どもの発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の復習をしておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分）
	10	集団生活の中での自己表現と自己調整 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	テキスト第12章を読んでおく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分）
	11	集団生活への発達援助 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の復習をしておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分）
	12	発達の課題に応じた援助や関わり 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	テキスト第11章を読んでおく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分）

	13	ちょっと気になる子どもたちへの援助 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の復習をしておく（90分）
	14	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 保育実践における評価と発達援助 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分） 前回の復習をしておく（90分）
	15	授業外事後学修課題：課題内容（時間） まとめ 成果物の発表 14回のふりかえり 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分） 前回の復習をしておく（90分） 講義の内容をノートにまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	各自、成果物等を、発表・説明をしてもらいます。		
課題のフィードバック方法と時期	最終授業回に講義ノートを用いた振り返りを行います		
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法： レポート 評価割合： 40% 評価基準： 調査を行い、得られた結果から自分の意見を述べるができる 履修目標との対応： ①②③</p> <p>評価方法： プレゼンテーション 評価割合： 30% 評価基準： 準備を周到に行えているか 履修目標との対応： ③</p> <p>評価方法： 成果物 評価割合： 30% 評価基準： 対象年齢のポイントをおさえて作成できているか 履修目標との対応： ②</p>		
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト：家庭支援の心理学 一藝社 2020年 講義ノートを配布します。各自ファイリングして管理してください。 参考文献：随時紹介する</p>		
実務経験のある教員による授業	乳児院・療育センター（心理職）での実務経験を講義にとりいれます		
オフィスアワー・連絡先	不明点はrkurumisawa@soei.ac.jpまで、ご連絡ください。		
備考			

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
棕田 美穂/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人		
履修条件	特になし		
授業概要	保育実践において、実態に応じた子ども一人ひとりの心身の発達や学びを把握する意義について学修をする。子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解するうえで基本的な考え方や具体的な方法について学ぶ。さらには、子どもの理解に基づく保育者の援助や態度の基本について理解を深めることを目的とする。		
履修目標	①心身の発達及び学びを年齢ごとに理解したうえで、その説明ができる ②年齢に応じた遊びや援助の仕方を観察したり、調べたりして発表をする ③年齢に応じた保育者の援助について説明ができる ④年齢に応じた遊びを考え、わかりやすく伝えるにはどうするかを考え、発表する ⑤グループで協調しながら発表の仕方を考え、実際に発表ができる		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス 保育における子ども理解の意義 (テキスト1) 授業外事前学修課題：1年次の発達心理学のテキストの見直しを行う (90分)  授業外事後学修課題：ガイダンスをもとに今後の見直しをもつ。乳幼児期の発達の総復習を行い、子ども理解の意義をまとめる (90分)	2
	2	保育の環境の理解と構成 保育の人的環境としての保育者と子どもの発達 (テキスト4・7・8) 授業外事前学修課題：上記テキストを読み、学習内容の見直しをもつ (90分)  授業外事後学修課題：保育の環境の構成、人的環境としての保育者について要点をまとめる (90分)	3
	3	子どもの生活や遊び (テキスト3・5・9) 授業外事前学修課題：上記テキストを読み、学習内容の見直しをもつ (90分)  授業外事後学修課題：子どもの生活や遊びについて要点をまとめる (90分)	4
	4	子ども相互のかかわりと関係づくり (テキスト5・7) 授業外事前学修課題：上記テキストを読み、学習内容の見直しをもつ (90分)  授業外事後学修課題：子ども相互のかかわりと関係づくりについて要点をまとめる (90分)	5
	5	子どもに対するかかわりと共感的理解 (テキスト2) 授業外事前学修課題：上記テキストを読み、学習内容の見直しをもつ (90分)  授業外事後学修課題：子どもに対するかかわりと共感的理解について要点をまとめる (90分)	6
	6	集団における経験と育ち (テキスト6) 授業外事前学修課題：上記テキストを読み、学習内容の見直しをもつ (90分)  授業外事後学修課題：集団における経験と育ちについて要点をまとめる (90分)	7
	7	特別な配慮を要する子どもの理解と援助 (テキスト14) 授業外事前学修課題：上記テキストを読み、学習内容の見直しをもつ (90分)  授業外事後学修課題：特別な配慮を要する子どもの理解と援助について要点をまとめる (90分)	8
	8	発達の課題に応じた援助とかかわり 観察・記録・省察・評価 (テキスト10・13) 授業外事前学修課題：上記テキストを読み、学習内容の見直しをもつ (90分)  授業外事後学修課題：発達の課題に応じた援助とかかわりについて特に観察・記録を中心に要点をまとめる (90分)	9
	9	子ども理解のための職員間の対話 保護者との情報共有 (テキスト11・12) 授業外事前学修課題：上記テキストを読み、学習内容の見直しをもつ (90分)  授業外事後学修課題：子ども理解のための職員間の対話 保護者との情報共有について要点をまとめる (90分)	10
	10	幼稚園見学実習 授業外事前学修課題：実習園までの経路を確認し、持ち物・服装等を準備する。講義8回目の観察・記録の復習をする (90分)  授業外事後学修課題：実習園での観察記録を整理し、まとめる (90分)	11
	11	前回の見学実習をもとに、パワーポイントを作成する 授業外事前学修課題：実習園での観察記録を整理し、パワポの構成を考える (90分)  授業外事後学修課題：パワポ作成をみなおし、発表準備をする (90分)	

	12	「観察実習から学ぶ子どもの理解と援助」プレゼンテーション発表会① 授業外事前学修課題：観察をもとに年齢に応じた遊びや援助の仕方をまとめ、時間内に発表できるように練習する（90分）
	13	授業外事後学修課題：自分の発表を振り返る。他者の発表を聞いた感想をまとめる（90分） 「観察実習から学ぶ子どもの理解と援助」プレゼンテーション発表会② 授業外事前学修課題：観察をもとに年齢に応じた遊びや援助の仕方をまとめ、時間内に発表できるように練習する（90分）
	14	授業外事後学修課題：自分の発表を振り返る。他者の発表を聞いた感想をまとめる（90分） 発達の連続性と就学への支援（テキスト15） 授業外事前学修課題：上記テキストを読み、学習内容の見通しをもつ（90分）
	15	授業外事後学修課題：発達の連続性と就学への支援について要点をまとめる（90分） まとめ 「年齢に応じた遊びや援助の仕方・環境づくり」グループ発表会 授業外事前学修課題：見学グループごとに年齢に応じた遊びを紹介する打ち合わせをする（90分）  授業外事後学修課題：自分たちが考えた遊びは年齢に応じたものであったか振り返り、今までの学びをまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		グループワーク（討議、調査等）、プレゼンテーションを行う
課題のフィードバック方法と時期		リアクションペーパー、レポート課題、プレゼンテーションについては、提出後及び発表後にフィードバックを行う
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：1. プレゼンテーション（①②③④） 2. 平常点評価（①②③④⑤） 3. レポート課題（①②③） 評価割合：25% 50% 評価基準：1. 年齢に応じた遊びや援助の仕方を観察をもとに発表をすることができれば60/100点 2. 討議・グループワークにおける周囲とのやりとり・協力している様子があること。リアクションペーパーの提出。80/100点 3. 講義と絡めて自分の考えを述べることができれば80/100点 履修目標との対応：評価方法の（ ）内に記載
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		テキスト： 清水益治・森俊之編集 新基本保育シリーズ⑩「子どもの理解と援助」中央法規 2019
実務経験のある教員による授業		小学校教諭、特別支援学校非常勤講師、学校心理士としての実務経験を生かして講義を構成します。
オフィスアワー・連絡先		別紙を参照してください
備考		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
濱田 唯/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人
履修条件	特になし
授業概要	社会福祉の歴史や法制を中心に学ぶ。ニュースや生活の中の身近なテーマから、現代社会の多用な問題を抽出し、社会福祉政策にどのように関連しているのかを理解する。具体的には、社会福祉の理念、制度と法体系、財政、専門職、理論等について学ぶ。
履修目標	①社会福祉における現代の多用な課題（ニーズ）について複数例説明することができる。 ②人と環境の相互作用の中で課題（ニーズ）は生まれるというエコロジカル理論の視点を持ち、社会問題を理解することができる。 ③社会で起きる問題を自分ごととして捉え、意見を明確に述べるができる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 社会福祉の理念と歴史の変遷 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分） 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分）</p> <p>2 子ども家庭支援と社会福祉 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分） 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分）</p> <p>3 社会福祉の制度と法体系 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分） 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分）</p> <p>4 社会福祉行財政と実施機関、社会福祉施設等 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分） 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分）</p> <p>5 社会福祉の専門職 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分） 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分）</p> <p>6 社会保障および関連制度の概要 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分） 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分）</p> <p>7 相談援助の理論 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分） 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分）</p> <p>8 相談援助の意義と機能 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分） 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分）</p> <p>9 相談援助の対象と過程 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分） 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分）</p> <p>10 相談援助の方法と技術 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分） 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分）</p> <p>11 社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分） 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分）</p> <p>12 少子高齢化社会における子育て支援 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分） 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分）</p>

	13 共生社会の実現と障害者施策 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)
	14 在宅福祉・地域福祉の推進 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)
	15 諸外国の社会福祉の動向 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	毎回授業ではグループワークを行い、学生同士が意見交換し、発表する場を設ける。授業の最後にはリアクションペーパーを記入し、質問や意見に対して次回の授業で教員から回答する。
課題のフィードバック方法と時期	授業内でフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：平常点評価 評価割合：30% 評価基準：出席、授業態度、グループワーク参加率 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：リアクションペーパー 評価割合：30% 評価基準：授業の理解度、意見を明確に書けているか、他者の意見を聞きさらに理解を深めているか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：レポート課題 評価割合：30% 評価基準：授業の理解度、意見を明確に書けているか、課題について文献を使い調べることができているか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：その他 評価割合：10% 評価基準：その他の課題 (10点満点とする) 履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他 (必要物品など)	中央法規出版 新・基本保育シリーズ4「社会福祉」を参考に授業を進めます。 (資料はこちらで用意します。購入する必要はありません)
実務経験のある教員による授業	担当教員は精神保健福祉士・公認心理師としての実務経験を活かした講義・演習を行う
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーについては別途提示 連絡先：yhamada@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
平野 友康/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	<p>2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人</p> <p>3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人</p>		
履修条件			
授業概要	<p>本科目は子どもに関わる社会環境を学ぶことが目的である。具体的には次の2点である。1点目は子ども家庭福祉の理念、歴史の変遷、法律と制度、サービスの実施体制、子ども家庭福祉を理解する上での基本的な考え方を学ぶこと。2点目は少子化対策、児童虐待防止、ひとり親支援、児童の健全育成、育児に対する経済的支援、保護を要する児童のケア、子どもの貧困対策など子どもに関わる支援がどのような体制で行われているかを学ぶことである。この2点を踏まえ子どもに関わる社会環境における課題は何か、その課題に対してどのような解決方法があるかを自分で考えられるようにしていく。</p>		
履修目標	<p>①子どもに関わる社会問題を述べることができる          ②子どもに関わる社会問題に対する制度を調べ説明することができる          ③子ども家庭福祉を担う専門職とその役割を調べ説明することができる          ④子どもの権利がなぜ必要か自分なりに考えを整理し述べるができる</p>		
授業計画・授業外学修課題	1	<p>オリエンテーション 子ども家庭福祉の理念</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを読み本科目の授業目的と内容を確認し疑問点をノートにまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分）</p>	
	2	<p>子ども家庭福祉の歴史 戦後子ども家庭福祉の歩み、児童を支えた人々</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分）</p>	
	3	<p>少子化対策の概要とその背景 少子化対策の内容理解</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分）</p>	
	4	<p>小テストの実施①子ども家庭福祉サービスと実施体制1 今までの授業の振り返り 児童福祉法・社会福祉法・児童手当法等などの理念と内容</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小テストを行うにあたり今までの授業内容の要点を確認する。参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分）</p>	
	5	<p>子ども家庭福祉サービスと実施体制2 子ども家庭福祉を担う機関のサービス内容</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分）</p>	
	6	<p>子ども・子育てのニーズ 現代の子ども、子育てをめぐる諸問題の整理</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる（90分）</p>	

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分） ひとり親家庭への支援 ひとり親家庭が抱える福祉的問題と支援内容</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分） 子どもの貧困と福祉ニーズ 子どもの貧困が生じる理由と子どもの貧困が引き起こす諸問題</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分） 小テストの実施②児童福祉施設の種類と内容 今までの授業の振り返り 児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設などの設置目的、援助方法</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小テストを行うにあたり今までの授業内容の要点を確認する。参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分） 児童虐待防止対策 被虐待児童を守る施策と子どもの権利</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分） 要保護児童へのケアの実際 児童相談所・福祉事務所・保健所など専門職の援助内容</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分） 新たな子ども家庭支援策 障害のある児童への福祉サービス、発達障害者支援法</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分） 小テストの実施③子どもの権利 今までの授業の振り返り 子どもの権利宣言、子どもの権利条約の目的と内容</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小テストを行うにあたり今までの授業内容の要点を確認する。参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分） 子ども家庭福祉援助者の役割 保育士の新たな役割</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分） テストの実施まとめ 今までの授業の振り返り 児童との関係づくりと子ども家庭福祉の未来の展望</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テストを行うにあたり今までの授業内容の要点を確認する。参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる（90分）</p>
	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキストで指摘した重要事項について再読し、理解が足りない部分についてまとめておく（90分）</p>

アクティブラーニングを用いた授業方法	討議・討論(教員が問いを提示し、その問いに対し自身の考えを提示し他者と対話しながら学びを深める)を行う
課題のフィードバック方法と時期	授業内にフィードバックします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：筆記試験  評価割合：25%  評価基準：テストは最終回に実施。テストは文章中の空欄を記述する形成とともに小論文を提示。すべて記載できたら100点。  履修目標との対応：②③④</p> <p>評価方法：レポート試験  評価割合：25%  評価基準：出題したテーマに対して自分の意見が書かれていること、提示した条件(枚数等)を満たしていること、以上2点ができたら80点  履修目標との対応：②③④</p> <p>評価方法：平常点評価  評価割合：40%  評価基準：ワークシート：授業中に配布したワークシートを授業内で記入し授業終了時に提出。内容が記載され提出すれば100点  履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：その他  評価割合：10%  評価基準：小テスト：15回の授業のうち3回の小テストを実施。小テストは文章中の空欄を記述する形式。5～6問の設定を行いすべて記載できたら100点  履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	参考文献：比嘉真人 監修 『輝く子どもたち 子ども家庭福祉論』みらい、2022 他授業にて紹介する
実務経験のある教員による授業	社会福祉協議会での対人援助職(社会福祉士)としての実務経験をいかした講義を行う。
オフィスアワー・連絡先	別途掲示等を参照
備考	児童をめぐる社会問題への意識を持ち自らの考えを整理しておく和良好的。 授業で関心を待った内容についてさらに関連書籍などを読みまとめておく和良好的。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
太田 百合子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる初課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人
履修条件	特になし
授業概要	家庭や児童福祉施設での子どもの食生活の状況と課題を理解した上で、栄養に関する基礎知識、子どもの発育発達と食との関連、食育の意義や目的、特別な配慮を必要とする子どもの食と栄養等の学習や実習を通して、子どもの食生活支援方法のあり方について考えることを目的とした科目である。 子どもたちの食生活は、生涯にわたり心身の健康に大きく影響することが明らかにされている。さまざまな食育活動を通じて食の面白さ、食べることに楽しさを伝え、子どもたちの食生活の興味、関心を広げていく必要があるため、栄養学、調理学、食品学等の基礎的な知識や、子どもの身体発育・発達と理解し、子どもに教えらるる基礎を身に付けることを目指す。また、保護者に対しても食生活支援ができる知識を身に付けることを目指す。
履修目標	①栄養素の働きなど生体における役割を説明できる。 ②子どもの身体発育・発達を理解し、食行動と関連付けることができる。 ③実習を通して適切な食事を知り、正しい食事を選択できる。 ④特別な配慮を要する子どもの食の重要性を述べるができる。 ⑤食育の必要性を理解し、食生活に関する教育指導を行うことができる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 子どもの健康と食生活の意義 食生活と健康の関わり、子どもの発育・発達と栄養について総論として述べる。個別ワーク：成長曲線に記入し、栄養の評価方法を学ぶ。</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業に期待する学びを自分なりに整理し、ノートにまとめる。（90分）</p> <p>2 栄養に関する基礎知識 栄養とは何か、多く含む食品とは何かをグループワークで学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 今まで学習してきた5大栄養素について復習してくる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） それぞれの栄養素の働きを復習し、ノートにまとめる。（90分）</p> <p>3 栄養に関する制度 日本人の食事摂取基準、配膳、食品表示、衛生管理について学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 食に関する厚生労働省、消費者庁のHPを見ておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 食事バランスガイドを活用し、自分の食事内容はバランスがとれているか再確認する。（90分）</p> <p>4 妊娠期と授乳期の食生活 妊娠前後の食生活のあり方について学ぶ。食品添加物のDVD視聴により正しく判断する。演習：葉酸と食物繊維の基準を満たす献立作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 妊娠中のやせの弊害について文献などから調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自宅で葉酸、食物繊維を意識した食事を実践し、課題などをノートにまとめる。（90分）</p> <p>5 乳児期の食生活（授乳期） 母乳、育児用ミルクの特徴や栄養を述べる。離乳の意義について述べる。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授乳について教科書をよく読んでおく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 消毒法、与え方などをノートにまとめる。離乳食の進め方を確認しておく。（90分）</p> <p>6 乳児期の食生活（離乳期） 発達に合わせた離乳食の進め方、与え方を学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 食に関する子どもの発達（口腔機能、運動機能、消化機能など）について調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 離乳の進め方を復習し、まとめておく。（90分）</p> <p>7 乳児期の食生活（調乳・離乳食実習） 乳児の摂食機能の発達のDVD視聴により理解を深める。ほ乳瓶の食毒法や調乳の仕方を実践する。口腔機能に合わせた離乳食を味わったり、与え方を実践する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ほ乳瓶の扱い、発達に合わせた離乳食について復習をする。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授乳・離乳食の介助、環境設定など保育者としての注意事項をノートにまとめる。（90分）</p>

8	<p>幼児期の食生活          幼児期の心身の発達と食生活について述べる。好き嫌いのDVD視聴により対応を考える。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          幼児の食の発達について教科書をよく読んでおく。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          食べ物による誤嚥・窒息事故予防について、口腔機能の発達と危険な食べ物についてノートにまとめる。（90分）</p> <p>9          学童期・思春期の食生活          発育・発達の特徴を述べ、栄養の問題点を整理する。肥満とやせの問題点や栄養指導について述べる。学校給食と栄養教育についてグループワークをする。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          学校で経験した食育を整理しておく。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          グループワークの内容をノートにまとめる。（90分）</p> <p>10          生涯発達と食生活          成人期、高齢期の健康上の課題と対策を述べる。演習：カルシウム、鉄が十分に摂取できる献立作成。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          生活習慣病の具体的なないようについて調べておく。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          演習を深めるために、教科書外のカルシウム、鉄が摂取できる食品を調べておく。（90分）</p> <p>11          食育の基本と内容          保育の一環として食育を実践できることを目指すために、食育を理解する。行事食、郷土料理、食べ方のマナーなど具体的に述べる。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          食育の環境づくりとは何かを事前に調べておく。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          なぜ、食育が重要とされるのか、保護者支援にはどんなことができるかをノートにまとめる。（90分）</p> <p>12          家庭や児童福祉施設における食事と栄養          児童福祉施設における給食形態、保育所給食の運営方法、保護者との連携などについて述べる。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          児童福祉施設の種類と特徴について事前に調べておく。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          保育者としての関わりの重要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>13          特別な配慮を要する子どもの食と栄養（病気）          体調不良時、疾患のある児の食事、水分補給について述べる。演習として下痢と便秘の時の食事の違いについて学ぶ。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          子どもの病気と対応の仕方について事前に調べておく。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          水分補給に適するものや与え方についてノートにまとめる。（90分）</p> <p>14          特別な配慮を要する子どもの食と栄養（障害児）          障害のある子どもへの食の在り方を述べる。摂食機能療法をDVD視聴により学び、自分の考えをまとめる。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          ダウン症、先天奇形症候群、自閉症スペクトラム障害について、特徴を調べてまとめる。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          就学、将来を見据えた指導を行うには、保育者としてどのようなスキルが必要かノートにまとめる。（90分）</p> <p>15          アレルギー疾患を持つ子どもの食と栄養          食物アレルギー疾患をもつ子どもに対応する知識を述べる。エビペンの使い方を体験する。菓子類の原材料表示からアレルギー児に与えるか与えないかを判断する。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          乳幼児に多い食物アレルギーの原因食物を事前に調べておく。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          誤食事故を起こさないために、保育者として確認しなければならないことをノートにまとめる。（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを行う。
課題のフィードバック方法と時期	レポートは期限までに提出してもらい随時採点して返却する。質問は授業振り返りシートに記入してもらい次の授業にて解説する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：筆記試験          評価割合：50%          評価基準：授業で学んだことを理解しているか、自らの意見を述べているか。60点。          履修目標との対応：①②④⑤          評価方法：授業内課題（グループワーク、演習）          評価割合：30%          評価基準：（10点）自らの意見を論理的に述べることができる。課題問題の解答が100%である。（7～9点）自らの意見を交えて述べるができる。課題問題の解答が70%以上である。（1～6点）部分的に述べるができる。課題問題の解答が70%以下である。          履修目標との対応：①②③④⑤          評価方法：リアクションペーパー（授業態度）          評価割合：15%          評価基準：（10点）学んだことをきちんとまとめている、質問、感想が述べられている。（7～9点）感想のみ。（0点）記入なし。          履修目標との対応：①②③④⑤</p>

テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	子どもの食と栄養第2版 太田百合子 堤ちはる編著 羊土社 2022年 2,640円 9784758109116
実務経験のある教員による授業	公益財団法人児童育成協会こどもの城小児保健部、クリニックに管理栄養士として30年間勤務した経験と、保育士等キャリアアップ研修などの講師、育児雑誌監修の経験に基づき、保育士養成に必要な講義、演習を行う。
オフィスアワー・連絡先	連絡先 yuri256max@ezweb.ne.jp又は、yota@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
流石 良子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	「心を動かすと体が動き、体が動くと心が動く」これが造形表現の本質である。これを修得するために、色彩・フォルム・感性・自己決定・イメージ・関係性などに着目して多様な表現を体験し、子どもの表現への理解深める。また、描画表現や討議によって、保育者に求められる多視点的な見方を修得し、なぜ、図画工作を学ぶのかについての理解を深める。
履修目標	①多様な表現体験を通して、自らの感性・イメージ・意欲を高めることができる。 ②造形表現における多視点的な見方を理解し、説明できる。 ③子どもの表現を理解するための基礎技能を修得している。 ④子どもたちの造形表現を支えるために、保育者として何ができるかを考えることができる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 なぜ図画工作を学ぶかについて考える 造形活動でコミュニケーション1(折り紙) 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/幼稚園教育要領・保育所保育指針を読みふり返る(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/受講後に要点・感想をまとめる(90分)</p> <p>2 造形活動でコミュニケーション2(折り紙) オリジナル色紙づくり 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/なぜ図画工作を学ぶか課題設定をする(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/受講後に要点・感想をまとめる(90分)</p> <p>3 造形活動でコミュニケーション3(折り紙) オリジナル色紙づくり 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/様々な色紙づくりを調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/受講後に要点・感想をまとめる(90分)</p> <p>4 身近な植物の観察から描きたい植物を決め特徴を調べる 「身近な植物を描く」描画における構想・関連性・多視点・生命観について考える1 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/よく見かける気になる植物について調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/受講後に要点・感想をまとめる(90分)</p> <p>5 身近な植物の観察から描きたい植物を決め特徴を調べる 「身近な植物を描く」描画における構想・関連性・多視点・生命観について考える2 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/観察する身近な植物を決め成長記録を描く(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/受講後に要点・感想をまとめる(90分)</p> <p>6 園見学計画と準備品作成 見学園の敷地内の植物でつくって遊べるものをさがす 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/身近な植物でつくって遊べる植物を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/受講後に要点・感想をまとめる(90分)</p> <p>7 園見学 幼児の日常を見学し造形活動との関連を探る 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/幼稚園の一日の生活の様子を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/園見学の感想をまとめる(90分)</p> <p>8 造形活動でコミュニケーション4(自然材) 自然材を使った造形活動 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/枝や葉を使ってつくって遊べる活動を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/演習の前半のふり返りと後半に向けての課題確認(90分)</p> <p>9 造形活動でコミュニケーション5(自然材) 自然材を使った造形活動鑑賞会 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/多様な作品鑑賞会を調べ紹介できるようにしておく(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/受講後に要点・感想をまとめる(90分)</p> <p>10 伝統行事について考える1 「七夕飾りファイルをつくらう」 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/子どもたちに伝えたい伝統行事を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)//受講後に要点・感想をまとめる(90分)</p> <p>11 伝統行事について考える2 「子どもたちと取り組みたい伝統行事を紹介しよう」 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/子どもたちとつくり遊べる伝統行事を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容(時間)/受講後に要点・感想をまとめる(90分)</p> <p>12 伝統行事について考える3 「子どもたちと取り組みたい伝統行事を紹介しよう」 授業外事前学修課題：課題内容(時間)/グループで決めた伝統行事について調べる(90分)</p>

	<p>13 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後に要点・感想をまとめる(90分) 課題解決に向けて取り組んできたことをまとめる 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/これまでの調べた事柄やまとめてきた事柄等を課題解決に向けて整理する(90分)</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後に要点・感想をまとめる(90分) 課題解決に向けて取り組んできたことを紹介する 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/課題解決の紹介の仕方を考え構成する(90分)</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後に要点・感想をまとめる(90分) 図画工作でコミュニケーション6(身近な素材) 図画工作の必要性についてまとめる 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/図画工作の必要性について考えをまとめる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後に要点・感想をまとめる(90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	この演習では、討議・グループワーク・表現活動と鑑賞などを行う。
課題のフィードバック方法と時期	毎回提出を求める感想は、意見交流(他者理解)として活用し、翌週に返却する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート試験 評価割合：30% 評価基準：自らの考えと、その根拠を述べていけば60% 履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：平常点評価 評価割合：30% 評価基準：取組み・ミニレポート等:取組みに意欲をもち、新たな価値を見つけている80% 履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：その他 評価割合：30% 評価基準：課題:学修到達目標の到達度80% 授業時にルーブリックを配布します 履修目標との対応：①②③④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト:必要に応じてプリントや資料を配布します。 参考書:文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 槇英子「保育を開く造形表現」 萌文書林 高橋陽一編「特別支援教育とアート」 武蔵野美術出版</p>
実務経験のある教員による授業	小学校教諭としての図画工作科指導の実務経験をいかした授業を行う。
オフィスアワー・連絡先	流石(rsasuga@soei.ac.jp)
備考	なぜ図画工作を学ぶのかを考え、様々な色彩造形活動を積極的に体験することを期待します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
鈴木 明子/こども教育学部 當山 通子 佐藤 くみ 渡邊 友里香			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身につけ、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 4 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見出し、解決していく能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	将来、子どもたちと音楽を楽しみ、また、子どもたちの表現の援助を行うことをイメージしながら、楽譜の読み方や基本的な奏法、コード伴奏法、弾き歌いの基礎を学ぶ。初心者向けのピアノ教則本と保育現場でよく使用される歌を中心に学習を進める。指導は、個人の性格や進度に合わせて無理なく学習できるよう配慮する。またピアノに限らずいろいろな楽器にも触れていく。		
履修目標	①子どもの歌の弾き歌いをピアノを用いてできるようになる。 ②様々な楽器の特性、奏法を学び保育に生かす技術を身につけ演奏できるようになる。 ③子どもの発達や、保育の場面に合わせた楽器の使い方を学び演奏できるようになる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ピアノの鍵盤上でコードを確認する 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/コードの名前を確認する（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/鍵盤上でコードを押さえる練習をする（45分）	
	2	子どものうたの旋律を右手で弾く 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/今まで習った曲の旋律を歌ってみる（45分）	
	3	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/鍵盤上でメロディーを弾いてみる（45分） 旋律を右手で弾きながら、左手でコードのベースを弾く① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/コードのベース音を確認する（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/旋律を右手で弾いて歌う（45分）	
	4	旋律を右手で弾きながら、左手でコードのベースを弾く② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/コードのベース音を確認する（45分）/旋律を右手で弾きながら歌う（45分）	
	5	授業外事後学修課題：課題内容（時間）コードのベース音を確認する（45分）/旋律を右手で弾きながら歌う（45分） 旋律を右手で弾きながら、左手でコードのベースを弾く③ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/コードのベース音を確認する（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/旋律を右手で弾きながら歌う（45分）	
	6	保育の場で使われる楽器の歴史、特性を知り、奏法の基本を理解する 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/幼児教育現場で使われている打楽器についてその種類を調べる（45分）	
	7	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/楽器の奏法をノートにまとめる（45分） 子どもの表現を引き出す楽器の使い方を学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/楽器を用いる保育の場面を想定しノートにまとめる（45分）	
	8	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/楽器の奏法と子どもの表現を関連づけてまとめる（45分） 子どもの歌の伴奏の左手の奏法を工夫する① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/コードのベース音を確認する（45分）	
	9	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/伴奏を左手で弾いて歌う（45分） 子どもの歌の伴奏の左手の奏法を工夫する② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/コードのベース音を確認する（45分）	
	10	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/伴奏を左手で弾いて歌う（45分） 子どもの歌の伴奏の左手の奏法を工夫する③ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）コードのベース音を確認する（45分）	

	<p>11 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/伴奏を左手で弾いて歌う（45分） 歌の特徴に合った伴奏方法を工夫して演奏する① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/子どもの歌の旋律を右手で弾けるようにしておく（45分）</p> <p>12 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/左手もつけて弾き歌いする（45分） 歌の特徴に合った伴奏方法を工夫して演奏する② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/両手で演奏しながら弾き歌いする（45分）</p> <p>13 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/左手をアレンジしてみる（45分） 歌の特徴に合った伴奏方法を工夫して演奏する③ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/両手で演奏しながら弾き歌いする（45分）</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/左手をアレンジしてみる（45分） 歌の特徴に合った伴奏方法を工夫して演奏する④ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/両手で演奏しながら弾き歌いする（45分）</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/左手をアレンジしてみる（45分） まとめと確認 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/弾き歌いをしながら適切な伴奏の形を考える（45分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/様々な伴奏の形で子どもの歌を演奏する（45分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	毎時間、グループ学習による発表を行い、表現に対する理解を深める。
課題のフィードバック方法と時期	毎時間、個別指導において適切なフィードバックをする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：グループ発表 評価割合：40% 評価基準：子どもにわかりやすいはっきりとした発音で弾き歌いできていれば60/100点 履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：実技試験 評価割合：60% 評価基準：毎回の課題の予習復習を確実に行えば60/100点 履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	鈴木恵津子ほか著「ポケットいっぱいのおた」教育芸術社
実務経験のある教員による授業	幼稚園教諭、小学校教諭としての経験を生かしたより実践的な指導をする。
オフィスアワー・連絡先	別記参照
備考	復習（課題の確実な実行）が重要になる授業である。練習室を使い、着実に練習をつみ重ねて欲しい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
大内 美智子/こども教育学部 根本 徹/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連付けて理解し、活用できる能力を有する人 3 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人
履修条件	特になし
授業概要	領域「健康」及び領域「環境」のねらいと内容や、遊びや生活の中での効果的な指導法を理解するとともに、指導に必要な知識・技能を修得する。
履修目標	①幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらい及び内容を理解し説明することができる。 ②幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。 ③幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解し説明することができる。 ④幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。
授業計画・授業外学修課題	1 オリエンテーション 領域「健康」及び「環境」の幼児教育における意義と位置づけについて理解し、講義の概要を把握して学修の見通しをもつ。 授業外事前学修課題：シラバスを確認し、領域「健康」と「環境」について調べ、講義の概要を把握する(90分) 授業外事後学修課題：講義内容の要点、感想をまとめる(90分) 2 生活習慣や安全の指導 幼児の生活における総合的活動について具体的に理解し、ICTなど適切な教材を活用しながら、基本的な生活習慣や安全にかかわる指導を考え発表する。 授業外事前学修課題：生活習慣や安全にかかわる指導について事前学修を行う(90分) 授業外事後学修課題：講義内容の要点、感想をまとめる(90分) 3 幼児の運動発達 幼児の運動発達について理解し、様々な遊びの中での多様な運動経験の重要性を認識し、運動発達に応じた指導を考え、発表する。 授業外事前学修課題：幼児期の運動発達に応じた具体的な指導例について事前学修を行う(90分) 授業外事後学修課題：講義内容の要点、感想をまとめる(90分) 4 遊びや生活の中での運動 日常生活における幼児の身体活動の状況について理解し、運動経験の過不足やその発達への影響も視野に入れながら保育構想を練り環境構成や指導を行い、遊びや生活の場面で必要な運動を楽しく経験させる方法を考える。 授業外事前学修課題：遊びや生活の中での運動の在り方について事前学修を行う(90分) 授業外事後学修課題：講義内容の要点、感想をまとめる(90分) 5 現代の幼児の健康の課題 現代社会における幼児の健康に関わる課題を、映像や事例など多様な資料を活用して理解し、これらの課題に向けて実態に応じた指導・援助や環境構成を考える。 授業外事前学修課題：現代社会の幼児をめぐる健康の課題について事前学修を行う(90分) 授業外事後学修課題：講義内容の要点、感想をまとめる(90分) 6 幼児期の運動の意義 幼児の活発な身体運動や健康の維持増進が、「健康な心と体」をはじめ、「自立心」「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」などに与える影響を理解し、その観点から指導・援助を考える。 授業外事前学修課題：「幼児期における運動指針」を調べ事前学修を行う(90分) 授業外事後学修課題：幼児期における運動の大切さをまとめる(90分) 7 指導案作成 各種教材の効果的な活用も視野に入れた指導案を作成し、模擬保育を行い、ICT等の活用など工夫した発表や意見交換など、主体的に振り返り、保育活動の評価ができるようにする。 授業外事前学修課題：具体的な指導事例を調べる(90分) 授業外事後学修課題：模擬保育を振り返り改善するところをまとめる(90分) 8 小学校との接続 領域「健康」で幼児が経験し身に付ける内容と小学校の各教科等とのつながりを、小学校の授業参観や映像資料を活用しながら、考える。 授業外事前学修課題：幼児が「健康」で身に付ける資質・能力と小学校で身に付ける資質・能力について事前学修を行う(90分) 授業外事後学修課題：小学校教育とのつながりについてまとめる(90分) 9 人間の生活と環境 サウンドスケープ(音の風景：聴覚)を例に、五感を通した指導法「環境」の意味と幼稚園教育要領・保育所保育指針での「環境」の意義 授業外事前学修課題：季節ごとの身の回りの様々な音や、音を活用した遊びについて調べる(90分) 授業外事後学修課題：サウンドスケープを体験させる際の留意点やねらいについてレポートに書く(90分) 10 なぜ「環境」か—子どもにとっての環境—(環境を活かした遊びとしての教育) 香り(嗅覚)を通した伝統的な遊び(関香)を例に、五感を通した指導法「環境」の意義と『ホルモーデンス』の関連

	<p>授業外事前学修課題：生活で利用される香りや「香道」「鬮香」について調べる (90分)          授業外事後学修課題：ヨハン・ホイジンガの『ホモ・ルーデンス』について整理し、「環境」を通じた遊びの意義についてレポートに書く (90分)</p> <p>11 遊びとは何か・遊びの要素 — 松や楓の種子模型の作成遊びを例に —          授業外事前学修課題：回転落下したり、地面を転がったりする種子拡散の事例について調べる (90分)          授業外事後学修課題：ロジェ・カイヨワによる遊びの四分類について整理し、種子模型作りを例とした、こどもにとっての遊びの意義をレポートに書く (90分)</p> <p>12 ローリス・マラグッツィ女史によるレッジョ・エミリア教育 DVD視聴を通して          授業外事前学修課題：ローリス・マラグッツィ女史による「でも、100はある」の詩を調べる (90分)          授業外事後学修課題：レッジョ・エミリア教育について、教育観や教育方法、スタッフの配置などから整理してレポートを書く (90分)</p> <p>13 「となりのトトロ」「もののけ姫」に見る大人の環境観と子どもの発達と目線          授業外事前学修課題：「となりのトトロ」を視聴し、作品から感じられる大人の環境観やこどもの発達観について整理する (90分)          授業外事後学修課題：自然保護と自然の保全との差異に留意しながら、こどもにとって必要な環境観についてレポートに書 (90分)</p> <p>14 ネイチャーゲームの体験 (新治市民の森) フィールドビンゴ・樹皮・草花・種子などを活かした自然体験遊びの構成例          授業外事前学修課題：こどもに様々な興味・関心を促す秋・冬のフィールド遊びの事例を調べる (90分)          授業外事後学修課題：ロジェ・カイヨワの遊びの分類を活かした自然体験遊びの構成例について整理し、レポートに書く (90分)</p> <p>15 ビオトープとは 園庭ビオトープについて          授業外事前学修課題：首都圏や日本各地の特色ある園庭や自然体験活動べたり、動画視聴したりする (90分)          授業外事後学修課題：園庭ビオトープの活動例やその価値について整理し、こどもの遊びと発達を支える「環境」についてレポートに書く (90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークや討議とその発表、模擬活動、課題解決学習を取り入れる。「環境」においてはフィールドワークや体験的活動も取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学修は講義で発表し、意見交流に活用する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業への取り組み          評価割合：40%          評価基準：グループワーク等枠割を担って主体的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：① ② ③ ④</p> <p>評価方法：リフレクションペーパー          評価割合：30%          評価基準：毎回リフレクションペーパーで授業で学んだことを記述できれば60/100点          履修目標との対応：① ② ③ ④</p> <p>評価方法：レポート          評価割合：30%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：① ② ③ ④</p>
テキスト・参考文献・その他 (必要物品など)	平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本チャイルド本社 (2017/06発売) 杉原隆・湯川秀樹 (編), 保育内容「健康」, 光生館, (2010) 参考書：横山文樹・駒井美智子 (編) 保育内容「環境」. 大学図書出版. (2020)
実務経験のある教員による授業	担当教員は小学校の教諭経験があり、それを生かして演習を構成する。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別添参照してください。連絡先はmouchi@soei.ac.jp (大内) と tnemoto@soei.ac.jp (根本) です。
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお30分以内の遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
田中 君枝/こども教育学部 佐藤 浩代			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2, 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3, 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	領域「人間関係」及び領域「言葉」のねらいと内容や遊びや生活の中での効果的な指導法を理解するとともに、指導に必要な基本的な知識・技能を修得する。幼稚園教育において育みたい資質能力を踏まえ、幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」及び「言葉」のねらい及び内容について、背景となる専門領域と関連させて理解を深め、具体的な指導場面を想定して保育を構想し実践する方法を身に付ける。
履修目標	①幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。 ②幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。 ③幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。 ④幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。
授業計画・授業外学修課題	1 オリエンテーション ガイダンス 合同授業にて行い、授業（人間関係・言葉）実施内容を理解する。（田中、佐藤）各自テーマに基づいて1分スピーチを行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストに目を通しておく。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分） 2 子どもの発達と「人間関係」について 保育所保育指針の改定に伴い、重要視されている事項を学ぶとともに、それが、領域「人間関係」のなかで扱われている「ねらい」「内容」にどのような反映されているか、乳児期、幼児期に関して学びまとめる。（田中）  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第3章を読む。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修内容の振り返りをする。（90分） 3 子どもの発達と「人間関係」についての発表 保育所保育指針の改定、幼稚園教育要領の改訂に伴い、重要視されている事項を学ぶとともに、それが、領域「人間関係」のなかで扱われている「ねらい」「内容」にどのような反映されているか、乳児期から幼児期に関して学び合う。（田中）  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業で指示された内容の準備をする。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表の準備をする。（90分） 4 子どもの発達と「人間関係」についての発表 保育所保育指針の改定、幼稚園教育要領の改訂に伴い、重要視されている事項を学ぶとともに、それが、領域「人間関係」のなかで扱われている「ねらい」「内容」にどのような反映されているか、乳児期から幼児期に関して学び合う。（田中）  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業で指示された内容の準備をする。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修内容の振り返りをする。（90分） 5 子どもの発達と「人間関係」についてのグループワーク 子どもたちが実際に経験していることを学ぶ中で、保育士の指導上の留意点を学ぶ。（田中）  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業で指示された内容の準備をする。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修内容の振り返りをする。（90分）

6	<p>現場における子どもの遊びと「人間関係」について 子ども同士のかかわりを領域「人間関係」の観点から外部講師の講話を聞く。(田中)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) 幼稚園教育要領、保育所保育指針に示された「人間関係」の箇所を読む。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 外部講師の講話内容をまとめる。(90分)</p>
7	<p>これからの子どもの「人間関係」について 保育所保育指針の改定、幼稚園教育要領の改訂に伴い、就学までに育てたい姿の内容が明確に示された。そのような姿を育む保育者の援助について学ぶ。(田中)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) 幼稚園教育要領、保育所保育指針を読む。(90分)</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 履修内容を振り返る。(90分) 「人間関係指導法」の学び 子どもが人とかかわりたいと思う気持ちを育むために自身の実践を振り返り、どのように保育力の向上に向けていくのか元に確認を行う(田中)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) 授業で指示したところを確認する(90分)</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 履修内容を考察し振り返る。(90分) 保育内容「言葉」の指導法について 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のなかで、保育内容「言葉」と関係の深いものを確認し、指導法について考える。(佐藤)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) 前期「言葉」のノートから復習しておく。(90分)</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 授業内容の確認をし、振り返る。(90分) 伝え合う喜び 乳幼児の言葉の発達における基盤となる信頼関係形成や、言葉獲得以前の非言語的なコミュニケーションの重要性を踏まえ、保育内容「言葉」のねらいである「伝え合う」を考える。(佐藤)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) テキスト第4章を読む。(90分)</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 授業内容の確認をし、振り返る。(90分) 絵本がもたらす豊かな経験 児童文化財として、絵本のもつ力を考える。(佐藤)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) テキスト第6章を読む。(90分)</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 授業内容の確認をし、振り返る。(90分) 教材研究—絵本を知る 保育教材としての絵本を学び、絵を読み、音読を試みる。(佐藤)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) 前回授業を踏まえて、持参する絵本を2冊選択する。(90分)</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 受容内容を確認し、振り返る。(90分) 保育の場の絵本 保育の場で絵本から発展する遊びとその意義を考える。(佐藤)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) 授業時に指示した資料を読む。(90分)</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 授業内容を振り返り、レポートに備える。(90分) 赤ちゃんからの言葉の育ち 乳幼児の言葉の発達の道筋を確認し、保育者の援助の重要性を考える。(佐藤)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) テキスト第2章を読む。(90分)</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 授業内容を振り返り、レポートに備える。(90分) 遊びの中の豊かな言葉の経験 乳幼児がごっこ遊びの中でイメージを共有して言葉のやりとりを楽しんだり、友だちや保育者との関わりによって言葉を獲得していくことを理解する。(佐藤)</p>

	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第3章を読む。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を確認し、振り返る。（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行います。（人間関係）
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは授業終了時に行います。（人間関係）
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート（人間関係・言葉） 評価割合：30% 評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば60点。ルーブリック参照 履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：課題発表（人間関係・言葉） 評価割合：20% 評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば60点。 履修目標との対応：①③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>人間関係のテキスト 横山文樹 駒井美智子編著 「保育内容 人間関係」 大学図書出版 （2019年） 幼稚園教育要領解説＜平成29年告示＞フレーベル館（2018年） 保育所保育指針解説＜平成29年告示＞フレーベル館（2018年）</p> <p>言葉のテキスト 大豆生田啓友・佐藤浩代編著『保育・幼児教育シリーズ 言葉の指導法 改訂第2版』玉川大学出版部（2019年） 厚生労働省編『保育所保育指針解説 平成30年3月』フレーベル館（2018年） 【重要】前期「言葉」で使用したノートを持参してください。</p>
実務経験のある教員による授業	幼稚園教諭としての実務経験を活かした講義を行います。（田中・佐藤）
オフィスアワー・連絡先	e-mail：ktanaka@soei.ac.jp 場所、時間は連絡をしてください。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
鈴木 明子/こども教育学部 流石 良子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身につけ、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。4 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見出し、解決していく能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	本授業においては、自分なりの表現・豊かな感性・創造性・イメージ・伝え合う・表現の楽しさ・意欲・環境などに着目し、領域「表現」のねらい及び内容の理解を図る。また、幼児が、このねらいと内容を身につけていくために、音楽表現と造形表現の視点から、どのような支援できるかを探り、指導力の向上を図る。		
履修目標	<p>①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「表現」のねらい及び内容並びに全体構造を理解し記述できるようになる。</p> <p>②領域「表現」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解し記述し絵切できるようになる。</p> <p>③幼稚園教育要領における評価の考え方を理解し、評価項目を作成することができるようになる。</p> <p>④領域「表現」に関する、幼児が経験し身につけていく内容の関連性及び小学校の教科等とのつながりを理解し概要を記述することができるようになる。</p>		
授業計画・授業外学修課題	1	オリエンテーション 領域「表現」のねらい及び内容と育みたい資質能力について（鈴木・流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/幼稚園教育要領の表現の箇所に目を通しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/領域「表現」のねらい及び内容を確認しノートにまとめる（90分）	
	2	造形表現と自分なりの表現について（担当：流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/領域「表現」の内容の取扱いについて振り返る（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/領域「表現」の前文から保育者に求められている事柄をまとめる（90分）	
	3	造形表現と感性、イメージ、創造性について（担当：流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/日常の中にもみる子どもの素朴な表現について調べておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/子どもの表現の循環についてまとめる（90分）	
	4	造形表現と協同性・言葉による伝え合いについて（担当：流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/子どもの発達段階と表現について調べておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/子どもの各段階の表現と心身の発達をまとめる（90分）	
	5	造形表現と国語・算数・生活・体育などの多教科にわたる教科内容のつながりについて（担当：流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿について振り返る（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/多教科との関連についてまとめる（90分）	
	6	造形表現と意欲、主体性について（担当：流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/保育者の主体性が表現活動におよぼす影響について考える（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/子どもの主体的な表現の循環をまとめる（90分）	
	7	造形表現と環境との関わりについて（担当：流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/領域「表現」の内容の取扱いについて振り返る（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/保育者に求められている事柄をまとめる（90分）	
	8	子どもの表現 I（造形的表現）のまとめ 造形表現の楽しさと評価の考え方について（担当：流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/中央教育審議会答申資料に目を通しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/幼児教育において育成すべき資質・能力をまとめる（90分）	
	9	乳幼児期における音楽行動の発達について理解する（鈴木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/自分の音楽との関わりについて振り返る（90分）	

10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/乳幼児期の音楽的表現の形についてまとめる（90分） 乳幼児期の音楽的表現～手遊び、わらべうた、うた遊びの活動が及ぼす子どもの音楽的発達への影響を理解する（鈴木）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）/音楽を聴いて身体表現している子どもの姿を映像等で見つける（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/手遊びの中にある音楽的表現をまとめる（90分） リトミックについて身体表現を交えて体得し、乳幼児の発達に即した教材提示の方法を学ぶ（鈴木）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）/リトミックについてその内容について資料に目を通しておく（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/授業内で体験したリトミックの動きをノートにまとめる（90分） 手作り楽器を実際に作成し、子どもの発達段階に応じた使用方法をグループ活動を通して考える（鈴木）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）/打楽器になりそうな身近な素材を考えておく（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/作った楽器を用いて保育の場面を想定した活動を考える（90分） 音楽的表現の指導において、子どもと保育者の関係性や子ども同士の関わり合いの中から得られるもの、留意すべき事柄を模擬保育を通して考え合う（鈴木）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）/発達段階における音楽的表現について調べておく（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/保育の場面で音楽的表現を引き出す活動をイメージしてノートにまとめる（90分） 即興表現としてのあそび歌について学び、子どもの生活の中から音楽表現として浮かび上がる事例を具体的な保育の場面を設定し考え合う（鈴木）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）/子どもの遊び歌について調べる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/遊び歌をノートにまとめ演じられるようにしておく（90分） わらべうたの概要を知り、地域で歌い継がれているものやその歌い遊びする活動が子どもの音楽的な学びにつながっている事例を学ぶ（鈴木）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）/自らの住む地域のわらべうたを調べておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/わらべうたと子どもの発達について考えることをまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	この演習では、討議・発表・グループワーク・表現と鑑賞などを行い、表現に対する理解を深める。
課題のフィードバック方法と時期	毎回のリアクションペーパーで学びの足跡を記録し、教員が確認する。課題レポートも確認後個別に返却する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：課題レポート 評価割合：70% 評価基準：授業時にルーブリックを配布します 履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：学びのミニレポート 評価割合：30% 評価基準：積極的に自らの課題に向き合い解決したり学べていれば60/100点 履修目標との対応：②③④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館2017 厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館2017
実務経験のある教員による授業	小学校教諭としての音楽指導の実務経験を生かした授業を行う。（鈴木） 小学校教諭としての図画工作科指導の実務経験を生かした授業を行う（流石）
オフィスアワー・連絡先	別紙参照
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	選択
担当教員			
平野 友康/こども教育学部 椋田 美穂/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人
履修条件	
授業概要	本科目は障がい児保育を支える理念や歴史の変遷について学び、障がい児保育についての基本的な考え方を学ぶことを目的とする。具体的には次の2点である。1点目は障がいの特徴について知り、障がい児一人ひとりへの支援のあり方を保育現場における保育実践から障がい児の援助の方法・環境構成等について学ぶこと。2点目は、障がい児と他の子どもとの関わり、保母者・家族に対する理解と支援、地域の専門機関との連携など、子どもの育ちを支えるネットワーク、そこでの保育者の役割について理解する。この2点を踏まえ、障がい児の現状と課題について述べ、自らの援助観について説明できるようにすることである。
履修目標	①障がい児保育を支える理念や歴史の変遷について調べ説明することができる ②障がい児の援助の方法・環境構成等について保育者としてその役割を調べ説明することができる ③障がい児の家族に対する理解と支援、地域の専門機関との連携の必要性について述べるすることができる ④障がい児の現状と課題について述べ保育者としての援助観について説明できる
授業計画・授業外学修課題	1 オリエンテーション 授業の目標・内容・進め方、障がい児保育とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを読み本科目の授業目的と内容を確認し疑問点をノートにまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分） 2 障がい児保育の基本 障害の概念と障害児保育の歴史の変遷、合理的配慮 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当箇所を読み疑問点をノートにまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分） 3 障がいの理解と保育1 知的障がいの理解と保育 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当箇所を読み疑問点をノートにまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分） 4 障がいの理解と保育2 肢体不自由・聴覚障害・視覚障害の理解と保育 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当箇所を読み疑問点をノートにまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分） 5 障がいの理解と保育3 気になる子どもと発達障がい 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当箇所を読み疑問点をノートにまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる（90分） 6 障がいの理解と保育4 重症心身障害児、医療的ケア児の理解と保育 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当箇所を読み疑問点をノートにまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）

7	<p>授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分) 小テストの実施①指導計画および個別の支援計画 今までの授業の振り返り 子どもの理解に基づく計画の作成と記録・評価</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小テストを行うにあたり今までの授業内容の要点を確認する。参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分)</p>
8	<p>他者とのかかわり① 障がいのある人との交流にあたっての事前の学び</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 交流する人や場についての情報収集(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分)</p>
9	<p>他者とのかかわり② 障がいのある人との交流を通じた実践①</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 交流する人や場についての情報収集</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 交流を通じた疑問や気づきをノートにまとめる(90分)</p>
10	<p>他者とのかかわり③ 障がいのある人との交流を通じた実践②および振り返り</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がいのある人との交流を通じた実践①の内容の確認(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 交流を通じた疑問や気づきをノートにまとめる(90分)</p>
11	<p>小テストの実施②連携・協働① 今までの授業の振り返り 連携・協働とは、職員間の連携・協働、保護者や家庭との連携や協働</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小テストを行うにあたり今までの授業内容の要点を確認する。参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分)</p>
12	<p>連携・協働② 関係機関、小学校等との連携／障がい児の就学に向けての支援</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分)</p>
13	<p>障がい児保育における子どもの健康と安全 障がい児の行動特性をふまえた安全のための配慮</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分)</p>
14	<p>小テストの実施③障がい児を取り巻く環境 今までの授業の振り返り 障がい児の保育にかかわる現状と課題</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小テストを行うにあたり今までの授業内容の要点を確認する。参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分)</p>
15	<p>テストの実施まとめ 今まで授業の振り返り 支援の場の広がりにつながり</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テストを行うにあたり今までの授業内容の要点を確認する。参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキストで指摘した重要事項について再読し、理解が足りない部分についてまとめておく(90分)</p>

アクティブラーニングを用いた授業方法	討議・討論(教員が問いを提示し、その問いに対し自身の考えを提示し他者と対話しながら学びを深める)を行う
課題のフィードバック方法と時期	授業内にフィードバックします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：筆記試験  評価割合：35%  評価基準：小テスト10%：15回の授業のうち3回の小テストを実施。小テストは文章中の空欄を記述する形式。5～6問の設問を行いすべて記載できたら100点。テストは最終回の授業に実施。テストは文章中の空欄を記述する  履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：レポート試験  評価割合：25%  評価基準：出題したテーマに対して自分の意見が書かれていること、提示した条件(枚数等)を満たしていること、以上2点ができたら80点  履修目標との対応：②③④</p> <p>評価方法：平常点評価  評価割合：40%  評価基準：ワークシート：授業中に配布したワークシートを授業内で記入し授業終了時に提出。内容が記載され提出すれば100点  履修目標との対応：①②③④</p>
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	授業にて紹介する
実務経験のある教員による授業	社会福祉協議会での対人援助職(社会福祉士)としての実務経験をいかした講義を行う。(平野)
オフィスアワー・連絡先	別途掲示等を参照
備考	授業で関心を持った内容についてさらに関連書籍などを読みままとめておくと良い。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	選択
担当教員			
田中 君枝/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1, 保育・幼児教育に係る高度な専門知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連付けて理解し、活用できる能力を有する人。 3, 社会の一員として責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。
履修条件	「乳児保育Ⅰ」を修得していること。
授業概要	3歳児未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助やかかわりの基本的な考え方を学ぶ。子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に学修する。さらには、乳児保育における配慮の実際を踏まえ、乳児保育における指導計画の作成について学ぶ。
履修目標	①3歳児未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助やかかわりの基本的な考え方について理解し、基本的事項を説明できる。 ②養護および教育の一体性を踏まえ、3歳児未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法および環境について、具体的に理解し説明ができる。 ③乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解し、説明ができる。 ④上記1～3を踏まえ、乳児保育Ⅱにおける計画作成ができる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 ガイダンス 子どもの主体性の尊重と自己の育ち 乳児保育における基本的な考え方を学ぶ。(養護と教育の一体性)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) 乳児保育Ⅰの授業内容の振り返りを行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 授業の内容をまとめる(90分)</p> <p>2 実践体験の発表 夏休みのボランティア体験をプレゼンテーションする。絵本の読み聞かせ、手遊び実践</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) 自身の体験をまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 授業内容を通して自身の考えをまとめる(90分)</p> <p>3 乳児クラスの生活の流れ 一日の流れを確認する。抱き方、おんぶ等赤ちゃん人形を使用して学ぶ。絵本の読み聞かせ、手遊び実践</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) テキストを読む(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 授業内容をまとめる(90分)</p> <p>4 排泄についての援助 おむつの当て方や着脱時の援助及び配慮について赤ちゃん人形を使用して学ぶ。絵本の読み聞かせ、手遊び実践</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) テキストを読む(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 授業内容をまとめる(90分)</p> <p>5 生活習慣についての援助 手洗いやうがい等清潔に関する生活習慣、衣服の着脱についての伝え方を実践を通して学ぶ。絵本の読み聞かせ、手遊び実践</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) テキストを読む(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 授業内容をまとめる(90分)</p> <p>6 生活習慣についての援助 沐浴に関する生活習慣、衣服の着脱についての伝え方を実践を通して学ぶ。絵本の読み聞かせ、手遊び実践</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間)</p>

	<p>テキストを読む (90分)</p> <p>7 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) 授乳、離乳食についての援助 授乳や食事の援助及び配慮について赤ちゃん人形を使用して学ぶ。絵本の読み聞かせ、手遊び実践</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p> <p>8 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) 個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり 「かみつき、ひっかき」等気になる子への対応の仕方を学ぶ。絵本の読み聞かせ、手遊び実践</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p> <p>9 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) アレルギー対応について アレルギー食についてどのような対応や配慮に着いて学ぶ。絵本の読み聞かせ、手遊び実践</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p> <p>10 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) 保育室の環境について それぞれの発達に応じた安全な保育室の環境に就いて学ぶ。絵本の読み聞かせ、手遊び実践</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p> <p>11 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) 保育室の環境について それぞれの発達に応じた安全な保育室の環境に就いて学ぶ。絵本の読み聞かせ、手遊び実践</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分) 課題制作の準備をする (90分)</p> <p>12 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 課題制作の準備をする (90分) 発達段階にあった玩具制作 それぞれの発達段階にあった玩具を制作する。(指導計画作成) 絵本の読み聞かせ、手遊び実践</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p> <p>13 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる。課題を作成する (90分) 発達段階にあった玩具制作 それぞれの発達段階にあった玩具を制作する。(指導計画作成) 絵本の読み聞かせ、手遊び実践</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 課題を作成する (90分)</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる。課題を作成する (90分) 発達段階にあった玩具制作発表 それぞれの発達段階にあった玩具を発表する。絵本の読み聞かせ、手遊び実践</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 課題を作成する。発表の準備をする (90分)</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) 保育環境の衛生管理 乳児を安全、衛生、事件、事故から守る保育をすることについて学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	体験課題のプレゼンテーションを行います。

課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは授業終了時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート  評価割合：50%  評価基準：授業で学んだことを理解できていれば60点。ルーブリック参照。  履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：指導案作成  評価割合：20%  評価基準：授業の要点をまとめることができているならば60点。  履修目標との対応：④</p> <p>評価方法：課題作品製作  評価割合：30%  評価基準：自分の意見を端的に表現できていれば60点  履修目標との対応：①③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	志村聡子 編著 「はじめて学ぶ乳児保育 第三版」 同文書院 (2022) 厚生労働省編「保育所保育指針解説」 平成30年3月 フレーベル館 (2018)
実務経験のある教員による授業	保育士の資格を有しており、保育現場の実務経験を活かした実践的な演習を行う。
オフィスアワー・連絡先	e-mail : ktanaka@soei.ac.jp 場所、時間は連絡をしてください。
備考	

講義科目名称： 幼児理解の理論及び方法（教育相談の理論及び 授業コード： 24B307A 24B307B  
方法を含む。）

英文科目名称： Theories and Methods for Understanding Infants

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	選択
担当教員			
棚澤 令子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	保護者に対する保育相談は、育児支援に欠かせない保育士の重要な仕事になりつつある。本授業においては幼児理解及び方法をふまえた上で、保護者相談にも対応できるよう常に実践を意識した生きた学びを身につけていく。そのために、前半は遊戯療法的視点の学び、発達段階に応じた問題行動の理解、障害理解を深め、後半は、カウンセリングマインドを中心とした、相談援助の知識・技術を学ぶ。さらに、事例を交えて、保育者として相談に応じる意義、保護者支援の内容や方法を理解する。		
履修目標	<p>① 幼児理解の意義と幼児理解から発達や学びをとらえる原理を理解し、教師の基礎的な態度を理解した上で、観察と記録の意義や目的、目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。</p> <p>② 個と集団の関係をとらえる意義や方法を理解し、幼児のつまづきを周りの幼児と関係やその他の背景から理解することができる。また、保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解する。</p> <p>③ 学校における教育相談の意義と課題と教育相談に関わる心理学の規則的な理論・概念を理解するとともに、学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解した上で、適切に説明できる。</p> <p>④ 受容、傾聴、共感的理解等のカウンセリングの規則的な姿勢や技法や幼児の不応答や問題行動の意味並びに幼児の発するシグナルに気づき、把握する方法を理解した上で、応用ができる。</p> <p>⑤ 職種や校務分掌に応じて、幼児並びに保護者に対する教育相談を行う際の目標の立て方や進め方やいじめ、不当園、虐待などの課題に対する、幼児の発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解し、それら基本的知識を活用できる。</p> <p>⑥ 教育相談の計画の作成や必要な校内体制の整備など、組織的な取り組みと地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を説明できる。</p>		
授業計画・授業外学修課題	1	幼児教育相談・保育相談支援とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	発達心理学・保育の心理学で学んだ内容を見直しておく（90分）
	2	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 保育士の専門性を活かした支援とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	講義内容をまとめる（90分） 配布資料を読んでおく（90分）
	3	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子どもにとっての「遊び」の意義：遊戯療法の技法を学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	講義内容をまとめる（90分） 配布資料を読んでおく（90分）
	4	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発達段階別 子どもの問題行動の理解 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	講義内容をまとめる（90分） テキスト1章を読んでおく（90分）
	5	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子ども理解の方法と実際1：情緒問題 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分） テキスト1 1章を読んでおく（90分）
	6	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子ども理解の方法と実際2：情緒問題 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分） 配布資料を読んでおく（90分）
	7	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子ども理解の方法と実際 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	講義内容をまとめる（90分） 配布資料を読んでおく（90分）
	8	授業外事後学修課題：課題内容（時間） カウンセリングマインドの理解 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	講義内容をまとめる（90分） テキスト8章を読んでおく（90分）
	9	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 専門領域での心理療法と具体的技法 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	講義の内容をノートにまとめる（90分） 配布資料を読んでおく（90分）
	10	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 幼児教育および保育現場での相談支援1：日常の関わりで難しい保護者 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	講義内容をまとめる（90分） テキスト1 2章を読んでおく（90分）

	<p>11 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分） 幼児教育および保育現場での相談支援2：養育困難な保護者 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト13章を読んでおく（90分）</p> <p>12 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分） 幼児教育および保育現場での相談支援3：精神疾患を持つ保護者 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト14章を読んでおく（90分）</p> <p>13 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分） 幼児教育および保育現場での相談支援1：ひとり親・ステップファミリーの保護者 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読んでおく（90分）</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義内容をまとめる（90分） 幼児教育および保育現場での相談支援1：虐待・DVが疑われる保護 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読んでおく（90分）</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義内容をまとめる（90分） 他機関との連携・記録のとり方・プライバシーの保護 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト15章を読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを行い、グループごとにプレゼンを行っていただきます。
課題のフィードバック方法と時期	リアクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法： レポート・リアクションペーパー 評価割合： 45% 評価基準： 要点をまとめ、自らの考えとその根拠を述べている 履修目標との対応： ①②③④⑤⑥</p> <p>評価方法： プレゼンテーション 評価割合： 45% 評価基準： わかりやすく工夫した発表ができている 履修目標との対応： ①⑥</p> <p>評価方法： 積極的態度・周囲との協調性 評価割合： 10% 評価基準： 活動への参加態度・協力度合 履修目標との対応： ④⑤</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト：家庭支援の心理学 一藝社 2020年 講義ノートを配布します。各自ファイリングして管理してください。 参考文献：随時紹介する</p>
実務経験のある教員による授業	乳児院・児童発達支援センター・保健センター等における心理職としての実務経験を活かした講義・演習を行います。
オフィスアワー・連絡先	不明点はrkurumisawa@soei.ac.jpまで、ご連絡ください。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	選択
担当教員			
平野 友康/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	<p>1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人</p> <p>2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人</p>
履修条件	
授業概要	<p>本科目は社会的養護(保護者がいない子どもや保護者から適切な養育を受けられない子どもを社会的に支援する仕組み)の基本について学ぶことである。具体的には次の2点である。1点目は社会的養護の意義、歴史の変遷、制度体系、児童の人権擁護および自立支援等を学ぶこと。2点目は児童相談所、児童養護施設、里親等が行う養護の実際について知り保育士の役割、援助方法について学ぶことである。この2点を踏まえ、社会的養護の現状と課題について述べ、自らの援助観について説明できるようにすることである。</p>
履修目標	<p>①社会的養護の理念と制度を調べ説明することができる                  ②社会的養護に関連する機関・施設とその役割を調べ説明することができる                  ③社会的養護に携わる専門職とその役割を調べ説明することができる                  ④社会的養護の現状と課題について述べ自らの援助観について説明できる</p>
授業計画・授業外学修課題	<p>1 オリエンテーション                  社会的養護とは何か、社会的養護の意義</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）                  シラバスを読み本科目の授業目的と内容を確認し疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）                  授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分)</p> <p>2 社会的養護の歴史的背景                  歴史的な背景を通じた子ども観の変遷</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）                  参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）                  授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分)</p> <p>3 児童虐待の種類と法的位置づけ①                  児童虐待の発生要因</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）                  参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）                  授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分)</p> <p>4 児童虐待の種類と法的位置づけ②                  児童虐待を受けた児童(被措置児童)の養護</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）                  参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）                  授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分)</p> <p>5 児童虐待の種類と法的位置づけ③                  児童虐待防止の現状と課題(児童虐待防止法の体系)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）                  参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）                  授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分)</p> <p>6 小テストの実施①児童の権利擁護と社会的養護                  今までの授業の振り返り                  子どもの権利と援助の視点</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）                  小テストを行うにあたり今までの授業内容の要点を確認する。参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p>

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分) 社会的養護の制度と法体系 児童福祉法および関連法規等</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分) 社会的養護の仕組みと実施体系 児童の措置仕組みと課題</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分) 社会的養護の専門職・実践者① 特別講師：児童相談所職員からのゲストスピーチ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分) 社会的養護の専門職・実践者② 特別講師：学習支援活動に取り組んでいる方からのゲストスピーチ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分) 小テストの実施②施設養護とソーシャルワーク① 今までの授業の振り返り 社会的養護における子どもに対する援助の基本的留意点</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小テストを行うにあたり今までの授業内容の要点を確認する。参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分) 施設養護とソーシャルワーク② 虐待してしまう保護者の心理</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分) 家庭的養護のしくみと実践 里親制度の現状と課題(特別講師：里親からのゲストスピーチ)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分) 小テストの実施③社会的養護と地域福祉の現状と課題 今までの授業の振り返り 社会的養護関係の施設と地域とのかかわり</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小テストを行うにあたり今までの授業内容の要点を確認する。参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分) テストの実施まとめ 今までの授業の振り返り 倫理の確立(社会的養護におけるケアと倫理・専門職の職業倫理)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テストを行うにあたり今までの授業内容の要点を確認する。参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキストで指摘した重要事項について再読し、理解が足りない部分についてまとめておく(90分)</p>

アクティブラーニングを用いた授業方法	討議・討論(教員が問いを提示し、その問いに対し自身の考えを提示し他者と対話しながら学びを深める)を行う
課題のフィードバック方法と時期	授業内にフィードバックします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：筆記試験  評価割合：25%  評価基準：テストは最終回に実施。テストは文章中の空欄を記述する形成とともに小論文を提示。すべて記載できたら100点。  履修目標との対応：②③④</p> <p>評価方法：レポート試験  評価割合：25%  評価基準：出題したテーマに対して自分の意見が書かれていること、提示した条件(枚数等)を満たしていること、以上2点ができたら80点  履修目標との対応：②③④</p> <p>評価方法：平常点評価  評価割合：40%  評価基準：ワークシート：授業中に配布したワークシートを授業内で記入し授業終了時に提出。内容が記載され提出すれば100点  履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：その他  評価割合：10%  評価基準：小テスト：15回の授業のうち3回の小テストを実施。小テストは文章中の空欄を記述する形式。5～6問の設定を行いすべて記載できたら100点  履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	参考文献：相澤仁・林浩康 編 『社会的養護 I (新基本保育シリーズ6)』中央法規、2019 他授業にて紹介する
実務経験のある教員による授業	社会福祉協議会での対人援助職(社会福祉士)としての実務経験をいかした講義を行う。
オフィスアワー・連絡先	別途掲示等を参照
備考	児童をめぐる社会問題への意識を持ち自らの考えを整理しておく和良好的。 授業で関心を待った内容についてさらに関連書籍などを読みまとめておく和良好的。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	選択
担当教員			
幸本 敬子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人  3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人
履修条件	『子どもの保健』を履修していることが望ましい。
授業概要	保育における保健的な視点を踏まえた保育環境や援助について理解をし、「保育所における感染症対策ガイドライン」などのデータを参考に、保育における衛生管理・事項部推す及び安全対策・危機管理・災害対策について具体的に学修する。さらに応急処置などについても習得し、健康及び安全管の管理の実施体制（組織的取り組みや保健活動の計画及び評価）等についても理解をする。
履修目標	①子どもの発達を踏まえた保育環境およびその重要性について説明できる。 ②近年の保育に関わる状況、関連法規およびガイドラインを正しく理解し、問題点と課題を明確にできる。 ③子どもの健康および安全に対する具体的な対策や対処方法を説明できる。 ④保護者（家族）および地域の関連機関との連携において子どもの健康および安全管理を考察できる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 オリエンテーション/子どもの事故についての理解 授業外事前学修課題：保育園での怪我・事故の実情や動向（90） 授業外事後学修課題：事故に対する理解と対応についてまとめる（90）</p> <p>2 災害への備えと対応の理解 授業外事前学修課題：保育園での災害対策とは何か(90) 授業外事後学修課題：予防および発生時の対応(90)</p> <p>3 子どもの体調不良への対応を理解する 発熱・下痢・嘔吐・咳・痛み・けいれん・脱水 授業外事前学修課題：小児に起こりやすい体調不良（90） 授業外事後学修課題：症状に対する対応をまとめる（90）</p> <p>4 子どもの応急処置・救急処置 授業外事前学修課題：救急蘇生とAEDの取り扱い（90） 授業外事後学修課題：応急処置と救急処置の方法と留意点（90）</p> <p>5 子どもの感染症とその予防について理解する 1 授業外事前学修課題：感染とは何か 感染症に関わる法とは（90） 授業外事後学修課題：予防接種の時期、出席停止期間をまとめる（90）</p> <p>6 子どもの感染症とその予防について理解する 2 授業外事前学修課題：保育園での感染予防の実情や動向（90） 授業外事後学修課題：保育園での感染予防対応をまとめる（90）</p> <p>7 子どもに対する保健的対応の理解 1 ・保育園での健康管理 ・病児/病後児保育 授業外事前学修課題：病児/病後児保育とは何か（90） 授業外事後学修課題：保育士が担う子どもの健康管理（90）</p> <p>8 子どもに対する保健的対応の理解 2 ・保育園での健康教育 授業外事前学修課題：健康教育とは何か 健康教育の目的（90） 授業外事後学修課題：健康教育の基本と方法・留意点（90）</p> <p>9 子どもに対する保健的対応の理解 3 ・子どもの飲食 ・子どもの睡眠 授業外事前学修課題：摂食および睡眠のメカニズムを復習する（90） 授業外事後学修課題：食事・睡眠への対応をまとめる（90）</p> <p>10 子どもに対する保健的対応の理解 4 ・だっことおんぶ ・清潔 ・排泄 授業外事前学修課題：保育園での生活の基本（90） 授業外事後学修課題：保育士が行う子どもの生活援助（90）</p> <p>11 慢性疾患のある子どもへの対応を理解する ・てんかん ・糖尿病 ・先天性心疾患 授業外事前学修課題：子どもの慢性疾患（90） 授業外事後学修課題：保育士が担う慢性疾患児の健康管理（90）</p> <p>12 障害のある子どもへの対応を理解する ・統合保育 授業外事前学修課題：子どもの障害（90）</p>

	<p>13 授業外事後学修課題：保育士が担う障害児の健康管理（90） アレルギーのある子どもへの対応を理解する 授業外事前学修課題：子どものアレルギー疾患（90）</p> <p>14 授業外事後学修課題：特別な対応・配慮が必要な子どもへの接し方（90） 地域保健活動と保育の関係を理解する ・地域における小児保健活動 ・医療ケア児 授業外事前学修課題：保育園と関連機関のつながりをリサーチする（90）</p> <p>15 授業外事後学修課題：地域において保育園の果たす役割とは何か（90） 保健活動の計画と評価 授業外事前学修課題：保育園における保健活動計画とは（90）  授業外事後学修課題：地域や保護者との連携を考える（90）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	毎回ではありませんが、教室内でのグループディスカッションや演習課題（PBL）等を行います。
課題のフィードバック方法と時期	可能な限り、授業内でのフィードバックを行います。 リフレクションペーパーのフィードバックは、当日の授業内もしくは次回の授業開始時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：筆記試験 評価割合：85% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば 60 点。 履修目標との対応：①～④</p> <p>評価方法：リフレクション・ペーパー 評価割合：15% 評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば 60 点。 履修目標との対応：①～④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト：ミネルヴァ書房 松本峰雄 監修 小林玄 著 「子どもの保健と安全 演習ブック」 ※「子どもの健康と安全」と共通テキストとなります。</p>
実務経験のある教員による授業	看護系大学教員（看護師・保健師・公認心理師免許所有）です。 また小児科・保育園看護師（保健師）としての経験を生かした講義（演習）を行います。
オフィスアワー・連絡先	学務課に連絡してください。
備考	<p>遅刻、早退、欠席等の取扱い：学則通り 受講上の注意：飲食、スマートフォンの使用、写真撮影、録音・録画は禁止） 資料の配布：毎回配布します 出欠席をとる方法：毎回確認します。リフレクションペーパーの提出と合わせて出席とします。</p> <p>主体的・積極的な受講はより高い評価をしたいと考えています。 授業内およびリフレクションペーパーでは是非、積極的に意見を述べてください。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	選択
担当教員			
岸 隆史			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。		
履修条件	特になし。		
授業概要	子どもの発達と運動技能や身体表現に関する知識と技術を習得し、環境構成や援助の仕方について基本的な事項を学習する。保育の現場で行われている運動遊びを実際に体験しながら、安全面に配慮しつつ、その環境構成や援助の仕方について話し合いまとめていく。上記のプロセスを通して、子どもの運動遊びに関する知見を広め、深めていく。そのために幼児の運動遊びを実際に体験し、遊びの楽しさ、難しさ等を肌で感じ、さらに、実践するにあたって安全面への配慮、子どもの育ちを促す援助の仕方を学習する。		
履修目標	①豊かな心や健やかな体を育成するために、体つくりのための運動にすすんで取り組む大切さを学び、実践的に生かせる。 ②色々な運動を楽しく行い、基本的な動きを身に付ける。 ③健康、安全に留意して運動することや、健康と身体運動に関する理解を深め、実践的に生かせる。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス：本授業を受けるにあたって 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）  本授業を含めて15回の授業内容の説明および高校時代までに行ってきた体育の授業内容の確認。 幼児教育に携わる者としての心構え等について説明。 後半、時間に合わせて軽く運動を行う。	
	2	集団遊び：集団で遊ぶ運動的活動の内容と指導・援助法①（簡単なゲーム遊び） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）  グループ分けを行い、簡単なゲームにより「アイスブレイク」を行った後ボールを利用してゲーム遊びを行う。	
	3	集団遊び：集団で遊ぶ運動的活動の内容と指導・援助法②（じゃんけんゲーム） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）  簡単なゲーム遊びを準備体操代わりに行い、資料を配布したのちに「じゃんけん」を利用したゲーム遊びを行う。	
	4	小型遊具の遊び：小型遊具を使った遊びの内容と指導・援助法①（フープ） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）  「フープ」を用いてゲーム遊びを行い、後半は「フープ」「フライングディスク」等を利用してグループごとにゲーム遊びを考え実践する。	
	5	小型遊具の遊び：小型遊具を使った遊びの内容と指導・援助法②（短なわとび） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）  「短なわ」を用いて初めに個人で縄跳びを行う。その後「短なわ」を利用してゲーム遊びを行う。後半は、「ダブルダッチ」の跳び方、回し方を習得する。	
	6	小型遊具の遊び：小型遊具を使った遊びの内容と指導・援助法③（長なわとび） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）  「短なわ」を用いて準備運動を行う。その後「長なわ」を利用してゲーム遊びを行う。後半は、「ダブルダッチ」の跳び方、回し方を習熟させる。	

7	<p>大型遊具野遊び：大型遊具を使った遊びの内容と指導・援助法①（マット遊び） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>「マット」を利用して運動遊びを行う。年少、年中、年長と年齢により発育・発達の違い、また同年齢でも月齢によっても個人差が大きいことを理解しながら運動及び補助するときの注意点を理解する。防衛反応、防衛体力の向上を図ることに目的があることを理解させる。</p>
8	<p>大型遊具野遊び：大型遊具を使った遊びの内容と指導・援助法②（跳び箱・平均台1） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>「マット」の復習を兼ねて準備運動を行った後、「跳び箱」を利用した運動を行う。7回目授業同様防衛反応・防衛体力の向上、特に障害物を乗り越えるときに必要な技能を身に着けることを目的とする。</p>
9	<p>大型遊具野遊び：大型遊具を使った遊びの内容と指導・援助法②（跳び箱・平均台2） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>7・8回目授業同様防衛反応・防衛体力の向上、特に障害物を乗り越えるときに必要な技能を身に着けることを目的とする。「平均台」を利用してさらにバランス能力の向上を図る。</p>
10	<p>鬼遊び：鬼遊びの内容と指導・援助法① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>資料を配布して、今までに経験してきたことのある「鬼遊び」も含めて、グループごとにゲーム遊びを行う。その際の安全面に配慮すべき注意点を指示する。</p>
11	<p>鬼遊び：鬼遊びの内容と指導・援助法② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>配布資料の中で10回目の授業の「鬼遊び」で実施していない遊びを実践する。</p>
12	<p>伝承遊び：伝承遊びの内容と指導・援助法① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>伝承遊び、その中でも「コマ回し」を中心とした内容とする。個人でコマを上手に回すだけでなく、コマに糸をうまく巻くコツや、回せることが苦手の児童にどのように補助すればよいか、右利き・左利きで糸の巻き方が違うことを理解する。</p>
13	<p>伝承遊び：伝承遊びの内容と指導・援助法②（リズム体操の内容と指導・援助法：2講～14講まで随時） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>「折り紙」のコマを個人で作成する。その後はコマ回しも含め他の伝承遊び(カルタ、だるま落とし、竹とんぼ等)を室内で行う。</p>
14	<p>行事や季節に関連した運動的活動（運動会・水遊びなど）の内容と指導・援助法 授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>幼児教育の現場でどのような運動的活動が行われている手、またどのように安全面も含めて配慮されているのかを理解する。</p>
15	<p>授業のまとめ(振り返り) 授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>14回目までの授業の内容を振り返りこの後さらに深めていきたい内容を検討しレポートして提出する。</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループ学習を基本として学生自らが「気づき」を感じることができる内容とする。
課題のフィードバック方法と時期	講義時間内で教師の指示を基にディスカッションを行いフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：実技及び課題レポート 評価割合：実技75%、レポート25% 評価基準： 履修目標との対応： ※適宜追加してください</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト：必要に応じてプリントや資料を配布する。 参考文献：文部科学省『学習指導要領解説 体育編（平成29年告示）』東洋館出版社・その他</p>

実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	
備考	運動ができる服装を用意し、安全に配慮して授業に取り組むこと 幼稚園・保育園での運動遊び指導に向けた授業です。その旨を理解し積極的な態度を望みます。 (安全が確保できないと判断した場合、他の学生に過度の迷惑がかかる場合は厳格に対応します)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
鈴木 明子/こども教育学部 當山 通子 佐藤 くみ 渡邊 友里香			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身につけ、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 4 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見出し、解決していく能力を有する人。		
履修条件	器楽Ⅰを修得していること		
授業概要	将来、子どもたちと音楽を楽しみ、子どもたちの表現の援助を行うことをイメージしながら、音楽的、かつ合理的な奏法やコード伴奏法、弾き歌いなどを学ぶ。習熟度に合わせたピアノ教則本と、保育現場でよく使用される歌や身体表現のための曲を中心に、個人の嗜好も考慮しながらレパートリーを増やしていく。またピアノに限らずいろいろな楽器にも触れていく。		
履修目標	①ピアノを用いた子どもの歌の弾きうたいのレパートリーを増やし演奏できるようになる。 ②保育の実践で用いる楽器の演奏方法を学び、場面に応じた表現ができる。		
授業計画・授業外学修課題	1	子どもの歌の弾きうたいの基本を確認する 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/今まで習った子どもの歌をアカペラで歌う（45分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/ゆっくりと子どもにわかりやすい発音で歌う（45分）	
	2	子どもの歌の伴奏の左手の奏法を工夫して弾きうたいをする① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/コードのベース音を確認する（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/ベース音を弾きながら子どもの歌を歌う（45分）	
	3	子どもの歌の伴奏の左手の奏法を工夫して弾きうたいをする② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/コードのベース音を確認する（45分）	
	4	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/ベース音を弾きながら子どもの歌を歌う（45分） 子どもの歌の伴奏の左手の奏法を工夫して弾きうたいをする③ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/コードの構成音を用いて左手を工夫して練習する（45分）	
	5	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/両手伴奏で子どもの歌を歌う（45分） 子どもの歌の伴奏の左手の奏法を工夫して弾きうたいをする④ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/コードの構成音を用いて左手を工夫して練習する（45分）	
	6	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/両手伴奏で子どもの歌を歌う（45分） 保育の実践で使われることの多い楽器の特性を知る 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/保育現場で使用されている楽器をいくつかノートに書く（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/楽器の特性についてノートにまとめる（45分）	
	7	具体的な保育の場面を想定し、楽器を用い子どもの歌を演奏する 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/コードの構成音を用いて左手を工夫して練習する（45分）	
	8	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/両手伴奏で子どもの歌を歌う（45分） ピアノやその他の楽器を用い合奏を学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/保育現場で演奏されるピアノと他の楽器を用いた合奏の曲を調べる（45分）	
	9	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/年齢別の楽器の使用についてノートにまとめる（45分） 歌の特徴にあった楽器を用いて、弾きうたいや合奏を学ぶ① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/楽器を用いて楽しめそうな子どもの歌を考える（45分）	
	10	授業外事後学修課題：課題内容（時間）/年利別の楽器の使用法について考える（45分） 歌の特徴にあった楽器を用いて、弾きうたいや合奏を学ぶ② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/楽器を用いて楽しめそうな子どもの歌を考える（45分）	

	<p>11 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/年齢別の楽器の使用法について考える（45分） 弾きうたいの伴奏の仕方を工夫し、アレンジして演奏をする① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/伴奏を工夫できそうな曲を自分なりに考える（45分）</p> <p>12 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/習った曲の伴奏を鍵盤で確認する（45分） 弾きうたいの伴奏の仕方を工夫し、アレンジして演奏をする② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/伴奏を工夫できそうな曲を自分なりに考える（45分）</p> <p>13 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/習った曲の伴奏を鍵盤で確認する（45分） 弾きうたいの伴奏の仕方を工夫し、アレンジして演奏をする③ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/伴奏を工夫できそうな曲を自分なりに考える（45分）</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/習った曲の伴奏を鍵盤で確認する（45分） 保育の場面を設定し、各自選曲をし、ロールプレイをしながら弾きうたいや合奏をする 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/子どもの歌を歌う保育の場面をイメージして選曲する（45分）</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/選んだ曲の弾き歌いを練習する（45分） まとめと確認をする 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/課題曲を練習する（45分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/保育の場面を想定して弾き歌いの練習をする（45分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	毎時間、グループ学習による発表や討議を行い、表現に対する理解を深める。
課題のフィードバック方法と時期	毎時間、個別指導により進捗を確認する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：グループ発表 評価割合：40% 評価基準：子どもにわかりやすいはっきりとした発音で弾き歌いできていれば60/100点 履修目標との対応：②</p> <p>評価方法：実技 評価割合：60% 評価基準：子どもの曲にふさわしいテンポとコード進行で弾き歌いできていれば60/100点 履修目標との対応：①</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	「かんたんメソッド コードで弾きうたい」細田淳子ほか著、カワイ出版 「ポケットいっぱいのおうた」鈴木恵津子ほか著、教育芸術社
実務経験のある教員による授業	幼稚園教諭、小学校教諭の経験を生かした実践的な指導をする。
オフィスアワー・連絡先	別記参照
備考	復習（課題の確実な実行）が重要になる授業である。練習室を使い、着実に練習をつみ重ねて欲しい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	選択
担当教員			
田中 君枝/こども教育学部 持田 訓子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1、保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 4、専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	実習実施基準を満たしていること。「保育実習 I A（保育所）」を同学期に履修（登録）していること。
授業概要	保育実習 I Aを円滑に進めていくために必要な具体的な知識、技術を習得する。既習教科と実習の関連について理解し、実習の意義と目的を認識する。実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。また観察の方法、記録の書き方、実習日誌の書き方、保育技術の実践、部分実習の計画立案、評価の方法や内容等について具体的に学び、保育現場に実習生として入るイメージと自覚を持つ。実習を行うにあたり、自己の課題を明確にし、保育実習に臨む。実習終了後に実習で得られた知識や技術を体系化し、新たな学習課題を明確化する。保育実習事後指導での振り返りを踏まえ、次の実習に向けた自身の課題を明確化する。
履修目標	①保育実習の意義・目的を理解し説明することができる。 ②実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にし説明することができる。 ③実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ④実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解し説明することができる。 ⑤実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。
授業計画・授業外学修課題	1 実習の意義、目的について 実習ガイドブック、保育実習手引きを踏まえ、保育実習 I Aの意義を理解する。自己紹介用の作品を準備する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育実習の手引きに示される実習の概要を確認しておく（90）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自己紹介に使用する準備物を作成する（90分） 2 実習の心構えについて 保育実習 I Aの目的及び保育所の役割と機能の多様性について理解する。書類用の身だしなみ、心構えについて理解する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストで実習の目的等を確認し、実習生としてのマナーを調べておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習ガイドブックや手引き、テキストを読み返して、内容を整理する。身だしなみについて学ぶ。（90分） 3 保育実習の概要について 保育実習の流れを理解する。自己紹介の模擬保育をする。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 模擬保育の準備をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習の目標をさまざまな内容を入れ、実習目標を3～5項目考える。（90分） 4 実習書類作成 保育実習 I A必要な書類を作成する。書いた資料の添削指導を受ける。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分） 手引き・テキストを読んで書類の記入の仕方について理解しておく。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 書類を記入し、提出できるようにする。（90分） 5 保育現場から伝える実習の重要点 初めての保育実習の心構えや楽しさ、重要性を理解する。（外部講師の講話）  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 外部講師の講話の振り返りをする（90分） 6 実習日誌、指導案の書き方 実習記録の方法を理解し、日誌、指導案を書き方を理解する。

7	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日誌を模写する(90分) 実習日誌、指導案の書き方 実習記録の方法を理解し、日誌、指導案の書き方を理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読み、実習日誌の書き方を理解しておく。(90分)</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習日誌の書き方を授業を振り返り、ポイントをまとめておく。指導案を作成する(90分) 実習日誌、指導案の書き方 実習記録の方法を理解し、日誌、指導案の書き方を理解する。発表する。</p>
9	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指導案を作成する(90)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 指導案の発表の振り返りをする(90分) 子ども理解について 子どもとの関わりを映像を通して、事実の読み取り、考察を深める。</p>
10	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを元に年齢ごとの乳幼児の発達を復習する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を振り返る(90分) 保育実習に向けた準備 細菌検査レクチャー、オリエンテーションⅡの練習、日誌の概要等を確認する。</p>
11	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、手引きを通して実習の準備を確認する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習に向けて準備を確認する(90分) 保育実践を基に指導案を作成 乳幼児の発達に応じた教材を研究し自身の指導案を作成する。</p>
12	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを元に年齢ごとの乳幼児の発達を復習する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 部分実習を行う内容をまとめる(90分) 実習経験者（4年生）の先輩からの体験談 4年生のまとめの報告を聞きながら自身の参考にし実習の重要点を理解する。</p>
13	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、手引きを読み、実習前に確認しておくべきことを確認する(90)実習にむけて質問事項をまとめておく(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習にむけて質問事項をまとめておく(90分) 保育実習に向けた準備 映像、日誌の準備、オリエンテーション報告、共有する。</p>
14	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、手引きを読み、実習前に確認しておくべきことを確認する。オリエンテーションに行き準備をする。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を振り返り、実習に向けた準備の最終確認をする(90分) 保育実習に向けた準備 保育士の職業倫理の確認。実習後の手続きも含めた準備の最終確認（校内オリエンテーション）</p>
15	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 心にのこったエピソード記録をまとめる。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） お礼状等実習事後の準備をする。(90分) 保育実習事後指導 実習の振り返りと自己評価 評価伝達 報告書について学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 実習での学びと今後の課題を整理する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 評価伝達を受ける。 今後の自身の課題を明確に報告書を作成する。実習の自己評価を行う。(90分)</p>

アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク，保育実技実践の体験を行います。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションを授業終了時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート  評価割合：50%  評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができているならば60点。ルーブリック参照。  履修目標との対応：①②③⑤</p> <p>評価方法：実習報告書  評価割合：50%  評価基準：授業で学んだことを理解できていければ60点。  履修目標との対応：①④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	小櫃智子 田中君枝 遠藤純子 小山朝子 著「実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド」わかば社 (2022) 「保育園、幼稚園、学童保育まで使えるたのしい手遊び50」創成社 (2014) 百瀬ユカリ 田中君枝 著
実務経験のある教員による授業	保育現場経験を有しており、その経験を活かして実践にも役立つ授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	e-mail : ktanaka@soei.ac.jp 場所、時間は連絡をしてください。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	選択
担当教員			
田中 君枝/こども教育学部 持田 訓子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2、対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 4、専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見出し、解決していく能力を有する人。
履修条件	実習実施基準を満たしていること。「保育実習事前事後指導 I A（保育所）」を同学期に履修（登録）していること。
授業概要	保育所の生活に参加し、保育所における保育の実際、保育士の業務、職業倫理、保育所の役割と機能について具体的に学ぶ。また観察や子どもの関わりを通して、子ども理解を深める。既習の強化の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について、具体的総合的に学ぶ。実習日誌への記録、反省等を通して観察、記録、及び自己評価について具体的に理解する。
履修目標	①保育所の役割や機能を具体的に理解し、実習に生かすことができる。 ②観察や子どもの関わりを通して子どもへの理解を深め、実習に生かすことができる。 ③既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学び、実習に生かすことができる。 ④指導計画、観察、記録、及び自己評価等について具体的に理解し、実践できる。 ⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学び、実習に生かすことができる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 保育所の役割と機能 (1) 保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わりを学ぶ。 (2) 保育所保育指針に基づく保育の展開を学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育実習事前オリエンテーション（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日々の保育記録を記入し振り返りを行う。（90分）</p> <p>2 子どもの理解 (1) 子どもの観察とその記録により理解する。 (2) 子どもの発達過程を理解する。 (3) 子どもへの援助や関わりを学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 翌日の実習に向けての準備をする。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日々の保育記録を記入し振り返りを行う。（90分）</p> <p>3 保育内容・保育環境 (1) 保育の計画に基づく保育内容を学ぶ。 (2) 子どもの発達過程に応じた保育内容を理解する。 (3) 子どもの生活や遊びと保育環境を学ぶ。 (4) 子どもの健康と安全について理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 翌日の実習に向けての準備をする。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日々の保育記録を記入し振り返りを行う。（90分）</p> <p>4 保育の計画・観察・記録 (1) 全体的な計画と指導計画及び評価を理解する。 (2) 記録に基づく省察・自己評価を行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 翌日の実習に向けての準備をする。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日々の保育記録を記入し振り返りを行う。（90分）</p> <p>5 専門職としての保育士の役割と職業倫理 (1) 保育士の業務内容を理解する。 (2) 職員間の役割分担や連携・協働を学ぶ。 (3) 保育士の役割と職業倫理を学ぶ。</p>

	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 翌日の実習に向けての準備をする。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日々の保育記録を記入し振り返りを行う。（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：実習園からの評価を元にした総合的な評価 評価割合：100% 評価基準：実習委員会会議の上、「保育実習園の評価」，「保育実習への出席状況」，「実習日誌の記述内容」など総合的に判断して評価を行う。 履修目標との対応：①②③④⑤</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	
実務経験のある教員による授業	保育現場経験を有しており、その経験を活かして実践にも役立つ授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	e-mail：ktanaka@soei.ac.jp 場所、時間は連絡をしてください。
備考	



## 【3年次配当科目】



開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	選択
担当教員			
大内 美智子/こども教育学部 根本 徹/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連付けて理解し、活用できる能力を有する人 3 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人
履修条件	保育内容の指導法（健康・環境）Ⅰの単位を修得していること。
授業概要	「保育内容の指導法Ⅰ（健康・環境）」の授業を受け、さらに保育の内容、子どもたちへのかかわりの仕方等の力を身に付ける。健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う「健康」の領域、周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持ってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う「環境」の領域の観点より総合的に展開される保育の理解を深める。
履修目標	①領域「健康」および「環境」の意義に基づく指導計画を理解し説明できる。 ②「健康」および「環境」の指導に関わる知識・技能を指導現場に適用できるようにする。 ③自然に触れ、季節の変化に気づき、その体験を指導現場に適用できるようにする。 ④季節感のある遊びを体験し、季節により自然や人間の生活に変化があることを知り、指導現場に適用できるようにする。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 保育内容の指導法（健康・環境）Ⅱの学修の仕方 保育内容の指導法（健康・環境）Ⅰの学修を受け、さらに領域「健康」「環境」の具体的な指導法について理解し、講義の概要を把握して学修の見直しをもつ。 授業外事前学修課題：シラバスを確認し、講義の概要を把握する(90分) 授業外事後学修課題：講義内容の要点、感想をノートにまとめる(90分)</p> <p>2 遊びの特徴 領域「健康」で重要な位置を占める「遊び」の特徴をつかむ。 授業外事前学修課題：遊びの意義や、種類について調べる(90分) 授業外事後学修課題：講義内容の要点、感想をもとにレポートを書く(90分)</p> <p>3 環境設定 遊びをとおした運動指導における環境設定について考えて発表する。 授業外事前学修課題：遊びを創る環境設定について調べる(90分) 授業外事後学修課題：講義内容の要点、感想をノートにまとめる(90分)</p> <p>4 遊びの工夫 遊びを通した運動指導における工夫について考え発表する。 授業外事前学修課題：遊びを創る様々な工夫について調べる(90分) 授業外事後学修課題：講義内容の要点、感想をノートにまとめる(90分)</p> <p>5 保育者の介入 遊びを創る保育者のよりよい働き掛けや役割について考え発表する。 授業外事前学修課題：遊びを創るために保育者がやるべきことについて調べる(90分) 授業外事後学修課題：講義内容の要点、感想をもとにレポートを作成する(90分)</p> <p>6 水遊び等の室外での遊び 水遊び等の室外での遊びにおける指導の工夫と留意点について考え発表する。 授業外事前学修課題：水遊び等の室外あそびの種類や運動指導の留意点について調べる(90分) 授業外事後学修課題：講義内容の要点、感想をノートにまとめる(90分)</p> <p>7 運動会や行事での運動 運動会や行事での運動についてよりよい指導の工夫について考え発表する。 授業外事前学修課題：運動会や行事での運動指導について調べる(90分) 授業外事後学修課題：講義内容の要点、感想をもとにレポートにまとめる(90分)</p> <p>8 人との関わり 協働的に遊びを創る意義を考え、それを生み出す指導のあり方をグループ討議して発表する。 授業外事前学修課題：協働的な遊びを創る運動指導について調べる(90分) 授業外事後学修課題：遊びを核にした運動指導についてレポートにまとめる(90分)</p> <p>9 3歳児春の実践事例/ 幼稚園教育の基本・保育所保育に関する基本事項について幼稚園教育要領・保育所保育指針を熟読し、環境にかかわる具体的実践事例を体験したり、体験的活動の価値を発表したりする。 授業外事前学修課題：栽培活動を含む春の自然体験活動について、その留意点を調べる(90分) 授業外事後学修課題：春の自然体験活動を領域「環境」のねらいや内容に即して整理し、レポートに書く(90分)</p> <p>10 3歳夏の実践事例/ 地方都市、首都圏（都心・郊外）など、周辺環境の異なる園における指導の工夫や共通点について調べ、指導案の略案を作成し、話し合う。 授業外事前学修課題：水に親しむ自然体験活動について、その留意点を調べる(90分) 授業外事後学修課題：周辺環境を活用する指導案作成上の留意点をつかみ、指導案作成を行う(90分)</p> <p>11 4歳児秋の実践事例/ 地域の自然とこどもの環境体験の可能性（大学周辺の季節探しと新治市民の森の散策）や、生命の営みや相互作用・尊さについてを中心に発表する。 授業外事前学修課題：雑木林の1年の変化について調べ、園外活動の可能性や安全への配慮点について調べる(90分) 授業外事後学修課題：新治市民の森の生物の希少性や価値などについてレポートに書く(90分)</p> <p>12 4歳児 冬の実践事例 指導案作成/ ビオトープを活用した自然体験活動について、四季を通</p>

	<p>じて活動可能な理想的設計（園庭ビオトープの設計と遊具の意味）を考えながら4歳児冬の実践事例を中心に指導案を作成し、話し合う。</p> <p>授業外事前学修課題：日本生態系協会や環境省のHPから、SDGsやビオトープ、こども環境管理士、ビオトープコンクールなどについて調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：大学キャンパス周辺での生物多様性や季節感について、写真撮影などしながら、レポートに書く（90分）</p> <p>13 5歳児 秋・冬の実践事例/ こどもの安全と保育者・教師の役割について、災害時や、保育・指導時に起きやすい重大事故等に留意しながら、「安全に配慮した保育・指導の環境づくり」について話し合い、発表する。</p> <p>授業外事前学修課題：「ハインリッヒの法則」「ヒヤリハット」「幼児安全法指導員」など、幼児の安全の確保の取り組みについて調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：災害や事故に備える保育者の心構えや組織的な取り組みの重要性についてレポートに書く（90分）</p> <p>14 5歳児 春・夏の実践事例/ ネイチャーゲームの活用や園外活動（お散歩・遠足）など、任意の園を選択し、5歳春・夏の具体的実践事例を話し合い、発表する。</p> <p>授業外事前学修課題：フィールドビンゴなどの春・夏のネイチャーゲームの例や、その活動の幼児への展開の仕方について調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：現代における園外活動の実践についての価値づけをレポートに書く（90分）</p> <p>15 保育の基本＝環境構成を学ぶ/ こどもにとってよりよい遊びの環境とはどのようなものか、保育者や教師に求められる環境構成、環境デザインについて、話し合い、発表する。</p> <p>授業外事前学修課題：自ら自然環境に関わり、生活に取り入れようとする遊びや活動の計画について調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：遊びをうながす園内の自然環境や立地、地域との関わり構築についてレポートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークや討議とその発表、課題解決学習を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りやレポート等は講義で発表し、意見交流に活用する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：授業への取り組み 評価割合：40% 評価基準：グループワーク等役割を担って主体的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④</p> <p>評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：30% 評価基準：毎回リフレクションペーパーで授業で学んだことを記述できれば60/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④</p> <p>評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館2018</p> <p>厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館2018</p> <p>参考文献：平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本</p> <p>チャイルド本社（2017/06発売）</p>
実務経験のある教員による授業	担当教員は小学校の教諭経験があり、それを生かして演習を構成する。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別添参照してください。連絡先はmouchi@soei.ac.jp とtnemoto@soei.ac.jpです。
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお30分以内の遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	選択
担当教員			
田中 君枝/こども教育学部 佐藤 浩代			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2, 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3, 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。
履修条件	「保育内容の指導法（人間関係・言葉）Ⅰ」を修得していること。
授業概要	幼稚園教育において育みたい資質能力を踏まえ、幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」及び「言葉」のねらい及び内容について、背景となる専門領域と関連させて理解を深め、具体的な指導場面を想定して保育を構想し実践する方法を身に付ける。「保育内容の指導法（言葉・人間関係）Ⅰ」の授業を受け、領域「人間関係」及び「言葉」のねらいと内容や遊びや生活の中で効果的な指導法をさらに深く理解するとともに、指導に必要なより高度な知識・技能を修得する。
履修目標	①幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。 ②幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。 ③幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。 ④幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス、授業の進め方、評価の方法 合同授業にて行い、授業（人間関係・言葉）実施内容を理解する。（田中、佐藤） 各自テーマに基づいて1分スピーチを行う。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストに目を通しておく。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分） 2 保育者と子どもと「人間関係」 保育実習体験を振り返る。個と集団の育ちについて自身の体験をまとめ整理し理解する。（田中）  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育・教育実習日誌を振り返る。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 領域「人間関係」に関わる事例を準備する。（90分） 3 保育者と子どもと「人間関係」 保育実習体験を振り返る。個と集団の育ちについて自身の体験をまとめ整理し理解する。プレゼンテーションする。（田中）  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 領域「人間関係」に関わる事例を準備する。プレゼンテーションの準備をする。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 様々な事例をもとに振り返る。（90分） 4 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「人間関係」 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の映像を通して事例研究を行う（田中）  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 領域「人間関係」に関する事例を準備する。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 映像の振り返りをする。（90分） 5 年齢別の遊びに見られる「人間関係」 外部講師による講話を聴く。保育現場における年齢別等の「人間関係」について学ぶ。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 映像の振り返りをする。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 外部講師講話の学びをまとめる。（90分） 6 保育現場との連携による「人間関係」の理解 保育現場と教材製作を通して連携する。情報機器も活用する。

7	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育現場と教材製作内容を準備する。情報機器の活用をする。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 保育現場と教材製作内容を準備する。情報機器の活用をして制作する。（90分） 保育現場との連携による「人間関係」の理解 保育現場と教材製作を通して連携する。情報機器も活用する。制作した作品を紹介することにより「人間関係」を学ぶ。</p>
8	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育現場と教材製作を準備する。情報機器の活用をして制作する（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修内容を振り返る。（90分） 「人間関係指導法」の学び 領域「人間関係」の指導における配慮事項を確認し理解する。指導計画について学ぶ。（田中）</p>
9	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示をした内容を確認する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 履修内容を振り返りまとめる。（90分） 保育内容「言葉」の指導法の学び 言葉の機能と役割に着目し、指導法について考える。（佐藤）</p>
10	<p>外事前学修課題：課題内容（時間） 前期授業ノートから復習しておく。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を確認し、振り返る。（90分） 素話とは 児童文化財として、素話のもつ力を考える。（佐藤）</p>
11	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業時に指示した資料を読み、語りたいお話の候補を3話考える。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を振り返り、素話を語る準備をする。（90分） 指導案についての検討―実践例を通して ねらい、環境設定、保育者の援助を理解し、素話、言葉あそび、絵本などの言葉に関する活動計画を検討する。（佐藤）</p>
12	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業時に指示した資料を読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を振り返り、素話を語る準備をする。（90分） 教材研究―素話を語る 素話を覚えて語り、グループワークとして互いに映像を録画する。（佐藤）</p>
13	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 素話を語る準備をする。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） スマートフォンで録画した映像を活用して、素話の語りを振り返る。（90分） 文字に対する興味関心をもつ経験 遊びや生活の中で文字の有用性や必要性に気付き、文字を喜んで使えるようにするための援助や環境構成を考える。（佐藤）</p>
14	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第5章を読む。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を振り返り、レポートに備える。（90分） 言葉の遅れがある子どもと保育内容 言葉に遅れや障がいがある乳幼児や外国籍の幼児等への援助について、言葉における配慮の重要性を理解する。（佐藤）</p>
15	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第7章、第8章を読む。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を振り返り、レポートに備える。（90分） 遊びの中の豊かな言葉の経験と保育者の役割 乳幼児の豊かな遊びを支える保育者の言葉を環境として理解する。（佐藤）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業時に指示した資料を読む。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を確認し、振り返る。（90分）</p>

アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行います。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは、授業終了時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート（人間関係・言葉）          評価割合：30%          評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば60点。ルーブリック参照          履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：課題発表（人間関係・言葉）          評価割合：20%          評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば60点。          履修目標との対応：①③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>人間関係のテキスト          横山文樹 駒井美智子著「保育を学ぶシリーズ 保育内容 人間関係」大学図書出版 2019年          保育所保育指針解説＜平成29年告示＞フレーベル館（2018年）</p> <p>言葉のテキスト          大豆生田啓友・佐藤浩代編著『保育・幼児教育シリーズ 言葉の指導法 改訂第2版』玉川大学出版部（2019年）          厚生労働省編『保育所保育指針解説 平成30年3月』フレーベル館（2018年）  <b>【重要】</b>2年後期「保育内容指導法（言葉）Ⅰ」で使用したノートを持参してください。</p>
実務経験のある教員による授業	幼稚園教諭としての実務経験を活かした演習を行います。（田中・佐藤）
オフィスアワー・連絡先	e-mail：ktanaka@soei.ac.jp 場所、時間は連絡をしてください。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	選択
担当教員			
鈴木 明子/こども教育学部 流石 良子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身につけ、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。4 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見出し、解決していく能力を有する人。		
履修条件	授業科目「保育内容の指導法（表現）1」を修得していること		
授業概要	「保育内容の指導法（表現）1」の授業を受け、さらに保育の内容、音楽表現と造形表現の対場から、幼児の心情、認識、思考及び動き等を視野に入れた保育を構想するための理論と実践方法を学修する。自分なりの表現・豊かな感性・創造性・イメージ・伝え合う・表現の楽しさ・意欲・環境などの観点から指導案を作成し、模擬保育を行い、振り返りと討議を行う。また、領域「表現」の特性に応じた保育実践の動向を探り、保育を改善する能力を高める。		
履修目標	<p>①幼児の心情、認識、思考及び動き等を視野に入れた保育構想の重要性を理解している</p> <p>②領域「表現」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができる。</p> <p>③指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</p> <p>④模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を見につけている。</p> <p>⑤領域「表現」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p>		
授業計画・授業外学修課題	1	オリエンテーション、保育内容「表現」について再考する（担当：鈴木、流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/乳幼児の表現についてその種類を考えてくる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/保育の場面で「表現」が観察できる場面を想像してみる（90分）	
	2	乳幼児期における造形行動の発達を支援する保育者の関わりについて（担当：流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/乳幼児期の発達段階について振り返る（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/乳幼児期の造形行動を振り返りノートなどにまとめる（90分）	
	3	乳幼児期における描画の発達を支援する保育者の関わりについて（担当：流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/乳幼児期の発達段階について振り返る（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/乳幼児期の描画を振り返りノートなどにまとめる（90分）	
	4	コミュニケーションや多様な素材との関わりをテーマにした指導案作成（担当：流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/指導案について参考資料を基に構想する（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/作成した指導案の振り返りを行う（90分）	
	5	コミュニケーションや様々な素材との関わりをテーマにした模擬保育（担当：流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/模擬保育の構想をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/模擬保育の振り返りをする（90分）	
	6	身近な世界とのかかわりや行為に着目した表現活動の指導案を作成（担当：流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/指導案の構想をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/作成した指導案の振り返りを行う（90分）	
	7	身近な世界とのかかわりや行為に着目した表現活動の模擬保育（担当：流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/模擬保育の構想をする（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/模擬保育の振り返りを行う（90分）	
	8	子どもの表現Ⅱ（造形）の学びの振り返り（担当：流石） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/授業内容を振り返っておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/模擬授業の経験、話し合いから学びをまとめる（90分）	
	9	乳幼児期における音楽行動の発達について知識を獲得し、理解を深める（担当：鈴木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/乳幼児の発達段階について振り返る（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）/新しく知り得た知見をノートにまとめる（90分）	
	10	乳幼児期の集団の中での音楽的表現の具体例を知る～うた遊び、身体表現を伴う音楽的行動を実際の保育の場面を想定し、考える（担当：鈴木）	

	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）/乳幼児の身体表現について知っていることをノートにまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/リトミックの考え方と保育者の支え方をノートにまとめる（90分）</p> <p>11 リトミックにおける即興的表現とそれを支援する保育者の役割について学び、より豊かな子どもの音楽表現を引き出すための指導を学ぶ（担当：鈴木）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）/リトミックの活動を調べてくる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/子どもの音に関する表現を引き出す手立てを考える（90分）</p> <p>12 模擬保育1：音楽表現を引き出す教材について学び、保育対象となる年齢を設定し指導案を作成する（担当：鈴木）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）/模擬保育の構想をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/模擬保育の振り返りを行う（90分）</p> <p>13 模擬保育2：作成した指導案に基づき、グループに分かれ模擬保育を行い振り返りと討議によって保育の改善点を探る（担当：鈴木）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）/指導案の構想をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/作成した指導案の振り返りを行う（90分）</p> <p>14 模擬保育3：作成した指導案に基づき、グループに分かれ模擬保育を行い振り返りと討議によって保育の改善点を探る（担当：鈴木）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）/模擬保育の構想をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/模擬保育の振り返りを行う（90分）</p> <p>15 音楽表現における保育者の援助について学び、子どもの生活の中の音楽表現の表れ方の事例を知り、それを支え伸ばす指導について考えあう。（担当：鈴木）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）/授業後半の内容を振り返っておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/授業内で実施した発表等の振り返りを行う（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	この演習では、討議・発表・グループワーク・表現と鑑賞などを行い、表現に対する理解を深める。
課題のフィードバック方法と時期	課題レポート等は、確認後、個別に返却する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート課題</p> <p>評価割合：60%</p> <p>評価基準：授業時にルーブリックを配布します</p> <p>履修目標との対応：①②③④⑤</p> <p>評価方法：授業ごとの学びのミニレポート</p> <p>評価割合：40%</p> <p>評価基準：課題に向き合い解決したり学べていれば60/100点</p> <p>履修目標との対応：①②③④⑤</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	文部科学省『幼稚園教育要領』、2017年。厚生労働省『保育所保育指針』、2017年。参考書：浜口順子編『領域「表現」（新訂*事例で学ぶ保育内容）』萌文書林、2018年。
実務経験のある教員による授業	小学校教諭としての音楽指導の実務経験を生かした授業を行う。（鈴木） 小学校教諭としての図画工作科指導の実務経験を生かした授業を行う（流石）
オフィスアワー・連絡先	別紙参照
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	選択
担当教員			
田中 君枝/こども教育学部	江島 絵理子/こども教育学部	大内 美智子/こども教育学部	
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1、保育・幼児教育に係る高度な専門知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連付けて理解し、活用できる能力を有する人。 4、専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	「認定絵本士」を目指すための知識や技術を身に付ける。「認定絵本士」養成が期待しているものは読み聞かせの技術の獲得だけではなく人それぞれの絵本の理解、読者に合わせた絵本の選択、絵本制作にかかわった者の思いの共有など様々である。絵本そのもののもつ魅力に気づき、絵本を通して子ども達との応答性を高め、子ども理解が進んでいくような読書活動を推進する担い手となっていくよう幅広い知識、技術を習得する。
履修目標	①絵本に関すること（歴史や表現特性や教育等）及び子どもの理解（児童福祉・心理）に関することを学ぶ。 ②手遊び、読み取り、創作活動等のおはなし会やワークショップを運営する力を身につける。 ③絵本を通して豊かな人間性、魅力ある人間性を育むための力を身に付ける。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 オリエンテーション 基礎知識 我が国の読書推進活動に関する施策等の経緯 講座の相互理解 資格取得について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 子どもをめぐる社会状況について新聞やニュース等で調べておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分）</p> <p>2 絵本とは何か 「絵本」をめぐる行為 「絵本」の定義の捉え方 「絵本」の多様なあり方、可能性と課題</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） 事後課題（30分）レポートを作成する 絵本の歴史、絵本賞について 世界の絵本の歴史 日本の絵本の歴史 絵本賞 児童文学賞</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） 事後課題（30分）レポートを作成する</p> <p>3 子どもの知的・社会的発達と絵本との関わり 各年齢期の子どもの発達と絵本との関わり 絵本が子どもの発達に及ぼす影響に関する学術的知見</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分）</p> <p>4 メディアとしての絵本の位置づけ 情報メディアとしての絵本の特性 絵本と著作権の関係</p> <p>5</p> <p>6</p>

7	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） 事後課題（30分）レポートを作成する 物語の絵本 物語を内容とした絵本の特性 絵本における絵と言葉で語る技法</p>
8	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） 昔話、童話を基にした絵本 昔話を題材にした絵本の特性 童話を題材にした絵本の特性</p>
9	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） 科学絵本について 科学絵本等の特性 科学絵本等の活用方法</p>
10	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） はじめての絵本との出会い 乳幼児を対象とした絵本の特色 乳幼児が絵本に触れるための具体的取り組み</p>
11	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） 保育・教育の場での出会い 保育・教育の場における絵本の意義 保育・教育の場における絵本を用いた活動の具体的取り組み</p>
12	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） 図書館等での出会い～絵本の活用および地域連携の可能性～ 公共図書館の行う児童サービス 地域の読書推進活動における絵本をめぐる活動の展開</p>
13	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） 書店での出会い 書店における絵本の売り場づくり 絵本の流通</p>
14	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） 絵本を探す技術 絵本を探す目的・人々 絵本の情報源 図書館におけるレファレンスサービス</p>
15	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） ワークショップ 絵本を活用した表現活動</p>

	<p>絵本を活用した表現活動の基礎的技術</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） 事後課題（30分）レポートを作成する</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを行います。
課題のフィードバック方法と時期	課題、リフレクションにて振り返りを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：課題レポート 評価割合：50% 評価基準：課題についてのレポート作成 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：リフレクション 評価割合：30% 評価基準：リフレクションペーパーにて振り返りを行う。 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：グループワーク 評価割合：20% 評価基準：グループワークにて積極的な意見交換をする 履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	認定絵本土養成講座 テキスト 絵本専門士委員会 独立行政法人国立青少年教育振興機構 発行 中央法規出版
実務経験のある教員による授業	幼稚園教諭・保育士の資格を有しており、保育現場の実務経験を活かした実践的な講義を行う（田中、江島）
オフィスアワー・連絡先	連絡先 ktanaka@soei.ac.jp（田中） eeshima@soei.ac.jp（江島）
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	選択
担当教員			
濱田 唯/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	子ども家庭支援の意義や保育者としての役割について学ぶ。子育て家庭に対する支援の体制について概観し、多様な支援の展開方法や関係機関との連携について学ぶ。そして子育て家庭への相談援助の具体的事例をもとに保育者に求められる保育ソーシャルワークの知識を深める。
履修目標	①子育て家庭が抱える諸問題について整理し、具体例をあげて説明することができる。 ②子育て家庭の課題に対する支援の方法を具体的に説明することができる。 ③子育て家庭の課題の背景を理解し、保育士として保護者や子どもの話を聞く姿勢を身につける。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 子ども家庭支援の意義と必要性 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)</p> <p>2 子ども家庭支援の目的と機能 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)</p> <p>3 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)</p> <p>4 子育て家庭の福祉を図るための社会資源 指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)</p> <p>5 保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)</p> <p>6 子どもの育ちの喜びの共有 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)</p> <p>7 保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)</p> <p>8 保育士に求められる基本的態度 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)</p> <p>9 家庭の状況に応じた支援 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)</p> <p>10 地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)</p> <p>11 子ども家庭支援の内容と対象 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)</p> <p>12 保育所等を利用する子どもの家庭への支援 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)</p> <p>13 地域の子育て家庭への支援</p>

	<p>14 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分) 要保護児童およびその家庭に対する支援</p> <p>15 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分) 子育て支援に関する課題と展望 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	毎回授業ではグループワークを行い、学生同士が意見交換し、発表する場を設ける。授業の最後にはリアクションペーパーを記入し、質問や意見に対して次回の授業で教員から回答する。
課題のフィードバック方法と時期	授業内でフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：平常点評価 評価割合：30% 評価基準：出席、授業態度、グループワーク参加率 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：リアクションペーパー 評価割合：30% 評価基準：授業の理解度、意見を明確に書けているか、他者の意見を聞きさらに理解を深めているか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：レポート課題 評価割合：30% 評価基準：授業の理解度、意見を明確に書けているか、課題について文献を使い調べることができているか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：その他 評価割合：10% 評価基準：その他の課題 (10点満点とする) 履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他 (必要物品など)	中央法規出版 新・基本保育シリーズ5「子ども家庭支援論」を参考に授業を進めます。(資料はこちらで用意します。購入する必要はありません)
実務経験のある教員による授業	担当教員は精神保健福祉士・公認心理師としての実務経験を活かした講義・演習を行う
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーについては別途提示 連絡先：yhamada@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	選択
担当教員			
岸 隆史			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	体育Ⅰを履修済みのこと
授業概要	体育Ⅰで培った理論と実践をさらに深めていく。運動的な遊びを通じて様々な子ども達の経験を重視し、その育ちを支えるために援助の大切さを再考する。また、安全面への配慮についても再確認していく。 子どもの運動能力の低下が危惧されている現状において、子どもの体力向上についての知識や方法を身につけることが目的である。それぞれ（中、高学年）の発達段階に応じた、運動や安全に関する知識や技術を学修する。
履修目標	①子どもの運動遊びを体験することによって、内容および安全への配慮について理解を深め、実践的に生かせる。 ②子どもの運動技能の発達に関する知識を身につけ、育ちを援助する技術を習得する。 ③子どもの運動遊びの計画をたて、保育の環境構成及び具体的展開のための技術を習得する。
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス：本授業を受けるにあたって 演習形式で行い、理論と実践の融合をはかる。実際に指導計画を立案し、それに基づいた実践を行い援助の仕方等を検討する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 2 集団遊び（ゲーム）の指導計画および実践、援助の仕方検討①指導計画 集団遊びの中で運動量を確保する方法や安全面での配慮を検討し計画する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 3 集団遊び（ゲーム）の指導計画および実践、援助の仕方検討②実践 前回の授業で計画したものを中心に実践してみる。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 4 集団遊び（ゲーム）の指導計画および実践、援助の仕方検討③援助の仕方 前回の授業で実践したものを、課題を見つけ、援助の方法を検討する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 5 集団遊び（ゲーム）の指導計画および実践、援助の仕方検討④振り返り 前回の授業で実践したものを、課題を見つけ改善し、援助の方法を検討する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6 小型遊具を使った遊びの指導計画および実践、援助の仕方検討①指導計画 小型遊具を用いた遊びの中で運動量を確保する方法や安全面での配慮を検討し計画する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7 小型遊具を使った遊びの指導計画および実践、援助の仕方検討②実践、援助の仕方 前回の授業で計画したものを中心に実践し、課題を見つけ改善し、援助の方法を検討する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）

8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 大型遊具を使った遊びの指導計画および実践、援助の仕方検討①指導計画 大型遊具を用いた遊びの中で運動量を確保する方法や安全面での配慮を検討し計画する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 大型遊具を使った遊びの指導計画および実践、援助の仕方検討②実践、援助の仕方 前回の授業で計画したものを中心に実践し、課題を見つけ改善し、援助の方法を検討する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 鬼遊びの指導計画および実践、援助の仕方検討①指導計画 鬼遊びの中で運動量を確保する方法や道具を利用した場合の安全面での配慮を検討し計画する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 鬼遊びの指導計画および実践、援助の仕方検討②実践、援助の仕方 前回の授業で計画したものを中心に実践し、課題を見つけ改善し、援助の方法を検討する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 伝承遊びの指導計画および実践、援助の仕方検討 授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p>
13	<p>伝承遊びを経験して時代とともに遊び方が変化したものを理解してその中で表現方法を検討する。 リズムダンスの指導計画および実践、援助の仕方検討 前回同様に伝承遊びや童謡等で音楽を利用する遊びを経験してその中で表現方法を検討する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 季節行事における運動遊びの指導計画および実践、援助の仕方検討 幼児教育の現場でどのような運動的活動が行われている、またどのように安全面も含めて配慮されているのかを具体的な行事ごとに検討する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業のまとめ(振り返り) 14回目までの授業の内容を振り返り、自分で行った模擬授業や他人の模擬授業をさらに改善させる可能性を検討しレポートして提出する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	模擬授業を行い、振り返りを行う。
課題のフィードバック方法と時期	授業時間内で改善点等をディスカッションして内容によって実践する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：実技及び課題レポート 評価割合：実技25%、レポート75% 評価割合： 評価基準： 履修目標との対応：</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	授業時に適宜提示します。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	選択
担当教員			
鈴木 明子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身につけ、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。4 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見出し、解決していく能力を有する人。		
履修条件	「音楽Ⅰ」を修得していること		
授業概要	音楽Ⅰ」で学んだことを踏まえながら、さらに知識、技術、および表現力の向上を図る。また、子どもの発達段階に応じた指導法についての理解を深めていく。		
履修目標	①季節の歌や遊び歌など「子どものうた」のレパートリーを増やし、「素うたい」できるようになる。 ②子どもの動きを支えるためのピアノや打楽器による簡単な伴奏ができるようになる。 ③音や楽器に親しむための遊びについて理解を深め、実践できるようになる。		
授業計画・授業外学修課題	1	友だちの名前をうたおう 授業外事前学修課題：課題内容（時間） /保育の場面で歌う挨拶の歌を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） /友人、家族の名前を歌にして呼びかけてみる（90分）	
	2	基本のリズム遊び 授業外事前学修課題：課題内容（時間） /好きな子どもの歌を手拍子をつけて歌ってみる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） /食べ物の名前をリズムに乗せて歌ってみる（90分）	
	3	打楽器で子どもの表現を支える 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育の場面で用いる打楽器をノートにまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） /打楽器を用いることのできる子どもの歌をリストアップする（90分）	
	4	ピアノで子どもの表現を支える 授業外事前学修課題：課題内容（時間） /自分のレパートリーを確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） /伴奏のアレンジをして練習する（90分）	
	5	身体表現をまじえた遊びうた 授業外事前学修課題：課題内容（時間） /体を動かしながら歌う歌を調べてくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） /身体表現をしながら歌を歌う練習をする（90分）	
	6	絵本とうたとの関係について学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） /図書館などで絵本を3冊選び音読をしてくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） /授業内で選んだ本を保育の場を想定して読む（90分）	
	7	身の回りの音に気付かせる遊び 授業外事前学修課題：課題内容（時間） /自分の身の回りに聞こえる音をメモしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） /様々な場所に行き聞こえてくる音をノートにまとめる（90分）	
	8	楽器で遊ぼう①自分たちが遊ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） /保育の場面で使用できると思われる楽器をノートに書き出す（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） /習得した楽器の奏法をノートにまとめる（90分）	
	9	楽器で遊ぼう②子どもたちと遊ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） /保育の場面で楽器を使用する場合に注意することを考える（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） /子どもたちが楽器に親しむ工夫を考える（90分）	
	10	手作り楽器で音を楽しむ（基本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） /身の回りに手作り楽器となりそうな素材を探してみる（90分）	

	<p>11 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/作った楽器を用いて子どもと一緒に遊ぶ場面を考える（90分） 手作り楽器で音を楽しむ（応用） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/子どもたちが音の楽しさに気づく手立てを考えてみる（90分）</p> <p>12 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/保育の場面で安全に手作りの楽器を作る工夫を考える（90分） わらべうたを遊ぶ（基本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/自分の知っているわらべうたをノートに書き出す（90分）</p> <p>13 授業外事後学修課題：課題内容（時間）//遊べるわらべうたを年齢別にまとめる（90分） わらべうたを遊ぶ（応用） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/わらべうたのレパートリーをノートにまとめる（90分）</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/集団で楽しめるわらべうたを書き出す（90分） 子どもの発達段階に合わせた音楽遊びの指導方法を考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/発達に照らし合わせて用いる音楽遊びを考えてくる（90分）</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/音楽遊びが子どもの発達にどのように寄与するか学んだことをまとめる（90分） まとめ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/子どもが音楽や音遊びと関わる場面を想定する（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）/保育者が子どもの音楽遊びに関わる際にどのような点に注意したら良いかまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループ学習による発表や討議を行い、表現に対する理解を深める。
課題のフィードバック方法と時期	毎回、リフレクションペーパーに記入し教員に提出する。内容に関し、次の授業で返答する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法課題レポート/実技試験 評価割合：60%/40% 評価基準：授業時にルーブリックを配布します 履修目標との対応：①②③/③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	必要のある場合、プリントを配布する。
実務経験のある教員による授業	小学校教諭の経験から実践的な指導方法を指導する。
オフィスアワー・連絡先	別紙参照
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	選択
担当教員			
持田 訓子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	<p>・保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。</p> <p>・専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。</p>		
履修条件	「器楽Ⅱ」を修得していること。		
授業概要	器楽Ⅰ・器楽Ⅱにおいて身につけた知識や技術を踏まえ、保育・幼児教育現場の音楽遊びにおいて、子どもに親しまれている曲を演奏できる力を身につける。		
履修目標	<p>①保育・幼児教育現場で使用される主な楽器の特徴を理解し、基本的な演奏技術を身につける。</p> <p>②ピアノや他の鍵盤楽器、打楽器等を用いて、子どもに親しまれている曲を演奏できる。</p>		
授業計画・授業外学修課題	1	<p>器楽Ⅰ・Ⅱで身につけたレパートリーの復習</p> <p>個人の習得技能に合わせた演奏練習及び今後の課題曲の選定等</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>既習のコード進行を確認し、既習曲を練習する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>課題曲を練習する。（90分）</p>	2
	2	<p>ピアノによる発展的なコード奏法と弾き歌い(1)</p> <p>個人の習得技能に合わせた演奏練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>既習のコード進行を確認し、既習曲を練習する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>課題曲を練習する。（90分）</p>	3
	3	<p>ピアノによる発展的なコード奏法と弾き歌い(2)</p> <p>個人の習得技能に合わせた演奏練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>既習のコード進行を確認し、既習曲を練習する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>課題曲を練習する。（90分）</p>	4
	4	<p>ピアノによる発展的なコード奏法と弾き歌い(3)</p> <p>個人の習得技能に合わせた演奏練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>既習のコード進行を確認し、既習曲を練習する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>課題曲を練習する。（90分）</p>	5
	5	<p>ピアノによる発展的なコード奏法と弾き歌い(4)</p> <p>個人の習得技能に合わせた演奏練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>既習のコード進行を確認し、既習曲を練習する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>課題曲を練習する。（90分）</p>	6
	6	<p>ピアノによる発展的なコード奏法と弾き歌い(5)</p> <p>個人の習得技能に合わせた演奏練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>既習のコード進行を確認し、既習曲を練習する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>課題曲を練習する。（90分）</p>	7
	7	<p>個人発表（実技試験）</p> <p>個人演奏の発表（実技試験）および振り返り</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>課題曲を練習する。（90分）</p>	

8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 互いの演奏の感想や自身の今後の課題をまとめる。（90分） 鍵盤楽器や打楽器等の基本的な奏法(1) 木琴・鉄琴を用いた合奏</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 各楽器の特徴や基本的な奏法を調べてまとめる。（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各楽器の奏法を踏まえて課題曲を練習する。（90分） 鍵盤楽器や打楽器等の基本的な奏法(2) タンバリン・カスタネット・鈴を用いた合奏</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 各楽器の特徴や基本的な奏法を調べてまとめる。（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各楽器の奏法を踏まえて課題曲を練習する。（90分） 鍵盤楽器や打楽器等の基本的な奏法(3) ウッドブロック・ギロ・カバサ・マラカス・コンガ・ボンゴを用いた合奏</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 各楽器の特徴や基本的な奏法を調べてまとめる。（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各楽器の奏法を踏まえて課題曲を練習する。（90分） 鍵盤楽器や打楽器等の基本的な奏法(4) スネア・大太鼓・シンバル・ウィンドチャイムを用いた合奏</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 各楽器の特徴や基本的な奏法を調べてまとめる。（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各楽器の奏法を踏まえて課題曲を練習する。（90分） グループ練習(1) 発表に向けたグループ練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） グループごとに発表曲を決める。（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業における学びを踏まえ、グループで発表曲を練習する。（90分） グループ練習(2) 発表に向けたグループ練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） グループで発表曲をアレンジし、練習する。（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業における学びを踏まえ、グループで発表曲を練習する。（90分） グループ練習(3) 発表に向けたグループ練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） グループで発表曲の紹介を考える。発表に向けて練習する。（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業における学びを踏まえ、グループで発表曲を練習する。（90分） グループ発表（実技試験） グループ演奏の発表（実技試験）および振り返り</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） グループで発表のリハーサルを行う。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 互いの演奏の感想や自身の今後の課題をまとめる。（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク及び発表を行います。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックを次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：平常点評価 評価割合：20% 評価基準：楽器の基本的奏法を理解して練習を行えば60点（ルーブリック参照） 履修目標との対応：① ②</p> <p>評価方法：実技試験（個人演奏・グループ演奏） 評価割合：80%（個人演奏40%・グループ演奏40%） 評価基準：曲想にあった表現を意識して演奏できれば60点（ルーブリック参照） 履修目標との対応：① ②</p>

テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	必要に応じて資料や楽譜を紹介します。 ※初回授業には、器楽Ⅰ・Ⅱで使用したテキストおよび楽譜等を持参してください。
実務経験のある教員による授業	特別支援学校教諭および音楽療法士としての経験をいかし、実践に役立つ知識技能を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：別途掲示を参照してください。 連絡先：nmochida@soei.ac.jp
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への主体的な参加を期待します。</li> <li>・30分以上の遅刻および途中退席は欠席となります。</li> </ul>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	選択
担当教員			
江島 絵理子/こども教育学部 棕田 美穂/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。		
履修条件	実習実施基準の要件を充たしていること		
授業概要			
履修目標	①幼稚園教育実習 I の意義や目的、実習に対する心構えについて述べることができる ②幼稚園教育実習 I の準備を完了する ③実習日誌の書き方、指導計画の立案の仕方習得する ④幼児の発達に即した保育技術を習得し、実践できる ⑤実習を振り返り、新たな自己課題を見つける		
授業計画・授業外学修課題	1	幼稚園教育実習 I の意義や目的とは実習に対する心構えと必要な準備とは 幼稚園教育実習 I の意義や目的について学習する 実習に対する心構えと必要な準備について学習する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が目指す保育者像について発表できるよう準備しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分）	
	2	幼稚園教諭の職務とは実習生の一実習生としてのマナーや常識 幼稚園教諭の職務とはどのようなものかについて学習する 実習においてどのような一日を過ごすのか、すべき経験はどのようなものかについて学習する 実習生としてふさわしい服装や身だしなみ、気をつけるべきことについて学習する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園教諭の職務とはどのようなものか、実習生はどのような一日を過ごすのか、実習生としてのマナーや常識はどのようなものなのかを調べ、纏めておく・幼稚園教育実習に向けての自己課題をを記入し、発表の準備をしておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分）	
	3	幼稚園教育実習に必要な書類と手続き① 書類の記入の仕方、提出の仕方について学習する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 実習マニュアルを読んで、書類の記入の仕方について理解しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分）	
	4	幼稚園教育実習に必要な書類と手続き② 下書き用紙を使用して実際に書類を書く。添削指導を受ける  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 実習マニュアルを読んで「実習の目標と実習で学びたいこと」を纏めておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 書類を記入し、提出できるよう準備する（90分）	
	5	オリエンテーションについて オリエンテーションの流れ、事前準備、当日の動き、オリエンテーション後にすべきことについて学習する。オリエンテーションのお願いの電話の模擬体験を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 実習マニュアルを読んで、オリエンテーションについて把握しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分）	
	6	実習日誌の書き方① 実習日誌とは何か、なぜ書くのかまた、具体的な書き方について学習する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 実習マニュアルを読んで、実習日誌の書き方について理解しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）	

7	<p>講義での学習を纏める (90分)  実習日誌の書き方②  ドキュメンテーション型の日誌について学習する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間)  実習マニュアルを読んで、ドキュメンテーション型の日誌について理解しておく (90分)</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間)  講義での学習を纏める (90分)  指導計画の立案の仕方  指導計画とは何か、なぜ立案するのか、具体的な立案、記入の仕方について学習する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間)  実習マニュアルを読んで、指導計画の立案、記入の仕方について理解しておく (90分)</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間)  講義での学習を纏める (90分)  保育実技の実践①  自作教材を使用した自己紹介①スケッチブックなど</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間)  スケッチブックなどの教材を使用した自己紹介の仕方について調べ、纏めておく・自己紹介の実践に向けて教材を自作し、準備しておく (90分)</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間)  自己紹介の感想を纏める。自分の保育実践への取り入れ方を考え、纏める (90分)  保育実技の実践②  自作教材を使った自己紹介②ペープサートなど</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間)  ペープサートなどの教材を使用した自己紹介の仕方について調べ、纏めておく (90分)</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間)  自己紹介の感想を纏める。自分の保育実践への取り入れ方を考え、纏める (90分)  保育実技の実践③  指導計画を基にした手遊び・紙芝居の読み聞かせ①3歳児対象</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間)  3歳児の発達と興味について調べ、纏めておく・実践する手遊びと紙芝居を選び、実践に向けて準備をしておく (90分)</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間)  実践の感想を纏める・自分の保育実践への取り入れ方を考え、纏める (90分)  保育実技の実践④  指導計画を基にした手遊び・紙芝居の読み聞かせ②4歳児対象</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間)  4歳児の発達と興味について調べ、纏めておく・実践する手遊びと紙芝居を選び、実践に向けて準備をしておく (90分)</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間)  実践の感想を纏める・自分の保育実践への取り入れ方を考え、纏める (90分)  保育実技の実践⑤  指導計画を基にした手遊び・紙芝居の読み聞かせ③5歳児対象</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間)  5歳児の発達と興味について調べ、纏めておく・実践する手遊びと紙芝居を選び、実践に向けて準備をしておく (90分)</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間)  実践の感想を纏める・自分の保育実践への取り入れ方を考え、纏める (90分)  実習事前確認  必要な手続きが完了しているか、書類が提出されているかを確認し、併せて実習中指導、実習事後指導について全体で確認を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間)  実習マニュアルを読んで、実習前に確認しておくべきことを纏めておく。実習に向けての不安点や質問があれば纏めておく (90分)</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間)  ・講義での学習を纏める (90分)  実習事後指導  「実習中に得た経験」「教育実習Ⅱ向けの自己課題」というテーマでグループディスカッションを行い、発表する。実習報告書の原稿を記入する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間)  実習日誌を見直すなどして、自身の実習を振り返り、纏めておく (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間)  実習報告書を完成させる (90分)</p>

アクティブラーニングを用いた授業方法	グループディスカッション、模擬体験、保育実技の実践を行う
課題のフィードバック方法と時期	授業内にフィードバックします
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：ワーク、書類          評価割合：20%          評価基準：ワークは主体的に取り組み答え合わせをした上で、書類は必要事項を記入し体裁を整えた上で、どちらも提出期限内に提出できれば100点          履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：日誌(模擬)          評価割合：20%          評価基準：必要事項、必要項目が記入でき、提出期限内に提出できれば60点          履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：自己紹介の実践          評価割合：20%          評価基準：主体的に取り組み、幼児の発達と興味に即した教材を製作した上で発表できれば80点          履修目標との対応：③④</p> <p>評価方法：手遊び、紙芝居の読み聞かせの実践          評価割合：20%          評価基準：主体的に取り組み、幼児の発達と興味に即した指導計画を立案した上で実践できれば80点          履修目標との対応：③④</p> <p>評価方法：実習報告書          評価割合：20%          評価基準：自身の実習での経験、体験を振り返って纏めることができ、教育実習Ⅱに向けて新たな自己課題を見つけ、提示することができていれば80点          履修目標との対応：⑤</p>
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	本学担当教員が纏めた「教育実習Ⅰ・Ⅱ実習マニュアル」を使用する
実務経験のある教員による授業	担当教員は幼稚園教諭の経験を有しており、その経験を活かした講義を行う
オフィスアワー・連絡先	eeshima@soei.ac.jp(江島) mmukuta@soei.ac.jp(椋田)
備考	

講義科目名称： 幼稚園教育実習 I

授業コード： 24B803

英文科目名称： Field Study I (Kindergarten)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	選択
担当教員			
江島 絵理子/こども教育学部 椋田 美穂/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。
履修条件	実習実施基準の要件を充たしていること
授業概要	大学における理論的な学びや演習を通して修得した技術を、実際の幼稚園現場で幼児と共に過ごす中で再確認する。幼児理解、指導計画の立案、保育の実際、反省といった一連の保育の流れを体験を通して理解する。
履修目標	①幼稚園の機能と幼稚園教諭の職務について学ぶ ②子どもの実態を知り、それに適した援助について学ぶ ③日々の体験・評価・反省を通して、次の実習に向けての自己課題を明確にする
授業計画・授業外学修課題	1 幼稚園の役割について理解する 保育の一日の流れを理解し、参加する 子どもの観察やかかわりを通して幼児の発達を理解する 教育課程、指導計画を理解する 観察したこと、子どもとの関りの中で感じたこと、理解したことを記録する 生活や遊びなどの一部分を担当し、保育技術を実践的に習得する 幼稚園教諭としての仕事を具体的に学ぶ 職員間の役割分担とチームワークの必要性を理解する 保育の記録や保育者とのコミュニケーションを通して、家庭・地域社会を理解する 安全及び疾病予防への配慮を理解する 地域における幼稚園の子育て支援等の役割について理解する
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習園からの評価をもとにした総合的な評価 評価割合：100% 評価基準：実習委員会で合議の上、「教育実習園の評価」「教育実習への出席状況」「実習日誌の記述内容」などを総合的に判断して「S・A・B・C・D」の5段階評価を行う。 履修目標との対応：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	
実務経験のある教員による授業	担当教員は幼稚園教諭の経験を有しており、その経験を活かした講義を行う
オフィスアワー・連絡先	eeshima@soei.ac.jp(江島) mmukuta@soei.ac.jp(椋田)
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
大内 美智子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。 ②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。 ③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分) 2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②          評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③          評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>オフィスアワーは別添参照してください。</p>
<p>備考</p>	<p>各ゼミ担当教員のもとで履修すること。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
小川 史/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。 ②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。 ③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分) 2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別添参照してください。
備考	各ゼミ担当教員のもとで履修すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
鈴木 明子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。 ②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。 ③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分) 2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②          評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③          評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>オフィスアワーは別添参照してください。</p>
<p>備考</p>	<p>各ゼミ担当教員のもとで履修すること。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
武井 博美/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。 ②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。 ③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分)</p> <p>2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)</p>

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別添参照してください。
備考	各ゼミ担当教員のもとで履修すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
木下 圭/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。 ②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。 ③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分)</p> <p>2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)</p>

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別添参照してください。
備考	各ゼミ担当教員のもとで履修すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
棚澤 令子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。 ②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。 ③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実験を経験する。
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分) 2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②          評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③          評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>オフィスアワーは別添参照してください。</p>
<p>備考</p>	<p>各ゼミ担当教員のもとで履修すること。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
根本 徹/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。 ②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。 ③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分) 2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別添参照してください。
備考	各ゼミ担当教員のもとで履修すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
江島 絵理子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	<p>1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。</p> <p>2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。</p> <p>3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。</p> <p>4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。</p>
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	<p>①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。</p> <p>②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。</p> <p>③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。</p>
授業計画・授業外学修課題	<p>1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分)</p> <p>2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)</p>

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②          評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③          評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>オフィスアワーは別添参照してください。</p>
<p>備考</p>	<p>各ゼミ担当教員のもとで履修すること。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
流石 良子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	<p>1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。</p> <p>2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。</p> <p>3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。</p> <p>4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。</p>
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	<p>①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。</p> <p>②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。</p> <p>③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。</p>
授業計画・授業外学修課題	<p>1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分)</p> <p>2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)</p>

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別添参照してください。
備考	各ゼミ担当教員のもとで履修すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
田中 君枝/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	<p>1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。</p> <p>2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。</p> <p>3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。</p> <p>4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。</p>
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	<p>①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。</p> <p>②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。</p> <p>③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。</p>
授業計画・授業外学修課題	<p>1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分)</p> <p>2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)</p>

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別添参照してください。
備考	各ゼミ担当教員のもとで履修すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
平野 友康/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。 ②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。 ③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分) 2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別添参照してください。
備考	各ゼミ担当教員のもとで履修すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
持田 訓子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。 ②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。 ③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分)</p> <p>2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)</p>

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>オフィスアワーは別添参照してください。</p>
<p>備考</p>	<p>各ゼミ担当教員のもとで履修すること。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
相賀 頌子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	<p>1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。</p> <p>2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。</p> <p>3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。</p> <p>4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。</p>
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	<p>①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。</p> <p>②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。</p> <p>③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。</p>
授業計画・授業外学修課題	<p>1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分)</p> <p>2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)</p>

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4/研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
16	<p>発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。

課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：論文または作品  評価割合：60%  評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点  履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：発表内容  評価割合：20%  評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点  履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：取り組み  評価割合：20%  評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点  履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別添参照してください。
備考	各ゼミ担当教員のもとで履修すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
棕田 美穂/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。 ②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。 ③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分) 2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分) 6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>オフィスアワーは別添参照してください。</p>
<p>備考</p>	<p>各ゼミ担当教員のもとで履修すること。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
濱田 唯/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。 ②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。 ③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分)</p> <p>2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)</p>

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>オフィスアワーは別添参照してください。</p>
<p>備考</p>	<p>各ゼミ担当教員のもとで履修すること。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3年	2単位	必修
担当教員			
若生 啓/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	62単位を修得していること
授業概要	3年次に研究テーマによって指導教員を決定した上で、1年間をかけて、自分の研究を追求していく。研究テーマの決定、資料の収集、分析、文献研究など研究の基礎を個別に指導を受けながら、まとめていく。
履修目標	①現代の教育課題に関心を向け、自分の研究を能動的に追求し、まとめることができる。 ②研究のテーマを決定し、資料の収集、調査、実技、文献研究、分析などを行い、研究のための基礎的な能力を身に付け、論文作成に活用することができる。 ③グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 ガイダンス 学修の概要を把握し、見通しをもつ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 先行研究を調べて卒業研究についての見通しをもつ(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究計画を立てる(90分)</p> <p>2 研究課題・目的の探求1/研究課題と研究の目的について探求する。研究の基礎 研究の基礎について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>3 研究課題・目的の探求2/研究課題と研究の目的について探求する。研究の目的 研究の目的について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>4 研究課題・目的の探求3/研究課題と研究の目的について探求する。研究課題 研究課題について指導を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>5 研究課題・目的の探求4/研究課題と研究の目的について探求する。多様な研究分野 多様な研究分野があることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる(90分)</p> <p>6 発表・討議/調べたことや自分の考えを発表し、討議する。 自分の研究を発表し合う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から発表準備を行う(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 討議後の内容についてノートにまとめる(90分)</p>

7	<p>研究方法の探求 1 /研究方法について探求する。問いの立て方 問いの立て方について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
8	<p>研究方法の探求 2 /研究方法について探求する。論文の構成 論文の構成について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
9	<p>研究方法の探求 3 /研究方法について探求する。資料の取り扱い 資料の取り扱いについて指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
10	<p>研究方法の探求4 /研究方法について探求する。資料の整理 資料の整理方法について指導する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
11	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 1 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究の再構築 個々の研究テーマに即して研究方法を再構築する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
12	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 2 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究課題の省察 個々の研究テーマについて課題を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
13	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 3 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究方法の省察 個々の研究テーマについて方法を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
14	<p>卒業研究のテーマ・方法の探求 4 /卒業研究のテーマや研究方法について探求する。研究内容の省察 個々の研究テーマについて内容を省察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 探求した内容についてノートにまとめる（90分）</p>
15	<p>発表/卒業研究の発表会に参加し、自分の研究の参考とする 卒業研究発表会に参加する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業計画から事前学習を行う（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表された内容についてノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループで討議や発表を行い、より良い研究を目指して、協力し、内容を高め合う学びの実際を経験する。
課題のフィードバック方法と時期	各回の振り返りや事前学習は講義で発表し、意見交流に活用する。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：論文または作品          評価割合：60%          評価基準：研究のテーマ、目的、方法、結論が理論的に構成され書かれていれば80/100点          履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：発表内容          評価割合：20%          評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点          履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：取り組み          評価割合：20%          評価基準：意欲的に取り組み、自分なりの考えを説明できれば80/100点          履修目標との対応：①②③</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>テキスト：初回授業時に担当教員から指示。 参考文献：授業時に随時紹介。</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>オフィスアワーは別添参照してください。</p>
<p>備考</p>	<p>各ゼミ担当教員のもとで履修すること。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	選択
担当教員			
小川 史/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。		
履修条件			
授業概要	近現代日本の学校教育および保育の歴史についての理解を深め、基礎的な知識を獲得することを目的とする。講義で取り上げる事項は、学校教育の歴史を学ぶ意味、近世末期の教育、近代公教育の始まり、教育勅語の成立、義務教育無償制の実施と国民教育の発展、大正自由教育と臨時教育会議、女子教育の進展、戦時下の教育と子ども、戦後教育制度改革、高度経済成長期と子ども、高等教育の大衆化、学校教育の問題化、教育基本法の改正と新学習指導要領である。		
履修目標	① 謹製以降の教育・保育の歴史的特性を、各時代に即して説明できる。		
授業計画・授業外学修課題	1	教育の歴史を学ぶ意義 歴史を学ぶ意義について理解する。	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 図書館などで教育史の文献を調べる。90分
	2	近世末期の教育 近世末期、特に江戸後期の教育について理解する。	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 調べた文献を読む。90分
	3	近代公教育の始まり 明治期の教育制度について理解する。	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分
	4	近代公教育の始まりについてノートにまとめる。90分 近代幼児教育の始まり 明治期の幼稚園について理解する。	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分
	5	教育勅語の成立 教育勅語の成立過程及びその特質について理解する。	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分
	6	教育勅語についてノートにまとめる。90分 義務教育無償制の実施と国民教育の発展 明治期の学校教育システムの展開過程について理解する。	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分
	7	国民教育の発展についてノートにまとめる。90分 大正自由教育と臨時教育会議 大正期の教育制度について理解する。	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分

	<p>8 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 大正自由教育についてノートにまとめる。90分 大正期の幼児教育 大正期の幼稚園教育の展開について理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p> <p>9 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 大正期の幼稚園教育についてノートにまとめる。90分 女子教育の発展 近代女子教育の発展について理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む、90分</p> <p>10 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 女子教育の進展についてノートにまとめる。90分 戦時下の教育と子ども 昭和期の教育と戦時体制との関わりについて理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p> <p>11 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 戦時教育体制についてノートにまとめる。90分 戦後教育制度改革 占領期教育改革について理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p> <p>12 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 占領期教育改革についてノートにまとめる。90分 高度経済成長期と子ども 1960年代～80年代の教育の展開について理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p> <p>13 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 高度経済成長期の教育についてノートにまとめる。90分 高等教育の大衆化と学校教育の問題化 高等教育が広く国民に普及していく過程について理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 戦後高等教育のあり方についてノートにまとめる。90分 教育基本法の改正と新学習指導要領 教育基本法の改正と学習指導要領の改訂について理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 教育基本法の改正についてノートにまとめる。90分 現代社会における教育・保育 現代社会における教育・保育のあり方・課題について理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 現代社会における教育課題についてノートにまとめる。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	反転授業を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	小テストは実施後速やかに返却する。レポートは第14回までに提出し、第15回で確認する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：小テスト50%、レポート50%</p> <p>評価割合：</p> <p>評価基準：レポートは教育史の中で関心を持ったテーマについてまとめる。</p> <p>履修目標との対応：</p> <p>※適宜追加してください</p>
テキスト・参考文献・その他（必要）	授業内で指示する。

物品など)	
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	質問がある場合は授業終了後に受け付ける。オフィスアワーについては別途掲示。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	選択
担当教員			
中田 正敏			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	特になし
授業概要	教育社会学の基本的な考え方（第1回）を踏まえ、近代教育成立以降の「教育の潮流」（第2～4回）を概観する。次に、カリキュラムや学校文化、社会移動や社会階層など「教育の仕組」（第5～8回）を解釈するうえで有効な概念を学び、「教育の変化」（第10～12回）と「今日的な課題」（第13～14回）において課題解決の方策を検討する。まとめ（第15回）の際に、自らの言葉で教員にとって必要なことが語れるように、具体的な事例をもとにしてアクティブな授業を行う。
履修目標	①社会の状況を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる課題、並びにそれに対応するための教育政策の動向を理解した上で、その説明ができる。 ②学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解した上で、その説明ができる。 ③学校の管理下で起こる事件、事故及び災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取り組みを理解した上で、その説明ができる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 オリエンテーションー教育社会学の見方・考え方 （復習） オリエンテーションの内容をふりかえり、自己の学習の目標をたてる。（180分）</p> <p>2 教育の潮流①近代社会における学校、個人や社会・国家にとっての教育の役割 （復習） 近代社会における学校、個人や社会・国家にとっての教育の役割をふりかえる。（90分） （予習） 2020年から始まる教育改革の特徴についてHP等で調べてまとめる。（90分）</p> <p>3 教育の潮流②日本と世界の教育改革、教育課程の変化、「3つの学力」 （復習） 日本と世界の教育改革の現状をふりかえる。（90分） （予習） 幼児教育・保育の改革の特徴についてHP等で調べてまとめる。（90分）</p> <p>4 教育の潮流③日本と世界の幼児教育、幼児教育・保育の改革 （復習） 日本と世界の幼児教育の現状と改革の動向をふりかえる。（90分） （予習） 教育社会学的な教育の仕組のとらえ方の基本を理解しておく。（90分）</p> <p>5 教育の仕組①教育課程（カリキュラム）、教育の官僚制と逆機能 （復習） 教育の官僚制化についてふりかえり、自分の意見をまとめる。（90分） （予習） 自らが体験した学校文化の特徴についてまとめておく。（90分）</p> <p>6 教育の仕組②子どもと学校・学級、学校文化とトラッキング （復習） 学校文化とトラッキングに関して、自己の経験と関連づける。（90分） （予習） 配布資料から、学歴が個人と社会にとってどのような意味を持つのかを考えておく。（90分）</p> <p>7 教育の仕組③教育と社会移動、メリトクラシー、学歴社会、ジェンダー （復習） 学歴社会について自分の考えをまとめる。（90分） （予習） 配布資料から、教育格差が生まれるメカニズムについて考えておく。（90分）</p> <p>8 教育の仕組④教育と社会階層、ペアレントクラシー、再生産論 （復習） 再生産論について、自己の体験から意見をまとめる。（90分） （予習） 少子高齢化の状況、現代家族が抱える課題についてHP等で調べてまとめる。（90分）</p> <p>9 教育の変化①少子高齢社会、社会化と発達段階、家庭と地域社会の変化 （復習） 地域と教育の関連、現代家族の課題について自分の意見をまとめる。（90分） （予習） 保護者がどのように変化しているかをデータ等から考える。（90分）</p> <p>10 教育の変化②保護者と家族の変化・多様化、男女共同参画社会 （復習） 男女共同参画、ジェンダーの問題について、自分の意見をまとめる。（90分） （予習） 保育所や幼稚園が行う保護者支援の状況についてHP等で調べておく。（90分）</p> <p>11 教育の変化③家庭教育の課題、保護者支援、幼児教育・保育機関の役割 （復習） 家庭教育の課題について、解決策を検討する。（90分） （予習） 「社会に開かれた教育課程」の必要についてHP等で調べておく。（90分）</p> <p>12 教育の変化④地域社会の変化、地域社会と学校、社会に開かれた教育課程 （復習） 社会に開かれた教育課程のあり方について、自分の意見を述べる。（90分）</p>

	<p>13 (予習) 子どもを取り巻くメディアの変化についてHP等で調べてまとめる。(90分) 今日の課題①子どもとメディア、ネット社会と情報教育、情報管理 (復習) 子どもとメディアの問題について、自分の意見をまとめる。(90分)</p> <p>14 (予習) いじめ、不登校、教員の多忙化などの教育課題について、データから考えておく。(90分) 今日の課題②学校をめぐる問題(いじめ、不登校、教員多忙化、安全教育、危機管理) (復習) 学校をめぐる今日的な課題について、さらに詳しく自分で調べる。(90分)</p> <p>15 (予習) 教師の役割、教職の意義について、自分の意見をまとめておく。(90分) まとめ教師の役割・教職の意義について、教育社会学の観点から教員に必要なことを考える。 (復習) 筆記試験に向けてのふりかえりを行う。(180分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	授業において、適宜、討議・討論の時間、プレゼンテーションの時間を設ける。
課題のフィードバック方法と時期	毎回の授業で小レポートを課す。次の授業で個別にフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：筆記試験 評価割合：50% 評価基準：教育社会学に関する知識に関する問題と、知識を応用して自分の意見を述べる問題から構成し、100点満点で評価する。 履修目標との対応：① ② ③</p> <p>評価方法：平常点評価 評価割合：50% 評価基準：授業時の提出課題：指定した形式を守っているかとともに、1) 授業の内容を理解し、それを踏まえて書かれているか、2) 自分の考察や意見が明確に書かれているか、3) 考察や意見に対する理由・根拠(具体例、データ) 履修目標との対応：① ② ③</p>
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	テキスト：テキストとなるプリントを授業時に配布する。 参考書・参考資料等：参考文献は授業時に提示する。学習指導要領・幼稚園教育要領等の資料は授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は教諭経験・管理職経験があり、その経験を活かして講義を構成する。
オフィスアワー・連絡先	
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	選択
担当教員			
江島 絵理子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連付けて理解し、活動できる能力を有する人			
履修条件	特になし			
授業概要	この講義は保育現場において実践的な活動をするための方法や技術を習得し、その能力を高めていくことを目標とする。教材研究の意義と方法を理解した上で、指導計画に基づいた模擬保育の実践、自作教材を使った上演、ICT機器を用いたプレゼンテーションなど実践に即した指導法について学生自身が体感できるようにする。			
履修目標	<p>①様々な保育方法、保育技術について理解し、自身の体験と関連させて述べることができる</p> <p>②保育メディアとしてのICT、園務のためのICTの活用について理解する。その上で、模擬実務に取り入れることができる</p> <p>③保育教材の歴史や特徴について理解する。その上で模擬保育の実践、ICT機器を用いたプレゼンテーションができる</p> <p>④自分の実践、発表について振り返り、新たな課題を見つけることができる。</p>			
授業計画・授業外学修課題	1	<p>教材研究の意義と方法保育教材の理解 教材研究の意義と方法について理解する</p> <p>人形劇、ペープサート、パネルシアター、OHP、デジタル絵本・紙芝居の歴史や特徴について学習する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 人形劇、ペープサート、パネルシアター、OHP、デジタル絵本・紙芝居の歴史や特徴について調べ、纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める（90分）</p>	2	<p>様々な保育形態と保育方法、必要となる保育技術 様々な保育方法、必要となる保育技術について学習する。自分自身の実習経験を振り返り「保育現場における保育形態、保育方法、保育技術の実践」というテーマでグループディスカッションを行い、発表する</p> <p>小テスト／保育教材の理解</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園において実践されている保育形態、保育方法、必要となる保育技術について調べ、纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める（90分）</p>
	3	<p>保育とICT① 保育メディアとしてのICT、保育活動支援のためのICTの活用、遊具としてのICTについて学習する。自分自身の実習経験を振り返り、ワークを通して保育現場における保育メディア、ICTの活用について再確認する</p> <p>小テスト／様々な保育形態と保育方法、必要となる保育技術 小テスト振り返り／保育教材の理解</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育メディアとは何かについて調べ、纏めておく 保育現場における保育メディア、ICTの活用について調べ、纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 園だよりを作成する（90分）</p>	4	<p>保育とICT② 自作園だよりの発表</p> <p>小テスト／保育とICT 小テスト振り返り／様々な保育形態と保育方法、必要となる保育技術</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考となる園だよりを探し、目を通しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める・園だよりを作成させる（90分）</p>
	5	<p>指導計画に基づいた保育の実践①</p>		

	<p>指導案の立案方法を理解する</p> <p>小テスト振り返り／保育とICT</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） BOXシアターとは何かについて調べ、纏めておく 年齢による幼児の発達と興味の違いについて調べ、纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表の大枠を考え、指導案立案に向け準備しておく（90分）</p>
6	<p>指導計画に基づいた保育の実践②</p> <p>指導案を立案する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自身が今までに立案した指導案や見本となる指導案に目を通しておく（90分）</p>
7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 指導案を完成させる（90分）</p> <p>指導計画に基づいた保育の実践③</p> <p>BOXシアターの上演①3歳児対象</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 3歳児の発達と興味について調べ、纏めておく・BOXシアターを自作し、上演の準備をしておく（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 上演の感想を纏める 自分の保育実践への取り入れ方を考え、纏める（90分）</p> <p>指導計画に基づいた保育の実践④</p> <p>BOXシアターの上演②4歳児対象</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 4歳児の発達と興味について調べ、纏めておく・BOXシアターを自作し、上演の準備をしておく（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 上演の感想を纏める 自分の保育実践への取り入れ方を考え、纏める（90分）</p> <p>指導計画に基づいた保育の実践⑤</p> <p>BOXシアターの上演③5歳児対象</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 5歳児の発達と興味について調べ、纏めておく・BOXシアターを自作し、上演の準備をしておく（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 上演の感想を纏める 自分の保育実践への取り入れ方を考え、纏める（90分）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） ICT機器を用いたプレゼンテーション①</p> <p>指導計画を立案する</p>
11	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） ペープサート、パネルシアター、OHPについて教材研究を進めておく 自身が今までに立案した指導案や見本となる指導案に目を通しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 指導案を完成させる（90分）</p> <p>ICT機器を用いたプレゼンテーション②</p> <p>幼児参加型の保育教材を使った保育①ペープサート</p>
12	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼児参加型のペープサートを使った保育実践についてアイデアを纏めておく プレゼンテーションの準備をしておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの感想を纏める自分の保育実践への取り入れ方を考え、纏める（90分）</p> <p>ICT機器を用いたプレゼンテーション②</p> <p>幼児参加型の保育教材を使った保育①パネルシアター</p>
13	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼児参加型のパネルシアターを使った保育実践についてアイデアを纏めておく プレゼンテーションの準備をしておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの感想を纏める自分の保育実践への取り入れ方を考え、纏める（90分）</p> <p>ICT機器を用いたプレゼンテーション③</p> <p>幼児参加型の保育教材を使った保育①OHP</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼児参加型のOHPを使った保育実践についてアイデアを纏めておく プレゼンテーションの準備をしておく（90分）</p>

	<p>14 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの感想を纏める自分の保育実践への取り入れ方を考え、纏める（90分） 体験の振り返り① 指導計画に基づいた保育の実践についてリフレクションペーパーの記入を通して振り返る。記入したリフレクションペーパーを基に、新たな課題をみつける</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指導計画に基づいた保育の実践について纏めた感想を見直しておく 自分自身の実践、発表について振り返り、感想や反省点、新たな課題などを纏めておく（90分）</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める（90分） 体験の振り返り② ICT機器を用いたプレゼンテーションについてリフレクションペーパーの記入を通して振り返る。記入したリフレクションペーパーを基に、新たな課題をみつける</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指導計画に基づいた保育の実践について纏めた感想を見直しておく 自分自身の実践、発表について振り返り、感想や反省点、新たな課題などを纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループディスカッション、自作教材を使用した上演、プレゼンテーションを行う
課題のフィードバック方法と時期	授業内にフィードバックします。ただし、15回目のリフレクションペーパーについては返却希望者は研究室に取りに来てください
評価方法・評価割合・評価基準・学習到達目標との対応	<p>評価方法：グループディスカッションによる発表・ワーク 評価割合：10% 評価基準：主体的に取り組み、自分の経験を纏め、発表できれば60点 学習到達目標との対応：①</p> <p>評価方法：小テスト 評価割合：20% 評価基準：基本的な保育形態と保育方法、必要となる保育技術を理解しておくこと。 授業内で取り上げた保育教材の名称、歴史、特徴などを理解しておくこと 学習到達目標との対応：③</p> <p>評価方法：製作物 評価割合：10% 評価基準：ICT機器を使用し、保護者の視点に立った製作ができれば80点 学習到達目標との対応：①</p> <p>評価方法：上演 評価割合：20% 評価基準：幼児の発達、興味に即した指導案が立案でき、製作と上演ができれば80点 学習到達目標との対応：③</p> <p>評価方法：プレゼンテーション 評価割合：20% 評価基準：保育教材の特徴を理解した上で、幼児の発達、興味に即した指導案の立案ができ、ICT機器を使用し、プレゼンテーションができれば80点 学習到達目標との対応：③</p> <p>評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：20% 評価基準：感想、反省点、新たな課題が纏められており、友達の実践や発表の自分の保育実践への取り入れ方が纏められていれば80点 学習到達目標との対応：④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布予定 参考文献：大浦賢治・野津直樹編著『実践につながる新しい幼児教育の方法と技術』ミネルヴァ書房2020 小川清美編『演習児童文化』萌文書林2010
実務経験のある教員による授業	担当教員は幼稚園教諭の経験を有しており、その経験を活かした講義を行う
オフィスアワー・連絡先	eeshima@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	選択
担当教員			
當山 通子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。		
履修条件			
授業概要	保育現場において、多く用いられている保育教材は音楽に関するものである。歌や合奏、身体表現など、その出版数も非常に多い。本授業においては、保育に関する基礎的学習ののちに、幼児とともに音を楽しむための教材研究の仕方や、実際の保育に現場における音楽に関する指導についても考えていく。また子どもの年齢や個性に応じた音楽教材についても学習する。		
履修目標	①乳幼児の発達に合った音楽的な保育教材に関して学び、適切な教材を選択できるようになる。 ②子どもの年齢や個性に応じた音楽的な活動の内容について学び、記述できるようになる。 ③音楽的な保育教材について、教材研究の方法を学び、実際に教材研究を行い記述・発表することができるようになる。 ④教材研究を行った上で、実際の保育を想定して年齢に応じた保育の援助について考えをまとめて発表できるようになる。		
授業計画・授業外学修課題	1	オリエンテーション教材研究に必要な基礎音楽知識等の振り返り 授業外事前学修課題：これまでの音楽表現関連の授業で学んだ内容（楽譜の読み方・コード伴奏法等）について復習をする（90分）  授業外事後学修課題：課題に取り組み、振り返りを行い、わからないところがあれば質問をする準備しておく（90分）	
	2	音楽表現の活動内容について 授業外事前学修課題：音楽表現の活動内容について調べ、概略をノートにまとめる（90分）  授業外事後学修課題：授業で学修した内容を小課題で振り返り、音楽表現の主な活動についての理解を深める（90分）	
	3	乳児期の保育教材を研究する(1) ～聴く～ 身近なもので音を楽しむ 授業外事前学修課題：乳幼児期の音楽的な発達について概略を調べる（90分）  授業外事後学修課題：授業の振り返りを行い、小課題に取り組む（90分）	
	4	乳児期の保育教材を研究する(2) ～動く～ 音と動きについて 授業外事前学修課題：前回学んだ内容をもとに、乳児の音楽的保育教材の例をノートにまとめ、実際に歌ったり伴奏したりして準備をする（90分）  授業外事後学修課題：授業の振り返りを行い、小課題や伴奏練習に取り組む（90分）	
	5	幼児期の保育教材を研究する(1) 言葉のリズムから音楽的リズムへの導入 授業外事前学修課題：子どもの身近なもの・好きなものから連想する言葉を挙げ、言葉のリズムを音符に書き起こせるように準備をする（90分）  授業外事後学修課題：授業時に受講者から挙げられた言葉のリズムについてまとめ、音楽リズムとして感じ、また記譜できるようにする（90分）	
	6	幼児期の保育教材を研究する(2) 動きを伴う歌唱教材について 授業外事前学修課題：前授業で取り上げたリズムを身体で表現しながら歌う教材のアイデアをノートにまとめ、実際に演奏もできるように準備をする（90分）  授業外事後学修課題：グループ発表に向け、授業の振り返りと発表準備を行う（90分）	
	7	幼児期の保育教材を研究する(3) 動きを伴う歌唱教材の研究発表（演習） 授業外事前学修課題：動きを伴う歌唱教材のグループ発表に向けて準備を行う（90分）  授業外事後学修課題：グループ発表で感じたこと・気づいたことをまとめ、保育の場面を想定し、教材を用いた活動について考察する（90分）	
	8	幼児期の保育教材を研究する(4) リズム楽器を用いたアンサンブル教材について（3歳児） 授業外事前学修課題：リズム楽器について、その特性を調べてノートにまとめる（90分）  授業外事後学修課題：グループで選曲した教材と、リズム楽器それぞれの特性に相応しいアンサンブル構成についてまとめる（90分）	
	9	幼児期の保育教材を研究する(5) リズム楽器を用いたアンサンブル教材の研究発表（演習） 授業外事前学修課題：リズム楽器のアンサンブル発表に向けて、各自準備を行う（90分）  授業外事後学修課題：グループ発表で感じたこと・気づいたことをまとめ、保育の場面を想定し、リズム楽器を用いた活動について考察する（90分）	

	<p>10 幼児期の保育教材を研究する(6) 鍵盤楽器を用いたアンサンブル教材について (4～5歳児) 授業外事前学修課題：幼児期に相応しい鍵盤楽器を用いた教材例について調べノートにまとめる。選曲をし、演奏もできるよう準備をする (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：グループで選んだ曲を復習し、発表に備える (90分)</p> <p>11 幼児期の保育教材を研究する(7) 鍵盤楽器を用いたアンサンブル教材の研究発表 (演習) 授業外事前学修課題：鍵盤楽器のアンサンブル発表に向けて、各自準備を行う (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：グループ発表で感じたこと・気づいたことをまとめ、保育の場面を想定し、鍵盤楽器を用いた活動について考察する (90分)</p> <p>12 幼児の合唱教材を研究する(1) 歌詞の内容に相応しい音楽表現について考える (4～6歳児) 授業外事前学修課題：幼児期に相応しい合唱教材の歌詞をよく読み、内容について気づいたことをまとめ、理解を深める (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：グループ活動で出た意見をまとめ、振り返りを行う。保育の場面でどのような働きかけができるか、イメージする (90分)</p> <p>13 幼児の合唱教材を研究する(2) 合唱教材研究発表 (演習) 授業外事前学修課題：より豊かな表現をするために必要なことを考察し、まとめた上で発表への準備を行う (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：グループ発表で感じたこと・気づいたことをまとめ、保育の場面を想定した合唱活動について考察する (90分)</p> <p>14 保育活動の中の行事で活かせる音楽的な教材について 授業外事前学修課題：保育活動の中の行事について、知っていること、調べたことをノートにまとめる (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：行事に相応しい曲を選び、保育計画を作成できるよう準備をする (90分)</p> <p>15 行事に相応しい曲を発表し、保育計画を作成する (まとめ) 授業外事前学修課題：行事における音楽の役割について考察し、相応しい曲や演奏の仕方をまとめ、発表への準備を行う (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：行事を想定し、選んだ教材に対しての保育計画を作成して提出する (90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループごとに作成した教材を研究したり、発表を行ったりする。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーに関する返答は次の時間に行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート試験 評価割合：50% 評価基準：課題に対して保育の場面を想定しながらまとめられていたら60点/100点 履修目標との対応：③④ 評価方法：小課題・グループ発表・その他 評価割合：50% 評価基準：学んだ教材についての知識をまとめ、発表ができれば60点/100点 履修目標との対応：①②③④</p>
テキスト・参考文献・その他 (必要物品など)	<p>必要に応じてプリントを配布する。 2年生器楽I・IIの授業で使用したテキストも持参してください。 参考文献：楽しくうたあそび 123 [改訂版] 河北邦子/坂本久美子 編著 ミネルヴァ書房</p>
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	
備考	<p>30分以内の遅刻・早退は3回で欠席1回とみなします。 30分以上の遅刻・早退は欠席とします。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	選択
担当教員			
岸 隆史			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	子どもは動くことが大好きである。保育者は、子どもたちの発達や年齢に合わせた運動に関する保育教材に関する知識を持っていることが望まれる。本授業においては、保育に関する学習ののち、身体発達や運動能力の発達に関する理解をもとに幼児の運動に関する教材を研究し、幼児とともに楽しみながら運動能力を無理なく発達させるための援助について考えていく。また一人ひとりの個性に応じた運動教材についても学習する。
履修目標	①幼児の運動発達について正しい認識を身につけ、幼児の生活場面における運動行動を的確にみとる能力を獲得するとともに、行動場面や個々の幼児に応じた支援の方法を体得する。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 オリエンテーション 運動指導の対象となる幼児の心身の発達と運動技能について、これまでの学修で得た知識をもとに再確認する。その上で、教材となる運動や運動遊びについて、使用する用具や取り上げる運動形態ごとに指導上の基礎的な着眼点から考察を進める。まとめとして、人、物、事(運動指導が展開される総合的な場)を具体的に設定した指導案を作成し、実践的に発表し合い、振り返り討議を行う。 また、時間的調整ができた場合には、保育や子育て支援の現場に赴いての学習も予定している。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>2 幼児の運動発達について(運動発達の理論) 幼児の発育にも関係している点や年齢だけでなく、同年齢でも月齢によって発達に差があることを理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>3 幼児の発達について(幼児の運動機能の特徴) 幼児の運動機能について前回同様個人差があるが、運動経験を重ねることによって差が減少することを理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>4 幼児の運動発達の個人差 個人差が生じるのh前回までの授業で理解したが、その個人差を減少させる言動、行動について理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>5 運動技能の学習について(運動学習の理論) 発育・発達段階、また個人差に応じて運動機能を向上させる理論を理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>6 運動学習支援と保育者の役割 運動機能向上へ有効な声掛けや安全面を配慮して安心して運動に取り組める環境づくりを理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p> <p>7 集団遊びでの運動指導(多様な子ども達への対応) 対象の子供によっては得手不得手が生じるのでそれぞれの子供たちへの対応の仕方を理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p>

	8	固定遊具周辺での運動指導 指導者の立ち位置やどこを重点的に観察して安全面を確保するかを理解する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）
	9	授業外事後学修課題：課題内容（時間） なわ・フープを用いた運動指導 なわ・フープで遊んでいる子供の運動指導のみならず、安全面(距離等)にも配慮することを理解する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）
	10	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 転がる運動の指導 マット等を用いて運動する場合に設置方法等安全面にも配慮する点があることを理解する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）
	11	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 器械・器具を用いた運動指導 個人差に応じた機械・器具の調整等安全面に配慮することを理解する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）
	12	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 対人的な活動と運動指導 子ども同士での衝突等運動遊びによっては生じる危険があるので配慮することを理解する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）
	13	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 保護者(家庭)との連携について どのような運動遊びを实践して、どのように成果があったのか、また事故が起きたときに迅速に対応して連絡するなど、家庭との緊密な連絡体制が重要なことを理解する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）
	14	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 運動嫌いをつくらない・一人ひとりの個性に応じた援助について 運動遊びやその日の体調等で遊びたがらない子供も出てくるので、子供の気持ちを汲み取る方法を理解する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）
	15	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 運動指導と安全管理及び授業のまとめ 安全マニュアル等の作成の重要性や、緊急時の体制などについても理解する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法		グループディスカッション及び講義者とのディスカッションで理解を深める。
課題のフィードバック方法と時期		授業時間内で改善点等をディスカッションして内容によって実践する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：授業への取り組み(リフレクションカード提出)、発表や振り返り討議の状況 評価割合：授業への取り組み75%、発表や振り返り討議の状況25% 評価基準： 履修目標との対応： ※適宜追加してください
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		テキスト：必要に応じてプリントや資料を配布する。 参考文献 平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本チャイルド本社（2017/06発売） 杉原隆・湯川秀樹（編），保育内容「健康」，光生館，（2010）
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先		
備考		積極的に参加することを求める。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	選択
担当教員			
大内 美智子/こども教育学部 田中 君枝/こども教育学部 江島 絵理子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	「認定絵本士」を目指すための知識や技術を身に付ける。「認定絵本士」養成が期待しているものは読み聞かせの技術の獲得だけではなく人それぞれの絵本の理解、読者に合わせた絵本の選択、絵本制作にかかわった者の思いの共有など様々である。絵本そのもののもつ魅力に気づき、絵本を通して子ども達との応答性を高め、子ども理解が進んでいくような読書活動を推進する担い手となっていくよう幅広い知識、技術を習得する。		
履修目標	①絵本に関すること（歴史や表現特性や教育等）及び子どもの理解（児童福祉・心理）に関することを学ぶ。 ②手遊び、読み取り、創作活動等のおはなし会やワークショップを運営する力を身につける。 ③絵本を通して豊かな人間性、魅力ある人間性を育むための力を身に付ける。		
授業計画・授業外学修課題	1	絵本コンサルジュ術 絵本を提案する技術 絵本に係る情報収集と整理  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 子どもをめぐる社会状況について新聞やニュース等で調べておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の内容をまとめる（90分）	2
	3	ブックトークの技術 ブックトーク ビブリオトーク  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） 事後課題（30分）レポートを作成する 書評・紹介文の書き方 客観的な絵本の捉え方 書評と紹介文授業外  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分）	4
	5	支援が必要な人々や高齢者への絵本の役割 障害者と絵本 病児と絵本 高齢者と絵本  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） 事後課題（30分）レポートを作成する おはなし会を開こう おはなし会の意義と目的 企画運営  授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読む（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる（90分） 事後課題（30分）レポートを作成する	6
	6	おはなし会のテクニク 「おはなし会」のテクニク 「おはなし会」に活用できる手法の実践  授業外事前学修課題：課題内容（時間）	

	<p>テキストを読む (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) さまざまな角度から絵本を見る 絵本が持つ力の捉え方 絵本についての批評</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p>
7	
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) 心のケアと絵本の可能性 心のケアと絵本のかかわり方</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) 絵本のある望ましい空間とは 魅力的な絵本のある空間 (図書館・美術館等) のあり方</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) 子どもの心をとらえて離さないもの 子どもたちが興味を示すもの</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) 大人の心を豊かにする絵本 絵本が大人に与える喜び</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) 事後課題 (30分) レポートを作成する 人を楽しませる為の手法を学ぼう/ 子どもたちに対するホスピタリティ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) 作家の感性に触れる/ 絵本作家の感性</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) 事後課題 (30分) レポートを作成する 絵本の編集 絵本編集の仕事の内容・役割</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分) 認定絵本土としての今後の活動 認定絵本土に求められる資質及び技能について ディスカッション (グループワーク)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容 (時間) テキストを読む (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容をまとめる (90分)</p>
アクティブラーニング	グループワークを行います。

ングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	課題、リフレクションにて振り返りを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：課題レポート  評価割合：50%  評価基準：課題についてのレポート作成  履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：リフレクション  評価割合：30%  評価基準：リフレクションペーパーにて振り返りを行う。  履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：グループワーク  評価割合：20%  評価基準：グループワークにて積極的な意見交換をする  履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	認定絵本士養成講座 テキスト 絵本専門士委員会 独立行政法人国立青少年教育振興機構 発行 中央法規出版
実務経験のある教員による授業	幼稚園教諭・保育士の資格を有しており、保育現場の実務経験を活かした実践的な講義を行います。（田中、江島）
オフィスアワー・連絡先	連絡先 ktanaka@soei.ac.jp（田中） eeshima@soei.ac.jp（江島）
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	選択
担当教員			
江島 絵理子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	この講義では、子どもにとって遊びとは何か、子どもを取り巻く遊びの環境はどのようなものかについて理解する。また、学生が幼少期に遊んだ遊び、今も遊び続けられている遊び、現代の子どもの遊びについて、その歴史や特徴など理論的枠組みを学習するとともに遊びの実践を行う。そして学生自身が体験し直すことで遊びが持つ可能性について再認識し、理解できるようにする		
履修目標	①子どもにとって遊びとは何か、子どもを取り巻く遊びの環境はどのようなものかについて説明できる ②幼少期の体験を振り返り、現代の遊びと比較、検討する ③遊びの理論的枠組みを理解し、述べることができる ④子どもの発達と興味に見合った教材を製作できる ⑤遊びの実践を通して再認識した遊びが、持つ可能性について説明することができる		
授業計画・授業外学修課題	1	子どもにとって遊びとは何か① 遊びで育つもの、遊びの伝承性について学習する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 子どもにとって遊びとは何かについて調べ、纏めておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分）	
	2	子どもにとって遊びとは何か② 遊びの伝承者としての役割について学習する。ワークを通して自分自身が幼少期に遊んだ遊びについて確認する。また、発表を通して、友達と共通理解する  小テスト「子どもにとって遊びとは何か」  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読んで遊びの伝承者としての保育者の役割について纏めておく・自分自身の幼少期の遊び経験を思い出し、エピソードを纏めておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分）	
	3	子どもを取り巻く遊びの環境① こどもの遊びの変化、遊び環境の変化について学習する  小テスト「子どもにとって遊びとは何か」振り返り  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読んで自分が体験した幼少期の遊びと現代の遊びを比較、検討し、纏めておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分）	
	4	子どもを取り巻く遊びの環境② 大人が関与する遊びと教育的視線が注がれた遊び、消費社会、電子空間における子どもの遊びについて学習する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読んで自分が体験した幼少期の遊びと現代の遊びを比較、検討し、纏めておく 配布資料を読んで、教育玩具について調べ、纏めておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分）	
	5	昔話にふれる ワークを通して、子どもに読み聞かせたい絵本（昔話）を選ぶ理由について考える。・ワークを通して、絵本（昔話）のあらすじと伝えたいメッセージを確認する。また、発表を通して、友達と共通理解する  小テスト「子どもを取り巻く遊びの環境」  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分自身が幼少期に読んだ、読み聞かせしてもらった絵本（昔話）を思い出し、纏めておく（90分）	

6	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める・絵本（昔話）のあらすじと伝えたいメッセージのワークを完成させる（90分） わらべうたにふれる ワークを通して、わらべうたの歌詞と伝えたいメッセージを確認する。また、発表を通して、友達と共通理解する</p> <p>小テスト「子どもを取り巻く遊びの環境」</p>
7	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が幼少期に遊んだ、歌ったわらべうたを思い出し、纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める・わらべうたの歌詞と伝えたいメッセージのワークを完成させる（90分） 伝承遊びにふれる ワークを通して、伝承遊びのルールと遊び方を確認し、実践する。また、発表や実践を通して、友達と共通理解する。絵描きうたを自作する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分自身が幼少期に遊んだ伝承遊びを思い出し、纏めておく（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める 伝承遊びのルールと遊び方のワークを完成させる・自作絵描き歌を完成させる（90分） 遊びの理論的枠組み①／カードゲーム、ボードゲーム、家庭用ゲーム機、スマートフォンアプリの歴史や特徴について調べ、発表する カードゲーム、ボードゲーム、家庭用ゲーム機、スマートフォンアプリの歴史や特徴について調べ、発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） カードゲーム、ボードゲーム、家庭用ゲーム機、スマートフォンアプリの歴史や特徴について調べ、纏めておく（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 遊びの理論的枠組み② 世界の遊び、昔の遊び、地域の遊びの歴史や特徴について調べ、発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 世界の遊び、昔の遊び、地域の遊びの歴史や特徴について調べ、纏めておく（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 遊びの理論的枠組み③ 女兒向け番組、キャラクター、男児向け番組、キャラクター、アイドルの歴史や特徴について調べ、発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 女兒向け番組、キャラクター、男児向け番組、キャラクター、アイドルの歴史や特徴について調べ、纏めておく（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 自作教材の制作① すごろくを製作する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考となるすごろくを探し、見ておく・すごろくの歴史や特徴について調べ、纏めておく（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） すごろくを完成させる（90分） 自作教材の制作② かるたを製作する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考となるかるたを探し、見ておく・かるたの歴史や特徴について調べ、纏めておく（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） かるたを完成させる（90分） 遊びの実践① カードゲーム、ボードゲームで遊びの実践を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） すごろく、かるた、カードゲーム、ボードゲームのルールと遊び方を調べ、纏めておく（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 遊びの実践の感想を纏める（90分） 遊びの実践② 手作り教材で遊びの実践を行う</p>

	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） すごろく、かるたのルールと遊び方を調べ、纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 遊びの実践の感想を纏める（90分） 振り返り リフレクションペーパーの記入を通して遊びの実践を振り返る。そして、遊びが持つ可能性について再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の遊びの実践の感想を見直しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める</p>
15	
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループディスカッション、遊びの実践を行う
課題のフィードバック方法と時期	授業内にフィードバックします。ただし、15回目のリフレクションペーパーについては返却希望者は研究室に取り来てください。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：小テスト 評価割合：10% 評価基準：「子どもにとって遊びとは何か」「子どもを取り巻く遊びの環境はどのようなものか」について理解しておくこと 履修目標との対応：①</p> <p>評価方法：ワークと発表 評価割合：30% 評価基準：主体的に取り組み、自分の体験を纏め、発表できれば60点 履修目標との対応：②</p> <p>評価方法：プレゼンテーション 評価割合：30% 評価基準：遊びの歴史や特徴を自分なりに纏め、ITC機器を使用し、プレゼンテーションができれば80点 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：制作物 評価割合：20% 評価基準：子どもの発達と興味に即した製作ができれば80点 履修目標との対応：④</p> <p>評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：10% 評価基準：授業内で実践した遊びと幼少期の経験と体験を関連付けることができ、遊びの待つ可能性について自分なりの考えが纏められていれば80点 履修目標との対応：⑤</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト：テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布予定</p> <p>参考文献：小川清美編『児童文化』萌文書林2010 皆川恵美子 武田京子編著『児童文化』ななみ書房2016</p>
実務経験のある教員による授業	担当教員は幼稚園教諭の経験を有しており、その経験を活かした講義を行う
オフィスアワー・連絡先	eeshima@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	選択
担当教員			
濱田 唯/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	社会的養護Ⅰの単位を修得していること。
授業概要	社会的養護における子どもの権利擁護や保育士の倫理について具体的に学ぶ。様々な社会的養護の現場における養護の実際と、保育士に必要な個々の児童に応じた支援方法・技術を習得する。また、社会的養護を通して、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解や認識を深める。具体的には虐待や貧困により子どもが適切に養育されていないケースをグループで事例検討し、社会的養護につながるまでのプロセスや子どもへの対応について考える。
履修目標	①社会的養護の制度やサービスについて、具体例をあげて説明できる。 ②被虐待児がおかれている状況について具体的に説明できる。 ③子どもの心理的負担や安全を考えて対応するためのスキルを説明できる。 ④社会的養護に関する課題について、自分の考えを発信することができる。
授業計画・授業外学修課題	1 子どもの権利擁護 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分) 2 社会的養護における子どもの理解 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分) 3 社会的養護の内容 ①日常生活支援 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分) 4 社会的養護の内容 ②心理的支援 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分) 5 社会的養護の内容 ③自立支援 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分) 6 施設養護の生活特性および実際 ①乳児院等 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分) 7 施設養護の生活特性および実際 ②障害児施設等 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分) 8 家庭養護の生活特性および実際 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分) 9 アセスメントと個別支援計画の作成 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分) 10 記録および自己評価 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分) 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める (90分) 11 社会的養護における保育の専門性にかかわる知識・技術とその実践 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する (90分)

	<p>12 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分） 社会的養護にかかわる相談援助の知識・技術とその実践 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分）</p> <p>13 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分） 社会的養護におけるソーシャルワーク（知識・技術とその応用） 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分）</p> <p>14 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分） 社会的養護における家庭支援 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分）</p> <p>15 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分） 今後の社会的養護の課題と展望 授業外事前学修課題：指定されたテーマの事前学習・ネットやテレビを使いテーマに沿ったニュースを確認する（90分） 授業外事後学修課題：配布した資料をもとにテーマの理解をさらに深める（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	毎回授業ではグループワークを行い、学生同士が意見交換し、発表する場を設ける。授業の最後にはリアクションペーパーを記入し、質問や意見に対して次の授業で教員から回答する。
課題のフィードバック方法と時期	授業内でフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：平常点評価 評価割合：30% 評価基準：出席、授業態度、グループワーク参加率 履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：リアクションペーパー 評価割合：30% 評価基準：授業の理解度、意見を明確に書けているか、他者の意見を聞きさらに理解を深めているか 履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：レポート課題 評価割合：30% 評価基準：授業の理解度、意見を明確に書けているか、課題について文献を使い調べることができているか 履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：その他 評価割合：10% 評価基準：その他の課題（10点満点とする） 履修目標との対応：①②③④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	中央法規出版 新・基本保育シリーズ18「社会的養護」を参考に授業を進めます。（資料はこちらで用意します。購入する必要はありません）
実務経験のある教員による授業	担当教員は精神保健福祉士・公認心理師としての実務経験を活かした講義・演習を行う
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーについては別途提示 連絡先：yhamada@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	選択
担当教員			
流石 良子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	図画工作Ⅰの単位を修得していること
授業概要	図画工作Ⅰを踏まえ、幼児と保育者の感性を高める色彩造形活動の実際についてさらに学び、子どもの穏やかな成長をしえするために図画工作では何ができるかについて考える。また、身体的な表現や音楽的な表現との関連及び、健康・人間関係・環境・言葉などの領域との関連を考え、子どもを楽しませる図画工作を探究する。
履修目標	①自己と子ども理解につながる色彩造形表現活動を体験し、図画工作の立場から「表現」についての理解を深め、造形ができる。 ②実技力を高めるとともに、子どもたちの表現から、その内容を感じ取り理解する鑑賞力をもつことができる。 ③子どもたちが自発的に表現活動に向かい、自己を十分に発揮するために、保育者として何ができるかを考え、支援するための基礎力を身に付けている。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 図画工作Ⅱの学びについて 図画工作で何ができるか、その楽しさと広がりについて考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/シラバスを確認し授業の概要、目標を理解する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後の感想をまとめる（90分）</p> <p>2 造形遊び「風をテーマにした造形活動」 自然材の可能性を探る「葉」 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/造形遊びとは何かについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後の感想をまとめる（90分）</p> <p>3 造形遊び「音をテーマにした造形活動」 自然材の可能性を探る 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/音と造形の関連を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後の感想をまとめる（90分）</p> <p>4 造形遊び「動きをテーマにした造形活動」 身近な材料の可能性を探る 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/身近な材料を集めもちよる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後の感想をまとめる（90分）</p> <p>5 造形遊び「ひかりをテーマにした造形活動」 自然光の取り入れ方 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/自然光を活かした造形について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後の感想をまとめる（90分）</p> <p>6 子どもの感性を高める色彩活動1 「色遊びができる植物集めと色遊び」 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/植物の色遊びについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後の感想をまとめる（90分）</p> <p>7 子どもの感性を高める色彩活動2 「絵の具を使った色遊び」 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/自然光と色遊びを繋げた活動を考える（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後の感想をまとめる（90分）</p> <p>8 子どもの感性を高める造形活動1 可塑的素材による造形「粘土」 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/粘土の種類と特徴を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後の感想をまとめる（90分）</p> <p>9 子どもの感性を高める造形活動2 自然素材を活用した造形活動 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/葉・樹皮・枝等でできる造形活動について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後の感想をまとめる（90分）</p> <p>10 子どもの感性を高める造形活動3 自然素材を活用した造形活動 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/紅葉した葉について造形活動としての取り組みを考える（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後の感想をまとめる（90分）</p> <p>11 子どもの感性を高める造形活動4 身近な素材を活用した造形活動 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/生活で不要になった素材からの造形活動を考える（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後の感想をまとめる（90分）</p> <p>12 自他の存在を認める造形活動1 「共同制作」オリジナル色紙づくり 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/オリジナル色紙の種類について調べる（90分）</p>

	<p>13 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後の感想をまとめる(90分) 自他の存在を認める造形活動2 「共同制作」 コラージュ制作 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/コラージュとは何か調べオリジナル色紙の構想をねる(90分)</p> <p>14 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後の感想をまとめる(90分) 総合的な表現としての造形活動 制作物を用いて鑑賞会 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/様々な鑑賞会の計画を立てる(90分)</p> <p>15 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/受講後の感想をまとめる(90分) 図画工作Ⅱのまとめ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/これまでの振り返りを行う(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/蓄積された学びを確認する(90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	この演習では、討議・グループワーク・表現と鑑賞などを行う。
課題のフィードバック方法と時期	毎回提出を求める感想は、意見交流(他者理解)として活用し、翌週には返却する。ルーブリックを使用する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート試験 評価割合：40% 評価基準：自らの考えと、その根拠を述べていけば80% 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：平常点評価 評価割合：20% 評価基準：意欲的に取組み、新たな価値を見つけていく80% 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：その他 評価割合：40% 評価基準：課題を自ら設定し取り組む80% ルーブリックを配布します 履修目標との対応：①②③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト:必要に応じて資料を配布する 参考文献:槇英子「保育をひらく造形表現」 萌文書林 高橋要一編「特別支援教育とアート」 武蔵野美術出版局
実務経験のある教員による授業	小学校教諭としての図画工作科指導の実務経験をいかした授業を行う。
オフィスアワー・連絡先	流石(rsasuga@soei.ac.jp)
備考	何のための図画工作なのかを造形活動を通して考えます。楽しさ・感性・自発性・主体性・支援などのキーワードに関心を寄せて受講下さい

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	1単位	選択
担当教員			
平野 友康/こども教育学部 流石 良子/こども教育学部 濱田 唯/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人
履修条件	実習実施基準による
授業概要	事前指導では、「保育実習IB(施設)」を円滑に進めていくために必要な具体的な知識・技術を修得する。各施設の利用者の特徴、各施設での生活、保育士の業務、各施設の役割と機能について学ぶ。また、観察の方法、記録の取り方、実習日誌の書き方、保育技術の実践、部分実習の計画立案、評価の方法や内容等について具体的に学び、保育現場に実習生として入るイメージと自覚を持つ。 事後指導では、実習を振り返り、実習での学びについて確認した上で、自己課題を明確にする。
履修目標	①施設実習の目的や心構えを理解し説明できる ②施設における保育者の業務内容や職業倫理について説明できる ③実習先で学ぶべき目的を明確にし述べる事ができる ④実習日誌の書き方を理解し実践できる ⑤実習を自己評価し今後の学習課題を明確にできる
授業計画・授業外学修課題	<p>1 オリエンテーション 施設実習の目的・意義・心構え 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「実習ガイドブック」の施設実習に該当するページについて精読する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する(90分)</p> <p>2 実習施設の概要① 児童福祉施設の役割と実習生としての心がまえ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 児童福祉施設について参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する(90分)</p> <p>3 実習施設の概要② 障害者支援施設の役割と実習生としての心がまえ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障害者支援施設について参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する(90分)</p> <p>4 社会福祉施設の職業倫理 プライバシーの保護と守秘・安全対策の理解 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分)</p> <p>5 実習における課題の明確化① 実習目的を設定する意味と設定の方法 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自身の実習施設の概要について調べノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに学んだことをノートにまとめる(90分)</p> <p>6 実習における課題の明確化② 実習目的の作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自身が行う施設での実習目的をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自身が作成した実習目的をノートにまとめるなどし口頭で説明できるようにする(90分)</p> <p>7 実習に必要なと方なると書類の作成事前訪問の方法と注意事項</p>

8	<p>個人票・誓約書の作成 実習先施設とのオリエンテーションの方法</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 書類の作成にあたり事前に伝えた持参品を用意する・参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料をもとに実習施設へ連絡をしオリエンテーションの日時の調整を行うとともに実習先のルートを調べておく。(90分)</p> <p>実習日誌の書き方① 児童養護施設等の児童との関わりと記録の取り方</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する(90分)</p> <p>実習日誌の書き方② 障害者支援施設等の利用者との関わりと記録の取り方</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する(90分)</p> <p>保育士の役割と職業に倫理 「全国保育士会倫理綱領」を通じた人権の尊重と実習中の個人情報に関する考え方</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する(90分)</p> <p>実習施設紹介と実習時の注意事項① 特別講師：児童養護施設職員からのゲストスピーチ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 特別講師の内容から学んだことをノートにまとめる(90分)</p> <p>実習施設紹介と実習時の注意事項② 特別講師：障害者支援施設職員からのゲストスピーチ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 特別講師の内容から学んだことをノートにまとめる(90分)</p> <p>施設における利用者等への支援の実際 支援計画の理解と活用</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等で該当か所を読み疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する(90分)</p> <p>事後指導① 実習の自己評価</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 実習日誌を見直し自己の学びや課題をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で配布した資料の加筆修正(90分)</p> <p>事後指導② 実習後の学習課題の明確化</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 実習報告書の作成(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習報告書の加筆修正(90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	討議・討論、グループワーク等を行う予定です。
課題のフィードバック方法と時期	授業内にフィードバックします。

<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法：ワークシート          評価割合：40%          評価基準：授業中に配付した授業ワークシートを授業内で記入し授業終了時に提出。自分の考えが記載され提出すれば80点。          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：必要書類の提出          評価割合：20%          評価基準：実習の実施に必要な書類に必要な事項を正しく記入し、提出期限に提出できれば100点          履修目標との対応：①③</p> <p>評価方法：実習報告後の自己評価          評価割合：40%          評価基準：実習を振り返り、自身の学びや課題を述べられれば80点          履修目標との対応：⑤</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>テキスト：「実習ガイドブック」「実習日誌」は毎回必ず持参すること。          他、授業にて紹介する</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	<p>社会福祉協議会での対人援助職(社会福祉士)としての実務経験をいかした講義を行う。(平野)</p>
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>別途掲示等を参照</p>
<p>備考</p>	<p>実習にあたり必須の事柄を学ぶ授業となる。そのため実習時と同様の態度で臨むこと。授業については理由のない欠席、遅刻、早退は認めていない。課題も遅滞なく提出すること。事前事後指導外でのオリエンテーションなどについても同様となる。実習ガイドブックの内容を熟読しその内容を理解しておくこと。質問等は随時受け付ける。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	選択
担当教員			
平野 友康/こども教育学部 流石 良子/こども教育学部 濱田 唯/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人
履修条件	実習実施基準による
授業概要	「保育実習 I B（施設）」では、居住型児童福祉施設等における実際の保育実践を行うことで、保育士として必要な援助に関する技術などを習得する。実習を通じて、さまざまな施設の機能や保育士の職務内容について理解し、自身の保育者としての援助課題を明確にする。
履修目標	①児童福祉施設等における保育士としての援助技術を習得し実践できる。 ②児童福祉施設等の機能や保育士の職務内容について理解し説明できる。 ③自身の保育実践について、課題や改善点を明確にできる。
授業計画・授業外学修課題	1 実習内容 施設の役割や機能を理解する。 施設の生活の一日の流れを理解し、主体的に参加する。 利用児・者と生活を共にすることで、生活面における配慮を体験的に理解する。 施設における保育士（援助職）の職務内容と役割を理解する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	実習における援助を体験する
課題のフィードバック方法と時期	日誌の提出とコメントおよび実習指導者との議論等を行う
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習施設による評価をもとにした総合的な評価 評価割合：100% 評価基準：実習施設の評価及び実習施設からの聞き取りにより総合的に評価する。 履修目標との対応：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：「実習ガイドブック」「実習日誌」
実務経験のある教員による授業	社会福祉協議会での対人援助職(社会福祉士)としての実務経験を生かした演習を行う。(平野)
オフィスアワー・連絡先	別途掲示等を参照
備考	



**【3～4年次配当科目】**



開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3 - 4年	2単位	選択
担当教員			
棚澤 令子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見出し、解決していく能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	この講義では、道徳性の発達についての心理学的知見を学び、それが実際の子どもたちの姿とどう結びつくか、そうした知見が幼児教育・保育の現場でどのように生かせるかを考える。特に幼児期の道徳性の発達を理解するのに重要と考えられる理論を取り上げ、これらの知識をこども理解のための一つの視点として用いることができるようになることを目指す。
履修目標	① 幼児期の「道徳性の芽生え」とはどのようなものか理解し、その現れ、育ちを見て取る視点をもつ道徳性発達についての諸理論を説明できる ② 道徳性の発達に関連する諸能力について理解する。 ③ 講義での理論的学びを基に道徳性を養う実践について考え、行う
授業計画・授業外学修課題	<p>1 「道徳性の芽生え」とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 発達心理学・保育の心理学で使用したテキストをよんでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p> <p>2 道徳性の発達理論①ピアジェの理論とその発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の復習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p> <p>3 道徳性の発達理論②コールバーグの発達理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の復習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p> <p>4 道徳性の発達理論③向社会性理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の復習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p> <p>5 道徳性の発達理論④共感性発達理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の復習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p> <p>6 道徳性の発達理論⑤役割取得理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の復習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p> <p>7 道徳性の土台となる基礎能力の育成①感じる力、表現する力 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の復習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p> <p>8 道徳性の土台となる基礎能力の育成②対話する力、一緒に活動する力 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の復習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p> <p>9 道徳性を育てる実践①基本的な生活習慣の習得、自己制御の力 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の復習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p> <p>10 道徳性を育てる実践②思いやりの心、ルールを守る力 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の復習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p>

	11	<p>道徳性を育てる環境①道徳性を育てる園経営の工夫 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の復習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p>
	12	<p>道徳性を育てる環境②道徳性を育てる学級経営の工夫 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の復習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p>
	13	<p>道徳性を育てる保育者のあり方①保育者の姿勢 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の復習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p>
	14	<p>道徳性を育てる保育者のあり方②問題状況が起こった時の対応 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の復習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p>
	15	<p>講義ノートのふりかえり 論述テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の復習をしておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	道徳性に関する事例をもとに、プレゼンテーションする	
課題のフィードバック方法と時期	プレゼンテーションでは、即時フィードバックします。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法： レポート（プレゼンテーション含む） 評価割合： 50% 評価基準： 保育者の子どもへのかかわりのポイントをおさえているか 履修目標との対応： ①②③</p> <p>評価方法： 論述テスト 評価割合： 30% 評価基準： 自らの考えを具体例を交えて論述できる 履修目標との対応： ②</p> <p>評価方法： 積極的態度 評価割合： 20% 評価基準： 質問や意見を積極的に発言しているか 履修目標との対応： ③</p>	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト： 幼稚園における道徳性の芽生えを培うための事例集 文科省 毎回、講義ノートを配布します	
実務経験のある教員による授業	心理職の実務経験を活かした講義、演習を行います。	
オフィスアワー・連絡先	不明点はrkurumisawa@soei.ac.jpまで、ご連絡ください。	
備考		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3 - 4年	2単位	選択
担当教員			
棚澤 令子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見出し、解決していく能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	社会における人間関係のもつれによって生じる様々な心理的問題について、臨床心理学の理論によって視点やアプローチが異なること、また、それぞれの理論の枠組みから問題発生の機序、予防策・対応策について学んでいく。特に、心的外傷（トラウマ）、PTSD、愛着障害について、事例を用いて具体的な様子を知るほか、当事者に対する心理治療の方法について理解していく。		
履修目標	① 人の心に生じる様々な「こころの問題」について心理学的側面から理解する ② 年齢による「こころの問題」を考える ③ さまざまな臨床心理アセスメントを行う ④ 「こころの問題」に対する心理療法、援助の方法を学ぶ		
授業計画・授業外学修課題	1	オリエンテーション 臨床心理学とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめなおして復習する（90分）
	2	こころの問題① アディクション 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	3	こころの問題② 不安症・強迫症 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	4	こころの問題③ 統合失調症 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	5	こころの問題④ 抑うつ症 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	6	こころの問題⑤ パーソナリティ障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	7	こころの問題⑥ PTSD（心的外傷後ストレス障害） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	8	こころの問題⑦ 発達障害（ASD, ADHD, LDなど） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	9	心理アセスメント① 知能検査・発達検査 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	10	心理アセスメント② 性格検査 授業外事前学修課題：課題内容（時間）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分）
		授業外事後学修課題：課題内容（時間）	授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）

	11	心理アセスメント③ バウムテスト・HTP 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	12	心理療法① 箱庭療法・描画療法 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	13	心理療法② プレイセラピー・カウンセリング 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	14	心理療法③ 行動療法・認知行動療法 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	15	まとめ ファイナルテスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） すべての復習を行う（180分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		心理アセスメントを用いて、実際のテスト（知能検査など）を用いて実習を行う。
課題のフィードバック方法と時期		リアクションペーパーについては、次の授業の最初にフィードバックします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法： 小テスト 評価割合： 35% 評価基準： こころの問題の知識 履修目標との対応： ①②③  評価方法： リアクションペーパー 評価割合： 35% 評価基準： こころの問題への対応を理解したか 履修目標との対応： ①  評価方法： 積極的態度 評価割合： 30% 評価基準： 質問や意見を積極的に発言しているか 履修目標との対応： ③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		毎回講義ノートを配布します（A3版）。各自ファイリングし管理してください。参考文献は、随時紹介します。
実務経験のある教員による授業		乳児院・児童発達支援センター・保健センター等における心理職としての実務経験を活かした講義・演習を行います。
オフィスアワー・連絡先		不明点はrkurumisawa@soei.ac.jpまで、ご連絡ください。
備考		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3 - 4年	2単位	選択
担当教員			
持田 訓子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	<p>・保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。</p> <p>・社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。</p>		
履修条件	特になし		
授業概要	インクルーシブ教育の実現に向けて、子どもの多様な教育的ニーズを把握し、支援の必要な子どもに適切に対応するために、特別支援教育の概要を理解したうえで、障がいについての基礎的知識および具体的な対応方法を身につける。		
履修目標	<p>①特別な支援を必要とする幼児児童生徒の障がいの特性及び心身の発達を理解し説明できる。</p> <p>②特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対する教育課程や支援の方法を理解し説明できる。</p> <p>③障がいの有無にかかわらず、教育的ニーズのある幼児児童生徒の学習上または生活上の困難とその対応を理解し検討できる。</p>		
授業計画・授業外学修課題	1	<p>特別支援保育・障がい児保育の定義について</p> <p>障がい児保育・教育からインクルーシブ保育・教育へ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p>	
	2	<p>乳幼児の発達障がいについて（1）知的障がい</p> <p>知的発達症の特性と理解</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p>	
	3	<p>乳幼児の発達障がいについて（2）広汎性発達障がい</p> <p>自閉スペクトラム症の特性と理解</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p>	
	4	<p>乳幼児の発達障がいについて（3）注意欠陥多動性障がい</p> <p>注意欠如・多動症の特性と理解</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p>	
	5	<p>乳幼児の発達障がいについて（4）学習障がい</p> <p>限局性学習症の特性と理解</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p>	
	6	<p>重複障がいのある乳幼児について</p> <p>重症心身障がい、病弱・虚弱、視覚障がい、聴覚障がいの特性と理解</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分）</p>	
	7	<p>障がいのある乳幼児が育つ場について</p> <p>特別支援教育に関する制度や法律、連続性のある多様な学びの場のあり方</p>	

8	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 幼稚園・保育所における特別支援保育について 個に応じた支援の検討</p>
9	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 特別支援学校幼稚部における特別支援保育について 個に応じた支援の検討</p>
10	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 療育について考える（障害はないが特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒の把握や支援について） 多様な教育的ニーズの理解と対応</p>
11	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 特別支援のための援助技術について（1）発達の理解 個々の発達に即した対応（合理的配慮と基礎的環境整備）</p>
12	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 特別支援のための援助技術について（2）個別指導計画 子どもの困りの見立て及び保護者との連携・協働</p>
13	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 特別支援のための援助技術について（3）記録の取り方 観察の観点および情報共有のあり方</p>
14	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 特別支援のための援助技術について（4）教職員間の連携について 教職員間および関係機関との連携・協働（チームによる支援）</p>
15	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 保育現場から小学校・特別支援学校への連携について 小学校等への支援の引き継ぎ（切れ目のない支援）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点及び今後の課題をノートにまとめる。（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを行います。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックを次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：平常点およびリフレクションペーパー</p> <p>評価割合：50%</p> <p>評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点（ルーブリック参照）</p> <p>履修目標との対応：① ② ③</p>

	<p>評価方法：レポート          評価割合：50%          評価基準：課題の要点および自分の意見を端的にまとめることができれば60点（ルーブリック参照）          履修目標との対応：② ③</p>
<p>テキスト・参考文献・その他（必要物品など）</p>	<p>テキスト：          使用せず、必要に応じて資料を配付します。</p> <p>参考文献：          咲間まり子 編「特別支援教育・障害児保育入門」建帛社（2020）          西村重稀・水田敏郎 編「障害児保育（新基本保育シリーズ17）」中央法規（2019）          若月芳浩・宇田川久美子 編「障害児保育（新しい保育講座14）」ミネルヴァ書房（2021）</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	<p>特別支援学校教諭および公認心理師、学校心理士としての経験をいかし、実践に役立つ知識技能を伝えます。</p>
<p>オフィスアワー・連絡先</p>	<p>オフィスアワー：別途掲示を参照してください。          連絡先：nmochida@soei.ac.jp</p>
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への主体的な参加を期待します。</li> <li>・30分以上の遅刻および途中退席は欠席となります。</li> </ul>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3－4年	2単位	選択
担当教員			
江島 絵理子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	近年、幼稚園には幼児の保育のみならず、家庭での子育てを支援し、サポートする役割が求められている。この講義では、子育て家庭を取り巻く社会的状況および子育て支援の必要性を理解する。その上で幼稚園が果たすべき役割、具体的な支援とサポートの方法について自分なりの考えを深め、実践に即した体験が持てるようにする。
履修目標	①現代の子育て家庭を取り巻く社会的状況および子育て支援の必要性について説明できる ②幼稚園が果たすべき子育て支援の役割、具体的な支援とサポートの方法について説明できる ③子育て支援の実際を把握し、述べる事ができる ④「子育て相談」の方法と展開について理解する。その上で模擬体験やプランニングができる
授業計画・授業外学修課題	<p>1 家族とは 家族の定義、家族の機能、家族形態、家族関係の移り変わりについて学習する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 家族とは何か、その定義や機能などについて調べ、纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める（90分）</p> <p>2 現代の子育て家庭を取り巻く社会的状況とは① 少子化、未婚・晩婚化、男女共同参画と女性のライフコースについて学習する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 現代の子育て家庭を取り巻く社会的状況について調べ、纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める（90分）</p> <p>3 現代の子育て家庭を取り巻く社会的状況とは② 家事・育児の外部化と脆弱化、夫婦にとっての子育て観の変化、子どもの遊び環境の変化について学習する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 現代の子育て家庭を取り巻く社会的状況について調べ、纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める（90分）</p> <p>4 幼稚園における子育て支援の実際① 幼稚園教育要領における子育て支援、認定こども園化、預かり保育・延長保育、園庭・園舎開放について学習する</p> <p>小テスト／「家族とは」「現代の子育て家庭を取り巻く社会的状況」</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小テストに向けて自己学習を行っておく 幼稚園における子育て支援の実際について調べ、纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める（90分）</p> <p>5 幼稚園における子育て支援の実際② 未就園児への保育活動、子育て講座、保護者同士の交流の機会の企画について学習する</p> <p>小テスト／「家族とは」「現代の子育て家庭を取り巻く社会的状況」振り返り</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小テストを見直しておく 幼稚園における子育て支援の実際について調べ、纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める（90分）</p> <p>6 身近な地域における子育て支援の実際 自分にとって身近な地域における子育て支援の実際について調べ、発表する。地域ごとに比較し、その違いや共通点から、自分にとって身近な地域における子育て支援の特徴を把握する</p>

7	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 身近な地域における子育て支援の実際について調べ、纏めておく プレゼンテーションの準備を行っておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める 自分にとって身近な地域の子育て支援の特徴を纏める（90分） 諸外国における子育て支援の実際 諸外国における子育て支援の実際について調べ、発表する。諸外国ごとに比較し、その違いや共通点から我が国における子育て支援の特徴を把握する。</p>
8	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 諸外国における子育て支援の実際について調べ、纏めておく プレゼンテーションの準備を行っておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める 我が国の子育て支援の特徴を纏める（90分） 幼稚園における「子育て相談」① 保護者の子育てに対する価値観の多様化について実例を基に学習する</p>
9	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読んで、保護者の子育てに対する価値観の多様化について纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める 保護者との価値観の違いを感じた経験について纏める（90分） 幼稚園における「子育て相談」② 保護者との適切なかかわりと寄り添いについて学習する</p>
10	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストPP27～63を読み、纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める（90分） 幼稚園における「子育て相談」③ 保育者にとって必要なコミュニケーションスキルについて学習する</p>
11	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストPP85～105を読み、纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める（90分） 幼稚園における「子育て相談」④ ソーシャルワークを模擬体験する①子どもの個性や発達に関わる相談</p>
12	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事例を読んで模擬体験の準備を行っておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める（90分） 幼稚園における「子育て相談」⑤ ソーシャルワークを模擬体験する②園環境や保育内容に関わる相談</p>
13	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事例を読んで模擬体験の準備を行っておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める（90分） 幼稚園における「子育て相談」⑥ ソーシャルワークを模擬体験する③人間関係に関わる相談</p>
14	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事例を読んで模擬体験の準備を行っておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学びを纏める（90分） 子育て支援をプランニングする① 「幼稚園において今、必要な子育て支援はどのようなものなのか」というテーマでグループディスカッションを行う</p>
15	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） グループディスカッションの準備を行っておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） グループディスカッションにおける意見やアイデアを纏め、プレゼンテーションの準備を行う（90分） 子育て支援をプランニングする② グループディスカッションを通してまとめた意見を基にアイデアを発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p>

	<p>プレゼンテーションの準備を行っておく (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) これからの幼稚園における子育て支援の実践化を考え、纏める (90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループディスカッション、プレゼンテーション、模擬体験を行う
課題のフィードバック方法と時期	授業内にフィードバックします
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：小テスト 評価割合：20% 評価基準：基本的な子育て支援に関する用語を理解しておくこと 履修目標との対応：①②</p> <p>評価方法：プレゼンテーション 評価割合：40% 評価基準：提示された課題に沿って調べたことを纏め、発表できれば80点 履修目標との対応：②③</p> <p>評価方法：模擬体験 評価割合：20% 評価基準：体験を通して、自らの考えとその根拠を説明でき、保護者に対してふさわしいコミュニケーションスキルを発揮できれば80点 履修目標との対応：④</p> <p>評価方法：プランニングと発表 評価割合：20% 評価基準：自分なりの意見とアイデアを纏め、発表できれば60点 履修目標との対応：④</p>
テキスト・参考文献・その他 (必要物品など)	<p>テキスト：永野典詞・岸本元気著『保育士・幼稚園教諭のための保護者支援』風鳴社 2016</p> <p>参考文献：小橋明子監修『子育て支援』中山書店2020 武田信子著『保育者のための子育て支援ガイドブック』中央法規出版2018</p>
実務経験のある教員による授業	担当教員は幼稚園の教諭経験を有しており、その経験を活かした講義を行う。
オフィスアワー・連絡先	eeshima@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3 - 4年	2単位	選択
担当教員			
太田 百合子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	食育に興味を持っていること。「子どもの食と栄養」を履修していることが望ましい。
授業概要	食育に関する基本理念を理解する。子どもたちに対する食育は、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、健全な心身と豊かな人間性の基礎となる。家庭、保育所、幼稚園における望ましい食事について理解し、食育についてのあり方を考える。講義だけでなく、ワークやグループで協力し合って制作、発表を行い、実践方法を学ぶ。
履修目標	①食育基本法、食育推進基本計画等の国策を理解した上で、その説明ができる。 ②食育計画の考え方を理解し作成ができる。 ③幼児の食生活に関する教育指導ができる。 ④保護者に向けた食育指導ができる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 総論：なぜ食育を学ぶのか 日本の食生活の現状を学ぶ。今まで受けてきた食育、給食、しつけなどについてグループワークを行う。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分が受けてきた食育の体験を振り返って授業に用意する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 食生活の課題をノートにまとめる。（90分）</p> <p>2 食育をめぐる政策的動向 食育基本法、食育推進基本計画に沿った園での食育をワークを通して学ぶ。養護と教育とは、食育推進基本計画は園としてどんな取り組みができるかグループワークを行う。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 食育における養護と教育の一体性の復習、食育推進基本計画の復習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をレポートにまとめる。（90分）</p> <p>3 生活習慣病と食生活（1）：栄養素の働き 栄養素の種類とその所在、働きをワークを通して考える。栄養素を強化する献立を考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 栄養素の種類を復習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をレポートにまとめる。（90分）</p> <p>4 生活習慣病と食生活（2）：バランスのとれた献立作成 食事バランスガイドの考えをもとにバランスのとれた食事をワークを通して考える。献立作成など。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 食事バランスガイドの復習を行う。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日頃食べている献立を振り返ってノートにまとめる。（90分）</p> <p>5 食の安全性 食中毒を予防するためのポイント、安全への配慮についてワークを通して学ぶ。さまざまな安全・衛生管理について。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 食中毒について復習する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 保育者が気をつけたい食の安全についてノートにまとめる。（90分）</p> <p>6 日本の食文化 日本の食文化についてワークを通して学ぶ。箸使い、器の並べ方、彩り、切り方、食べ方、行事食、郷土料理など。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ユネスコ無形文化遺産について調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をレポートにまとめる。（90分）</p> <p>7 保育所等における食育の内容（乳幼児） 保育所における食育の基本構造をワーク・発表を通して学ぶ。5つの子ども像に対してどんなことができるか。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育所保育指針の食育の推進をよく読み、乳児にふさわしい食の環境づくりについて考えておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をレポートにまとめる。（90分）</p>

8	<p>保育所等における食育の内容（幼児）          養護と教育の一体と幼児にふさわしい食育の環境づくりについてワーク・発表を通して学ぶ。教育的側面とはどんなことができるかなど。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          教科書「子どもの食と栄養」の第9章食育の基本と内容をよく読んでおく。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          授業内の内容を復習し、要点をレポートにまとめる。（90分）</p>
9	<p>保育所における食育の計画づくり（1）          食育計画の立て方をワーク・発表を通して学ぶ。栽培・調理体験活動計画作り。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          子どもと体験できる栽培のふさわしい時期を調べておく。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          授業内の内容を復習し、要点をレポートにまとめる。（90分）</p>
10	<p>保育所における食育の計画づくり（2）          年間食育計画の作成を行い、発表から深める。グループで食育計画を作成する。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          保育園の食育計画事例を調べておく。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          授業内の内容を復習し、要点をレポートにまとめる。（90分）</p>
11	<p>保育所における食育の実践（1）          楽しめる食育教材をグループで考える。効果的な媒体を制作する。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          保育園の食育教材例を調べておく。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          対象年齢にあった構成を考える。（90分）</p>
12	<p>保育所における食育の実践（2）          対象年齢、対象人数にあわせて媒体作成を行い、発表時間の流れを確認し練習する。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          媒体、構成の確認をする。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          発表に向けて修正する。（90分）</p>
13	<p>保育所における食育の実践（3）          発表、それぞれの発表を考察する。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          発表に向けて修正する。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          発表から得られた内容をノートにまとめる。（90分）</p>
14	<p>食を通した保護者への支援          保育園で行う保護者支援についてワーク・発表を通して学ぶ。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          保護者の食の悩みを復習しておく。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          授業内の内容を復習し、要点をレポートにまとめる。（90分）</p>
15	<p>地域の子育て家庭への支援          保育園で行う地域の保護者に対する支援、災害時支援についてワーク・発表を通して学ぶ。          授業外事前学修課題：課題内容（時間）          保育所保育指針、保護者支援の役割をよく読んでおく。（90分）          授業外事後学修課題：課題内容（時間）          授業内の内容を復習し、要点をレポートにまとめる。（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	レポートは授業内に提出してもらい随時採点して返却する。質問は授業振り返りシートに記入してもらい次の授業にて解説する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：筆記試験          評価割合：50%          評価基準：授業で学んだことを理解し、自らの意見を述べていけば60点。          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：授業内課題(グループワーク、演習)          評価割合：30%          評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば60点。          (10点) 自らの意見を論理的に述べるができる。課題問題の解答が100%である。(7~9点) 自らの意見を交えて述べるができる。課題問題の解答が70%以上である。(1~6点) 部分的に述べるができる。課題問題の解答が70%以下である。          履修目標との対応：①②③④</p> <p>評価方法：食育発表          評価割合：20%          評価基準：(10点) 学んだことをもとに発表の構成、発表態度ができていけば60点。          履修目標との対応：①②③④</p>
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	<p>テキスト：0～5歳児食育まるわかりサポート&amp;素材データブック 太田百合子、岡本依子監修、学研プラス 2022年 2100円 9784058007655          参考文献：子どもの食と栄養第2版 太田百合子 堤ちはる編著 羊土社 2022年 2,640円 9784758109116</p>
実務経験のある教員による授業	公益財団法人児童育成協会こどもの城小児保健部、クリニックに管理栄養士として30年間勤務した経験と、保育士等キャリアアップ研修などの講師、育児雑誌監修の経験に基づき、保育士養成に必要な講義、演習を行う。
オフィスアワー・連絡先	連絡先 yuri256max@ezweb.ne.jp又は、yota@soei.ac.jp

備考	
----	--

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3 - 4年	2単位	選択
担当教員			
藍木 桂子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1保育・幼児教育に硬質な専門的知識・技術と豊かな人間性と完成を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 4専門的、汎用的知識・技術を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	子育てを担っていく専門職を目指すもの
授業概要	乳幼児を預かり、育児の一端を担う専門職に必要な知識を学ぶ。学修と演習を通じて母子保健の視点から現代社会における育児の実際や課題を理解し、子どもの生命の保持と個々の発達に深く関わり、親とともに子育てを担っていく専門職であることについての自覚を認識することを目的とする。
履修目標	①妊娠・出産・育児期の親子を取り巻く社会的状況や母子保健施策について説明できる ②母子保健の課題について考え、必要な支援について説明できる ③子どもの生命の保持と発達を学び、救急時の対応がわかる ④女性の健康に関する知識を得て、専門職としての自身の生き方について理解できる ⑤新生児の保清に関するケアを理解し、安全安楽に実施できる
授業計画・授業外学修課題	<p>1 ガイダンス (藍木) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 育児に関する今までの授業で学んだ内容を復習しておく (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を復習しておく (90分)</p> <p>2 演習：こどもに起きやすい事故と小児一次救命処置法① (山下) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) こどもの解剖学的な身体的特徴を調べる (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を復習しておく (90分)</p> <p>3 演習：こどもに起きやすい事故と小児一次救命処置法② (山下) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) こどもの解剖学的な身体的特徴を調べる (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を復習しておく (90分)</p> <p>4 国際母子保健 (上村) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 日本以外の国の母子保健事情について調べておく (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を復習しておく (90分)</p> <p>5 海外の母子保健 (藍木) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 日本以外の国の母子保健事情について調べておく (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を復習しておく (90分)</p> <p>6 妊産婦の支援 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 妊婦の特性について調べておく (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を復習しておく (90分)</p> <p>7 新生児のケア、育児① (藍木) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 新生児とはどういうものか調べておく (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を復習しておく (90分)</p> <p>8 演習：新生児のケア、育児② (藍木) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) 新生児とはどういうものか調べておく (90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容 (時間) 授業内容を復習しておく (90分)</p> <p>9 出生前診断について (上村)</p>

	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 出生前診断について調べておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習しておく（90分） 産褥期について（藍木）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 産褥期について調べておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習しておく（90分） 妊産婦を支援するソーシャルサポート（上村）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 妊産婦を支援するソーシャルサポートにはどのようなものがあるか調べておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習しておく（90分） 女性のライフサイクル・キャリアプラン・ライフプラン（藍木）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分と家族の将来について考えておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習しておく（90分） 地域子育て支援拠点について（外部講師予定）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 助産院について調べておく</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習しておく（90分） 沐浴演習（藍木）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 新生児の沐浴について調べておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習しておく（90分） 最終レポート</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 本授業で学んだこと、考えたことをまとめておく（180分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習しておく（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション、演習を行う。
課題のフィードバック方法と時期	各講義リフレクションペーパーのフィードバックはGoogle Classroom上でコメントを配信、あるいは次の講義の中で行う
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：平常点・リフレクションペーパー 評価割合：30% 評価基準：授業への取り組み、成果物、発言、態度 履修目標との対応：①○ ②○ ③○ ④○ ⑤○</p> <p>評価方法：演習参加度 評価割合：60% 評価基準：ルーブリック参照 履修目標との対応：③○ ⑤○</p> <p>評価方法：レポート 評価割合：10% 評価基準：ルーブリック参照 履修目標との対応：①○ ②○ ③○ ④○ ⑤○</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を配布予定 演習の際は室内履きをご用意ください。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師、助産師・保健師における臨床経験を活かした講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは授業時にお伝えします。事前にメールで連絡をしてください。 連絡先：藍木メールアドレスkaiki@soei.ac.jp
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお20分以内の遅刻・早退3回で欠席1回とみなし、20分以上の遅刻は欠席とみなします。 授業中は、承認された場合を除き、スマートフォンの使用を禁止します。また、講義スライドの撮影や講義の録音も禁止します。 学修活動における生成AIの活用には、学内の規定のガイドラインおよび「生成AI活用時フローチャート《学生版》」に準拠してください。 受講人数により、授業内容を変更することがあります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3 - 4年	2単位	選択
担当教員			
小川 史/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	
授業概要	この講義では道徳・道徳性とは何か、どうあるべきかといった問題について学生が自ら考える機会を持つことを第一の目的とする。こうした問題について考えていくために必要な基本的知識として、道徳・道徳性についての哲学的議論、子どもの道徳性の発達についての心理学的知見、道徳教育の歴史の変遷、道徳の授業内容、方法等について学ぶ。
履修目標	①子どもの道徳性の発達について理論的な説明ができる ②日本の道徳教育の歴史について概略を説明できる ③道徳教育を念頭に置いた指導を構想できる
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス 道徳と道徳教育 道徳教育の必要性について説明する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 要領と指針をよく読んでおく。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を熟読する。90分 2 道徳性の発達（1）道徳とは何か 道徳とはいかなることを指しているのか、道徳に関わる諸概念を通して理解する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 道徳に関わる諸概念について調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を熟読し、授業中に指示する関連文献を読む。90分 3 道徳性の発達（2）関係性と規範意識 道徳に関わる諸概念のうち、関係性や規範に関わるものを学ぶ。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 道徳に関わる所概念について調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を熟読し、授業中に指示する関連文献を読む。90分 4 道徳性の発達（3）遊びの中の道徳 遊びに含まれる道徳性の発達に関わる要素を理解する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 遊びに関わる諸概念について調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を熟読し、授業中に指示する関連文献を読む。90分 5 子どもの成長と道徳教育 ピアジェの道徳に関する学説を検討する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 道徳に関わるピアジェの諸概念について調べる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を熟読し、授業中に指示する関連文献を読む。90分 6 家庭における道徳教育（1）家庭と生活規範 家庭生活で共有される規範のあり方を理解する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 家庭の生活規範について考えをまとめる。90分  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 家庭教育の役割について考えをまとめる。90分 7 家庭における道徳教育（2）家庭に期待される道徳教育 家庭生活が道徳教育としていかなる機能を果たすのか、その役割を理解する。

	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 家庭に関わる新聞記事を調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読み、考えをまとめる。90分 道徳教育の歴史（1）戦前の道徳教育 戦前日本の国家主義的な道徳教育について学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 戦前の道徳教育について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 現代の道徳観と戦前の道徳観を比較検討する。90分 道徳教育の歴史（2）戦後の道徳教育 戦後の民主化と道徳教育との関連性を学ぶ、</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 戦後の道徳教育について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料に目を通し、戦後の道徳教育について理解を深める。90分 道徳教育の実際（1）幼稚園・保育所の事例から考える 幼児教育で道徳がどのような位置づけを持っているのかを具体的な事例から学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園・保育所の道徳活動を調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 道徳教育の実際について事例を調べる。90分 道徳教育の実際（2）実践例から考える 道徳教育の実践のあり方について、具体例をもとに理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 道徳教育の実践方法について自分なりに調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 道徳教育の適切な方法と不適切な方法について考えをまとめる。90分 道徳教育の実際（3）小学校以降 小学校以降の道徳教育のあり方について実践例から学ぶ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校以降の道徳教育について調べる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学校教育での道徳教育の位置付けについて考えをまとめる。90分 授業実践（1）学習指導案の発表 あらかじめ作成した学習指導案について発表する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育現場での道徳に関わる指導案を作成する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 他の学生の指導案を参考に、自分が作成した指導案を振り返る。90分 授業実践（2）学習指導案の討議 学習指導案をより良くするための工夫について授業内容をもとに議論をする。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育現場での道徳に関わる指導案を構想する。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 他の学生の指導案を参考に、自分が作成した指導案を振り返る。90分 道徳教育の将来 道徳教育が現代社会においていかなる意義を持ち得るのか、授業内容をもとに議論を深める。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 道徳教育のあり方について考えをまとめる。90分</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内で配布した資料を再読する。90分</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	反転授業
課題のフィードバック方法と時期	小テストを実施後、速やかに返却する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：小テスト 評価割合：50% 評価基準：道徳性の基本概念や歴史について理解しているか 履修目標との対応：①②③

	評価方法：指導計画の作成 評価割合：50% 評価基準：保育現場で活用できる指導計画を作成できたか 履修目標との対応：③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	特になし
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	3号館314
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3－4年	2単位	選択
担当教員			
田中 君枝/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1、保育・幼児教育に係る高度な専門知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連付けて理解し、活用できる能力を有する人。 3、社会の一員として責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。
履修条件	「保育原理Ⅰ」を修得していること
授業概要	現在、保育は大きな岐路に立たされている。認定こども園の開設や幼保一元化の方向性なども見えている。本講義においては、保育界の現在の状況について、さまざまな視点から検討するとともに、これからの幼児教育の課題などについて具体的に考えていく。
履修目標	①乳児期から幼児期の子どもの育ちを学び、実際の保育活動の進め方を知る。保育について具体的な知識を修得し、保育の現状を見据えた将来を展望できる力を身につける。 ②保育の意義について理解し、現代の保育の課題と目指すものを説明することができる。 ③子どもの育ちについて知り、その育ちを支援する保育の意義を理解した上で、その説明ができる。 ④保育の現状と将来について学び、保育についての長期的な視野を持つことができる。 ⑤幼稚園・保育所、認定こども園に関する諸制度を理解し、意見を述べるができる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 「保育」と何か 保育の意義について理解する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 実習で経験した事例を準備する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）</p> <p>2 保育と子ども理解 子ども理解について事例を基に今までの学びを深める。保育場面の写真から保育を考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 現代の子どもに関する課題を調べる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）</p> <p>3 保育の内容（幼稚園 保育所 認定こども園） 保育の内容（幼稚園 保育所 認定こども園） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「幼稚園教育要領、保育所保育指針」に目を通す。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）</p> <p>4 保育内容の方法 保育形態について自身の保育観を整理しまとめる。ポートフォリオの活用について考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 現代の子どもに関する課題を調べる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）</p> <p>5 保育の計画と評価 保育の計画、評価について最近の保育の動向を考えながら記録の重要性について考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 現代の子どもに関する課題を調べる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）</p> <p>6 保育と子育て支援 最新の子育て支援制度について理解する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 現代の子どもに関する課題を調べる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をまとめる。（90分）</p> <p>7 保育の歴史と子ども観の変遷 保育の歴史（提示した項目から選択）についてまとめる。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育の歴史について今まで学んだことを振り返る。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p>

<p>8</p> <p>授業で指示された課題を行う。(90分) 保育の歴史と子ども観の変遷 保育の歴史(提示した項目から選択)についてまとめ、発表する。 授業外事前学修課題:課題内容(時間) 授業で指示された課題を行う。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題:課題内容(時間) 授業内容をまとめる。(90分)</p> <p>9</p> <p>保育の思想について レジャ・エミリアの乳幼児教育実践について映像を通して理解する。 授業外事前学修課題:課題内容(時間) レジャエミリアの保育について調べる。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題:課題内容(時間) レジャエミリアの保育について調べる。(90分)</p> <p>10</p> <p>保育の思想について レジャ・エミリアの乳幼児教育実践について映像を通して理解する。 授業外事前学修課題:課題内容(時間) レジャエミリアの保育について調べる。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題:課題内容(時間) 授業内容をまとめる。(90分)</p> <p>11</p> <p>保育の思想について フィンランドの乳幼児教育実践について映像を通して理解する。 授業外事前学修課題:課題内容(時間) フィンランドの保育について調べる。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題:課題内容(時間) 授業内容をまとめる。(90分)</p> <p>12</p> <p>環境を通して行う保育について 映像を見ながら主体的な保育の重要性を考える。 授業外事前学修課題:課題内容(時間) 現代の子どもに関する課題を調べる。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題:課題内容(時間) 授業内容をまとめる。(90分)</p> <p>13</p> <p>様々な連携の中で行う保育 子どもの話し合いの中から学ぶ保育を考える。 授業外事前学修課題:課題内容(時間) 現代の子どもに関する課題を調べる。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題:課題内容(時間) 授業内容をまとめる。(90分)</p> <p>14</p> <p>保育に関わる法律と制度 子どもの人権について考える。 授業外事前学修課題:課題内容(時間) 現代の子どもに関する課題を調べる。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題:課題内容(時間) 授業内容をまとめる。(90分)</p> <p>15</p> <p>これからの保育の課題と展望 これからの保育に必要な考え方をまとめる。 授業外事前学修課題:課題内容(時間) 小テストを確認する。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題:課題内容(時間) 授業内容を振り返る。(90分)</p>	
<p>アクティブラーニングを用いた授業方法</p>	<p>グループワーク、プレゼンテーションを行います。</p>
<p>課題のフィードバック方法と時期</p>	<p>授業の終了時にリフレクションを行います。</p>
<p>評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応</p>	<p>評価方法:授業内確認テスト 評価割合:50% 評価基準:確認テストの点数 履修目標との対応:①②</p> <p>評価方法:プレゼンテーション 評価割合:50% 履修目標との対応:授業の要授業の要点を端的にまとめることができれば60点。 履修目標との対応:③④⑤</p>
<p>テキスト・参考文献・その他(必要物品など)</p>	<p>資料を配付します。</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	<p>幼稚園の教諭経験を有しており、その経験を活かした講義を行います。</p>

オフィスアワー・ 連絡先	e-mail : ktanaka@soei.ac.jp 場所、時間は連絡をしてください。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3 - 4年	2単位	選択
担当教員			
相賀 頌子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	定型発達児と障がい児および特別な配慮を要する子どもが共に生活し、学び合うことを通して、共に「育ち」を経験する統合保育の意義を理解することを目的とする。具体的内容としては、障がい児保育の理念および歴史の変遷、統合保育の諸相(完全統合・部分的統合)、保育現場における統合保育の取り組み、関係諸機関及び家庭との連携、統合保育の現状と課題等について学ぶ。
履修目標	①障がい児保育の歴史と変遷について学び、統合保育の意義、理念を理解する。 ②障がい児および特別な配慮を要する子どもの発達について学習する。 ③保育現場における統合保育の取り組みについて学習する。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 統合保育とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がいの捉え方および概念の確認（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 統合保育の現状と課題の整理と分離保育と統合保育の相違点の整理(90分)</p> <p>2 障がい児保育の理念 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ノーマライゼーション、アドボカシー、子どもの権利条約の確認(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 障がい児理解のポイントの整理(90分)</p> <p>3 1. 障がい児保育の理念歴史と変遷/ 障がい児保育の導入について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ノーマライゼーション、アドボカシー、子どもの権利条約の確認(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 障がい児理解のポイントの整理(90分)</p> <p>4 2. 障がい児保育の理念歴史と変遷/ 障がい児保育の今について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） インクルージョン、インクルーシブ保育、合理的配慮の用語確認(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日本と欧米諸国の障がい児保育の相違点の整理と考察(90分)</p> <p>5 障がい児保育における制度や法律 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障害者基本法、社会福祉法(旧社会福祉事業法)、障害者自立支援法、障害者総合支援法の確認(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 制度が制定以前の実態、制定に伴う社会的、教育的変化の整理(90分)</p> <p>6 1. 障がい児保育の対象となる障がいへの理解/ 知的障がい、発達障がいについて 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 定型発達児の0～6歳の心身の発達の確認(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 知的及び発達障がい児の特性と支援の整理(90分)</p> <p>7 2. 障がい児保育の対象となる障がいへの理解/ 身体障がいについて 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 肢体不自由、脳性まひ、脊髄損傷のそれぞれの定義の確認(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 身体障がいの子どもの発達課題及び関わり方の整理(90分)</p> <p>8 3. 障がい児保育の対象となる障がいへの理解/ 慢性疾患及び病弱について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 肢体不自由、脳性まひ、脊髄損傷のそれぞれの定義の確認(90分)</p>

9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 身体障がいの子どもの発達課題及び関わり方の整理(90分)</p> <p>1. 保育現場における統合保育の取り組み/ 指導計画、保育計画について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「保育」「個別の支援計画」「個別の指導計画」等のキーワードにより様式の検索(90分)</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 障がいのある子どもの実態の明確化、その課題や目標の設定、支援の方針の考察(90分)</p> <p>2. 保育現場における統合保育の取り組み/ 保育者の援助について</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育場面における子どもの生活動作や遊びについて調べる(90分)</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 生活動作、運動能力、認知能力、コミュニケーション能力、言語能力や社会性などの特、及び保育者のその援助について整理(90分)</p> <p>保育における連携</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育所保育指針の第1章「3 保育の計画及び評価」「(2)指導計画の作成」の箇所の熟読(90分)</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 保育所保育指針における連携・協働に関する記載内容の変遷についてまとめる(90分)</p> <p>保護者への支援</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） ドローター(Drotar, D.)の調査発表(先天奇形児の誕生に対する親の反応)を調べる(90分)</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 地域の専門機関の現状と課題についてまとめる(90分)</p> <p>地域、関係諸機関との連携</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 近隣地域にある障がい児を支援する専門機関、関係機関の調査(90分)</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 地域の専門機関の現状と課題についてまとめる(90分)</p> <p>小学校への接続と連携課題</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がい児の就学先の種類の確認(90分)</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 移行支援の実際と課題についてまとめる(90分)</p> <p>統合保育の現状と課題</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がい児保育を実践している保育園、幼稚園の調査(90分)</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 障がい児保育の「縦と横のつながり」の強化における課題の考察(90分)</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	授業内で調べたことを発表し、共有する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート 評価割合：50 評価基準：課題を理解し、自分の意見とその根拠を端的にまとめることができれば100点。ルーブリック参照。 履修目標との対応：① ③</p> <p>評価方法：ワークシート、リフレクションペーパー 評価割合：講義内容を理解し、自分の意見を書くことができれば40点。 評価基準：20 履修目標との対応：① ② ③</p> <p>評価方法：プレゼンテーション 評価割合：20 評価基準：情報を適切に扱うことができ、自分の考えを発表できれば60点 履修目標との対応：② ③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	必要に応じてプリントや資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	該当なし
オフィスアワー・連絡先	saiga@soei.ac.jp



開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3 - 4年	2単位	選択
担当教員			
棚澤 令子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見出し、解決していく能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	心理療法の中でも言語発達の未熟な子どもたちにも適用できる遊戯療法や箱庭療法等を中心に学ぶ。また、児童期後期から適用可能となる子どものカウンセリングについても、成人の場合との違いを明らかにしながら、学んでいく。各発達段階で発祥の多い問題について、発生機序、心理的治療法について概念的に学ぶほか、子どもと家族を支える専門家・専門機関の種類、役割等について理解する。		
履修目標	① 乳幼児期のこころの問題について理解する ② 乳幼児期のこころの問題に対する心理療法を学び説明できる ③ 保育者として活用できる乳幼児への心理療法的アプローチを学ぶ		
授業計画・授業外学修課題	1	オリエンテーション 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 習する（90分）	授業の講義ノートファイリングしまとめなおして復習する（90分）
	2	乳児期のこころの問題 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 習する（90分）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	3	乳児期のこころの問題と心理療法 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 習する（90分）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	4	幼児期のこころの問題 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 習する（90分）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	5	幼児期のこころの問題と心理療法 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 習する（90分）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	6	プレイセラピー① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 習する（90分）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	7	プレイセラピー② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 習する（90分）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	8	幼児期から児童期の発達障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 習する（90分）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	9	行動療法と療育的アプローチ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 習する（90分）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	10	児童期後半から思春期のこころの問題 授業外事前学修課題：課題内容（時間）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 習する（90分）	前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）
	11	児童期後半から思春期における心理療法	

	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の講義ノートを読み直しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）</p> <p>箱庭療法 芸術療法</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の講義ノートを読み直しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）</p> <p>認知行動療法①</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の講義ノートを読み直しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）</p> <p>認知行動療法②</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の講義ノートを読み直しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の講義ノートファイリングしまとめ直して復習する（90分）</p> <p>まとめ 支援者の視点</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の講義ノートを読み直しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 今までの全復習をする（180分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	学内の設備を用いて心理療法を体験する。フィールドワーク（乳児院・児童発達支援センター等）実施の可能性あり。
課題のフィードバック方法と時期	プレゼンテーションでは、即時フィードバックします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法： レポート 評価割合： 35% 評価基準： 子どものこころの問題に対する対応が理解できているか 履修目標との対応： ①②③</p> <p>評価方法： プレゼンテーション 評価割合： 35% 評価基準： こどものこころの問題を具体的に説明できる 履修目標との対応： ①</p> <p>評価方法： 積極的姿勢 評価割合： 30% 評価基準： 質問や意見を積極的に発言しているか 履修目標との対応： ③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	毎回講義ノートを配布します（A3版）。各自ファイリングし管理してください。参考文献は、随時紹介します。
実務経験のある教員による授業	乳児院・児童発達支援センター・保健センター等における心理職としての実務経験を活かした講義・演習を行います。
オフィスアワー・連絡先	不明点はrkurumisawa@soei.ac.jpまで、ご連絡ください。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3 - 4年	2単位	選択
担当教員			
東出 和教			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人
履修条件	特になし
授業概要	今後社会に出ていろいろな困難に会うと考えられます。 その際に最低限困らないようなスキルを今から身につけて置くことは大切です。 一般社会人として必要な自己成長の方法、基本的な仕事の進め方、コミュニケーションについて学びを通して、社会教育の必要性や内容を理解し身につけることを目的とする
履修目標	①社会教育の定義を説明できる ②挨拶と自己紹介ができる ③レジリエンスを実施できる ④アンガーマネジメントを実施できる ⑤対人関係構築の基本を行う ⑥自己目標と達成方策の作り方を実施できる ⑦ロールモデルの設定と活かし方を実施できる ⑧社会での基本動作を実施できる
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス (概論とグループワークの進め方) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) ・シラバスの確認 (90分) 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) ・当日配布されたプリントの復習 (90分) 2 社会教育の理解 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) ・授業計画にある内容について調べる (90分) 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) ・当日配布されたプリントの復習 (90分) 3 モチベーションマネジメント 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) ・授業計画にある内容について調べる (90分) 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) ・当日配布されたプリントの復習 (90分) 4 レジリエンス 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) ・授業計画にある内容について調べる (90分) 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) ・当日配布されたプリントの復習 (90分) 5 アンガーマネジメント 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) ・授業計画にある内容について調べる (90分) 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) ・当日配布されたプリントの復習 (90分) 6 自己実現の目標1 (目標設定の方法) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) ・授業計画にある内容について調べる (90分) 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) ・当日配布されたプリントの復習 (90分) 7 自己実現の方法2 (見える化と点数化) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) ・授業計画にある内容について調べる (90分) 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) ・当日配布されたプリントの復習 (90分) 8 自己実現の方法のブレークダウン1 (具体的方法) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) ・授業計画にある内容について調べる (90分) 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) ・当日配布されたプリントの復習 (90分) 9 自己実現の方法のブレークダウン2 (書いてみる) 授業外事前学修課題：課題内容 (時間) ・授業計画にある内容について調べる (90分) 授業外事後学修課題：課題内容 (時間) ・当日配布されたプリントの復習 (90分) 10 セルフマネジメント (年間)

	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）  ・授業計画にある内容について調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）  ・当日配布されたプリントの復習（90分）</p> <p>11 セルフマネジメント（日々）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）  ・授業計画にある内容について調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）  ・当日配布されたプリントの復習（90分）</p> <p>12 ロールモデルとメンター</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）  ・授業計画にある内容について調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）  ・当日配布されたプリントの復習（90分）</p> <p>13 社会教育の基本動作</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）  ・授業計画にある内容について調べる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）  ・当日配布されたプリントの復習（90分）</p> <p>14 総合復習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）  ・今までのプリントを見直す（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）  ・当日配布されたプリントの復習（90分）</p> <p>15 期末レポート・アンケート</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）  ・期末レポートの構想（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間）  ・期末レポート内容の実施（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを各回で行う
課題のフィードバック方法と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークへのフィードバックを実施する</li> <li>・中間レポートへのフィードバックを実施する</li> </ul>
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：平常点評価と中間レポート・期末レポートで行う  評価割合：平常点は50%、中間期末レポート50%  評価基準：平常点は授業への参画度・レスポンスシート、中間レポート・期末レポートは課題への理解度と実施状況・振り返り状況で行う  履修目標との対応：①～⑧までそれぞれ上記基準で行う。</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	必要に応じてプリントや資料を配布する
実務経験のある教員による授業	<p>担当教員は社会実務経験ある者が行う。  これにより実務に密着した内容を各人の実施可能な方法でできるよう指導する。  そのために実務経験を紹介しつつ、グループや自身で考えてもらう授業を計画する。</p>
オフィスアワー・連絡先	khigashide@soei.ac.jp（担当 東出アドレス）に連絡ください
備考	特になし

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3－4年	2単位	選択
担当教員			
棕田 美穂/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要の汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人 ・専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。		
履修条件	特になし		
授業概要	この講義では、保育士として大人を対象とした支援の在り方について具体的に学ぶ。これまでの知識をもとに、保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する。さらに、保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解することを目的とする。		
履修目標	①子ども・家庭の現状を理解し、さまざまな子育て支援のあり方を説明することができる。 ②子育て家庭をとりまく地域や社会の状況、子育て支援の必要性について理解し、課題に応じて調べた内容を発表することができる。 ③保育所がもつ機能を理解し、入所児童家庭や地域の子育て家庭に対する支援の在り方について述べるができる。 ④保護者とのコミュニケーションのとり方を事例から考察し、ロールプレイの中で保護者や保育士を演じることで援助技術を身に付ける。		
授業計画・授業外学修課題	1	ガイダンス 「子育て支援」とは 意義と役割 授業外事前学修課題：「子育て支援とは何か」を調べる(90分)  授業外事後学修課題：子育て支援の意義と役割をとらえ、講義内容の要点をまとめる(90分)	
	2	「子育てについて社会・家庭・地域が抱える問題」 授業外事前学修課題：表題について「自分が問題だ」と考える事柄について1つ調べ、グループ討議できるように準備する(90分)  授業外事後学修課題：討議から学んだこと、討議までの準備をふり返り、レポートにまとめる(90分)	
	3	働く親を支える支援体制 授業外事前学修課題：前時に予告された課題について自分の考えをまとめ、自分の意見をまとめ発表の準備をする(90分)  授業外事後学修課題：/課題発表及びグループ討議、講義内容についてレポートにまとめる(90分)	
	4	保育所による子ども家庭支援①「家庭支援の目的・対象・内容と保育士に求められる基本的態度」 授業外事前学修課題：「保育所の家庭支援及び子育て支援機能について」調べる(90分)  授業外事後学修課題：講義内容についてレポートにまとめる(90分)	
	5	保育士による子ども家庭支援② 「保護者理解と日常的コミュニケーション」 授業外事前学修課題：「保護者と日常的なコミュニケーションがなぜ必要なのか」自分の考えをまとめる(90分)  授業外事後学修課題：講義内容についてレポートにまとめる(90分)	
	6	保育士による子ども家庭支援③ 「連絡ノートの研究」 授業外事前学修課題：「連絡ノート」の意義や必要性について調べる(90分)  授業外事後学修課題：講義内容についてレポートにまとめる(90分)	
	7	保育士による地域の子育て家庭支援① 指導案作り「地域の中の保育所の特性と多様な取り組み」 授業外事前学修課題：「保育所の地域支援の取り組みについて」調べる(90分)  授業外事後学修課題：講義内容をもとに立案した指導案を完成させる(90分)	
	8	保育士による地域の子育て家庭支援② 指導案実践「子育てひろば」 授業外事前学修課題：前時、完成させた指導案にそって、用具等を準備をする。「子育て広場」担当保育士として実演練習をする(90分)  授業外事後学修課題：自分や他者の実演演習を振り返り、感想や考え等レポートにまとめる(90分)	
	9	事例で考える支援技術①ロールプレイ「子育て不安」 授業外事前学修課題：ロールプレイの意義を調べ、役割の視点をまとめる(90分)  授業外事後学修課題：各役割の視点から学んだこと、感想をレポートにまとめる(90分)	
	10	事例で考える支援技術②ロールプレイ「保護者間トラブル等」 授業外事前学修課題：前回のフィードバックを活かし、今回の事例について役割の視点をまとめ	

	<p>る(90分)</p> <p>11 授業外事後学修課題：各役割の視点から学んだこと、自己の変容について感想をレポートにまとめる(90分) 事例で考える支援技術③ロールプレイ「障害を抱える子どもの保護者からの相談」 授業外事前学修課題：前回のフィードバックを活かし、今回の事例について役割の視点をまとめる(90分)</p> <p>12 授業外事後学修課題：全3回のロールプレイから得た支援技術と自己の変容について感想をレポートにまとめる(90分) ・ 児童虐待防止と保育所 授業外事前学修課題：「児童虐待と保育所がもつ役割について」調べる(90分)</p> <p>13 授業外事後学修課題：講義内容についてレポートにまとめる(90分) まとめ「子育て支援」振り返りと最終課題に向けて 授業外事前学修課題：全講義内容から「保育士による子育て支援で自分が大切にしたいこと」について自分の考えや思いをまとめる(90分)</p> <p>14 授業外事後学修課題：講義を振り返り学んだことをまとめ、パワーポイントの構成を考える(90分) プレゼンテーション発表会①「保育士による子育て支援で大切にしたいこと」 授業外事前学修課題：「保育士による子育て支援で大切にしたいこと」について自分の考えや思いをまとめたパワーポイントの発表練習をする(90分)</p> <p>15 授業外事後学修課題：自分の発表を振り返る。他者の発表から自分にはない視点や考えをレポートにまとめる(90分) プレゼンテーション発表会②「保育士による子育て支援で大切にしたいこと」 授業外事前学修課題：「保育士による子育て支援で大切にしたいこと」について自分の考えや思いをまとめたパワーポイントの発表練習をする(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：自分の発表を振り返る。他者の発表から自分にはない視点や考え、15回分の講義内容をレポートにまとめる(90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	プレゼンテーション、グループワークや討議、ロールプレイ等を取り入れます
課題のフィードバック方法と時期	リアクションペーパーのフィードバックは次の授業時に行い、事前学習をもとにグループ討議、ロールプレイ等を行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：1. プレゼンテーション (①②③) 2. 平常点評価 (①②③④) 3. その他：ロールプレイ (②④)</p> <p>評価割合： 25% 50%</p> <p>評価基準：1. プレゼンテーションにおいて、調べたことやまとめたこと、自分の意見等を発表できれば60/100点 2. 討議・グループワークにおける周囲とのやりとり・協力している様子があること。リアクションペーパーの提出で80/100点 3. 保護者とのコミュニケーションのとり方を事例から考察し、ロールプレイの中で保護者や保育士を演じることができれば60/100点</p> <p>履修目標との対応：評価方法の( )内に記載</p>
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	テキスト：テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を配布予定。参考文献：授業時に随時紹介します。
実務経験のある教員による授業	小学校教諭、特別支援学校非常勤講師、学校心理士としての実務経験を生かして講義を構成します。
オフィスアワー・連絡先	別紙を参照してください
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3 - 4年	2単位	選択
担当教員			
松田 朋子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身につけ、それらを、現代社会の現状とも関連付けて理解し、活用できる能力を有する人 3 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人
履修条件	特になし
授業概要	こどもを保育所に預けている保護者からの要望として、こどもが病気の時に預かってほしいということがある。現在病院や診療所、一部の保育所においても病児・病後児保育が行われているが、そこで保育に携わる保育士にも医療的な知識が必要である。本講義においては、病児・病後児保育について学んでいく。
履修目標	①病児・病後児保育の意義や特性を説明できる。 ②代表的な症状や疾患の対応を説明できる。 ③患児の遊びについて概説できる。 ④病児・病後児保育におけるリスクマネジメントを説明できる。 ⑤障がい児の保育の意義や特徴について考えることができる。 ⑥家族への対応、支援を考えることができる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 病児保育とは。病児保育の歴史。病児保育の種類。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） インターネットや文献を参照し病児・病後児保育について知る（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を参照しノートをまとめる（90分）</p> <p>2 横浜市病児保育事業について。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） インターネットを参照し、横浜市病児保育事業について知る（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を参照しノートをまとめる（90分）</p> <p>3 こどもの生理。小児疾患について。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 過去の授業の資料、インターネットや文献を参照し、小児の生理について復習する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を参照しノートをまとめる（90分）</p> <p>4 感染症の病態、感染症疾患のこどもの受け入れに關しての留意点。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読んでおく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を参照しノートをまとめる（90分）</p> <p>5 スタッフの感染対策。予防接種について。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の母子手帳を参照し、過去に受けた予防接種を把握する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 手洗いの方法を振り返りレポートにまとめる（90分）</p> <p>6 代表的な症状、疾患への対応。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を参照し、代表的な症状・疾患について知る（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を参照しノートをまとめる（90分）</p> <p>7 病児・病後児保育室の一日の流れ。病児・病後児との遊び、コミュニケーション。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 病児・病後児でもできそうな遊びについて考え、レポートにまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を参照しノートをまとめる（90分）</p> <p>8 家族との関わり、家族支援。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 実習等での家族とのかかわりについて感じたことをまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料を参照しノートをまとめる（90分）</p> <p>9 発達障がい・障がい児についてと対応。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 今までにかかわった発達障がい児や障がい児に対して感じたことをレポートにまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を振り返り感じたことをまとめる（90分）</p> <p>10 リスクマネジメント（ヒューマンエラーなど）について。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p>

11	<p>身の回りで起きた事故やニュース等で記憶に残る事故について感じたことをまとめる(90分)  授業外事後学修課題：課題内容(時間)  配布資料を参照しノートをまとめる(90分)</p> <p>病児・病後児保育施設での救急対応  授業外事前学修課題：課題内容(時間)  AEDの使い方について復習しておく(90分)  授業外事後学修課題：課題内容(時間)  配布資料を参照しノートをまとめる(90分)</p>
12	<p>病気のこどもの心理  授業外事前学修課題：課題内容(時間)  こどもの時にびょうきになった時のエピソードがあれば書き出しておく(90分)  授業外事後学修課題：課題内容(時間)  配布資料を参照しノートをまとめる(90分)</p>
13	<p>他職種との協働、連携  授業外事前学修課題：課題内容(時間)  実習等で医師、看護師、介護職員等他職種との関わりで感じたことについて書き出しておく(90分)  授業外事後学修課題：課題内容(時間)  配布資料を参照しノートをまとめる(90分)</p>
14	<p>小児と新型コロナウイルス感染症  授業外事前学修課題：課題内容(時間)  新型コロナウイルス感染症について感じたこと、疑問点を書き出しておく(90分)  授業外事後学修課題：課題内容(時間)  配布資料を参照しノートをまとめる(90分)</p>
15	<p>病児・病後児保育の今後の課題。まとめ。  授業外事前学修課題：課題内容(時間)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間)  1～14回の授業を振り返り、関心の強かった内容についてA4 1枚程度のレポートにまとめる(180分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを用いる場合があります。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前学習の課題を基に授業で発表、討議します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート試験  評価割合：50%  評価基準：自らの考えの根拠と具体を説明できれば80/100点  履修目標との対応：①</p> <p>評価方法：平常点評価  評価割合：30%  評価基準：毎回リフレクションペーパーで授業で学んだことや感じたことを記述できれば70/100点  履修目標との対応：①②③④⑤⑥</p> <p>評価方法：その他  評価割合：20%  評価基準：事前学習し、学習したことを説明できれば70/100点  履修目標との対応：①②③④⑤⑥</p>
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	参考文献：必携 病児保育マニュアル Vol.1 Vol.2 全国病児保育協議会
実務経験のある教員による授業	担当教員は、看護師として小児病棟、病児保育室、隣接のクリニック、障がい児者施設での業務を経験している。その経験を活かして実践の知識を伝える。
オフィスアワー・連絡先	質問がある場合には、授業時や出席票等で知らせてください。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3－4年	2単位	選択
担当教員			
相賀 頌子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	従来の障がい児保育の対象はもちろんの事、多様化し、重度化する障がい児への保育・支援の課題を保育者のもとより、対象児を取り巻く人たちが障がいをより深く理解し、適切な支援に向けた取り組みが可能となるように学生を育成する。各講においては、専門的知識を具体的にわかりやすく説明し、理解を深める。
履修目標	① 障害を捉える基本的な枠組みとしてのICFについて基本的な理解をする。 ② 発達障害、知的障害、肢体不自由、病弱、視覚障害、聴覚障害、重複障害、超重症児等について、生理・病理・心理学的観点から基礎的な知識を得る。 ③ 障害のある子どもの困難とニーズへの対処と支援の実際に関して具体的に学ぶ。 ④ 特別なニーズのある子どもの保育や教育の実際について共生教育の観点から理解する。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 授業のガイダンス及び多様な子どもの障がい 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 多様な子どもの障がい種を調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日本における多様なニーズのある子どもの現状と課題の整理（90分）</p> <p>2 障がいを捉える枠組みとしてのICF 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がいの概念を調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ICFにおける障がいの分類の整理（90分）</p> <p>3 1..障がいの理解/発達障害とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「発達が気になる子ども」について調べ、まとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発達障害の子どもの行動の傾向と援助の方法についてまとめる（90分）</p> <p>4 2..障がいの理解/知的障害とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 知的障害の子どもの特性について調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 知的障害の子どもの援助方法や教材の工夫についてまとめる（90分）</p> <p>5 3..障がいの理解/肢体不自由とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 厚労省による「脳性まひ」の定義について確認する（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 肢体不自由の子どもの発達の課題および生活・遊びの支援についてまとめる（90分）</p> <p>6 4..障がいの理解/慢性疾患及び病弱とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 医療的ケアの定義を調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 医療的ケアを要する子どもの遊びの保育例から成長についてまとめる（90分）</p> <p>7 .5.障がいの理解/視覚障害とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 視覚障害の特性を調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 視覚障害の子どもへの保育・教育における配慮をまとめる（90分）</p> <p>8 6.障がいの理解/盲ろう二重障がいとは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 聴覚障害の特性を調べる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 聴覚障害の子どもへの保育・教育における配慮をまとめる（90分）</p> <p>9 7..障がいの理解/重症心身障害児とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 重症心身障害児について調べる（90分）</p>

10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 重症心身障害児の子どもへの保育・教育における配慮をまとめる（90分） 障がい児の家族の困難</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 家族へのケアの意義を多様な観点から調べる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 障がい児の保護者と健常児の保護者各々への支援で共通する点、相違点を考え整理する（90分）</p> <p>1.. 障がい児が抱える困難性に対する支援/ 障がいの早期発見の課題と情報保障へのアプローチ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 乳幼児健診や就学検診の内容を調べる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 乳幼児健診や就学健診の際の保護者へのフォローや配慮に関してまとめる（90分）</p> <p>2.. 障がい児が抱える困難性に対する支援/ 障がい児保育における子どもの健康と安全</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がい児の健康・安全の問題について調べる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子どもの安全を確保するための環境整備や工夫における障がい児と健常児の共通点と相違点をまとめる（90分）</p> <p>1. 特別なニーズのある子どもへの支援/ コミュニケーションの困難を抱える子どもへのアプローチ</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 日本語習得に困難のある子どもの実態を調べる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 母語、文化、生活スタイル等の多様性のある子どもへの保育について考察する（90分）</p> <p>2. 特別なニーズのある子どもへの支援/ 家庭環境の厳しい子どもへの保育</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 家庭環境の厳しい子どもの現状について調べる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 虐待を受けている子ども、貧困の状態にある子どもの現状と課題を明らかにし、保育者の役割について考察する（90分）</p> <p>障害のある子どもの困難とニーズへの対処と支援</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） これまで学んだ知識を整理する（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日本がめざす障がい児保育、および特別なニーズのある子どもへの支援のあり方について考察する（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	授業内で調べたことを発表し、共有する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート 評価割合：50 評価基準：課題を理解し、自分の意見とその根拠を端的まとめることができれば100点。ルーブリック参照。 履修目標との対応：① ③ ④</p> <p>評価方法：ワークシート、リフレクションペーパー 評価割合：講義内容を理解し、自分の意見を書くことができれば40点。 評価基準：20 履修目標との対応：① ② ③ ④</p> <p>評価方法：プレゼンテーション 評価割合：30 評価基準：情報を適切に扱うことができ、自分の考えを発表できれば60点 履修目標との対応：② ③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	必要に応じてプリントや資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	該当なし
オフィスアワー・連絡先	saiga@soei.ac.jp
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3－4年	2単位	選択
担当教員			
藤原 瑞徳/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人
履修条件	
授業概要	保育・幼児教育現場において適切な健康教育を実施するために、健康教育を外観し、健康に関する正しい知識や価値観、健康を保持・増進するための生活習慣等について理解した上で、乳幼児期における健康教育の具体的な指導内容及び方法を身につける。
履修目標	①健康教育の概要について理解し説明できる。 ②子どもの発達に即した健康教育の課題や対応を理解し説明できる。 ③乳幼児期における健康教育の具体的な指導計画及び教材を作成できる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 健康を捉える概念について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト1章を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>2 健康教育について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ヘルスリテラシーについて調べ、不明な用語を調べておく。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>3 乳幼児の健康と生活習慣（睡眠・食事・排泄・衣服の着脱・衛生） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト2章・6章を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>4 乳幼児の健康と生活習慣（指導計画及び教材の作成①） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト6章を参考に、模擬指導で取り組みたい題材について調べておく。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>5 乳幼児の健康と生活習慣（指導計画及び教材の作成②） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 図書館等にて、模擬指導の題材を調べておく。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 模擬指導の練習をする。（90分）</p> <p>6 乳幼児の健康と生活習慣（指導計画及び教材の作成③） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 図書館等にて、模擬指導の題材を調べておく。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 模擬指導の練習をする。（90分）</p> <p>7 乳幼児の健康と生活習慣（模擬指導） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 模擬指導の練習をする。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実施した模擬授業を省察し、改善点を赤字で指導案に書き込む。（90分）</p> <p>8 心身の発達と健康（愛着・遊び、家庭との連携） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト3章・4章・7章を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分）</p> <p>9 こどもの生活と健康（健康観察、安全管理と救急処置） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp160～161を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分）</p>

	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） こどもの生活と健康（虐待・貧困） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 虐待や貧困の問題について調べ、不明な用語を調べておく。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） こどもの生活と健康（メディア接触・特別な配慮を要する子ども） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト8章を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 安全教育・防災教育（指導計画及び教材作成1） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 模擬指導で取り組みたい題材について調べておく。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 安全教育・防災教育（指導計画及び教材作成2） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 図書館等にて、模擬指導の題材を調べておく。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 模擬指導の練習をする。（90分） 安全教育・防災教育（指導計画及び教材作成3） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 図書館等にて、模擬指導の題材を調べておく。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 模擬指導の練習をする。（90分） 安全教育・防災教育（模擬指導） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 模擬指導の練習をする。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実施した模擬授業を省察し、改善点を赤字で指導案に書き込む。（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	各回にて、グループディスカッション、グループワークやペアワーク、チーム基盤型学習、プレゼンテーション、模擬指導実践等を行います。
課題のフィードバック方法と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬指導案や成果物の内容については、授業内で振り返りや質疑応答を行います。</li> <li>・各回のリフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。</li> </ul>
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：模擬指導 評価割合：50% 評価基準：課題に即した指導ができれば60点 履修目標との対応：①○ ②○ ③○</p> <p>評価方法：成果物 評価割合：30% 評価基準：子どもにわかりやすく伝える工夫ができていれば60点 履修目標との対応：②○ ③○</p> <p>評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：20% 評価基準：授業で学んだことおよび自己省察が記載できていれば60点 履修目標との対応：①○ ②○ ③○</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	<p>テキスト：「健康の指導法」宮崎豊・田澤里喜編著，玉川大学出版部，2019，ISBN：9784472405631</p> <p>参考文献：「明日からすぐに使える保育園の健康教育」，保育園の健康教育編集委員会/編，2021，赤ちゃん和妈妈社 ほか授業時に適宜紹介する</p>
実務経験のある教員による授業	該当 看護師、養護教諭、小児看護学の大学教員としての経験を活かし、実践に役立つ知識技能を伝える。
オフィスアワー・連絡先	必要時、メールでアポイントをとってください。
備考	

## 【4年次配当科目】



開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	選択
担当教員			
江島 絵理子/こども教育学部 棕田 美穂/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
履修条件	幼稚園教育実習Ⅰの単位を取得していること 実習実施基準の要件を充たしていること
授業概要	事前指導においては、「幼稚園教育実習Ⅰ」を土台として、「幼稚園教育実習Ⅱ」の準備を行う。具体的には、「個々の幼児に対する幼児理解」「クラス全体の把握」の意義と方法、「幼児の年齢と発達、興味に即した指導計画の立案」などについて学ぶ。また、責任実習の一日の流れや実習に向けての手続きなどを確認し、実習の準備を完了する。併せて、立案した指導計画の発表を通し、実践に即した学習を行う。事後指導においては、実習での経験を振り返り、自身の目指す保育者像を確立できるようにしていく
履修目標	①個々の幼児に対する幼児理解、クラス全体の把握の意義と方法について述べることができる ②幼児の発達、興味に即した指導計画の立案と発表ができる ③幼稚園教育実習Ⅱの準備を完了する ④実習を振り返り、自身の目指す保育者像を確立できる
授業計画・授業外学修課題	1 幼稚園教育実習Ⅰでの経験を振り返る責任実習とは 幼稚園教育実習Ⅰでの経験を振り返り、「個々の幼児に対する幼児理解の意義と方法」「クラス全体を把握することの意義と方法」というテーマでグループディスカッションを行う 責任実習の一日の流れ、責任実習に向けて準備しておくことについて学習する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園教育実習Ⅰでの経験を振り返り、反省点や新たな課題を纏めておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 2 指導計画の立案方法を理解する① 指導計画立案における教材研究の意義と方法について学習する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教材研究の意義と方法について調べ、纏めておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 3 指導計画の立案方法を理解する② 指導計画立案における記録の振り返り、見直しの必要性について学習する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教育実習Ⅰの日記を振り返り、見直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 4 指導計画の立案方法を理解する③ 幼児の年齢と発達、興味に即した指導計画の立案方法について学習する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 3歳児・4歳児・5歳児の発達や興味の特徴について調べ、纏めておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 5 指導計画の発表① 3歳児の製作 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 3歳児に適した製作について調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 6 指導計画の発表② 4歳児の製作 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 4歳児に適した製作について調べておく（90分）

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 指導計画の発表③ 5歳児の製作</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 5歳児に適した製作について調べておく（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 指導計画の発表④ 3歳児のリズム遊び</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 3歳児に適したリズム遊びについて調べておく（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 指導計画の発表⑤ 4歳児のリズム遊び</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 4歳児に適したリズム遊びについて調べておく（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 指導計画の発表⑥ 5歳児の製作</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 5歳児に適したリズム遊びについて調べておく（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 指導計画の発表⑦ 3歳児のルールのある遊び</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 3歳児に適したルールのある遊びについて調べておく（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 指導計画の発表⑧ 4歳児のルールのある遊び</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 4歳児に適したルールのある遊びについて調べておく（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 指導計画の発表⑨ 5歳児のルールのある遊び</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 5歳児に適したルールのある遊びについて調べておく（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 実習事前確認 必要な手続きが完了しているか、書類が提出されているかを確認し、併せて実習中指導、実習事後指導について全体で確認を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 実習マニュアルを読んで、実習前に確認しておくべきことを纏めておく。実習に向けての不安点や質問があれば纏めておく（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義での学習を纏める（90分） 実習事後指導 「実習中の経験」「私の目指す保育者像」というテーマでグループディスカッションを行い、発表する。実習報告書の原稿を記入する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 実習日誌を見直すなどして、自身の実習を振り返り、纏めておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習報告書を完成させる（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業	グループディスカッション、立案した指導計画の発表を行う

方法	
課題のフィードバック方法と時期	授業内にフィードバックします
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：グループディスカッションによる発表  評価割合：10%  評価基準：主体的に取り組み、自身の経験を纏め、発表できれば60点  履修目標との対応：①</p> <p>評価方法：指導計画の立案と発表  評価割合：50%  評価基準：幼児の年齢と発達、興味に即しており、また与えられた活動のテーマに即した指導計画が立案でき、発表できれば60点  履修目標との対応：②</p> <p>評価方法：書類  評価割合：20%  評価基準：必要事項を記入し、体裁を整えた上で、提出期限内に提出できれば100点  履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：実習報告書  評価割合：20%  評価基準：自身の実習での経験、体験を振り返って纏めることができ、自身の目指す保育者像を確立でき、提示できれば80点  履修目標との対応：④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	本学担当教員が纏めた「教育実習Ⅰ・Ⅱ実習マニュアル」を使用する
実務経験のある教員による授業	担当教員は幼稚園教諭の経験を有しており、その経験を活かした講義を行う
オフィスアワー・連絡先	eeshima@soei.ac.jp(江島) mmukuta@soei.ac.jp(椋田)
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	2単位	選択
担当教員			
江島 絵理子/こども教育学部 棕田 美穂/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。
履修条件	幼稚園教育実習Ⅰの単位を取得していること 実習実施基準の要件を充たしていること
授業概要	幼稚園教育実習Ⅰを土台として、4年次に仕上げの実習として行われる。朝の幼児の受け入れから、幼児の把握、指導計画に沿った保育実践、実践後の反省や教員からのアドバイスによる省察など、幼稚園教諭としての一日の流れを体験を通して学んでいく。併せて幼稚園教諭の職務内容や園における協力関係、自分自身の幼稚園教諭としての資質や適正についても考える機会となる
履修目標	①幼稚園の保育を実践的に体験し、幼稚園教諭として必要な資質・能力・技術を修得する ②子どもの実態を知り、それに適した援助について学ぶ ③将来目標とする幼稚園教諭像を明確に具体化し、そのための自己課題を明確にする
授業計画・授業外学修課題	1  幼稚園の役割について具体的に理解する。 実際の保育を通して保育技術を修得する。 幼児の発達を踏まえて、個人差に対応した援助に仕方を学ぶ。 指導計画(指導案)を立案し、実際に保育を実践する。 観察したこと、子どもとの関わりの中で考えたこと、理解したことを記録する。 保育実践やその後の考察の中で、自己課題を明確にする。 幼稚園教諭としての仕事(保育以外)を具体的に学ぶ。 職員間の役割分担とチームワークの必要性を理解する。 記録や保育者とのコミュニケーションを通して、家庭・地域社会を理解する。 安全及び疾病予防への配慮を理解する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習園からの評価をもとにした総合的な評価 評価割合：100% 評価基準：実習委員会で合議の上、「教育実習園の評価」「教育実習への出席状況」「実習日誌の記述内容」などを総合的に判断して「S・A・B・C・D」の5段階評価を行う。 履修目標との対応：
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	
実務経験のある教員による授業	担当教員は幼稚園教諭の経験を有しており、その経験を活かした講義を行う
オフィスアワー・連絡先	eeshima@soei.ac.jp(江島) mmukuta@soei.ac.jp(棕田)
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	選択
担当教員			
田中 君枝/こども教育学部 持田 訓子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2、対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 4、専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。		
履修条件	「保育実習ⅠA（保育所）」「保育実習ⅠB（施設）」を修得していること。実習実施基準を満たしていること。「保育実習Ⅱ（保育所）」を同学期に履修していること。		
授業概要	保育実習Ⅱを円滑に進めていくために必要な具体的な知識、技術を習得する。実習内容・課題を明確化するとともに実習体験を深める。実習の意義と目的を認識する。保育所の養護や教育の機能、保育士の専門性と職業倫理について理解を深めるとともに、2回目となる保育実習の意義と目的を理解し、自らの課題を明確化する。指導計画の立案や教材研究など実際の保育実践を想定しての準備を行う。保育実習事後指導での振り返りを踏まえ、実習での学びを総括し、自己の課題を明確化することが最大の目的である。		
履修目標	①保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解し説明することができる。 ②実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を習得する。 ③保育の観察、記録、及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解し説明することができる ④保育士の専門性と職業倫理について理解し説明することができる。 ⑤実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を、明確にする。		
授業計画・授業外学修課題	1	保育実習Ⅱの意義、目的について 保育実習ⅠAを踏まえ、保育実習Ⅱの意義を理解する。	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育実習の手引きに示される実習の概要を確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内に提示した内容を確認し、疑問をノートにまとめておく（90分）
	2	保育実習ⅠAの振り返り 保育実習Ⅱの目的及び保育所の役割と機能の多様性について理解する。	授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、手引きを確認し、実習の目的等を読み実習生としてのマナーを調べておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習ガイドブックや手引き、テキストを読み返して、内容を整理する（90分）
	3	保育実習ⅠAの振り返りの発表 保育実習ⅠAにおいてできたこと、できなかったことを元に、保育実習Ⅱの課題、保育実習Ⅱにおける実習の目標を明確化する。	授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを読み実習の関心のある事項、学びたいことをまとめておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習の目標をさまざまな内容を入れ、実習目標を3～5項目考える。（90分）
	4	保育実習Ⅱの書類作成 保育実習Ⅱに必要な書類を作成する。書いた資料の添削指導を受ける。	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 手引き・テキストを読んで書類の記入の仕方について理解しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 書類を記入し、提出できるようにする（90分）
	5	保育日誌の書き方 保育実習ⅠAの日誌の記載の仕方に関する振り返りから自己の今後の取り組みを考える。発表に向けて作成する。	保育日誌の書き方 保育実習ⅠAの日誌の記載の仕方に関する振り返りから自己の今後の取り組みを考える。発表に向けて作成する。
	6	子ども理解に向けて 子どもの遊びの映像を通して事実の読み取り、考察する。	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育実習ⅠAの日誌を見直し、保育者の指導の意図を考える（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習日誌のブラッシュアップに必要な自身の取り組む内容をまとめる（90分）

7	<p>保育実習1Aの子どもの関わりでよくできたこと、できなかったことをまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）        集団、個としての子どもの関わりの具体的な援助を考える(90分)        指導案について        実習記録の方法を理解し、日誌、指導案を書き方を共有する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）        テキストを読み、実習日誌の書き方を理解しておく。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）        実習日誌の書き方を授業を振り返り、ポイントをまとめる。(90分)        保育の楽しさや重要性の理解。部分実習・責任実習を行う際のポイント。        外部講師の講話を聴くことで、保育の楽しさや重要性を理解しながら、部分実習・責任実習を行う際のポイントを学ぶ。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）        部分実習等を記入してみる(90)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）        外部講師による学びをまとめ、専門性のある保育士としてのあり方を考える(90分)        実習評価、自己評価確認        実習評価、自己評価を確認することで保育実習の重要点を考える。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）        テキスト、手引きを読み確認をする(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）        参考資料を確認する(90分)        養護と教育の一体性について        映像や写真を通して養護と教育の一体性について理解する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）        テキスト、手引きを読み確認をする(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）        参考資料を確認する(90分)        実践体験から指導案を作成する        乳幼児の発達に応じた教材を研究し作成する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）        テキストを元に年齢ごとの乳幼児の発達を復習する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）        部分実習、責任実習を行う内容をまとめる(9分)        保育実習に向けた準備 指導案の発表        細菌検査レクチャー、オリエンテーションⅢ、日誌の概要、巡回教員挨拶準備等行う。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）        テキストを読み、実習前に確認しておくべきことを確認する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）        実習にむけて質問事項をまとめておく(90分)        保育実習に向けた準備        保育士の職業倫理の確認。実習後の手続きも含めた準備の最終確認 お礼状等の確認。（校内オリエンテーション）</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）        テキストを読み、実習前に確認しておくべきことを確認する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）        授業内容を振り返り、実習に向けた準備の最終確認をする(90分)        保育実習事後指導        保育実習総括 報告書について学ぶ。評価伝達を受ける。後輩に向けての伝達事項をまとめる。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）        心にのこったエピソード記録をまとめる。(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）        実習での学びと今後の課題を報告書を作成する(90分)        保育実習事後指導        保育実習で学んだ内容を整理し、今後の自身の課題を明確にし後輩に伝える。そこから得る自身の学びを整理する。</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）        実習での学びと今後の課題を伝達用に整理する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間）        今後の自身の課題を明確にし後輩に伝えそこから得る学びを将来に向けて整理する。(90分)</p>
アクティブラーニング	グループワーク、保育実技体験を行います。

ングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションは授業終了時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート  評価割合：50%  評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができているならば60点。ルーブリック参照。  履修目標との対応：①③⑤</p> <p>評価方法：実習報告書  評価割合：50%  評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができているならば60点。  履修目標との対応：①③④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	小櫃智子 田中君枝 遠藤純子 小山朝子 著「実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド」わかば社 (2022) 百瀬ユカリ 田中君枝 著 「保育園、幼稚園、学童保育まで使えるたのしい手遊び50」創成社 (2014)
実務経験のある教員による授業	保育現場経験を有しており、その経験を活かして実践にも役立つ授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	e-mail : ktanaka@soei.ac.jp 場所、時間は連絡をしてください。
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	選択
担当教員			
平野 友康/こども教育学部 流石 良子/こども教育学部 濱田 唯/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人
履修条件	保育実習ⅠA(保育所)・ⅠB(施設)の単位を習得していること。 実習実施基準の要件を充たしていること。
授業概要	事前指導では、「保育実習Ⅲ(施設)」を円滑に進めるために必要な具体的な知識・技術を習得し、学習内容・課題を明確化する。「保育実習ⅠB(施設)」における経験と既習の教科の学びを土台に、教科と実習の関連を踏まえて保育実践力を身につける。事後指導では、実習を振り返り、実習における学びを確認した上で自己課題を明確にする。
履修目標	①保育実習Ⅲ(施設)の意義や目的、実習に対する心構えについて理解し説明できる。 ②児童福祉施設等の機能や保育士の職務内容について理解し説明できる。 ③実習日誌や記録の書き方を理解し実践できる。 ④自身の保育実践について、課題や改善点を明確にできる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 オリエンテーション 施設実習とは、心構え等</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについてテキストおよび参考図書等を精読する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する(90分)</p> <p>2 実習施設の概要 各施設の概要及び利用者等の特性の理解</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自身の実習施設の概要について調べ、ノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する(90分)</p> <p>3 社会福祉施設の職業理解 求められる人材像の理解と援助課題への理解</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについてテキストおよび参考図書等を精読する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する(90分)</p> <p>4 自己覚知ワーク 実習中の注意事項の自己覚知</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについてテキストおよび参考図書等を精読する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する(90分)</p> <p>5 実習テーマの設定 実習目的個人票・誓約書の作成</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 実習目的を検討しノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 課題レポートおよび必要書類の作成(90分)</p> <p>6 日誌の記載方法 プロセスレコードを活用した記録作成</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 援助現場での動画を調べ視聴する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 作成した記録を読み返し不明点について調べる(90分)</p> <p>7 福祉施設実習へ向けての心構えと基礎理解 現地インタビューの項目づくり</p>

8	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 現地インタビューのためのガイドを作成する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 現地インタビューについてのガイドを修正する(90分) 福祉施設現地見学 児童養護施設・障害者支援施設</p>
9	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 現地インタビュー先の情報を調べる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） インタビュー内容を整理し不明点を明確にする(90分) 福祉施設現地インタビュー 児童養護施設・障害者支援施設</p>
10	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 現地インタビュー先の情報を調べる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） インタビュー内容を整理し不明点を明確にする(90分) 福祉施設現地インタビュー振り返り 児童養護施設・障害者支援施設</p>
11	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） インタビュー内容をレポートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する(90分) 施設における支援の実際 態度・連携・地域との関わり</p>
12	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについてテキストおよび参考図書等を精読する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要書類の作成(90分) 保育士の職業理解 多様な業務内容および職業倫理</p>
13	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについてテキストおよび参考図書等を精読する(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要書類の作成(90分) 事後指導① 実習の総括と評価</p>
14	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 実習日誌を見直し、自己の学びや課題をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 課題レポートの作成(90分) 事後指導② 自己評価</p>
15	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 下級生への実習報告およびアドバイスのためのプレゼンテーション資料の作成(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 同資料の修正およびプレゼンテーションの練習(90分) 事後指導③ 学習課題の明確化と改善点の発見</p>
16	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 実習報告書の作成(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習報告書の加筆修正(90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	社会福祉施設の現地見学およびインタビュー、グループディスカッション、ロールプレイ、プレゼンテーション等を行います。
課題のフィードバック方法と時期	授業内にフィードバックします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：レポート試験</p> <p>評価割合：40%</p> <p>評価基準：根拠や具体例などを挙げて、目的に即した内容を表況できれば100点</p> <p>履修目標との対応：①②③④</p>

	<p>評価方法：平常点評価          評価割合：20%          評価基準：必要書類の提出実習の実施に必要な書類に必要な事項を正しく記入し、提出期限内に提出できれば100点          履修目標との対応：①</p> <p>評価方法：実習報告後の自己評価          評価割合：40%          評価基準：実習報告書実習を振り返り、自身の学びや課題を述べられれば100点          履修目標との対応：①②③④</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト実習ガイドブック、実習日誌
実務経験のある教員による授業	社会福祉協議会での対人援助職(社会福祉士)としての実務経験をいかした講義を行う。(平野)
オフィスアワー・連絡先	別途掲示等を参照
備考	事後指導の一環として、下級生への実習報告やアドバイス等を行う。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	2単位	選択
担当教員			
田中 君枝/こども教育学部 持田 訓子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2、対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 4、専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見出し、解決していく能力を有する人。
履修条件	「保育実習ⅠA（保育所）」「保育実習ⅠB（施設）」を修得していること。実習実施基準を満たしていること。「保育実習事前事後指導Ⅱ（保育所）」を同学期に履修していること。
授業概要	保育所における実際の保育実践を通じ、保育所の役割や機能、保育士の役割、職業倫理等について理解を深めるとともに、保育士として必要な援助に関する技術などを習得する。「保育実習ⅠA」で学んだ内容をより深め、子どもの保育及び保護者支援を総合的に学び、保育の指導計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実践的に理解する。保育実習の最終段階として保育士としての倫理観を身につける。
履修目標	①保育所の役割や機能を具体的な実践を通して理解を深め、実習に生かすことができる。 ②子どもの観察や関わり方の視点を明確にすることを通して保育の理解を深め、実習に生かすことができる。 ③既習の教科や保育実習Ⅰを踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学び、実習に生かすことができる。 ④指導計画、観察、記録、及び自己評価等について実際に取り組むことができる。 ⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけられる。 ⑥保育士の自己の課題を明確化できる。
授業計画・授業外学修課題	<p>1 保育所の役割や機能の具体的展開 (1) 養護と教育が一体となって行われる保育 (2) 保育所の社会的役割と責任</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育実習事前オリエンテーションを行う。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日々の保育記録を記入し振り返りを行う。（90分）</p> <p>2 観察に基づく保育の理解 (1) 子どもの心身の状態や活動の観察 (2) 保育士の援助や役割 (3) 保育所の生活の流れや展開の把握</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 翌日の実習に向けての準備をする。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日々の保育記録を記入し振り返りを行う。（90分）</p> <p>3 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等の連携 (1) 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育 (2) 入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援 (3) 関係機関や地域社会との連携・協働</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 翌日の実習に向けての準備をする。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日々の保育記録を記入し振り返りを行う。（90分）</p> <p>4 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 (1) 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 (2) 作成した指導計画に基づく保育の実践と評価</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 翌日の実習に向けての準備をする。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日々の保育記録を記入し振り返りを行う。（90分）</p> <p>5 保育士の業務と職業倫理 (1) 多様な保育の展開と保育士の業務 (2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 翌日の実習に向けての準備をする。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日々の保育記録を記入し振り返りを行う。（90分）</p>

	6 自己の課題の明確化 自己評価を行い課題を明確化する。  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 進路に向けての準備をする。（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） 進路に向けての準備をする。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習園からの評価を元にした総合的な評価 評価割合：100% 評価基準：実習委員会合議の上、「保育実習園の評価」、「保育実習への出席状況」、「実習日誌の記述内容」など総合的に判断して評価を行う。 履修目標との対応：①②③④⑤⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	小櫃智子 田中君枝 遠藤純子 小山朝子 著「実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド」わかば社（2022） 百瀬ユカリ 田中君枝 著「保育園、幼稚園、学童保育まで使えるたのしい手遊び50」創成社（2014）
実務経験のある教員による授業	保育現場経験を有しており、その経験を活かして実践にも役立つ授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	e-mail：ktanaka@soei.ac.jp 場所、時間は連絡をしてください。
備考	

講義科目名称： 保育実習Ⅲ（施設）

授業コード： 24B812

英文科目名称： Field Study Ⅲ (Social Welfare Facility)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	2単位	選択
担当教員			
平野 友康/こども教育学部 流石 良子/こども教育学部 濱田 唯/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人
履修条件	保育実習IA(保育所)・IB(施設)の単位を習得していること。 実習実施基準の要件を充たしていること。
授業概要	「保育実習Ⅲ(施設)」では、居住型児童福祉施設等における実際の保育実践を行うことで、保育士として必要な援助に関する技術などを習得する。「保育実習IB(施設)」で学んだ内容をより深めるとともに、さまざまな施設の機能や保育士の職務内容について理解する。保育実習の最終段階として、保育者としての任務と使命を自覚する。
履修目標	①児童福祉施設等における保育士としての援助技術を習得し実践できる。 ②児童福祉施設等の機能や保育士の職務内容について理解し説明できる。 ③自身の保育実践について、課題や改善点を明確にできる。
授業計画・授業外学修課題	1 実習内容 施設の役割や機能を理解する。 施設の生活の一日の流れを理解し、主体的に参加する。 利用児・者と生活を共にすることで、生活面における配慮を体験的に理解する。 施設における保育士（援助職）の職務内容と役割を理解する。 職員間の役割やチームワークのあり方を理解する。 施設と地域社会の関係について理解する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	実習における援助を体験する
課題のフィードバック方法と時期	日誌の提出とコメントおよび実習指導者との議論等を行う
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習施設による評価をもとにした総合的な評価 評価割合：100% 評価基準：実習施設の評価及び実習施設からの聞き取りにより総合的に評価する。 履修目標との対応：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：「実習ガイドブック」「実習日誌」
実務経験のある教員による授業	社会福祉協議会での対人援助職(社会福祉士)としての実務経験を生かした演習を行う。(平野)
オフィスアワー・連絡先	別途掲示等を参照
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
大内 美智子/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
小川 史/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	<p>1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分）</p> <p>2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分）</p> <p>3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分）</p> <p>4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分）</p> <p>5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分）</p> <p>6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
鈴木 明子/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
武井 博美/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
木下 圭/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
棚澤 令子/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	<p>1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分）</p> <p>2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分）</p> <p>3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分）</p> <p>4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分）</p> <p>5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分）</p> <p>6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
根本 徹/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	<p>1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分）</p> <p>2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分）</p> <p>3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分）</p> <p>4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分）</p> <p>5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分）</p> <p>6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
江島 絵理子/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
流石 良子/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
27	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
田中 君枝/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を取得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
平野 友康/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
持田 訓子/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
相賀 頌子/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
棕田 美穂/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
濱田 唯/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	<p>1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分）</p> <p>2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分）</p> <p>3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分）</p> <p>4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分）</p> <p>5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分）</p> <p>6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4年	4単位	必修
担当教員			
若生 啓/こども教育学部			
演習	CI800		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 2. 対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 3. 社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 4. 専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。
履修条件	「卒業研究ゼミナール」の単位を修得していること
授業概要	3年次の「卒業研究ゼミナール」によって絞り込まれた研究テーマ、基礎的な文献研究、資料の収集、観察、分析などによって得られたものを中心に、卒業論文として研究のまとめを行う。各自指導教員との個別の指導を受けることにより、4年間の大学生生活の集大成として論文をまとめる。このシラバスでは、モデルとなる計画について示すが、実際の進め方については各ゼミ担当教員の指示に従うこと。
履修目標	①自己の研究課題について主体的に取り組むことができる ②発表や討議を行い、各自の課題を確認し、学び合うことができる ③卒業研究に向けて研究計画を作成し研究テーマに沿って論文の執筆（ないし作品制作と報告書）などの卒業研究を遂行し、発表を行い、研究方法を修得できている
授業計画・授業外学修課題	1 研究計画の検討と修正① 卒業研究ゼミナールの振り返り 卒業研究ゼミナールでの指導を振り返る  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 2 研究計画の検討と修正② 卒業研究の構想 研究の構想を立てる  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の研究テーマを確認しておく（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指示に従い、研究計画を構想する（90分） 3 論文等の作成① 資料の確認 研究に関わる資料を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 4 論文等の作成② 構想と研究方法の確認 資料をもとに、あらためて研究の構想と研究方法を確認する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 5 各自の課題の共有 他のゼミ生と課題を発表し合う  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）  授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 6 論文等の作成と個別指導① 資料の活用 資料の活用の仕方について研究に即して考察する  授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）

7	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導② 研究倫理 研究を進める上での倫理的な事項について理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導③ 情報の整理と機材の取り扱い 収集した情報を整理すると同時に、使用する機材の確認をする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
9	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導④ 先行研究の扱い方 先行研究のまとめ方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
10	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑤ 多様な研究方法の理解 研究方法には様々な種類のものがあることを理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
11	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論① テーマ・課題の共有 ゼミ内で発表を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
12	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論② 討論の方法 討論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
13	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究の中間発表と討論③ 発表とフィードバック 発表のフィードバックを行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
14	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期の研究計画について 研究の計画を振り返り、後期の計画を立てる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
15	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 前期のまとめ 研究構想の再確認 研究の構想を見直す</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
16	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 後期のゼミ活動と個人研究計画の確認 研究の構想と活動の計画を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

17	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑥ 論点の整理 研究に関わる論点を整理する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
18	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑦ 資料の活用と引用・注記 引用・注記の仕方を理解する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
19	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑧ 論文構成の再確認 論文の構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
20	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑨ 研究倫理の再確認 研究倫理を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
21	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と個別指導⑩ 論理構成の再確認 論理構成を再確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
22	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での報告 研究をゼミで報告する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
23	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 個人研究のまとめとゼミ内での討論 研究内容について議論を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
24	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導とゼミ学生の意見を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ① 資料及び制作物等の整理 研究に関わる資料及び制作物の整理を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
25	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ② 全体の構成の確認 研究全体の構成を確認する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>
26	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 論文等の作成と研究のまとめ③ 校正 校正を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p>

	<p>27 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究の完成 卒業研究を完成させる</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 研究テーマに沿って先行研究を読み、論文にまとめる（90分）</p> <p>28 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ゼミ担任の指導を振り返り、論文を作成・推敲する（90分） 卒業研究発表に向けての準備① 概要の作成 卒業研究の概要を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を作成する90分）</p> <p>29 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の概要を推敲し、完成させる（90分） 卒業研究発表に向けての準備② 発表用資料の作成 発表用の資料を作成する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を作成する（90分）</p> <p>30 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表用資料を推敲し完成させる（90分） 卒業研究の発表 卒業研究を発表する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 卒業研究の発表の練習をする（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 卒業研究全体を振り返る（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	ゼミ内でのグループワーク、発表・討議など
課題のフィードバック方法と時期	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：研究の内容 評価割合：50% 評価基準：研究を主体的に進め、意義のある研究となったか 履修目標との対応：①②③</p> <p>評価方法：卒業研究の完成 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を完成し、提出する 履修目標との対応：③</p> <p>評価方法：卒業研究の発表 評価割合：25% 評価基準：卒業研究を発表する 履修目標との対応：③</p>
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	研究内容に応じて、教員の指示を仰ぐこと
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	各ゼミ担当教員の指示に従うこと
備考	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4年	2単位	選択
担当教員			
江島 絵理子/こども教育学部 平野 友康/こども教育学部 相賀 頌子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	<p>社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。</p> <p>専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。</p>
履修条件	特になし
授業概要	本講義の目的は、保育者(教員および保育士)として最小限必要な資質能力の全体を確認することである。具体的には、保育者としての使命感・責任感、教育・保育的愛情について学習するとともに、対人関係能力を確かなものにし、乳幼児理解のための具体的な方法の習得、保育現場での実践的指導力の獲得を目指す。これから保育者になるにあたり、これまでに履修した授業科目やそれ以外での活動を通して得た知識や技能、態度が、教員・保育士として最小限必要な資質能力としていかに統合されているかを確認し、自己課題を見出し、その定義を図ることを目的とする。
履修目標	<p>①保育者の業務内容や職業倫理について説明することができる</p> <p>②保育者として持つべき使命感・責任感を説明することができる</p> <p>③保育者として保育実践ができるよう自身の実践感や指導の方法を述べるすることができる</p> <p>④4年間の学びを自己評価し今後の保育者としての自己課題を明確にし述べるすることができる</p>
授業計画・授業外学修課題	<p>1 オリエンテーション 本科目の目標と趣旨について理解を深める</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) シラバスを読み本科目の授業目的と内容を確認し疑問点をノートにまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 受講の内容をノートにまとめる(90分)</p> <p>2 これまでの履修や活動を振り返る 履修カルテを基に自己課題を設定する</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) 履修カルテにすべての記入されているか確認をする(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 履修カルテから設定した自己課題を精査・加筆する(90分)</p> <p>3 学生によるレポート発表および質疑応答① それぞれの担当教員から与えられたテーマを基にまとめたレポートを発表する。発表を基に質疑応答を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) 与えられたテーマを基にレポートをまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 質疑応答からの気づきや新たな課題をノートにまとめる(90分)</p> <p>4 学生によるレポート発表および質疑応答② それぞれの担当教員から与えられたテーマを基にまとめたレポートを発表する。発表を基に質疑応答を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) 与えられたテーマを基にレポートをまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 質疑応答からの気づきや新たな課題をノートにまとめる(90分)</p> <p>5 学生によるレポート発表および質疑応答③ それぞれの担当教員から与えられたテーマを基にまとめたレポートを発表する。発表を基に質疑応答を行う</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容(時間) 与えられたテーマを基にレポートをまとめる(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 質疑応答からの気づきや新たな課題をノートにまとめる(90分)</p> <p>6 学生によるレポート発表および質疑応答④ それぞれの担当教員から与えられたテーマを基にまとめたレポートを発表する。発表を基に質疑応答を行う</p>

7	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 与えられたテーマを基にレポートをまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 質疑応答からの気づきや新たな課題をノートにまとめる（90分） 学生によるレポート発表および質疑応答⑤ それぞれの担当教員から与えられたテーマを基にまとめたレポートを発表する。発表を基に質疑応答を行う</p>
8	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 与えられたテーマを基にレポートをまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 質疑応答からの気づきや新たな課題をノートにまとめる（90分） 学生によるレポート発表および質疑応答⑥ それぞれの担当教員から与えられたテーマを基にまとめたレポートを発表する。発表を基に質疑応答を行う</p>
9	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 与えられたテーマを基にレポートをまとめる（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 質疑応答からの気づきや新たな課題をノートにまとめる（90分） 外部講師による講演① 保育士の方からの「保育職を目指すに当たって」をテーマとした講演を伺う</p>
10	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育園の現状や課題等について調べ、まとめておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講演の感想をノートにまとめる（90分） 外部講師による講演② 保育士の方からの「保育職を目指すに当たって」をテーマとした講演を基にグループディスカッションを行う</p>
11	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育園の現状や課題等について調べ、まとめておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分） 外部講師による講演③ 幼稚園教諭の方からの「保育職を目指すに当たって」をテーマとした講演を伺う</p>
12	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園の現状や課題等について調べ、まとめておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講演の感想をノートにまとめる（90分） 外部講師による講演④ 幼稚園教諭の方からの「保育職を目指すに当たって」をテーマとした講演を基にグループディスカッションを行う</p>
13	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 幼稚園の現状や課題等について調べ、まとめておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分） 保育現場を想定したロールプレイの実践①（保護者対応） グループに分かれて、園長役・保育者（担任）役・保護者役・子ども役などになりきり演じることで、様々な立場や視点による客観的な学びから、より良い保護者対応を考える</p>
14	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育現場における保護者対応の現状や課題等について調べ、まとめておく ロールプレイの進め方について調べておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分） 保育現場を想定したロールプレイの実践①（ヒヤリハット） グループに分かれて、園長役・保育者（担任）役・保護者役・子ども役などになりきり演じることで、様々な立場や視点による客観的な学びから、事故やけがなどの対応方法について考える</p>
15	<p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保育現場における事故やけがの現状や課題等について調べ、まとめておく（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容をノートにまとめる（90分） 保育職としての資質再確認・まとめ どんな保育者になりたいか・卒業まですべきことの確認をグループワークを通して行う 担当教員からのメッセージを通じて目指す保育職の姿がイメージできるようにする</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間）</p>

	<p>どんな保育者になりたいか、卒業まですべきことは何かを考え、ノートにまとめておく(90分)</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容(時間) 講義の内容をノートにまとめる(90分)</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク・討論・プレゼンテーションなどを行う
課題のフィードバック方法と時期	基本的に次の授業時に行う
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：ワークシート・提出物 評価割合：30% 評価基準：授業内に配付したワークシートや提出物の内容が指示されたとおり書かれており、かつ定められた期限内に提出ができたなら100点 履修目標との対応：</p> <p>評価方法：グループ討論のためのレポート作成・発表 評価割合：50% 評価基準：テーマに対して自分の意見が書かれていること、提示した条件(枚数等)を満たしていること、それにもとづき発表を行うこと以上3点ができたら80点 履修目標との対応：</p> <p>評価方法：まとめのレポート 評価割合：20% 評価基準：出題したテーマに対して自分の意見が書かれていること、提示した条件(枚数等)を満たしていること、以上2点ができたら80点 履修目標との対応：</p>
テキスト・参考文献・その他(必要物品など)	授業にて紹介する
実務経験のある教員による授業	幼稚園教諭としての実務経験を活かした演習を行います。(江島) 社会福祉協議会での対人援助職(社会福祉士)としての実務経験を活かした演習を行います(平野)
オフィスアワー・連絡先	<p>eeshima@soei.ac.jp(江島)</p> <p>thirano@soei.ac.jp(平野)</p> <p>saiga@soei.ac.jp(相賀)</p>
備考	授業については理由のない欠席、遅刻、早退は認めていない。課題も遅滞なく提出すること。質問等は随時受け付ける。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4年	2単位	選択
担当教員			
持田 訓子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。</li> <li>・専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、解決していく能力を有する人。</li> </ul>
履修条件	「器楽Ⅲ（中級）」を修得していること。
授業概要	器楽Ⅲにおいて身につけた知識や技術を踏まえ、保育・幼児教育現場の音楽遊びにおいて、子どもの表現を引き出す演奏技術を身につける。
履修目標	<p>①保育・幼児教育現場で使用される主な楽器の特徴を理解し、演奏技術を身につける。</p> <p>②ピアノや他の鍵盤楽器、打楽器等を用いて、子どもの表現を引き出すように演奏できる。</p>
授業計画・授業外学修課題	<p>1 器楽Ⅲで身につけたレパートリーの復習 個人の習得技能に合わせた演奏練習及び今後の課題曲の選定等</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 既習曲を練習する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 課題曲を練習する。（90分）</p> <p>2 リズムや和声を意識したピアノ伴奏法と弾き歌い(1) 個人の習得技能に合わせた演奏練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 既習のリズムや和声を確認し、既習曲を練習する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 課題曲を練習する。（90分）</p> <p>3 リズムや和声を意識したピアノ伴奏法と弾き歌い(2) 個人の習得技能に合わせた演奏練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 既習のリズムや和声を確認し、既習曲を練習する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 課題曲を練習する。（90分）</p> <p>4 リズムや和声を意識したピアノ伴奏法と弾き歌い(3) 個人の習得技能に合わせた演奏練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 既習のリズムや和声を確認し、既習曲を練習する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 課題曲を練習する。（90分）</p> <p>5 リズムや和声を意識したピアノ伴奏法と弾き歌い(4) 個人の習得技能に合わせた演奏練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 既習のリズムや和声を確認し、既習曲を練習する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 課題曲を練習する。（90分）</p> <p>6 リズムや和声を意識したピアノ伴奏法と弾き歌い(5) 個人の習得技能に合わせた演奏練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 既習のリズムや和声を確認し、既習曲を練習する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 課題曲を練習する。（90分）</p> <p>7 個人発表（実技試験） 個人演奏の発表（実技試験）および振り返り</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 課題曲を練習する。（90分）</p>

8	<p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 互いの演奏の感想や自身の今後の課題をまとめる。（90分） 鍵盤楽器や打楽器等の発展的な奏法(1) 木琴・鉄琴を用いた合奏</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 各楽器の奏法の特徴や代表曲等を調べてまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各楽器の奏法を踏まえて課題曲を練習する。（90分） 鍵盤楽器や打楽器等の発展的な奏法(2) タンバリン・カスタネット・鈴を用いた合奏</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 各楽器の奏法の特徴や代表曲等を調べてまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各楽器の奏法を踏まえて課題曲を練習する。（90分） 鍵盤楽器や打楽器等の発展的な奏法(3) ウッドブロック・ギロ・カバサ・マラカス・コンガ・ボンゴを用いた合奏</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 各楽器の奏法の特徴や代表曲等を調べてまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各楽器の奏法を踏まえて課題曲を練習する。（90分） 鍵盤楽器や打楽器等の発展的な奏法(4) スネア・大太鼓・シンバル・ウィンドチャイムを用いた合奏</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） 各楽器の奏法の特徴や代表曲等を調べてまとめる。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各楽器の奏法を踏まえて課題曲を練習する。（90分） グループ練習(1) 発表に向けたグループ練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） グループごとに発表曲を決める。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業における学びを踏まえ、グループで発表曲を練習する。（90分） グループ練習(2) 発表に向けたグループ練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） グループで発表曲をアレンジし、練習する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業における学びを踏まえ、グループで発表曲を練習する。（90分） グループ練習(3) 発表に向けたグループ練習</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） グループで発表曲の紹介を考える。発表に向けて練習する。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業における学びを踏まえ、グループで発表曲を練習する。（90分） グループ発表（実技試験） グループ演奏の発表（実技試験）および振り返り</p> <p>授業外事前学修課題：課題内容（時間） グループで発表のリハーサルを行う。（90分）</p> <p>授業外事後学修課題：課題内容（時間） 互いの演奏の感想や自身の今後の課題をまとめる。（90分）</p>
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク及び発表を行います。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックを次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	<p>評価方法：平常点評価 評価割合：20% 評価基準：楽器の特徴および奏法を理解して練習を行えば60点（ルーブリック参照） 履修目標との対応：① ②</p> <p>評価方法：実技試験（個人演奏・グループ演奏） 評価割合：80%（個人演奏40%・グループ演奏40%） 評価基準：曲想に合わせ、子どもの表現を引き出すように意識して演奏できれば60点（ルーブリック参照） 履修目標との対応：① ②</p>

テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	必要に応じて資料や楽譜を紹介します。 ※初回授業には、器楽Ⅲで使用した楽譜等を持参してください。
実務経験のある教員による授業	特別支援学校教諭および音楽療法士としての経験をいかし、実践に役立つ知識技能を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：別途掲示を参照してください。 連絡先：nmochida@soei.ac.jp
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への主体的な参加を期待します。</li> <li>・30分以上の遅刻および途中退席は欠席となります。</li> </ul>